「パブリックコメント」を活用して行政に意見を届けよう。

皆さんは、「パブリックコメント」をご存知ですか。パブリックコメントとは、行政手続法に基づく意見公募手続きのことです。噛み砕いて表現すると、**「行政に意見をください」**というものです。 近年、行政の公平性や透明性をより高めるために、様々な事業においてパブリックコメントを募集するようになっています。パブリックコメントを行政に送ることで、行政の様々な事業案や検討事項に意見をすることができるのです**。**パブリックコメントは、市民の意見を政策に反映するために行政が意見を募集する制度のことです。そのため、市民がパブリックコメントを出すことによって、税金や施設の利用がよりよくなる可能性があります。国の単位で、パブリックコメントが実施されることもありますが、鳥取県でももちろん募集されています。過去に実施されたパブリックコメントの例。鳥取県主要農作物種子条例案、生産振興課、鳥取県屋外広告物条例の改正案、住まいまちづくり課、鳥取県新型インフルエンザ等対策行動計画の一部変更案、健康政策課、米子市のパブリックコメント、過去に実施されたパブリックコメントの例。米子地域福祉計画、地域福祉活動計画、米子市空家等対策計画、史跡米子城跡整備基本計画、**鳥取市のパブリックコメントの募集例。**過去に実施されたパブリックコメントの例、鳥取市営住宅の設置および管理に関する条例の等の一部改正案、建築住宅課、鳥取市地域福祉推進計画、地域福祉課、鳥取市空家等対策計画、建築指導課。鳥取県と鳥取市のHPを確認すると、**パブリックコメントに対するコメントが20から50件ほどの集まっている案件もあれば、０件の案件もありました。**行政サイドの課題としては、パブリックコメントを募集していることをしっかりと市民に知らせていく必要があるということ。パブリックコメントを募集しているにも関わらず、応募が0件では意味がありません。実施する以上は、しっかりと市民への告知を行うべきでしょう。市民の皆様は、積極的にパブリックコメントの募集を行政のHPなどで確認し、関心あるテーマについては行政に声を届ける必要があるでしょう。**最後に。**今回は、「パブリックコメント」の説明と、鳥取におけるパブリックコメントの現状について書かせていただきました。今後、TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、募集中のパブリックコメントについての情報を掲載していく予定です。本メディアを通じて、少しでもパブリックコメントに興味を持つ人が増え、県政や市政への市民参画に良い影響を与えていくことができればと思います。

Twitterの利用において気をつけるべきこと。

利用者が4500万人いるTwitter。突然ですがTwitterを利用していますか。日本では、SNSの中でTwitterが盛んに利用されています。月間利用者数はlineの8,100万人についで4,500万人おり、SNSの中で利用者の多さは2位です。Twitterはその手軽な投稿機能から情報の拡散速度が他のSNSと比べて群を抜いています。ただしその手軽さゆえにたやすく過ちを犯してしまう事件を日々目にします。実際、若者がその先の人生に多大な悪影響を及ぼしてしまうような事件を起こした例をニュースなどで一度は耳にしたことがありと思います。いわゆる**「バカッター」**と呼ばれる人たちです。しかしニュースで取り上げられるほどの極端なケースでなくても、訴えられていないだけで本人が気付かない内にバカッター行為をしてしまっている人はたくさんいると言われています。Twitterの利用における問題は若い人だけでなく大人の**「炎上」**や**「盗用問題」**などもあります。そこで本記事では**「ツイートする時」**にフォーカスして意識してほしい注意点を簡単に紹介します。著作権。要は「思想または感情を創作的に表現したもので、文芸,学術,美術または音楽の範囲に属するもの、著作憲法2条1項1号」を勝手に使わなければいいということです。ポイントとしては、**事実やデータを客観的に述べただけだと著作物にならない**のと、**工業製品は文芸、学術、美術または音楽の範囲には含まれない**ということです。著作物が利用でき得る状況。文字数の少ない著作物の利用。例えば音楽の歌詞の一部などです。**しかし元から文字数の少ない俳句などは著作物性が認定される**ようです。著作権法の引用、32条1項、以下の要件を満たしていれば大丈夫です。引用の形態が「公正な慣行」に合致。報道、批判、研究などの引用の目的上「正当な範囲内」であること。引用部分とそれ以外の部分の「主従関係」が明確。「」、カギ括弧で「引用部分」が明確。引用を行う「必然性」の存在。「出所の明示」が行われていること。ちなみに**「をうたってみた」や「をかいてみた」などは音源利用などに注意をしていれば違反にはならない**そうです。最低気にすべき他人の権利。**プライバシー**、個人がその有する私生活をみだりに公開されない権利と定義づけられています。**個人情報保護法**、これは細かく書くと理解するのが難しくなるので、簡単に説明すると要は個人を特定させるようなものを発信してはいけないということです。その人の名前や、生年月日や、その本人を映した写真などです。**パブリシティー権**、これも簡単に言うと、有名人など市場価値の高い人たちの経済的価値を排他的に支配する権利で、この権利を有する者の同意なしに勝手に利用した場合に、民法上の不法行為責任、民法709条が発生します。**商標権**、企業の有するマークやロゴを利用してはいけない。ここで注意してほしいのはあくまで、利用することがいけないだけで、よっぽどの誹謗中傷を書くなどでなければその企業について書くなどマーク,ロゴの所有者を明かしていれば基本的に企業側の認知度を高めることにつながってお互い利益がある状況なので特に問題ないととらえてもらって大丈夫です。最後に。たった140文字以内のツイートでも注意すべき社会のルールは調べれば調べるほど沢山出てきます。リツイートするだけでも罰せられることだってあり、いつ訴えられて処罰を与えられてもおかしくない人は山ほどいます。皆さんもぜひ気を付けてSNSをご利用ください。

絶対に知っておきたいビジネスチャットツール。

皆さん、**「ビジネスチャットツール」**というものをご存知でしょうか。現代の多くの会社ではメールやFAXが活躍していることと思います。プライベートではLINEを多くの方が増えていると思います。ビジネスチャットツールとは端的に言えば、**メールとLINEの中間に位置するコミュニケーションツール**と言えます。もちろん一口にビジネスチャットツールと言っても様々な特徴のものがありますが、共通して言える特徴としはLINEのような気軽さやスピードに加え、ビジネスに特化したチャットツールであるので利便性も非常に高いという事でしょう。さらに、そのビジネスチャットツールの多くがビジネスで大切な情報を扱う事が多いという性質上、**セキュリティが高くなっている**ことも特徴の一つと言えるでしょう。なんとなくイメージがわいてきたのではないでしょうか。それでは実際にどのようなビジネスチャットツールがあるのか紹介していきます。特徴。シンプルなデザインや操作で使いやすく初心者でも簡単に利用できるビジネスチャットツールです。**チームやプロジェクト、顧客に応じてチャットスペースを綺麗に整理整頓しやすい**作りになっておりタスク管理などもスムーズに行うことができます。一つ一つの機能が非常にクオリティーの高いものとなっておりビジネスチャット初心者から長年使っておられる方、小さなコミュニティから大企業まで幅広い方にお勧めできるサービスです。プラン、金額。スタンダート、850円。プラス、1,600円。Enterprise Grid、要問合せ。導入企業実績。本経済新聞社、IBM、DeNA、株式会社LASSIC、等。特徴。日本企業の提供するビジネスチャットツールです。**官公庁や大企業でも導入できるセキュリティ水準**と謳っているだけあり、実際に大学などの教育機関でも利用され、さらに20万社の企業にも導入されています。また、**社内だけでなく社外関係者との連携もスムーズ**に行うことができるのが魅力的です。プラン、金額。フリー、0円。パーソナル、400円。ビジネス、500円。エンタープライス、800円。導入企業実績。大和証券、KDDI等。特徴。従来のビジネスチャットの機能に加え、**「アクションリズム解析」**という社員の利用状況などから感情の解析サービスや**「オーバーワーク検知」**という勤務時間管理なども行うことができ、利用者により寄り添ったビジネスチャットツールであると言えるでしょう。プラン、金額。要問合せ。導入企業実績。丸亀製麺、KIREIMO等。特徴。LINEのビジネス用サービスです。普段使い慣れているLINEの使用感そのままに使うことができ、多くの日本人がすんなり使い始めることができるのではないでしょうか。プラン、金額。フリー、0円。ライト、300円。ベーシック、500円。導入企業実績。東京海上日動、明治安田生命、しまむら、スシロー、鳥取銀行。今回は特徴の違うビジネスチャットツールを4つ紹介していきました。実際に鳥取の企業も導入している事例もありました。これからはメールやFAXの代替ツールまた、メールやFAXでは担えない、スムーズな連絡の役割を背負うツールとしてビジネスチャットツールが広がっていくと思います。皆さんの会社でもぜひ取り入れてみてはいかがでしょうか。

睡眠不足による15兆円の経済的損失について調べてみた。

最近では睡眠についての研究が進み、睡眠の大切さが注目を集めています。そんな中、日本では**「睡眠負債」**という言葉が広まり始めています。睡眠負債をご存知ですか。睡眠負債とは、睡眠不足が借金のように積み重なって様々な不調を引き起こす状態のことです。そこで今回は、睡眠の大切さをビジネスマンの方を中心に、改めて理解してもらうために睡眠不足が引き起こす問題について取り上げていきます。睡眠が十分にとれないことに起因する問題の影響が、ＧＤＰ比で最も深刻と言われているのが日本です。損失する**ＧＤＰ比は約3％**とも言われています。これは日本円にすると、**約15兆円**という大金が一年間のうちに損失しているということです。また、世界では過去に睡眠不足によって大きな事故がたくさん起こっています。これらの事故に共通したのが睡眠不足による、判断ミスです。それでは、**15兆円もの経済的損失**を被っている日本人は、どのぐらいの睡眠不足なのでしょうか。**厚生労働省のデータによると日本人の約4割が6時間未満しか睡眠時間**を取れていないようです。人によっては、6割以上が6時間以上の睡眠をとっていることに驚くかもしれません。普段のご自身の睡眠時間と比較してみてください。**睡眠の役割。脳のメンテナンス。**脳はとても弱くもろい組織です。一日の活動によって、傷ついた脳を修復、回復するのが睡眠の役割です。また、睡眠は認知機能にも影響を与えています。**病気の治療と予防。**睡眠によって分泌された成長ホルモンの働きにより、体の細胞が再生され免疫が高まります。免疫が高まることでがんの予防に繋がります。**日中の活動の準備。**睡眠中にたくさんの酵素を生成します。生成された酵素によって、エネルギー変換などがスムーズに行われ、翌日のパフォーマンスが良くなります。**睡眠が不足すると。**記憶力、判断力、問題解決力などが低下します。精神的不安定になり、うつ病や精神疾患になりやすくなります。また、内臓の働きが悪くなる生活習慣病になりやすくなります。免疫力が低下し、がんや感染症になりやすくなる等、様々な影響を受けます。ビジネスの視点に立つと、集中力の低下が最も日常的に影響を及ぼすでしょう。また、病気によって現場を離れざるおえないことも可能性として挙げられます。今回は、睡眠不足が与える影響について書きました。睡眠不足によって、日本は大きな損失を受けている事実をより多くの人が認識することで、今の状況が少しでも変化すると考えています。もしも睡眠のことでなにかお困りでしたらお近くの睡眠外来を訪ねてみることをお勧めします。実は鳥取県にも睡眠外来は多く存在しています。以下に鳥取の睡眠外来の紹介をしているサイトを載せておくので、気になった方はぜひ足を運んでみてください。

鳥取で起業を考える人は「補助金」の活用を検討しよう。

はじめに。鳥取で起業する時にどのような支援が受けられるのか皆さんご存知でしょうか。ご存知かもしれませんが、実は鳥取県は起業に対して様々な支援を行っています。この支援政策、制度を知っておく事で、創業時に、大きな助けになるかもしれません。では、実際にどのような補助金制度があるのかということを、今回は2つ紹介していきます。起業創業チャレンジ支援事業。**施策概要。**県内で革新的な企業を起こす方に対して、起業前後一定期間に要する経費について補助金を交付します。**対象。**鳥取県経済再生成長戦略の戦略的推進分野、９分野、４戦略、及び電機、機械分野に属する事業を実施し、又は実施予定。公財。鳥取県産業振興機構のサポートを受ける者、申請時に１年以内に創業するか創業後1年以内。ただし、県外企業による第二創業は除きます。**補助金額。**上限500万円。とあり、この補助金では小規模だが、県内で起業し革新的なことに挑戦して欲しいといった意図が感じられます。「起業創業チャレンジ支援事業」は起業が初めてという方が利用することもできるため、大学生で起業を考えている方や、会社を退職して独立する方はぜひ活用を検討してください。鳥取県事業承継支援補助金。施策概要。県内中小企業者から移定住者又は創業者、以下「移定住者等」という。ただし、中小企業者の代表者の配偶者及び３親等以内の親族に当たる者を除く。以下同じ。事業承継、事業引継ぎ、以下「事業承継」という。を促進するため、移定住者等が事業承継の際に必要な初期投資を支援するものです。対象。県内中小企業者から事業承継する移定住者又は創業者。中小企業者とは、中小企業等経営強化法、平成11年法律第18号。第２条第１項に規定する者をいいます。補助金額。１件当たり限度額2,000千円。この補助金は県内企業の事業継承を勧めるものです。鳥取県の中小企業の事業継承を促進することで、近年問題となっている担い手不足を解決しようという考えだと思われます。また、限度額が先ほどの補助金に比べて高く、補助金を活用した新事業への展開の幅も格段に広がるでしょう。例えば新店舗 を構えたり、リノベーショ ンをすることも可能 ではないでしょうか。この補助金は鳥取県内の既存企業の継承に興味のある方にぜひお勧めです。自治体ごとの起業にまつわる補助金を調べてみよう。今回は鳥取県の補助金を2つピックアップしてご紹介しました。各自治体ごとに、補助金がありますので、是非**「お住まいの自治体　補助金」**で検索してみてください。なお、あくまで補助金や助成金は「補助」や「助成」なので、本業でしっかりと採算 をとる ビジネス を展開することが重要です。TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、少しでも鳥取県の営みを最大化できるような、情報を発信していきます。鳥取県の補助金制度の活用事例。補助金制度を上手に活用することで鳥取の経済に新しいビジネス がより成長することを祈っています。過去 にはこのサイトで紹介されているように様々な分野で補助金が使われています。補助金などの活用が身近ではない人もいらっしゃるかもしれませんが、鳥取の将来 を支えていく事業にしっかりと使われているかを確認 することも県民のやるべきことだと思います。**新しいことに挑戦する人を、応援する県**を共に作っていきたいですね。

企業のイノベーションを担う「BTC人材」について。

「BTC人材」とは。**「BTC人材」**という言葉をご存知でしょうか。トヨタ自動車「e-Palette Concept」のプレゼンテーション設計や日本政府の地域経済分析システム「RESAS」のプロトタイピングなど数々の実績を持つデザイン、イノベーション、ファーム、Takramの代表取締役、田川欣哉、たがわきんや。さんの著書**「イノベーションスキルセット」**、大和書房。の中で登場する言葉です。変化の激しい時代にイノベーションを起こす人材像をBTC人材と紹介されています。本記事では、BTC人材の解説と本の一部を紹介させて頂きます。**B**と**T**と**C。BTC**とは、イノベーションを生み出す組織に必要な要素だと説明されています。**B**は**Business**、**T**は**Technology**、**C**は**Creativity**の略称で、2020年代を生きる企業、エンジニア、ビジネスパーソンに必要とされる「イノベーション」を生むためのスキルです。また、この3つの領域を有機的に結合させることでプロダクトとブランド力を育てることができ、掛け合わせることで今までにない価値提供ができるということです。そして、**BTCのスキルを持つ人材のことをBTC人材**と言います。**イノベーションとは**BTCがイノベーションを作るスキルなら、そもそもイノベーションとは何なのかを解説していきたい思います。**イノベーション**を簡潔に伝えると、**「新結合による価値創造と社会浸透」**です。「新結合」、「価値創造と社会浸透」の2つのポイントに分けてそれぞれ細かく解説していきたいと思います。**「新結合」**、イノベーションは既存の枠組みの中では決して起こることはないとされています。業界の枠を飛び越えて別の業界との新しい結びつきをつくることが大切なのです。過去の産業革命からみてもわかる通り、第一次産業革命は機械の時代と言われいわゆる「ハードウェア」が開発の中心になって、第二次産業革命では機械に電力、電子という業界が追加され「ハードウェアとエレクトロニクス」が開発の中心となっていきました。ちなみに日本が世界で注目されているのはこの「ハードウェアとエレクトロニクス」です。このように過去のイノベーションの例からもわかるように**業界の越境**とはとても大切なことなのです。**「価値創造と社会浸透」**、イノベーションは決して単なる技術開発だけではありません。ある革新的なアイデアを創造したとしても、それを広く世の中に浸透させて初めてイノベーションと言えるのでしょう。**次の時代へのイノベーション。**時代の変革には常にイノベーションがあり、現在は第四次産業革命と言われ、「ハードウェアとエレクトロニクスとソフトウェアとネットワークとサービス」が開発の中心となっています。次の第五次産業革命のホットゾーンとなるのは「第四次産業革命とデータとAI」と言われています。今の日本が活躍している産業のほとんどは第二次産業革命で止まっていると言われています。そこから第四次の今の世界に追いつこうとするのは至難の業です。そこで**「データとAI」技術**を発展させることでこれからの日本の成長につながると考えられます。最後に。日本にはイノベーション人材が今の**10倍以上必要**だと言われています。これからの鳥取のビジネスを成長させるには、このBTC人材を増やしていくことが最重要課題なのではないかと私は考えます。**BTC人材が必要だ**と思われた方は、是非一度「イノベーションスキルセット」をお読みください。

次の社会を担うミレニアル世代。

ミレニアル世代とは。皆さんは**「ミレニアル世代」**という言葉を聞いたことはありますか。厳密には1981年から1996年に生まれた人々を定義しているようですが、一般的には2000年以降に成人する世代のことを指します。海外では「ジェネレーションY」と言われます。また、「デジタルネイティブ」とも呼ばれる世代であり、生まれついてインターネットやスマホ、ITに触れていて、他の世代よりもITリテラシーが高い傾向にあります。今回はそんなミレニアル世代について紹介していきます。ミレニアル世代とZ世代。まず初めに、**「ミレニアル世代」**と併せて語られることの多く、同じ意味の言葉として間違えられがちな**「Z世代」**について少し紹介していきます。Z世代とは厳密には1996年、1990年代後半。から2012年、2010年代。に生まれた世代と定義されています。**一般的にはミレニアル世代の中でもより生粋のデジタルネイティブ世代とされています。**例えば、ミレニアル世代の中でも上の世代の方はデジタルの創成期を支えてきたパイオニア的存在だとすると、Z世代は生まれついた時からデジタル環境に囲まれてきたネイティブ世代と言えるでしょう。しかし、ここではZ世代もミレニアル世代の一部だと捉えて、まとめて考えていきたいと思います。ミレニアル世代の特徴。ミレニアル世代は他の世代とは違った側面を多く持っています。その中でも**「自分の心地の良い居場所により浸りがち」**という点が他の世代と比べて特徴的です。現代の社会は、自身で情報やコミュニティを選択し、簡単に変更しやすい環境です。それにより、自分の心地の良い環境に身を置くことがより簡単になってきているのでしょう。例えば、SNSで自分好みのアカウントだけをフォローすることによって自身にとって興味のある情報のみを選別して得ることができます。また、以前と比べて転職が「当然のこと」として世の中で認められてきていること、少子化で子供の数は減少している一方で、大学の数は増加していることから大学へ行くという選択肢が以前よりも容易になってきていることなどから**コミュニティも選択、変更がしやすくなっている**と言えるでしょう。ミレニアル世代の働き方。近年日本では働き方改革が大きく取り挙げられています。ここ10数年程度でも随分働き方も変わってきています。例えば、日本のパワハラ相談件数も右肩上がりに上昇しているという事実から、今まで潜在的だったパワハラに対する問題意識が高まっていると考えることができます。また、専業主婦が減少し、共働き世帯が増加しているデータがありますが、これは、女性の社会進出が少なからず進んできている証拠なのではないでしょうか。このように、ミレニアル世代はその恩恵を一番受けているのかもしれません。ただ、まだまだ諸外国と比較して日本の働き方には改善の余地があると言われています。ここで話が少し変わりますが、ミレニアル世代が会社に求める要素について面白い話題を紹介します。皆さん、「マイナビの大学生就職意識調査」をご存知でしょうか。これは、マイナビが学生の就職意識や就職活動全体の動向を把握することを目的に、毎年実施しているものだそうです。今回最新の調査、2020年卒。で、仕事において**「やりたい仕事」よりも「安定」を求める声の方が大きい結果**となったそうです。これは集計依頼初めて、2001年卒。のことだそうです。ミレニアル世代が自分たちにとって「心地の良い居場所」を仕事ではなく、プライベートに求めている事がわかるような結果なのではないでしょうか。最後に。今回、ミレニアル世代の特徴と働き方についてみてきました。ミレニアル世代はこれからの日本社会を担っていく世代ですが、日本では「ゆとり世代」と呼ばれたりしています。しかし今回の記事で、どのような環境で育ち、どのような認識、概念を持っているのか少しはご理解いただけたのではないでしょうか。**世代論で、「ミレニアム世代はゆとりだから」という決めつけをせず、あくまで１つの社会背景として受け取って頂き、世代を超えて対話していく必要があると思っています。**そこで、もっと彼らのことについて知りたいと思われたのであれば、ミレニアム世代の利用率が非常に高いSNSで彼らのよりリアルな声を聞いてみるのも良いかもしれません。また、今回記事を書くにあったて参考にさせて頂いたサイトのリンクも貼っておきますので是非利用してみてください。

鳥取の社会人のためのビジネス用語集「Part１」。

**ビジネス用語を知らないと。**ビジネスマンになると、日常業務から会議や商談などの様々なシーンでたくさんのビジネス用語を耳にすると思います。商談や会議の中で、単語の意味を理解することができないだけで、ビジネスチャンスを逃すかもしれません。また、ビジネス用語の意味をしっかりと理解しておかないと、間違った使い方をしてしまい、恥ずかしい経験をするかもしれません。**経済メディア**として様々な記事を掲載する中で使われそうなビジネス用語をまとめました。この記事を通して、日々の会話の中で飛び交っているビジネス用語を正しく使えているか確認していただければと思います。よく使われるビジネス用語。**ブレスト、ブレーンストーミング。**一つのテーマに対して、複数の人が自由に意見を出し合う会議の形式でいろいろな発想が出てきやすい。「例文、今日の会議はブレストをしましょう」。イシュー。議論されるべき課題や問題のこと。「例文、社員がイシューを正しく理解しているかは大切である」。**FYI、For your information。**「参考までに」や「もし時間があればこの資料を読んでください」の意味を表す。ビジネスでは、メールで使われることが多い。「例文、メールの件名や末尾に。FYI、プロジェクトの詳細を添付しておきます」キャパ/キャパシティ。個人の仕事における許容量やイベント会場などの収容人数のことを指す。「例文、このイベントスペースはキャパどのぐらいあるの。」

**PM**、プロジェクトマネージャー。プロジェクトに必要なコストやメンバー選定などを行い、プロジェクトを円滑に推進させる役割をもつプロジェクト管理者のこと。「例文、この事業のPMを担当しているのは、○○さんです」**あいみつ、相見積もり。**外部の複数の会社に対して、製品の見積もりを出してもらい価格を比較することを指す。「例文、次の会議までにあいみつお願いします」**アウトソーシング。**人材育成にかかるコストを削減するために、高価な設備が必要な製品関連や、単純作業などを外部の会社に委託することを指す。「例文、大手企業ほどアウトソーシングを上手く活用している傾向にある」**アジェンダ。**会議やプロジェクトを始めるうえで、やるべきことを最初にまとめた議題や予定などを指す言葉。「例文、このアジェンダを次回の会議までに皆に共有しておいて」。**イノベーション。**革新的であるもの。また、何かが新しくなるのではなく、今までの当たり前を覆すほどの大きな変化や、産業革命などのような暮らしを変化を指す場合もある。「例文、地方からイノベーションを起こす必要がある」。**エコシステム。**本来は「生態系」という意味。ビジネスシーンでは、行政や企業や団体の連携や仕組みなどを指す。ITや通信などの業界で、企業や制銀がお互いに上手く連携することで大きな収益を生み出す構成を指す。「例文、今回の事業の成功は、エコシステムが上手くいったおかげだ」。**エビデンス。**証拠や証跡、根拠のことを指す。業界や使用される場面によって、具体的な意味が変わるので注意が必要。「例文、エビデンスをもとに話してください」。**閑散期、かんさんき。**市場での取引が少なくなり、マーケットが活気づいていない時期のことを指す。個人店舗にとってはオフシーズンの観光客が少ない時期を指す。株価の変動の前触れを表すこともある。「例文、最近は閑散期で、商品が売れないな」。KGI。ビジネスの最終目標を定量的に評価できる指標のこと。重要目標達成指標とも呼ばれる。「例文、KGIに基づいたKPI設定ができている。」**KPI。**最終目標を達成するために、進捗状況を適宜チェックするための中間指標を指す。KPIは軌道修正や戦略の確認などの機会を設ける役割を果たす。重要業績評価指標とも言われる。「例文、今回、KPIはどのように設定したのか。」**NDA、秘密保持契約。**企業が外部の会社に業務を委託、協業する際に、会社が開示した機密情報や業務で知り得た情報を外部に漏らさないようにするために交わす契約を指す。「例文、NDAは慎重に結ぶべきだ」**OJT、On the job training。**研修期間ではなく、実際に業務をこなしながら働き、仕事について学んでいくことを指す。「例文、早期に現場経験を積ませたいからOJTを取り入れよう」**アサイン。**業務を割り当てたり、プロジェクトに人を任命したり、業務を組み込んだりすることを指す。「例文、このプロジェクトにアサインしておきますね」**イニシアチブ。**物事を率先して行うことや主導権を意味する。また、事業の改善や推進していくべき構想を指すこともある。「例文、交渉では、イニシアチブを意識しなさい」**インセンティブ。**仕事に対してのやる気や目標達成の意欲向上のために、行う外的な動機づけなどを指す。ビジネスでは、成果報酬の場合が多い。「例文、あの会社はインセンティブ設計が上手いから社員が楽しく働いている」**エスカレーション。**顧客からのクレームなどを受けたときに、上司に相談したり対応を要請するなどの、業務の引継ぎや内容を共有することを指す。「例文、今回の件は、エスカレーションしておきます。」最後に。今回は、会社のオフィス内で頻繁に使われる可能性の高い用語を20個紹介しました。今回は基本的な用語が多かったですが、少しずつ専門的な用語の紹介もしていきます。全ての単語の意味が分かった方も、分からなかった方も、引き続き用語記事を公開するので、ぜひ毎回チェックしてください。

「子育て王国とっとり」を知っていますか。

はじめに。**「子育て王国とっとり」**という鳥取県の異名をお聞きになったことはあるでしょうか。**「子育て王国とっとり」**とは、鳥取県が**「子育て王国とっとり条例」**を制定し積極的に子育て支援をしていこうという県の姿勢を表したキャッチコピーです。実際に、このキャッチコピー通り「2020年版　住みたい田舎ベストランキング」の「子育て世代が住みたい田舎部門」で鳥取市が堂々の一位でした。おそらく鳥取に長い間住んでおられる方はどこかで聞かれたことがあると思います。しかし、まだ鳥取に来たばかりの方や、最近子育てを始めたという方は、実際どのような取り組みが行われているのかわからないことが多いと思います。そこで今回はそんな子育て王国とっとりの取り組みを紹介していきます。「子育て王国とっとり」ができるまで。鳥取県は、高齢化、人口流出、消滅可能性都市といったような深刻な問題と常に向き合ってきました。そんな中でこれらの問題を解決すべく制定された「子育て王国とっとり条例」によって**「子育て王国とっとり」**が世の中に広まっていきました。なお、「子育て王国とっとり条約」の制定に関しては厳密には以下のような経緯があるそうです。本県では、平成２２年度に「子育て王国とっとり建国宣言」を行い、子育て支援施策として、「育児の日」の制定や多子世帯への保育料の軽減の充実、病児病後児保育の充実、小児医療費の助成対象の拡大などに積極的に取り組んできました。その結果、合計特殊出生率は、平成２０年度の１。４３、全国１７位。から、平成２９年には１。６６、全 国７位。に回復するまでに至りました。このような状況の中、本県では平成２６年３月に少子化危機の突破を目指し、新たな取り組みを始めました。今までの子育て支援施策の成果を基礎として、行政、事業主、県民等が一体となり、更に子育てしやすい鳥取県に発展していくための施策や計画的かつ総合的に実施するための枠組を定める「子育て王国とっとり条例」を制定しました。子育て王国とっとり推進指針<本編>、令和元年度改訂版。「とっとり自然保育認証園」と「とっとり森、里山等自然保育認証制度」鳥取県には「とっとり自然保育認証園」、「とっとり森、里山等自然保育認証制度」という二つの自然を活かした保育制度があります。どちらも幼児教育期に、鳥取の豊かな自然のフィールドを遊びや学び、保育の場として活用し、子供たちの健全育成を図ることを目的とした認証保育園です。具体的にどのような違いがあるか以下で解説します。とっとり自然保育認証園。３歳以上児に係る自然体験活動の時間が、園あたり平均して週６時間以上とすること。保育所、幼稚園等とっとり自然保育認証制度実施要網、３歳児クラス週１時間、４歳児クラス週２時間、５歳児クラス週３時間。とっとり森、里山等自然保育認証制度週３回は自然フィールドで活動し、かつ、その１週間の活動時間は概ね 10 時間 以上とすること。とっとり森、里山等自然保育認証制度実施要綱つまり、**後者の方がより自然のフィールドでの活動中心**になっています。 このような鳥取県の自然を活かした保育は今全国で注目されていて、このような保育園目当てで鳥取県に移住される方もおられるほどです。様々な育児支援。鳥取県には、あまり注目はされていませんが、育て世代にとって非常にありがたい数多くの制度があります。以下に主要な育児支援の事例を紹介します。保育料、多子軽減。鳥取市、第2子は1/5、第3子以降は無料鳥取県、第3子以降無料。医療費助成、小児特別医療費助成事業。子育て家庭の負担を軽減するとともに、子どもたちが安心して必要な医療を受けられるよう医療費の一部を本人に代わり、県と市町村で負担する事業です。鳥取県ホームページ助成対象、18歳に達する日以降の最初の3月31日まで。自己負担額。通院、保険医療機関ごとに　530円/日上限。入院、保険医療機関ごとに　1,200円/日上限。子育て応援パスポート。妊娠中の方、18歳未満のお子様をお持ちの方が協賛店舗等でパスポートを提示していただくと、それぞれの協賛店舗等により各種サービスが提供されます。子育て応援パスポートチラシ。なんと、その協賛店舗数は約2700店舗にもおよびます。また、この子育て応援パスポートが全都道府県で利用可能になっており、非常に便利です。最後に。ここまで子育て王国とっとりの取り組みを紹介してきましたが、本当に子育て支援が手厚いことがご理解いただけたのではないでしょうか。この記事を読んでもっと様々な情報が知りたい方はぜひ、「子育て王国とっとり」のTwitterアカウントをフォローしましょう日々鳥取県の子育て支援施策、イベント情報、子育て王国とっとりサイトの更新情報などを投稿していて、手軽に子育てに関する情報を手に入れることができます。また、今回は記載仕切れなかった各自治体ごとの制度もあるので、「自治体名　子育て制度」などで検索してみてください。[子育て王国とっとり](http://twitter.com/kosodate_ohkoku/)。

絶対に知っておきたい「キャッシュレス入門」。

知っておくべきキャッシュレス。日本は現金からキャッシュレスへのパラダイムシフトの真っただ中と言われています。日本のキャッシュレス導入が他の先進国に比べてかなり遅れてしまったことは知っていますか。遅かれ早かれ日本にもキャッシュレス化の流れが来ることは容易に予測できたにもかかわらず、未だに様々なキャッシュレス機能を多くの日本人が使いこなせていないのはなぜなんでしょうか。本当に便利なキャッシュレス機能で次々と生まれ、溢れかえっています。その中でも特に便利で、すぐに使えるキャッシュレスサービス,アプリをいくつかピックアップしました。ぜひ、皆さんに利用してもらって生活の質をアップデートしていただけたら幸いです。キャッシュレスについて。改めてキャッシュレスについて軽く解説します。キャッシュレスとは。クレジット、プリペイド、デビット、電子マネー、コード決済、口座振替、などを利用して、**紙幣、硬貨といった現金を使わない決済方法のことを指します。**現金払いに比べて支払いに要する時間が格段に減り、消費者側は勿論、店舗側にとっても新規の顧客獲得など有益な側面があると言えます。さらに、キャッシュレス決済に伴いポイント還元があるのが最大の利点です。しかし、デメリットもあります。消費者側は、手元以上の買い物ができることからお金の使い過ぎる可能性があります。心構えが必要です。また、**店舗側は決済手数料など必要経費がかかってしまいます。**キャッシュレス決済の種類。先ほど述べた通りキャッシュレス決済にはいくつかの種類があり、それぞれに異なるメリットがあります。大半のキャッシュレス決済に使われる次の3つの決済方法を説明いたします。是非これを大前提として知っていただいてから実際に使い分けていっていただきたいです。1**クレジットカード、**大きなメリットとして「保険」などの付帯サービスが付きやすいことがあげられます。「買い物保険」は勿論、中には「旅行傷害保険」などもあります。もちろんすべてのクレジットカードについているわけではありませんが、他のキャッシュレス決済に比べて圧倒的に大きな付帯サービスが付きやすいです。また、銀行にお金さえあればチャージする手間がないことも大きなメリットです。2**電子マネー、**電子マネーは他の決済方法の中で支払い速度が最速と言えます。クレジットだと暗証番号を入力しなくてはいけなかったりしますが、事前にチャージさえしてしまえばカードもしくは電子マネーの情報が入ったスマホを機械にかざすだけで支払いが完了してしまいます。また、コンビニや改 札などでチャージするのが主流で面倒だと考える人も少なくないと思いますが、最近ではクレジットカードと連携 させて オートチャージができたりします。3**コード決済、**近年最も注目されているのがこのコード決済です。これから、消費税増税に伴って沢山 のポイント還元が付くと考えられてるため、特に注目 されています。またコード決済は消費者側だけでなく店側にもメリットがあります。店舗がコード決済のサービスを導入するにあたり、導入コストをコード決済事業者側が無料にしてくれるケースが多く、キャッシュレスへのシフトのハードルが非常に低くなります。このようにそれぞれの決済方法に他の方法ではないメリットがあります。どの決済方法が適切 か状況 に応じて判断し、使い分けることが良いでしょう。また引き落としのタイミングを一つの使い分けの判断材料とするのも良いかもしれません。お勧めしたいポイント。キャッシュレスにシフトしていただく前に、おすすめのポイントを簡単 に紹介します。**電子マネーはなるべくスマホに取り入れる、**手持ちがカードで溢れかえっていては本当のキャッシュレスとは言えません。現金を持ち歩かなくて済むのもキャッシュレスの利点なので、なるべくカードが少なくすることをお勧めします。**組合せて使う、**クレジットカードを主体 として、電子マネーやコード決済と組み合 わせてポイントを重ね合わせることができます。キャッシュレスに役立つ便利なアプリ。まずはコード決済で利用店舗数の多い次の5つのアプリを紹介します。**「LINE Pay」** [iOS](https://apps.apple.com/jp/app/line-pay-%E5%89%B2%E5%BC%95%E3%82%AF%E3%83%BC%E3%83%9D%E3%83%B3%E3%81%8C%E3%81%8A%E5%BE%97%E3%81%AA%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%9B%E6%B1%BA%E6%B8%88%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA/id1449817412)　[Android](https://play.google.com/store/apps/details?id=com.linepaycorp.talaria&hl=ja)。**「PayPay」**[iOS](https://apps.apple.com/jp/app/paypay-%E3%83%9A%E3%82%A4%E3%83%9A%E3%82%A4-%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%81%A7%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AB%E3%81%8A%E6%94%AF%E6%89%95%E3%81%84/id1435783608)　 [Android](https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.ne.paypay.android.app&hl=ja)。**「楽天ペイ」**[iOS](https://apps.apple.com/jp/app/%E6%A5%BD%E5%A4%A9%E3%83%9A%E3%82%A4-%E3%81%8B%E3%82%93%E3%81%9F%E3%82%93-%E3%81%8A%E5%BE%97%E3%81%AA%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%9B%E6%B1%BA%E6%B8%88%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA%E3%81%A7%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%AC%E3%82%B9/id1139755229)　 [Android](https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.co.rakuten.pay&hl=ja)。**「Origami Pay」「d払い」**[iOS](https://apps.apple.com/jp/app/d%E6%89%95%E3%81%84-%E3%82%B9%E3%83%9E%E3%83%9B%E6%B1%BA%E6%B8%88%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA-%E3%82%AD%E3%83%A3%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%AC%E3%82%B9%E3%81%A7%E3%81%8A%E6%94%AF%20%E6%89%95%E3%81%84/id1328132872)　[Android](https://play.google.com/store/apps/details?id=com.nttdocomo.keitai.payment&hl=ja)。これら全てを使う必要はなく、自分に合ったものを使っていただくと良いでしょう。ちなみに著者は「PayPay」を利用しています。「LINE Pay」と 迷ったのですが、**還元率より自分の住んでいる周りの店舗での導入率やアプリの使い易さを優先**し、「PayPay」を 選択しました。鳥取では「PayPay」が 一番普及 しているように 感じます。また**ポイント管理が楽**な点も魅力的でした。決済方法の組み合わせ次に、先ほどキャッシュレスを利用する前に知ってほしいポイントで伝えた**「 組合せて使う」**の例を2つご紹介します。パターン1。リクルートカード、クレジットカード、モバイルSuica、電子マネー。PayPay、コード決済。リクルートカードはJCBではなく、コード決済の支払い元に登録できるVisaかマスターカードを選ぶ必要があります。パターン2、dカード、クレジットカード、iD、電子マネー。d払い、コード決済。こちらは**同じポイントがたまることを意識した組み合わせ**です。これらはほんの一例 にすぎず「クレジットカード」と「電子マネー」と「d払い」の組合せならどのようなものでも大丈夫です。サービスそれぞれのメリットデメリットから自分にとって最適な組み合わせをぜひ見つけてください。キャッシュレスのこれから日本のキャッシュレスはこれからもどんどん進んでいきます。うまく使いこなすのは大変に思われるかもしれませんが、キャッシュレス支払いのみの店舗が増えつつある中で、使わないことが損失になっていくことでしょう。ただし、キャッシュレスは思わぬ過剰消費にもつながりやすい危い一面を持っていることも忘れてはなりません。慎重かつ柔軟に扱っていくことが重要です。現金払いに比べてキャッシュレスのデメリットは利用者側の心構えに寄与 するとことが大きいです。都市部の方がよりキャッシュレスが進んでいることは明白であり、「地方だから現金払いもしょうがないよね 」という会話 をよく耳にします。しかし、地方でもコンビニやチェーン店などで、キャッシュレス支払いができる場面は 意外 と多いのです。現金払いをすることにより知らず知らずのうちに損をしてしまっている、そんなことが実はあるかもしれません。鳥取などの地方にもキャッシュレスの流れが、今まで以上に押し寄せてくることが考えられます。都市部 と地方の現 状の差を嘆いても仕方ありません。この記事が 鳥取 の方々の生活の質の向上につながり、変化に適応するための参考になることを願っています。

あなたは子どもの人生を生きているだろうか。

はじめに。私は３人の子ども達の父親で、鳥取大学生の地域連携活動をサポートする大学のスタッフです。現在の仕事は最高に楽しく、学生のため、地域のために自分が動いた分だけ成果も上がり、遣り甲斐しか感じません。何時間でも働けます。もはや働いているのか趣味なのか、今の仕事が続けられるのであれば職場も選びません。一方で「早く帰って子ども達と遊びたいな」と、毎日そればかり考えています。私の一番の趣味は仕事ではなく子ども達と遊ぶことです。 今回は子ども達をそれぞれ１人の人間として応援し、彼らの人生を自分が如何に生きているかという内容を書かせていただきます。ただ、「俺の子育て論を真似すべき」とか、「子どもがいないと人生に意味がない」ということが言いたいわけではないので、子どもと向き合う一人の親の例として眺めていただければ幸甚です。自己紹介。突然ですが、「自己紹介をしてください」と言われた時、あなたは自分を何と紹介するでしょうか。勤務先や職種、現在取り組んでいる業務や仕事以外のポジション、ＰＴＡ会長など。もあるかもしれません。最近だと「プロボノ」や「ダブルワーク」など、複数の肩書を持つ動きがありますが、私は**「３人の子ども達の父親」**が一番の肩書です。お子さんをお持ちの方は、子どもがいないと自分に何が残るのか不安という方が多いのではないかと思いますが私は正にそれです。子ども達がいないのは最早考えられません。子どもを捨てた1年。子ども達がいないのは最早考えられないと言いながら、子どもとの関係性に大きく変化があったのが平成29年4月東京に勤務した１年間で、子ども達を嫁に任せて単身赴任をしました。文部科学省の研修生という立場でしたが、国家政策とダイレクトに直結する業務に遣り甲斐を感じ朝から晩まで時には日曜日の夜まで職場で仕事に没頭しました。この間、仕事ばかりで家庭のことはほぼ考えられず、実質子どもを捨てた１年間でした。そんな時、その精神力が認められ、研修９か月目に上司から転任のお誘いをいただき、このまま文部科学省に転籍してキャリアを積み上げるか、鳥取に戻り家族と暮らすかの選択に迫られました。自らのキャリアと家族のキャリアを天秤にかけた時、家族を捨てて自分が出世して誰のため何のためになるのか。と強く思い、結局１年間で鳥取に戻ることとしました。**この１年間で自分が最も大切にするべきものについてより明確になりました**。子どもの人生をかけたプロジェクト始動。東京で離れていた一年間の空白を埋めるため、また、改めて家族のために生きていこうと決意したこともあり、帰鳥後はこれまで以上に子ども達の人生を考えるようになりました。特に2019年は長男が小学５年生６年生になる時期で成長の転換期を迎えていたこともあり、彼の人生をかけたプロジェクトを立ち上げて活動を始めることとしました。はじめに彼の関心事を棚卸しした結果、小さい子どもと一緒に遊ぶのが好きということから子ども達のために**「世の中にないおもちゃを作る」**というテーマで親子の挑戦を始動しました。このプロジェクトでは、卒園した保育園の調査や親子へのインタビュー調査、鳥取市内で玩具製造販売を行うイッポラボ合同会社へのインターンシップなどを経て、わらべ館で開催された「鳥取世界おもちゃ博覧会30周年記念事業オープニングイベント」にて中間報告のプレゼン発表を行いました、取り組みの詳細はこちらの[発表スライド](https://www.dropbox.com/s/7gpfywt48tixrmz/%E2%98%85%E3%82%AD%E3%83%A9%E4%B8%AD%E9%96%93%E7%99%BA%E8%A1%A8.pdf?dl=0)を参照。知らない親子にインタビューする、類似事例を調べて参考文献を読み新しいアイデアを出す、自分のプロジェクトを人前で臆せずにプレゼンするなど、貴重な経験を得ることで人間的に成長してくれましたが、想定外に得られた経験もありました。現在はＳＤＧｓなどの流れもあり、子ども達の世代は間違いなく世界に目を向ける必要があります。息子はイッポラボの田中代表が取り組む**「demi、ドゥミ。プログラム、商品が購入されるごとに開発途上国の子どもたちに学習道具を提供する」**に感銘を受け、自分でお金を稼ぎ同様に海外の子ども達を支援したいと言ってくれるようになりました。ただし、まだ「開発途上国の子どもたち」が自分事にできていませんので、2020年に親子で東南アジアの現地小学校へスタディーツアーに行く計画を立てており、寄付していただいた積み木を現地の子ども達にプレゼントして遊んでもらおうと考えています。この貢献は世界レベルで見れば極めて小さなことですが、息子の人生においてどれだけ貴重な経験となるのか、今から非常に楽しみです、執筆時、2019。12。最後に。最期に自戒を込めて自分に言葉を贈ります。仕事を優先して過剰に働いていたら、いつの間にか子どもが大きくなり親としての役割が終わってしまっていたという笑えない状況にならないように。趣味や生き甲斐は定年後に見つければいいかもしれませんが、子どもの成長はそうはいきません。あなたは自分よりも子どもを優先しているでしょうか。あなたは常に子どものと全力で向き合っているでしょうか。もし明日死ぬとして、子ども達に胸を張って死ねるでしょうか。**あなたは子どもの人生を生きているでしょうか。**ゴールや休憩はなく毎日が自問自答自責の日々ですが、私は子どものためにやれるだけのことをやりきって最期を迎えたいと思います。拙い文章でしたが、最後まで読んでいただきありがとうございました。

鳥取におけるスマートフォンの普及と活用。

スマートフォンの浸透。現在、日本国民の生活に欠かせない存在になっているスマートフォン。このスマートフォンが日本で広く普及し始めたのは、2008年にソフトバンクが発売したiPhoneからだと言われています。今日では、小学生からスマートフォンを持つ時代となりつつあります。ほんの十数年前までは、スマートフォンよりも携帯電話が主流でした。しかし、この十数年の間にスマートフォンは驚異的に浸透しました。このようなスマートフォンの普及は鳥取県も例外ではなと思います。そこで今回は、最近の鳥取県のスマートフォンの所有率などのデータを元に、スマートフォンについて考えていきます。鳥取県のスマートフォンの所有の割合。日本でスマートフォンが一般の家庭に普及し始めたのは2011年頃です。グラフのように2011年2017年までの7年の間にスマートフォンの普及率は、約2。6倍に増えています。**2017年の全国のスマートフォンの所有率の平均は75。1%で、鳥取県は全国平均を下回っています。**スマートフォンの販売の当初は、携帯電話、いわゆるガラケー。の所有率が多くを占めており、スマートフォンを圧倒していました。しかし、大手通信事業社などがスマートフォンを取り扱うようになり、スマートフォンでのサービスの充実などがスマートフォンの急速な普及を手助けしました。端末別インターネット利用率。現在、私たちは常にインターネットで世界中につながっています。このインターネットを私たちは普段、何を経由して使っているのでしょうか。端末別インターネットの利用割合についてのグラフを作成しました。グラフから、2018年の時点でインターネットの利用環境について、**スマートフォンでの利用率がPCでの利用率を上回っている**ことがわかります。スマートフォンでのインターネット利用が多いことから、人々はいつでも様々な情報に触れることができるようになっています。今まで、インターネットはパソコンからアクセスするものでした。この大きな変化は、今までの「当たり前」を大きく変えるものになりそうです。年齢別スマートフォンの利用用途。スマートフォンは特に若者の間で普及していると言えます。スマートフォンの利用の仕方は世代によって違うものなのでしょうか。年齢別にスマートフォンの利用用途のグラフを作成しました。グラフより、年齢別にスマートフォンの利用状況を見てみると、1834歳では**1位がSNS**、**2位がwebブラウザ**を利用しています。しかし、3554歳の間では**1位が天気アプリ**、**2位がSNS**を利用しており5575歳の間では、**1位が天気アプリ**、**2位がニュースまとめ読み**といったように年齢によってスマートフォンの利用用途が違っています。グラフより、どの世代でもSNSやニュースまとめ読みを利用していることが分かります。特に、**1834歳ではSNSの利用率が44%と約半分を占めています。**若者に情報を提供するには、SNSを利用するのがよいと言えるでしょう。**この年齢層別での利用傾向を把握していれば、特定の年齢層に情報が提供しやすくなります。**効率的に情報を届ける参考にしてください。スマートフォンのビジネス活用。現在、鳥取県の若者の就職先は県外に多い傾向にあります。大学卒業後は、鳥取県に就職する割合よりも県外で就職することが多いようです。この状況を、鳥取の経営者の方々は事実として受け止め、より多くの学生に魅力を伝えていく必要があると思います。前述したように、若者のスマートフォンの利用用途はSNSが大半を占めています。**企業のオウンドメディアからSNSに、学生向けのインターンの呼びかけやどういう企業があるのかを発信するのも一つの手だと思います。**若者に、鳥取県内の企業に興味を持ってもらうことが、今の鳥取のビジネス市場をより盛り上げるのに大切なことだと考えています。最後に。今回は、鳥取県におけるスマートフォンの普及率をビジネスの視点をもって考察しました。今の世の中は、常に変化していると言えるでしょう。その変化に上手く対応することによって、今まで以上の成果をだすことができると考えています。私たちは、この記事を読んでくださった皆さんが世の中の変化に上手く対応することができる手助けになればと思っています。

「組織から個の時代へ」 一億総フリーランス社会。

異常なる日常光景。なぜ僕たちは毎朝、同じオフィスに通わなければいけないのか。それも鉄道の精密なダイヤのように定刻どおりに出勤する。固定化されたデスクと変わらない周囲の顔ぶれ。そしてランチも同じメンバーで食べ、溜飲を下げる。定型化された業務とタスク管理に明け暮れる毎日。なんとなく閉塞感が漂い、内向き思考に陥る。そんな日常は会社員であれば見慣れた光景であるが、これを既視感ではなく異常な日常として違和感を感じるセンスがないとちょっと危険だ。なぜって、そうしたステレオタイプの会社員生活は終焉を迎えるかもしれないから、タニタインパクト社員の個人事業主化。働き方改革というと残業の削減や休暇取得の促進など「ワークライフバランス」に留意する施策が多いなか、健康機器メーカーのタニタが始めたのが「社員の個人事業主化」である。会社との雇用関係を終了したうえで、新たに**タニタと個人が「業務委託契約」を締結する**という画期的な制度である。今までの仕事を基本業務として個人に委託、個人は就業時間や場所に関係なく自由裁量で業務をしながら、タニタ以外の仕事も当然ながら受けれる。また会社員時代に享受されていた福利厚生や社会保険料なども考慮した「基本報酬」を設定することで、独立する個人を応援しながら会社とのエンゲージメントを継続させる、個人的にはとても魅力に映る制度である。**真の働き方改革**とは**「タイムマネジメント」ではなく、働き方の多様性を認め、組織と個人がほどよい緊張感を保ちながら、主体性を持ってプロジェクト単位で目標へ向かって協働していくことにある。**起業でもなく、雇用でもない。第三の道をつくれ。ロンドン、ビジネススクールのリンダ、グラットン「ライフシフト」でも言及されているように、人生100年時代においては約60年間の長期にわたって僕らは生産人口に組み込まれる。一つの職業や直線的なキャリア観だけでは変化の激しい時代を生き抜くことができないなか、起業するか、雇用されるかの二者択一ではない第三の選択肢が必要になってくる。そこでよりオルタナティブな道として**「個人の法人化」というポジションを提言したい。**自己の知識やスキル、人的ネットワークをアセットに複数の企業や組織と契約する「ポートフォリオワーカー」もその一つ。人間には複数の才能や表現力があるはずで、同時に複数の職やキャリアを走らせ、ある意味、労働のポートフォリオを戦略的に組み立てる。月曜は銀行員、火曜は大学で教え、水曜日はNPOで活動、木曜はコンサルタントで金曜から週末は都市部のプロジェクトに参加、、、そんな柔軟なワークスタイルの実現は個人のクリエィティビティも刺激し、当然ながら生産性を高めることができる。これは夢物語でもなんでもなく、**実際に来春から僕が試そうと思っている働き方である。**おわりに。20世紀型の工業化社会が終わり、知識や情報がエコノミーの血液として循環していく時代に、組織から個人へのシフトはもはや誰にも止めることはできない。VUCAと言われる予測不能で答えのないカオスな社会をポジティブに生きる原動力を個人が身につけることで、未来は可能性に満ちたものになる。僕たちはまだその入り口に立っているにすぎない。**人口最小県の鳥取だからこそ、柔軟なワークスタイルと新たな職業観を提示し、複数の企業が個人をシェアし合うことが人口減少社会への解決策となることを期待したい。「組織から個の時代へ」**引き続きこのテーマで様々なストーリーを織っていきたい。

鳥取の大学に進学した鳥取出身の僕が感じること。

物心ついた時から鳥取に。初めまして。鳥取の大学に通っている現役大学生です。今回は生まれも育ちも鳥取の私が、学生ならではの視点からみた鳥取県での暮らしについて、私の体験談を交えながら語っていきたいと思います。鳥取の学生が何を考えて生活しているかということを、少しでも知っていただけると嬉しいです。自己紹介。本編に入る前に少し自己紹介をさせて頂きます。冒頭で生粋の鳥取県民と言っていたのですが実は厳密に言うと少し違います。私は鳥取県で生まれて、その後しばらくは県外、中四国地方。で暮らしました。4歳か5歳の頃に鳥取県鳥取市に戻ってきてそこから大学までずっと鳥取市で暮らしています。大学までは汽車を使い、実家から通学しています。物心ついた頃の記憶はずっと鳥取市での記憶なので、今回は生粋の鳥取県民ということで話をさせて下さい、笑。思い返せば自然に触れていた保育園から小学校の頃。この頃の記憶は正直あまりありません。なんとか記憶を辿ってこの記事を今書いています。このころの出来事で特に印象に残っているのは、毎シーズン雪がたくさん降っていたということです。これはもちろん私の住んでいた地域のことしか分からないのですが、このころは毎年兄弟でかまくらや雪だるまを作ることが恒例行事でした。最近では雪を見る機会もめっきり減ってしまったように感じます。私が今、この記事を書いている2020年の年始も暖冬だと言われ、全くと言っていいほど雪が降っていません。毎年雪が降って、友達や兄弟で雪遊びをすることが楽しみでたまらなかったので、とても残念です。これも近年騒がれている温暖化の影響かもしれません。先程、冬は毎年雪遊びをしていたと言いましたが、自然豊かな土地であるため、すこし移動すれば田んぼや川などが多くありました。しかし、僕が小学生の時はWiiやDSが流行っていて、外遊びとゲームが半々くらいでした。それでも今思えば、川で魚やカニをとったり、家の近くの用水路でホタルをみたりと、小さい頃にかなり自然に触れていたと思います。今ではすっかり水質が変わってしまったのか、気候が変わってしまったのか分かりませんが、家の近くの用水路でホタルを見ることもなくなってしまいました。また、最近の子どもたちは小さい頃からYouTubeを見る機会や、ゲームをする環境が以前より格段に整っているからか、めっきり外で遊ぶことが減ってきているように感じます。駅前でも近所でも、外で遊ぶ子供を見る機会が少なくなってるからです。中学から高校の頃。この時期になると部活や勉強が意外と忙しく追われていたので、小学校の頃ほど遊べなくなりました。しかしそんな中、遊ぶとなれば大体いつもすることは決まっていました。鳥取は中高生が遊べるようなところがあまり多くなかったと言うこともあり、普段は、カラオケに行くか、イオンや鳥取駅近辺のお店に行くか、地元のボーリング、ROUND1は鳥取にはないのでもちろん地元のボーリング場。に行くか、友達の家で遊ぶかの4択でした。それでも毎日楽しく過ごせたので満足しています。そして、中高生になって立ちはだかるものといえば受験ですよね。私もこの鳥取という田舎で高校受験、大学受験を経験しました。幸いにも私には東京の高校に通っている従兄がいるので、都会での受験も少しはどのような感じか分かっていると思います。そのことを踏まえ、地方と都会の受験での違い、今回は特に大学受験のことについて話していきたいと思います。大学受験の時に感じた「情報格差」私は、あまりまじめな生徒ではありませんでした。その結果、本腰を入れて受験勉強をするのが二年の冬ごろになってしまいました。はじめは、近くの塾に通ってみたり、学校の予習復習をまじめにしてみたりといろいろ頑張ってみました。しかし、思うようには成績は伸びず焦っていました。そこで東京の高校に通っている従兄にいろいろと相談してみることにしました。そこで痛感したことは、塾や学校は勉強を教えてくれるが、勉強のやり方までは教えてくれないという事です。もちろん教科によっては教えてくれる先生もいましたが、いつどのような時期に、どのような教科を、どのような参考書を使って、どのような分量するのかというようなことまで教えてくれる先生はいませんでした。地方と都会の差は、このような**「情報の格差」**にあると私は思いました。都会には、鳥取などにはない大手予備校などがあります。このことから、田舎では受験の情報に乏しくなりがちです。そのため、受験生の多くが何を勉強すればよいのかわからないといった状況に陥ることが、私の周りでもよく見受けられました。このようなことを経て、「受験は情報戦」というように考えるようになりました。しかし最近、これは何も受験だけに言えることではないなと感じるようにもなりました。つまり、これから私にも待ち受ける就職活動などにも言えるのではないかということです。しかし、今はスマホやPCで膨大な情報を得ることができます。**これからは得た情報を自分の中でどのように咀嚼するか**ということが大事なのかもしれないと気づいた高校生の私でした。大学に入学して。私は、鳥取の大学に進学しました。私が通っている大学は、県内出身者が20％未満と、県外出身者がほとんどを占めています。その中でも特に、関西圏の出身者が多かったです。そのため、大学構内の公用語は関西弁となっています、笑。大学では初めて鳥取に来たような学生がほとんどで、自分とは違った環境で育ってきた人ばかりでした。私の友人も県外出身者がほとんどです。**そんな彼らは鳥取に来て始めこそ何もないと嘆いていましたが、そのうち生粋の鳥取県民である私でも知らないようなお店や温泉を知っているまでになっています。**鳥取県内生ほど、「鳥取には何もない」と諦めて何も探そうとせず、意外と県外から来た人達の方ほど、鳥取の魅力を知っていることが多いのです。少し情けない気もします。最後に。鳥取にはまだまだ魅力的な場所がたくさんあります。私も最近大学生になって様々な魅力ある場所を知ることができました。しかし、意外と鳥取出身の学生の方が鳥取に関心がなく、県外の魅力ばかり見てしまっていることが多いように感じます。実際、高校生の時の僕がそうでした。**鳥取なんか何もないから、早く県外の大学に行きたいとずっと思っていました。**とは言いつつ、今は鳥取の大学に進学してよかったと思っています。現在、人口はどんどん減り、東京などの都会への一極集中が進んでいく中で、わざわざ鳥取を選んで進学してきた県外出身の学生たちに、**「もっともっと鳥取を好きになってもらいたい」**と、地元が大好きな僕は思います。鳥取の魅力は、自然や食べ物だけじゃなくて、人や企業にもあるのだということを、ここ最近知ることが多くなってきました。学生はスマートフォンを屈指して、様々な情報にアクセスしています。就職先についても、インターネットを介して企業の情報を集めることも多くなってくると思います。TOTTORI BUSINESS ONLINEのようなメディアに、鳥取の人や企業が情報を公開することで、本来知るはずのなかった企業を知る学生が現れるはずです。ぜひ、僕の友達や後輩、そして僕のためにも、**会社や人の魅力をもっと発信する鳥取県になれば良いな**と思います。

高校生が閉校した母校に中高生のための「学びの場」を創った話。

編集室からの挨拶。「学生である高校生が学びの場を創るってどういうことだ。」と、タイトルから疑問を持つ方もいるかもしれない。しかし、これは誇張したタイトルではない。事実として、学校の中に「学びの場」を高校2年生の時に創った高校生が鳥取県にいる。今回は、高校3年生の内田奏杜さんの独占記事となります。内田さんが設立した「安部小Project」を題材に、内田さんには地域づくりと教育の関係について語って頂きました。内田さんの熱い想いをしっかりとお伝えするためにも、2部構成とコラムの3連載を予定しています。**第一部は。**「高校生が閉校した母校に中高生のための「学びの場」を創った話」。**第二部は。**「[バブル教育ではなく、学びの場を作る](https://tottori-biz.com/highschool-yazu2/) 」**コラム。**「[18歳の僕が考える、「自己理念」と「地域活性化」](https://tottori-biz.com/uchida-column/)」。本記事を通して、次世代の価値観にも触れていただき、中高生の持つ可能性を感じて頂ければ幸いです。はじめに「安部小Project」とは。「安部小Project」とは、閉校した母校の安部小学校を卒業した現役中高生が集い設立した団体です。「溢れる「地元愛」、蘇れ我が母校」をスローガンに、月1回の廃校舎内清掃活動や地域の方々にお越し頂ける「安部っ子夏祭り」を開催しています。地域活性化と堅く捉えるのではなく**「自分たちの「やりたい」を母校を舞台に挑戦し「地元愛」を育むことで地域に貢献する」**ことを活動の方針としています。母校で実行することに価値があると強固たる「軸」を定めてはいますが、ゆるく成り行きで活動をしています。現在では16名の正式メンバーに加えて「安部小Project」の方針に“共感”した多くの中高生が集まり、夏祭りのスタッフは37名、10の中学校、高等学校から集結。まで増えました。また、その夏祭りには約400名の来場、資金調達や保険契約なども全て中高生が行い、メンバーの意欲向上や活動の作用による地域活性化の成果が認められ、鳥取県知事や福知山公立大学学長、Prudential生命,ジブラルタ生命主催の大会などで数々の受賞もしました。2年間の私たちの成長、そして中高生の可能性をこの記事でお伝えできればと思います。大会で表彰台にあがる内田さん設立のきっかけ「安部小Project」を設立したきっかけ設立したきっかけは2つあります。1つ目は自分の通っていた母校が閉校した年の夏、校庭に雑草が繁茂していた光景を見て、草を抜きたくなったのです、自分でも謎ですね笑。。30°Cを超える酷暑の中、近所の後輩と2人で草取りをしました。その際に校舎の中を見ると、そこにはガラクタの山がありました。「母校の汚さ」に何とも言えない虚しさを感じました。そこで、地元である八頭町のHPの意見投稿に「掃除をさせてほしい」という旨の内容を書き込み、許可を頂いて秋に廃校舎内清掃活動をスタートさせました。2つ目は、現在の鳥取が中高生の「やりたい」という好奇心に応えることのできる環境には整っていないと感じていたからです。実際、県内の高校生が集まるイベントに参加した際にも「◯◯をやってみたいけど、先生や親に相談しても良いアドバイス貰えんし、結局何もできてない、」という声が多く聞こえました。意欲があるのにもったいと思いませんか。かくいう、私もそんな1人でした。そこでふと、「中高生が中高生のための学校を創っちゃえば、解決するんじゃないのか」と思い至ったのです。敢えて、大人を交えない中高生団体を1つ創り、その中で1人の「やりたい」という提案に“共感”したメンバーが集まって、それをとことん追求する。成功もあれば、失敗もある。笑いもあれば、涙もある。でも、その中で得るものが人生に影響するほどの学びとなるはずだと考えています。このような「主体的な学びがある教育機関」が今の時代は求められているのではないでしょうか。とはいえ、いきなり大きなことを実現することは難題なので、安部という地域に限定し、地域教育にも目を向けて設立しました。つまり、**私の活動の原点は「地元愛&母校愛」と「地域×教育」に帰着するのです。**この２つの想いをベースに、清掃活動を進める中で、地域の方にお越し頂けるような機会を設けたいという案が浮かび、夏祭りの構想へと広がっていったのです。「安部小Project」を設立してから約4ヶ月で400人以上の来客を実現した「安部っ子夏祭り」をやり遂げることができました。新しい取り組みの難しさ。分かりきった話なのですが大きなことに挑戦するのは想像以上に困難でした。教育の理想論が今すぐに実行可能ならば、正直もうすでに鳥取にもあり、誰かが実現していると思います。だとすると、「やれない」か「やってこなかった」かの二択なのです。**常に変化する時代の中で、教育は果たしてアップデートされているのかという疑問があります。**安部小Projectを設立する際、小規模校で幼馴染の仲がとても良かったことが幸運でメンバーは比較的すぐに集まりました。しかし、中高生にとって本業は勉学であり、人によって部活、趣味、恋愛、家庭環境などバラバラです。さらに、当然ながら夏祭りの運営などやったこともありません。資金集めや保険契約なんてもってのほかです。そんな中で私が最初に悩んだことは、**どうやってメンバーを統一し、どうやってモチべーションを上げるのか**でした。私がとった行動は次の通りです。**1メンバーから「やりたい」ことを聞く。2その中から私の独断でメンバーが「できること」「できるか微妙なこと」「できないこと」に分類する**。**3活動の「軸」だけを全員が常に意識するようにして「できること」を自由にさせる4失敗やトラブル、他団体とのすれ違いなど。を私が対処し、どうしたら良かったか皆んなで考える5実行する時は、楽しむ、盛り上げる、青春の三要素を忘れない、3つとも同じことなのは気にしない笑。6「やりたい」ことができたら打ち上げをして次の構想を膨らます。**という感じで、いたって普通です。でも、当初はそこまでやる気のなかったメンバーがこのプロセスを通して最終的には凄く積極的になったのです。というのも、第1回「安部っ子夏祭り」で最初、1の段階。は消極的だったメンバーが、夏祭りを終えた後、「来年の第2回は自分たちでやってみたいです」と言ってくれました。そして、第2回を第1回とは違う趣向で本当にやってのけたのです。私がメンバーに「自分たちのやりたいことを自分たちのできる範囲でやればいい。もし失敗したら自分、内田。が全部何とかするけ。」と常に言っていた甲斐もあったのか、第2回安部っ子夏祭りの時、メンバーは自由に表情は輝かせて活動していました。 それが私もとても嬉しかったです。第二部に続く。

「稼ぐまち」という視点から鳥取のことを考える。

人口減少社会でも、経営者視点でまちを見直せば地方は再生する。「補助金頼りで利益を生まないスローガンだけの地方創生はもう終わった。小さくても確実に稼ぐ事業をつくることが希望となる」地域ビジネス、まちづくり業界の風雲児こと、木下斉氏の著書「稼ぐまちが地方を変える誰も言わなかった10の鉄則」を紹介し参考するとともに、これからの地方、鳥取について考えていく。ポイントは「自立」木下斉氏は、高校生の頃から17年間まちづくり事業に携わり、これまでの経験から得た教訓を「誰も言わなかった10の鉄則」として本書に記している。高校生、大学生の頃の学生社長での挫折、アメリカ留学での経験、大学院での経験、今でも全国各地で地域活性ビジネスに携わる中での、試行錯誤と経験から得た、いきた知恵が詰まっている良書だ。**地域ビジネスをやりたい、地域で起業したい、地域に根ざした仕事がしたいと思っている方は是非一読していただきたい。**本書の中で木下氏が掲げるのは、**「まちを一つの会社と見立てて運営する、経営し、利益をあげて再投資する」**このスタイルを確立させるということだ。この考えに至るポリシーもまた明快で、「みんなの合意」や「政治」はそこにいらない。必要なのは、「マネジメント」と「やりきる覚悟」だとはっきり述べている。小さくても儲かる仕組みを考えて、心から信頼し合える仲間を2人か3人見つけてとにかくやる。3ヶ月単位で事業を見直す。うまくいかなければ柔軟に変えていき、それでもダメだったら時には見切りをつけて、また新しく始める。とにかく始めて動いていれば、協力者が増えていき、当人や地域が豊かになるだけでなく、行政ルールだって変わっていく。このように力強く、意見を述べられている。これだけ魂のこもった言葉を綴ることができるのは、木下氏がそれだけ血の滲むような努力、経験の過程で得たからだと私は思う。直接一度だけお会いした機会があるが、まっすぐな目とまっすぐな言葉を持った方だった。それだけ自信に溢れているように感じたし、それだけ自信が持てるのは自分で手と足を動かしてきた自負があるからだろうなと感じた。少し話がそれたが、本書での木下氏のメッセージを集約すると、**「自立」**という言葉だと思う。いろんな人の意見を聞き、交点を探すスタイルではなくて、自分たちで考えて、自分たちで投資して、自分たちで手足を動かして、自分たちが豊かになる。こういう自然な感覚を持つことが大切だということだ。**「誰かがやってくれるだろう」という気持ちや補助金もそうだが、そういった気持ちが少しでもあるうちは、その地域が豊かになることはまずないというのは、ごもっともな意見だろう。**鳥取県はどうだろう。経営視点と経済感覚が鍵となる。ここで思考の枠を広げるために、日本の近代の歴史をざっくりと振り返り考察したい。日本は戦後、みるみると経済発展を遂げて、経済規模でアメリカに次ぐ世界第2位の経済大国まで上り詰めた。要因はいくつか考えられ、諸説あるが、GDPをわかりやすく言えば、「国内で1年間に生産されたモノやサービスの価値の総和」であり、その算出の基本的な考え方としては、「最終消費支出と投資と政府支出と輸出−輸入」となる。実際にはもっと複雑な計算式だが、ここから言えることは、GDPという概念は人口と大きな相関関係にあるということだ。中国の近年の経済成長もまさしくこの式から説明することができる。また、「アメリカを沈みゆく大国」と評するアナリストもいるが、アメリカは3億人という世界第3位の人口を誇る国であり、モノやサービスを生産した際、すぐそこに巨大なマーケットを持っているという強みを持っているからだ。しかし、**日本はその肝心な人口が減少傾向にある。総務省のデータによると、2030年には1億1,662万人、2010年より約30%減。、2060年には6,773万人となる見込みになっている。**日本が高度経済成長を遂げることができたのは、人口が増加傾向にあり、すぐそこに巨大なマーケットがあり、モノやサービスが消費され、その消費が企業の収入になり、経済が活性化されていた。その他にも複数の好条件が重なり合って、高度経済成長がなされたわけだが、最大の要因となる人口が縮小傾向にあるということが最大な問題となる。また、ここでさらに問題となるのが、**人口減少は地方から始まるということだ。**これはもう起き始めていることなので説明は割愛する。今求められるのは、変革をもたらしたり、極限状態で選択を迫られる、経営者的人材だ。これはまさしく、木下氏の主張と重なる。言い換えるならば、**自立して自分たちで稼ぐことのできる人たちだ。**こうした経営視点と経済感覚を持つ人が今後の地方と日本の鍵を握ることになるだろう。小さく始めるということ。最後に本書のもう一つ大事なポイントをご紹介したい。それはタイトルの通り、**「小さく始める」**ということ。なぜこれが大切なのか。ズバリ、始めていなければ何も語れないし、誰も信用しないし、誰もついてこないし、そもそも自分自身も何も変わらないという至極当たり前のことだ。老子が面白いことを言っていた。「崖を登ろうとするから落っこちるんだ。山というのは、斜めにぐるぐるとゆっくり登っていればいずれ頂上にたどり着く。」老子本当にその通りかもしれない。できることから始めていくということが、鳥取、そしてあらゆる地域が変わっていくために必要な考えなのかもしれない。最後に。今回は、木下斉氏の著書「**稼ぐまちが地方を変える誰も言わなかった10の鉄則」**のポイントを紹介するとともに、これからの地方と日本の行く末について考察してきた。ポイントを最後に整理しておくと、まずは**自立するというマインドを持つこと。自分たちで投資して、稼いで豊かになる。自分たちで決めて、決めたことをやり通すということ。**これがまず一つになる。そして、決めたことの精度を高めるために、経営視点と経済感覚を養うことが重要になる。また、始める際には、小さく始めるということ。本書には、ここでは紹介しきれなかった鉄則やエピソードが紹介されている。地域に根ざした活動をしている方、志している方にぜひご一読していただきたい。

「バブル教育ではなく、学びの場を作る」

安部小Project」の事例は地域教育に生きるかもしれない。第一部の記事を読んで、「あれ。」となった人がいるかもしれません。そもそも活動の実質的な起点は校庭の草取りであり、役場に掃除をさせてほしいと意見を書き込んだこと。もっと掘り下げると起点は、安部小学校の閉校、いや、安部小が好きだという母校愛、安部が好きだという地元愛にあります。この地元愛はいかにして形成されるのか。**この「地元愛」こそ、もしかしたら「地域と教育」が育む物なのかもしれないと思うのです。**具体的に考えると、**「軸を定めることで固定概念や流行に捉われない」**というところと**「成り行き」**という2つにあると思っています。そもそも「軸」ってどうやってできるのかを考えると、**「点→線→平面→立体できて、立体に軸がある」**と私は思います。そしてその軸は人生の主軸すなわち「自己理念」になると考えています。例えば、LEGOでお城を作るのをイメージをしてみてください。1つのブロックでは到底お城には見えません。でも、もう1つのLEGOを横に置き広げていけば、土台ができ、それを重ねていくと建物になります。1つでもブロックという“点”すなわち“きっかけ”が欠けるとその“立体”は成り立たないかもしれません。**たかだか草取り、たかが役場への意見投稿。でもそれらがなければ、「安部小Project」という立体にはならなかったかもしれないのです。**そして「母校で実行することに価値がある」というもとからあった軸が、今では皆の中で確固たるものとして認識するようになったのは、草取りなどの点を重ねてきたからだと思います。バブル教育になっていないか「安部小Project」の学生だけで行われている会議の様子。近年「留学、ICT教育、グローバル化、プログラミング、アクティブラーニング、全員がリーダー」など様々な言葉を耳にします。これらは次世代の教育において本当に素晴らしいものだと思います。でも、いたるところでこれらの言葉が使われる、すなわち流行ることが私にとっては謎です。昔、高度経済成長で信用誇張により価値が肥大化して実際の価値と大幅なズレが生じて崩れ落ちた「バブル経済」によるバブル崩壊がありました。この歴史と現在の教育が似ている気がするのです。たしかに先述した言葉の中身は素晴らしいものだと思いますが、**教える側の教員、習う側の生徒それぞれが、その言葉を使うまたはそれに向かって行く際に、定義づけがなされ、各々が軸を持っているのかということが一番の疑問です。**私たちが行なっているような課外活動も同じです。軸がないのに**「経験になるから」**とやったとしても、どれほど価値のある学びになるのかわかりません。各々に軸があれば、それは人生の中の起点となる経験になるかもしれませんが、そうでないのならば、理想と現実を分けて考えなければいけないのではないでしょうか。**「経験になるから」という言葉こそが「信用誇張」につながり、価値が肥大化して実際の価値と大幅なズレが生じる。**なんなら「バブル教育」と言ってもいいような気がします。そんな流行りになんとなくで、乗らない軸こそが大事なのかもしれない。だからこそ、母校が使えなくなったら、やりたいことがなくなったら、安部小Projectは活動をやめるべきだと思っています。**夏祭りをやるためのProjectにはならないでほしい、決して意味のない肥大化をしてほしくない。「成り行き」に任せ、真剣に楽しく取り組んで欲しい。**その強い執念があるからこそ、私の活動は実ったのだと思います。中高生が新しい時代を創る。今、日本の中高生で「安部小Project」のように課外活動をしている団体の数は正式なデータがないものの約700団体はあると考えられます。それらの中高生と話をしてみると成長した団体には「軸」があり、「中高生のノリ」を大事にしているという共通点があることに気がつきました。社会を知らない社会人の卵にさえなれてない、未熟な中高生。でも、やる気スイッチが入ればとんでもない勢いになります。私は18歳ですが、今の中学生が起業することさえ、もう珍しくない感覚であり、Projectの運営などを通して、そのような可能性の塊である中学生から教わることもしばしばあります。安部小Projectは「成り行き」に任せすぎた感もありますが、新しい取り組みの難しさでも述べたように徐々に成長していっています。地域の方や県内外の中高生からも応援のメッセージをたくさんいただき“理解”ではなく“共感”を得られる活動になりました。**中高生が中高生のための学校を創る。自分たちの時代は自分たちで開拓し学びを深めることができる環境になればと思います。**「安部小Project」に所属する中高生。教育と私の今後。私は「教育」こそが、鳥取を変えると考えています。「安部小Project」の活動を通して中高生による**“学び場の創造”が1番の理想**なのではないかと再認識しました。しかし、それを学校教育に取り入れるのは無理難題です。なぜなら、「子供を管理したい大人」と「自由にさせることこそ学びだ」ということは簡単には両立しないと思うからです。だからこそ、そのような場面で、NPOや地域団体と連携することが大事なのだと考えます。また、教師の中にも熱い想いのある先生はいます。そのような先生が有志で組織を立ちあげ、各校から興味のある生徒がその組織下で活動ができれば、「◯◯やってみたいけど、先生や親に相談しても良いアドバイス貰えんし結局何もできてない、」という、意欲があるのにもったいなすぎる事案が少しでも解消できるのではないかと思います。今、大学共通テストの是非が問われています。このことについては言及しませんが、今後さらに教育のあり方が問われてくると思います。私は地域教育と数学教育について学んだ上で、上記のような組織、団体を設立し、子どもたちの“学びの場”を創りたいと考えています。今回は、私の考えを稚拙ながら綴らせて頂きました。最後まで読んでいただき、本当にありがとうございます。**内田さんの記事は第二部で終了ですが、コラム記事があります。**

私立学校が切り拓く地方の未来 鳥取城北高校から始まる人口減少社会への挑戦。

地方の未来に学校が出来る事。**鳥取城北高校　大山力也先生**。初めまして。鳥取城北高校教員と日本財団地域コーディネーターをしております、大山力也と申します。毎年、鳥取県の人口は、令和元年12月時点で全55万人。約４０００人のペースで減っていることをご存知ですか。２０２０年以降、日本は全国的に人口が加速度的に減るフェーズに入るといわれています。少子高齢化に始まる生産力の低下は待ったなしの状況であり、特に地方は若年層の流出がそれに拍車をかけています。私自身は**この問題へアプローチする鍵は「教育」にある**と考えています。今回はそうした地方の状況を念頭に置きつつ、本校における改革を推進している2名の教員へのインタビューも織り交ぜながら「地方の未来に学校が出来る事」を探って行きます。鳥取城北高校について。鳥取城北高校は、鳥取駅や県庁、市役所などにも程近い鳥取市の中心市街地にあり、鳥取砂丘など豊かな自然と観光地ならではの雰囲気を感じることができる環境にある。卒業生には、阪神タイガースの能見篤史投手、大相撲の逸ノ城関や石浦関、安田大サーカス団長の安田裕己さんなど**スポーツ、文化を問わず各方面で活躍する著名人を輩出している。**また、大相撲第６９代横綱 白鵬関がアンバサダーに、ａｕのＣＭ 三太郎シリーズなど様々なヒットＣＭを手掛け、カンヌ国際映画祭において最高賞のパルムドールを受賞した「万引き家族」の製作に携わるなど活躍中のAOI TYO Holdings、株。ＣＯＯの中江康人氏がスーパーバイザーに就任し、様々な助言やサポートなどで本校教育をバックアップしている。しかし、人口減少や少子高齢化などの影響もあり、５年前には入学者数の激減という事態に見舞われた。「アクティブラーニング」を中心とする授業改革やＩＣＴの活用、無料の校内塾「城北栄光塾、研志塾」、コース改編など、様々な取り組みを実行したことが進学、就職実績の向上と地域の方々からの評価につながり、**２３０名にまで落ち込んだ入学生も年々増加し、今年度も県内最多の３５３名を迎え、総勢１０５８名の県内随一の大規模校となった。**また、昨年４月には新校舎教室棟とアリーナ棟が完成し、教室棟には、より快適な教育環境を実現するため、医療機関等で導入が進められている、外気を除塵、除菌し調湿を行う最新の空調システム「モイストプロセッサー」を全国の学校施設として初めて導入し、さらに今年度は、８月に全面人工芝の全天候型グランド、来年２月には特別教室棟が完成し、来年度には約４００名収容の多目的ホール棟も完成する予定で、**本校で学ぶ生徒たちにとって最高の環境を整える**ための工事が進められている。**生徒一人ひとりの「一生に一度しかない三年間」を最高の三年間にするため、生徒に寄り添い、チャレンジを続けている。**最近の取り組みの中では、**「城北インターンシッププロジェクト」**が話題を呼んでいる。鳥取県では原則アルバイトは禁止という通例があるが、所得水準が低く、大学進学したくてもできない保護者や生徒の様子を見かねて、教育的な理念のもと鳥取各地の事業所と協定を結んだ上で事実上のアルバイト解禁を行ったものだ。「城北インターンシッププロジェクト」のモデル図。老舗や大手チェーンの飲食店を始めとして、山陰初開催の「チームラボ★学ぶ未来の遊園地」との共同インターンシップに42名の生徒を送り出し、同じく山陰初の3人制プロバスケットボールチーム「鳥取Blue Birds」でのスタートアップ段階でのインターンシップにも約30名の生徒を送り出すなど、家計を助けるだけでなく地域の中で高校生が活躍する場を次々と創りだすことにつながっている。これらの取り組みは各種メディアにも取り上げられている。**「鳥取Blue Birds」でのインターンシップ後の写真**。石川晴久副校長インタビュー「出口でなく、間口の広さと中身こそ重要」**鳥取城北高校　石川晴久副校長**。質問 。鳥取城北高校は現在どのような位置づけにある高校なのか教えてください。石川、鳥取県のみならず、多くの学校では進学実績を気にする傾向がある。もちろん学校である以上大事なことには変わりないが、一流大学にいければそれで良いかというとそうではなく、私はこの道で勝負をするというものを持てるか、多様な人が暮らす世の中でも生きていける人としての幅を持てるかが一番大事なこと。鳥取では伝統や権威にあやかる風潮がまだあるが、これからの時代を生き抜くスキルを身につけられるか、そういったことを学ぶための**“一生に一度しかない三年間”になっているのかといった学校の中身**をしっかり見極めることが求められているし、鳥取城北高校はそういう学校でありたいと考えている。本校はスポーツで勝負する生徒**、勉強あるいは行動力で勝負する生徒まで多様な生徒を抱えている。幅が広く、規模も大きいがゆえに多様な教育機会も用意することが求められる。こ**れらの仕掛けが人口減少の時代にあっても人が集まる魅力的な学校づくりにつながっていくと考えている。質問。経済的な問題として、特に鳥取城北高校に関係するお話は何かありますか。石川、2020年4月からは就学支援金制度が改定され、就学支援金の額が大幅に増額される。本校においても、ご家庭ごとの所得等にもよるが、最大で授業料が月々9000円程度のご負担で済むようになり、**公立高校と同じような費用水準での教育サービスの提供が可能**になっている。平均所得が全国に比して圧倒的に低い鳥取県であるが、今回の改定は所得の問題から教育機会を狭められていた方にも「私立学校」という選択が公立校並みに選びやすくなる時代がやってきたと言える。質問 。鳥取県では若年層の流出、特に優秀層が戻ってこないという問題がありますが、そのあたりについてどのように考えていますか。石川、やはり若年層にとっても「所得」「職種」「仕事の自由度」といった点で鳥取と比較したときに都会がどうしても魅力的に見えてしまう部分はある。一方で、そういった仕事における条件面だけでなく、「住み心地」「子どもの育てやすさ」といった生活面、「人としてのあり方」「人としての幸せ」といったライフスタイルの域まで広い視野で捉えると見え方は大きく変わる。例えば、「人としての欲求が満たされやすい環境」という意味では鳥取県は東京などの都会よりも優位にある。人には承認欲求があり、誰かの為に活動することや、社会的な活躍を通して注目されることで「生きがい」を感じることができる。学校で言えば、学校数も少ないため他県よりも野球で甲子園に行くチャンスに恵まれている、部活動で全国大会に進める確率が高いということが実は魅力としてある。**ないものも多く、多くのものが求められている環境だからこそ自分が進みたい道、実現したいことを形にすることができる。いわば「鳥取だからこそできる」ことがある。こ**れはこれから進学や就職を考える若年層にとっても知っておいて欲しいことだ。質問 。「生きがい」を感じやすい環境というのはどのようにPRしたら良いでしょうか。石川、もちろん鳥取県に今いる人には改めてP Rをしていかねばならない。進学で出て行った子が鳥取は良いよと外の人に言えることも大事だ。加えて、より若年層を増やしていく為には、今まで鳥取を知らなかった人を呼び込む姿勢も求められる。ある程度の時間を過ごさねばそうしたライフスタイルの中にあるような魅力には気付きづらい。若者を呼び込む手立ては観光などもあるが、どうせならば若いうちに鳥取で育つような経験をしてみれば良い。具体的には、鳥取城北高校を始めとした機動力のある私立高校が一斉に「教育寮」を整備し、県外からも生徒を集めるような動きをすればそうしたP Rにもつながるだろう。挑戦しやすい環境であることを分かりやすく目に見える形にする必要はあるが、人を集める機能は実は学校にもあるのではないか。志学コース主任、田中将省先生インタビュー「今後の戦略について」**鳥取城北高校　田中将省先生**質問 。志学コース主任も務めている中で現在行っている取り組みについて教えてください。田中、私は今ひとつのコースを束ねる立場にあるわけですが、Volantility、不安定さ。、Uncertainty、不確定さ。、Complexity、複雑さ。、Ambiguity、曖昧さ。が高まっているといわれるV U C A時代の中で、しなやかに学び続けられる生徒をどのように育てていくのかを意識してカリキュラム作りを進めています。特に大学進学についても総合的な探究の時間を始めとした５教科以外の教科についても重視している。今考えているのは一年生の時から３つの視点で学びができたら良いかなと考えている。１つ目は**「グローバル」**視点で国際的な情勢を含めて幅広い視野で学んで欲しい。２つ目は**「テクノロジー」**という視点で、IoTであったりA Iであったりブラックボックス化しているものに対してそうじゃないんだよということに早くから気づいてほしい。３つ目が**「ビジネス」**という視点で、ないものは創りだすという発想を持たせてあげたい。また、部活動においてもファ部という部活を通して３Dプリンターやレーザー加工機等を使い自分で欲しいものを創りだす力を身につけさせている。今の時代、あるものから選ぶばかりで、ものに自分たちを合わせてしまっている。**自分たちにものを合わせていける発想を持つことが大事なのではないかと考えている。**質問 。そうした学びを具体的にどう社会へとつなげていきますか。田中、しなやかに学び続けられるような人財が育ったとして、そういう子たちが県外に出た時に「いつか帰ってくるのか」という問題はある。高校がある種のファームになってしまって育てた子たちを届けて終わりという形になりがちではある。その時に重要なのは「地域」というキーワード。そこに関わっていく中で愛着が持てるかどうか。地域の課題に直接触れる中で当事者意識が芽生え、この地域を何とかしたいと思えるのではないか。新学習指導要領にも**「社会に開かれた教育課程」**をつくっていくことが謳われていて、**学校外の方の協力も得ていくという意味で教員サイドにもコーディネートの能力が求められるようになってきている。**質問 。田中主任は一緒に働いていると専門は物理だけれども経済や投資の勉強、副業もできそうなほど教員とαのスキル開発をされているなと感じる時があるのですが、どういうことでしょう。田中、ファ部につながるようなIoTやA Iの勉強、実社会で生きていくのに必要な投資や保険の知識などに関する勉強は積極的にするようにしている。他に具体的に言うと、AdobeのPhotoshopやIllustratorで画像編集やロゴ作成をできるようにし、Premierで動画編集もかじりました。プログラミングだとJavaなども活動のために学びました。鳥取の経済の話をすると、企業誘致なども力を入れているものの限界もあるのかと思っていて、すでにある鳥取の資源を有効活用してビジネスチャンスを見出し、あるものを引っ張ってくるだけでなく、自分で創りだす視点を持つことが大事なのではないかと考えている。**若いうちから「起業」の仕方なども学んでおいた方がいい気がしている。**話を戻すと、教員はただ教員をやっているだけでなく常に学び続ける必要があると思うが、こうしたビジネスのことに関してなどはどうしても生徒に教えるに足りない部分が出てくる。そうした時に外部の人をうまくつなげてコーディネートしていくことが求められている。質問 。最後にこれからの野望を聞かせてください。田中、一つは自分の専門分野である物理に関して、もっとアクティブに生徒が学べるような仕組み、仕掛け作りをしていきたい。もう一つは、鳥取城北高校の生徒が地域の人に期待されるような、鳥取城北高校を出たら何かが起こるぞと思われるような広い意味での教育システムをつくっていきたい。一般的な進学校ではなく、むしろ進学校というイメージを追いかけるようなことはしたくない。**違うモノサシの中で生きていけるような学校にしたい。多様な価値観に溢れる世の中で自らモノサシをつくり出していけるような人を育てたい。**逆にそうである以上、自分たち教員自身がそういう存在であり続けなければならない。我々が新しい価値観をつくり出していく立場であればこそ、そこで育つ子たちもまたそれをみて育つと考えている。持続可能なだけでなく発展的な鳥取の未来の為に。さて、ここまでを振り返ってまとめてみよう。ここに至るまでに鳥取城北高校の概要、そこで働く2名の教員のインタビューを通して共通していた話題がある。**鳥取における「人口減少」の問題である。**鳥取城北高校も一時は生徒数の激減があったものの、様々な取り組みが評価され、現在ではV字回復を遂げて現在も生徒は増え続けている。私、大山。自身も鳥取城北高校の勢い、自由度の高い職場環境を求めて東京ベースの生活から一転、2017年4月に移住してきた身である。高校生がどのようなことを考え、どのように進路を選択するのかを日々見てきた中で、**「学校外の社会との接触機会」が高校生の価値観や世界観に多大な影響を与える**様子を目の当たりにしてきた。それは例えば城北インターンシップでの経験であったり、Startup Weekendという世界中で行われている起業体験イベントへの体験、2020年6月、鳥取城北高校内で開催予定。、鳥取城北高校が年間を通して連携しているN P O法人フリーザチルドレンジャパン企画のフィリピンスタディツアーでスラム街を訪問する経験であったりする。ポイントは**「大人が必死に取り組む姿を見せること」**、**「想定外の世界に出会わせること」**、この２つであると考えている。日常では理解できないような雰囲気、状況に出会ってはじめて「なぜ」「どうして」と人は考え始める。「幸せって何だろう。」「なぜこんなに貧富の差があるの。」「なんで人は死ぬの。」「どうしたら目の前の人を救えるの。」、**目の前に広がる景色や人との出会い、そこから迫ってくる問いがシンプルかつ強烈なほど人は考えずにはいられないし、学ばずにはいられない。**スラム街で学校に行けずにゴミ拾いで一日数十円の生活をしている子どもたちを見て、ある高校生は今まで読みもしなかった本を毎日漁るように読むようになった。その姿は、明らかに**「何かのために、誰かのために学ぶ姿」**であった。今、日本に「自分の将来のため、自分のため。」だけでなく、「誰かのため、社会をより良くするため」に学ぼうとする人がどれだけいるだろうか。世界で起きている問題はおろか、自分の住んでいる地域で困っている他者を感じるリアリティを持つ機会がどれだけあるだろうか。高校生は多感な時期である。目に入る全てから純粋に学ぶ。「人口減少」という問題においても大人が受け身で**「減るのはもうしょうがないよね」と思っていれば彼ら彼女らもそのように育つ。逆に、「だからこそやれることがある」「まだこんなこともできる」と考える大人に出会えればそのようにも育つ。**鳥取は課題が多く、人は少ない、ゆえに人手も求められ挑戦しやすい環境であると私も考えている。加えて、想いある大人の数も多く、手を伸ばせばすぐ会える環境であることも魅力の一つである。学校はこれまで中の人で何でも解決しようとし過ぎたように思う。先の２人のインタビューにもあったが、これからは学校の中に想いある大人やその集合体である組織とうまく連携して**「地域で子どもを育てる」ということに立ち返る必要があるのではないか。**その中でこそ、子どもは社会のリアリティを感じることができる。様々な大人と出会うことで生き方のモデルも見つかる。取り組むべき課題も鮮明になる。少ない人、小さな組織だからこその意思決定の早さがある。県内で足りなければ県外からでも世界からでも助けを求めれば良い。**多様性があるほど課題解決の可能性は高まる。「スピードは熱を生み、量は質を生む」。鳥取城北高校はまさにこの言葉通りの学校である。**みんながみんな、課題解決をしたいわけではない、高校三年間で絶対何か成し遂げないといけないわけでもない。やりたくなった時にやれば良い。ただ、その三年間が終わった時に、そういえば鳥取でこんなことしたなぁ、あんな人もいたなぁ、**この人にはお世話になったなぁと振り返りたくなるような印象的な経験、出会いを重ねた記憶が、地域への想いを呼び覚ますこともある。**鳥取城北高校に関わる者一同、その時には、こう思ってくれたら嬉しく思う。あぁ、これが私にとっての**「一生に一度しかない三年間」**だったのかと。**鳥取城北高校はその瞬間のために、鳥取の地でこれからも変わり続ける。**鳥取城北高校のHPとSNS

データから考える若者の地元就職について。

県外就職が多いという現状。近年、鳥取県における若者の地元就職を推進する動きが活発となっています。鳥取県内の高校や大学を卒業してからの進路として、県外就職が多い傾向があり、この傾向が続いている現状があります。鳥取県の若者が、県内就職を希望する傾向が強くなることが必ずしも良いこととは限りませんが、今回はなぜ若者が県外就職を選択するのかをデータを基に書いていきます。地元での就職を希望する割合。まずはじめに、鳥取県の大学生が地元での就職をどれくらい希望しているのでしょうか。マイナビによる「2020年卒マイナビ大学生Uターン、地元就職に関する調査」の結果を図にしました。大学生の地元での就職希望者は、全国の平均で49。8%です。しかし、鳥取県では**40。9%**と全国平均を下回っています。人によってこの数字を多いと捉えるか少ないと捉えるかは分かれると思いますが、実際の地元就職の割合から考えると多いかもしれません。**実際には4割の学生が、大学卒業時には地元へのUターンを希望しており、就職活動の時に鳥取県にベクトルを向けてもらえるような企業が多いと地元での就職を増やすことができると考えられます。**県外就職を選んでしまう理由。なぜ地元での就職を選ばずに県外での就職を選ぶのでしょうか。マイナビの意識調査の結果をグラフにまとめました。図より、地元就職を希望しない理由に、**「都会の方が便利」**というのが38。4%、**「志望する企業がない」**というのが38。1%、**「大手企業がない」**というのが20。7%となりました。全体的に、現在の若者は都会での「利便性」「企業の知名度」「企業の選択肢」「就職環境の良さ」によって、地元で就職することよりも県外で就職することが良いと考えていると言えます。また、若者が県外就職を選ぶ理由に地元では大手企業がないというのが挙げられます。**就職するときに、若者が大手企業に何を求めているのでしょうか。大企業と中小企業に求めるもの**今日の日本では、従業者が大企業と中小企業に勤めている割合はどうなっているのでしょうか。総務省の2016年のデータによりますと、大企業に勤めている人の割合は、約30%、中小企業に勤めている人は約70%となっています。「日本公庫総研レポート」の調査によると、**若者が大企業を選ぶ理由は**、**企業の大きさや知名度の高さ**。**世間からの評判**。を重視して選ぶ傾向にあるようです。その一方で、**若者が中小企業を選ぶ理由は、通勤時間の短さや残業の少なさ**、**転勤の少なさ**が挙げられています。このようなことから、中小企業を選ぶ学生は仕事よりも生活を第一に考える傾向にあると言えるでしょう。**鳥取県では、生活に根ざした企業であることが大きな強みになるかもしれません。**最後に。今回は、鳥取県における若者の就職先のデータを基に、様々な考察をしました。今回は、若者の就活の観点などを紹介しました。今回の記事を通して、地方企業が採用について考えてもらうきっかけになれば幸いです。

人口50万人目前、鳥取の人口減少問題。

全国で進む人口減少。ここ最近の日本では人口が減少傾向にあり、総人口が1億人を下回るのも時間の問題だと言われています。現在、地方から東京などの都市に人口が集中する傾向があります。鳥取県の総人口はどのように推移しているのでしょうか。総務省のデータをグラフにまとめました。グラフより、**鳥取県の総人口は令和27年に50万人を下回ると予想されていることがわかります。**現在、鳥取県の総人口は、全国で最下位です。この流れは止まらず、現在の人口で維持できている様々なサービスが維持できなくなっていくことでしょう。人口減少社会へ向けた、新しい仕組みや仕事を作っていく必要があるでしょう。また、近年は**「関係人口」**にも注目が集まっています。関係人口とは、移住などはしなくてもその地域に関わりをもつ人の人口のことを言います。 鳥取と関わりの深い人をどのようにして獲得していくかも議論されるべきかもしれません。働き手の人口割合。鳥取の将来を考える上で、「働き手」を考える必要があります。企業や行政を支える世代の存在が欠かせません。これからの鳥取を支える人口割合はどのように推移するのでしょうか。国立社会保障、人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口」のデータをグラフにまとめました。グラフより、企業を支える1564歳の人口割合が減少傾向にあることが分かります。**令和27年には、1564歳の人口が鳥取県の総人口の半分を下回るようになります。**この減少傾向は、令和27年以降も続くと考えています。その結果、鳥取県の市場は、今よりも縮小することになるでしょう。これらのことを踏まえ、現在の鳥取県には、**高齢化に上手く対応することや高付加価値の仕事といった考え方が求められています。**日本の高齢化問題は、鳥取県が先頭に立って取り組むべき問題であると考えることもできます。最後に。今回は、鳥取県の人口問題について、「人口数」と「働き手の割合」の観点から書きました。私たちは、人口減少問題や高齢化問題は、切り離して考える事ができない問題だと思います。**目を背けるのではなく、その社会で豊かな働き方と社会システムをどのようにデザインしていくかということを考えていく必要があるかもしれません。**

「高齢者先進地域」の鳥取で、日本の課題を解決する。

新しい親孝行サービス「わたしの看護婦さん®」について。皆さんは、**介護を理由に退職する人が年間約10万人、その経済損失が6,500億円ということをご存知ですか。5年経過したら鳥取県が消滅するような勢いです。**私自身、親戚2人の介護を抱えながら子育てをした経験があります。子どもの行事を優先させたくて、病院受診の付添いをヘルパーさんに相談したら**「介護保険では対応できません。家族がやるべきことです。」と断られました。**病院受診に付添う回数が増えてくると介護の負担がのしかかり、心身ともに苦しくなってきました。現在の介護保険適用サービスでは介護をする側の人に対する十分な支援にならないことを実感しています。病院受診付添いも、嗜好品の買い物も、家中の大掃除も介護保険のサービスでは対応してもらえないのですから。介護をする現役世代の子どもたちが疲弊しないような、また家族の支援が当てにならない高齢者のために、**痒いところに手が届くような介護サービスがあったらいいな**という思いが膨らんでいきました。2014年、N。K。Cナーシングコアコーポレーションを起業、介護、育児をサポートする「わたしの看護婦さん®」のサービスを開始しました。また、訪問するスタッフをスペシャリストに育成するために2018年「遠距離介護支援協会」を設立しました。介護は女性の仕事ではない。昔は当たり前に家庭の中の女性が介護をしていました。しかし、今は女性たちも日本経済を支える一員として家庭から出ていくようになりました。そうなると、家庭の中に介護をする人がいなくなる。誰が介護を担うのでしょう。女性をもう一度家庭の中に引き込めば良いのでしょうか。**答えはノーだと思っています。**もう、女性だの男性だの言っている場合ではありません。そもそも合計特殊出生率が約1。4。一人の子どもが何人の介護をすることになるのでしょう。仕事と介護との両立は非常に困難になります。ましてや、鳥取県から若者たちは流出をし、親御さんの介護が必要な頃には遠くに住んでいる**「遠距離介護」**の状況です。「わたしの看護婦さん®」にて一緒に働く仲間たちは、**「潜在看護師」**と呼ばれる育児や介護のために一旦現役を退いた看護師や、定年退職をしたけれど今も社会と繋がっていきたいという介護士たちです。育児や介護、体調にあわせてシフトを組んでいくと再び働きだすことが可能になります。

看護や介護の知識×愛情×隙間時間=「わたしの看護婦さん®」「わたしの看護師さん®︎」というサービスを構成する要素。鳥取県民にない発想どころか、時代を先取りし過ぎた。創業当時は**「介護は家庭内の女性や子どもがやって当然だから介護にお金をかけることなんかあり得ない」**、**「そんな発想をする人は鳥取県民じゃない」**などと営業先で言われたこともありました。また、**「隙間時間だけで働きたい人を集めると効率が悪い」**と苦笑されたことも、しかし、絶対に成長するという自信はありました。利用申し込みをしてくださったお子様からの感謝の言葉や、一緒に働く仲間たちが、**「将来は自分も使いたいから、今から作って広めたい」、「私の周りにも少しだけなら働きたいと言う看護師がいるから声かけてみたい」と動いてくれたからです。**EY アントプレナー、オブ、ザ、イヤー2019　ジャパン中国地区Challenging Spirit賞 受賞風景「働き方改革」「一億人総活躍」「SDGs、日本で言う”三方良し”。」が追い風となり、鳥取県を越えてこの事業に共感を寄せてくださる方が増えました。また、中国や香港のメディアからの取材もあり、**鳥取の社会課題は日本の課題、日本の課題はアジアの課題だと強く感じました。**まだまだ介護保険を使わない介護ビジネスは世の中に浸透しておりませんが、「2025年問題」が”大問題”にならないように、ピッチを上げて利用エリアを拡げていきます。介護が始まって移動に苦労している地元を離れた人に、仕事と介護のバランスをとりながら働きたい人に、心身共に余裕をもって良好な親子関係でいたい人に、**高齢化先進地域の鳥取から生まれた親孝行サービス**をご紹介してくださると嬉しいです。これからどこに向かっていくの。介護の領域も田舎も**「シェアリングエコノミー」**の時代になってくると思います。看護師や介護士の資格がないと介護ができないとか、もちろん家族じゃないと受診や入退院のお世話ができないということにはならないと考えています。例えば仕事で忙しいママパパに代わって、大学生が小学生の夏休みの宿題のまる付けをしてあげるとか、高齢になり力仕事が難しくなった農家さんの畑にサラリーマンが農繁期の週末だけ手伝いに行くとか、出産直後のママのお世話にご近所の先輩ママが駆けつけるとか、スキルをシェアし合える持続可能なプランを模索中です。**鳥取で生まれる持続可能なシェアリングの世界を一緒に夢見て行動したい方、今までのスキルを応援というカタチで活かしたい方は、是非ご連絡ください。**

県内就職を阻む見えない壁と希望 第一部、自分が学生だった時。

**はじめに。**地域活性化、地方創生が叫ばれて久しい。経済振興といった政策以外にも、移住定住を促進しようと都会でPRする動きや、支援制度が拡充されてきた。しかし、東京の大学へ進学した私がUターン就職しようとしたときに感じた「見えない壁」に光が当てられることは残念ながら無かった。本稿ではこの壁を指摘しつつも、批判や悲歎が目的ではなく、地域経済の振興ひいては日本経済が浮揚するきっかけになればと筆を執る次第である。氏名、生田章訓。所属、株式会社レクサー、リサーチ。趣味、釣り＆サウナ好き。経歴、倉吉東高校⇒東京大学卒業。地元就職を考えるも幻滅し、断念。大学院進学後、東京で就職し腕を磨く。その後Uターン。発言は個人の体験に基づく私見であり所属団体の意見を代表するものではありません。**求職者として感じていたこと。**＜年収＞求人倍率はある程度高く、仕事を選ばなければ仕事はある状態だった。ただしある程度の基準で仕事を選別してしまうと、途端に数が少なくなる。たとえば年収の面。毎月の額面給与が20万円かつボーナス1。5カ月×2回で年収300万円だが、これを下回る求人がほとんどであった。田舎は物価が安いと言われる割には、自動車は必須であり、むしろ自動車にかかる費用は都会と差が無い。この給与水準では、物質的に豊かな生活は望めないと考えた。＜やりがい＞仕事内容に目を向けてみる。やりがいは大事だ。とくに都会から田舎へ転職したい人は、給与アップを求めていない。やりがいや意義を求めている。少なくとも私はそうだった。**やりがいとは、自分ならでは貢献を通じて今までにない価値創出に挑戦することと考えた。**ただ、求人内容を見ると、コンビニバイトのように仕事内容が定型的で、先輩社員の模倣をすることが求められるような仕事ばかり。いわば「欠員の補充」だ。私はそういう印象を受けた。欠員補充の場合、求人企業が求める要件は、前任者と同等かそれ以上の能力を持った方を、前任者よりも狭い裁量、低い職位で、つまり前任者と同等かより安い給与で採用することではないか。この求人内容では、企業側が求めていない以上、私が付加価値を与えることは難しいと私は考えた。このような求人が悪い、ダメだと批判しているわけではない。ただ、ほかの大勢よりも優秀であろうと考えていた当時の私にとっては、働きたくないと思うに充分であった。＜自分自身＞逆説的に言うと、私が求めていた仕事は、たとえば、1そもそも前任者がない新しい仕事。つまり新設のポストに就き、戦略的な業務を担う。例。新規事業の開発。2前任者はあるが、前任者よりもより高い成果が求められる仕事。歩合的な考え方に基づき、給与は前任者よりも高くなる場合がある。例。ソフトウェアエンジニアのような専門性高い仕事。3前任者があり、前任者、先輩。よりも職責も給与も下がったとしても依然として高い水準であるような仕事。例。大企業、銀行、公務員。のような求人を私は求めた。 ただし、付加価値があると言えるのは12であり、3は必ずしもそうではない。3は給与が高い分、やりがいが薄くとも、妥協できる可能性があると考えた。真の意味で求めたのは、1または2である。このような求人が、果たして、県内の採用市場にどの程度露出していただろうか。12のような求人が県内の採用市場に上っていなかったから、求人が無いと私は判断した。ということは、私の能力の程度はさておき、私以上の人材が応募する先が県内に無いということである。就職が決まらない以上、鳥取に帰れないと考えた私。都会に出たものの、帰りたいけど帰れない。都会と鳥取の間には、高い壁があった。これが私の思う「見えない壁」の正体である。「お前のような学歴だけの実績無い人間が、高望みしすぎだ。仕事はあるんだ。身の程を知れ。」というご意見が想像できる。尤もである。そのような批判は大いに結構である。そのような意見は多々あれど、都会には12のような魅力的な求人があふれていた。そうして私は都会で、つまり壁の向こう側で就職しただけのことである。その後Uターンしてきたことが示すように、地元でマッチングが起きないのは、求職者ではなく、企業の問題だと私は考える。学生が”地元企業”を選考した結果、落選したというだけである。**これは学生側の問題ではなく地元企業に責任がある。**最後に「見えない壁の正体」見えない壁とは、学生の期待する求人と、地元企業の実際の求人の質とのギャップである。 第二部では、このギャップを埋める方法を提案したい。

県内就職を阻む見えない壁と希望　第二部、地元企業に期待すること。

その後私は社会人となり、顧客企業のIT化や業務改善を推進してきた。その経験から、地元企業に足りない視点と期待することを提案する。**求職者に選ばれる求人を**。付加価値高く、給与も高い。そんな仕事を地域に求めている人が、都会に残留している。彼らは地元の就職先を探す。探した結果、おそらくは失望とともに、静かに、断念している。彼らに魅力的な仕事をオファーするのは県内企業の責任である。求人マッチング不成立の原因を、求職者に求めてはいけない。求人の質である。求人の質はそもそも、業務の質である。付加価値の高い業務をしているかどうか、あるいはそうでないか、企業の姿勢が如実に表れる。**業務を変革するということ**。あなたの会社で、10年前の業務と変わったことは何だろうか。たとえば、ITという観点で考えてみる。＜ITを使った業務変革の例＞ITシステム/サービスを導入したから、受注量が10倍になっても捌けるほどになった、インターネットで海外からも仕事の注文が来るようになった、インターネットで海外に仕事を発注するようになった。このように、ITが多くの業務を代行、圧倒的多数の方への営業、受注、納品など。してくれるようになると、生身の従業員に残された業務はおのずと付加価値の高い業務、企画、設計、戦略、意思決定など。だけになる。ということは従業員一人一人の生産性が高くなり、高給を支払う余地ができる。結果的に求人の質が増す。くれぐれも注意されたいのは、ファックスがメールになった、手書きの請求書からExcelの請求書になった、、、といった枝葉の事象は変革とは呼べないことだ。従業員一人当たりの生産性がほぼ変わらないからだ。**IT強化を担う部門を創設せよ**。先ほど挙げたような、ITを使った業務の変革。この変革を行っていく業務自体が、実は高い付加価値を持っている。簡単な仕事ではないし、企業が得られる利益が大きいからだ。ではなぜ県内企業はITを強化できなかったのか。それは、その業務を担う能力のある人材が企業内にいなかったからだろう。いや、そのようなポストが無かったからではないか。変革を起こすには、片手間では到底不可能だ。だからこそ、この業務を担う専任ポストを用意する。必要な人材を採用する。つまり戦略的にIT強化を担う部署の創設と、人材の採用だ。まさに12、前回を参照のこと。の形だ。そういう会社に人は集う。なにも無期雇用でなくてよい。ITコンサルタント企業に委託するでもよいし、フリーランスに業務委託する形でも良いだろう。幸いにも副業を認められた方は多くいる。そういった方々の力を借りるだけだ。ただし「欠員の補充」であってはならない。新規ポストをまず作り、ここに人を充てる。代替要員の補充ではない。従来の業務の延長線上でしかものを考えられない会社に、業務改革を勝手にしてくれるような優秀な人は、まず来ない。**鳥取が持つ潜在的な希望**。このような取り組みを企業がすることで、企業の競争力は高まり、経済振興が図られる。さらにはそれを担う主力となる人材を募集することで、”見えない壁”が取り払われ、Uターンはじめ地元就職の道がいっそう広がる。それはつまり”見えない壁”に抑圧されてきた人材の地域への還流を促進し、経済成長を進めるということである。ということは、成長のポテンシャルが鳥取にはある。壁が厚く高いからこそ、悲歎するのではなく、むしろ成長のポテンシャルエネルギーがより高いのだと私は期待する。だからこそそういう企業を熱心に探したし、幸いにもマッチングできたからこそ、私はUターンを決断した。県内企業の多くが、このようなチャレンジを行うことを期待する。

最後に。「鳥取のポテンシャル」鳥取県内の求人の質は低い。これを高めていくことは、Uターンを促進するばかりでなく、企業の競争力を高め、地域の経済振興が促進される。その成長ポテンシャルが鳥取にはある。

「鳥取県の土地価格」は米子**日本の土地価格の傾向。**

日本の土地の価格は1991年を境に、バブル崩壊とともに低下傾向が続きました。しかし、2020年に日本で開催される東京オリンピックの影響で、ここ数年はわずかではありますが上昇傾向となっています。特に、東京都を中心に大阪府や京都府、神奈川県、愛知県などの都市を中心に地価が上昇しています。そんな中、人口最少県であり人口減少が問題となる鳥取県における地域別の土地価格について皆さんご存知でしょうか。「知らない」「気になる」という方が多いのではないでしょうか。そこで、今回は鳥取県の土地価格について調べてみました。**鳥取県の土地価格。**普段の生活の中、自分の住んでいる地域以外の土地の価格について考える機会は少ないように思います。鳥取県内の地域において、土地の価格の違いはどれくらいあるのでしょうか。国土交通省のデータをグラフにまとめました。市が一位。引用元、国土交通省　令和1年「国土交通省地価公示、都道府県地価調査」上記の表より、**米子市が鳥取県内で最も土地の価格が高いということが分かります。**続いて、**日吉津村、鳥取市**と続いていきます。**3位である鳥取市と4位である倉吉市の間と、4位の倉吉市と5位である湯梨浜町の間が、比較的に差が開いているということが分かります。**鳥取県の地理上、**鳥取県の土地の価格が高い地域は、米子市周辺であるということが読み取れます。** 県庁所在地である鳥取市の土地価格が3位である要因として、鳥取市の範囲が広いことが考えられます。**土地価格に差がつく要因**。地域における土地の価格はどのように決まっていくのでしょうか。土地の価格は、様々な要因によって決まります。その中でも、より重視される要因として挙げられるのが、土地における需要と供給のバランスであると言われています。土地は、一つとして同じものは存在しません。それによって、ある土地が人気を集めると価格を上げるという選択を選ばざるを得なくなります。その結果、土地の価格が上昇します。土地の価格を決める要素は他にもあります。例えば、その土地における特徴です。**商業施設などの利便性や土地の高低差、最寄り駅までの距離、広い道路に面しているか**などが挙げられます。また、**土地の形状**も価格に影響を与えます。形がいびつな土地よりも整っている土地の方が、価格は高くなる傾向にあります。**土地価格上昇の影響。**土地の価格の上昇は、様々な影響をもたらします。少し違う立場になるだけで、色々な損益が出てきます。そこで、土地の価格の上昇におけるメリットとデメリットについて紹介します。**メリット**。土地の価格の上昇によって、不動産の資産価値が上昇することになります。それによって、既にその土地における不動産を売却しようと考えている人にとっては、大きな利益となります。また、その土地に住んでいる人にとっては、住宅ローンの借換えやリバースモーゲージ、自宅などを不動産の担保にして、自治体などからお金を借りて生活をし、契約が終了した後に、その担保を不動産に売却をして借入金を返す制度。などが有利になる可能性があります。**デメリット**。土地の価格が上昇することによって受ける影響では、税金が上がることが挙げられます。不動産の所有コストである固定資産税の金額が、高くなると考えられます。また、土地の価格の上昇は学生たちにも影響を及ぼします。その理由としては、マンションなどの賃貸住宅の賃料の上昇です。土地の価格の上昇によって、建設費用が高くなるからです。 このように、土地の価格が上昇することによって生じるデメリットは、たくさんあるということが事実です。しかし、土地の価格が上昇するということは、その地域における需要が高まったと言うこともできます。最後に。今回は、鳥取の土地価格について調べた上で、土地の価格が何で決まるかということと、メリット、デメリットについて様々な視点で書きました。私たちが、現在住んでいる地域における需要が高まることは、その地域の住民にとっては嬉しいことであると考えています。土地の価格があがることが街がよくなることではないと思いますが、一つの見方として**賑わいや可能性のある街の土地価格は上がる**と言えます。鳥取県が可能性のある県となることで、まだまだ伸び代はあるかもしれません。今回は市町村単位で土地価格の平均を出しているため、細かく見ると土地価格が高い低いはそれぞれの市町村であります。

鳥取は「観光と食」に可能性があるかもしれない。

「食と観光」に目を向ける。地方は、これから何で稼いでいけばいいのか。一つとして、「**食と観光」を提言したい**と思っています。食と観光というと、２０１６年に内閣府より交付された日本最高戦略では、農業も観光も共に挙げられており、「地方創生」であったり、「観光立国」という言葉に紐付き、日本国内全体で注目を集めています。ボーイング社の長期予測によれば、**２０３０年には航空機の数が今のおよそ倍になり、航空運賃は下がり国際交流人口が増加すること**やここ近年の先進国を中心とした**世界的な健康志向や和食ブーム**など追い風ムードが漂いつつあります。そこで今回は、高城剛さんの著書「人口１８万の街がなぜ世界一になれたのかースペイン、サンセバスチャンの奇跡」をご紹介します。サンセバスチャンの取り組みを日本の食と観光分野のこれから、そして鳥取も参考にできるかもしれません。美食の街「サンセバスチャン」サンセバスチャンとは、スペイン、バスク地方に位置し、人口は１８万人、北海道の釧路市とほぼ同じ。、目立った観光遺産があるわけでもなく、交通の便がいいわけでもない。そんな街がなぜ**世界一の美食の街**になれたのか。その背景には、料理を押し出した徹底的な地域戦略がありました。世界で最も注目を集めているレストランが２つあり、三ツ星レストランが３店、二つ星レストランが２店、一つ星レストランが４店もこの一つの小さな街にあります。それも、ずっと内戦をしていた地域でここ１０年で世界一の美食の街と謳われるようになったことも非常に興味深いです。シリコンバレーがIT産業に特化したように、**料理に特化することで他の街との差別化を図ると共に、地域を再興させました。**製造業が行き詰まったこれからの日本にとって、地域戦略としてサンセバスチャンに学ぶべきことは多いです。観光産業の可能性。実は、観光産業は２１世紀最大の産業と言われている。**世界のGDP比率のおよそ１割を占めていて、１１人に１人を雇用する基幹産業です。**冒頭でも述べたように、航空機の数も増えいて国際交流人口が今後伸びることが予想されます。アメリカもスペインもフランスもイタリアも先進国をはじめとし、タイやカンボジアなど東南アジアの国々も、観光産業を国の基幹産業としている。規模感で言えば、**日本の観光収入は、スペインのおよそ半分、アメリカの４分の一です。タイも日本のおよそ１。５倍の額を稼いでいます。**日本には、歴史も文化も自然も食も揃っていて、ビザが緩和されているし、治安もいい。日本の年間の観光客数はおよそ3,000万人で観光収入は5兆円ですが、国際交流人口の割合から言えば、まだまだ人を取り込める可能性があり、大きな伸び代を秘めていると言えます。サンセバスチャンの取り組みサンセバスチャンは、いかにして世界一の美食の街と謳われるよりになったのか。大きく３つの取り組みをあげることができます。まず１つ目は、街の男たちが地元の食材を持ち寄り、下手でも自分たちで料理をしながら、自分の地元の食材をどのようにして食べたら美味しのかを追求する**美食倶楽部をつくった**ことです。２つ目は、下積み制度やレシピの平素化などの料理業界のアンチテーゼを覆し**料理のレシピをオープンソース化したり、料理専門の4年制大学をつくることで、若いシェフたちが中心となって、「ヌエバ、コッシーナ」、スペイン語で新しい料理の意味。と呼ばれる料理が生みだしました。**その料理は、今までのクラシックな料理法ではなく、地元の食材を活かすすとともに世界中を旅した時に食べた料理を織り込みました。３つ目は、「分子料理」と呼ばれている料理を開発したことです。**おいしさを分子レベルで科学した人物がいました。**このような取り組みが次第にスペイン、地中海全域に拡がり、バスクの地で生まれた「ヌエバ、コッシーナ」は世界中を席巻するようになり、世界一予約の取れないレストランと評される「エル、ブリ」、２０１１年に閉店。を生みまし他のです。今あるものを活かして一体感を持ついかがでしたでしょうか。観光産業の産業としての伸び代やサンセバスチャンの取り組みを総括していくと、日本の観光と食に希望が浮かび上がってきませんか。日本は自然や歴史、文化に富んでいて、美味しい食べ物があります。治安もいいし物価もさほど今は高くありません。ビザも緩和されました。証拠として、ここ5年間で観光客数は倍増していて、日本の観光収入は右肩上がりの傾向にあります。ただ欠けているのは、戦略です。**自分たちの持っているものを大切にし、活かそうとする視点です。**ゆるキャラやB級グルメでは世界の観光客を取り込むことができません。今世界で旅行をしている人たちが誰なのか全く考えていないことが明らかな取り組みと言えます。日本の地域もサンセバスチャンのように、自分たちが持っているものに今一度立ち返って、**「今あるものを活かす」**ということに重きを置き、観光戦略を練ることが大切だと思います。そして最後に、３つの取り組みで共通して言えるのは、**街全体の一体感です。**日本の地域でも勢いのあると言われる地域では、街全体の一体感があると思います。**宮崎県の新富町や石川県の加賀市や岡山県の西粟倉村などは、その街が目指すものの方向性やコンセプトが明確で、一体感を感じます。**鳥取県が地域、街全体の一体感を持てるかどうか。地域の戦略の成功の振れ幅を大きく左右すると思います。皆さんはどう思いますか。

鳥取の共働き率は全国7位。

女性の社会進出が進んでいる。近年の日本では、女性の社会への進出が注目を集めています。以前の日本では、女性が家事をこなし男性が家族のために仕事をするという家庭が多い傾向にありました。**現在では、結婚後も仕事をする女性が増えてきており、育児休暇を取得する男性も増えてきています。**このように、昔と現在では家庭のあり方も変わってきていると言えます。しかし、日本では世界と比べると女性の社会進出が遅れていると言われています。今回は、育児中の女性の仕事の状況について見ていきます。鳥取県の共働き率の現状鳥取県における共同率はどれくらいなのでしょうか。総務省のデータを表にまとめました。引用元、総務省H29 「就業構造基本調査」表より、鳥取県では夫婦の共働き率が全国の平均を上回ることが分かります。このことより、**鳥取県では日本全体で見て夫婦の共働きが**多いと言えます。また、表より夫婦の共働きの割合は北陸地方が高い傾向にあると言えます。この割合は、風土によって昔の家庭のあり方の影響を受けているのかもしれません。このデータは、様々な年齢層の夫婦を含んだデータです。現在の日本では、出産や育児をする期間に女性の離職率が高いと言われています。**この期間の女性に対し、支援することによって、夫婦の共働きの割合を高めることができる**と考えられます。育児をしている女性の離職率。鳥取県では、離職率の高い期間である育児中の女性の仕事の状況はどうなっているのでしょうか。総務省のデータを図にまとめました。引用元、総務省H29 「就業構造基本調査」表より、鳥取県は全国の平均と比べると**育児中の女性の有業率において、かなり高い水準にあることが分かります。**これは、育児中の女性に対して働きやすい環境づくりを鳥取県が実施していると考えられます。女性の社会進出が進むと様々な影響が考えられます。例えば、**女性の選択肢の増加や男女の格差が小さくなることが挙げられます**。**介護、看護を理由に離職した人の割合**現在の日本では、少子高齢化が大きな問題となっています。高齢者の介護も離職する理由として挙げられます。そこで、高齢者の介護のために離職する人の割合はどうなっているのでしょうか。総務省のデータを図にまとめました。引用元、総務省H29 「就業構造基本調査」表より、介護や看護のために離職する人の割合は比較的高齢化率が高い地域が挙げられます。因みに鳥取県の介護、看護のための離職率は、**1。9％で全国25位**となっています。鳥取県の高齢化率は、図の上位10位の地域とほとんど同じ割合となっています。高齢化率がほとんど同じ割合でも、これほど順位が開いているのは、**鳥取県が働く人に対して働きやすい環境**だからだと考えられます。最後に今回は、鳥取県における夫婦の共働きの割合について見てみました。総務省のデータから、鳥取県では育児中の女性や介護や看護をする人に対して、働きやすい環境づくりをしていると言うことが言えるのではないでしょうか。このように、鳥取県では様々な活動が行われています。その活動をTOTTORI BUSINESS ONLINEで少しでも紹介できればと思っています。

18歳の僕が考える、「自己理念」と「地域活性化」

高校生の僕が問いかけたいこと。皆さんに1つ問いかけたい。**「あなた」の存在とは何だろうか。**この「あなた」は特定の人を指すことを除くと目に見えない存在である。では、この「あなた」は何によって形成されているのだろうか。私は**「あなた」は「自己理念や価値観」**によって形成されていると考えている。しかし、この「自己理念や価値観」も目に見えるものではない。では、これらは何によって形成されているのだろうか。また、「地域活性化」とは何なのか。「点」から「線」、そして「面」へ。ここでスティーブ、ジョブズの“点”と“線”の有名なプレゼンをヒントに説明する。人は日々生きている限り様々な知識や気づきが“点”となって生成されていく。この“点”と他方の“点”との間に何かしらの共通点を見出し結ばれて“線”いわゆる経験を形成する。そしてこの“線”が集まり広がって“平面”になる。そしてこの“平面”に厚みができて“立体”となる。これだと分かりづらいので1つ具体例を挙げる。小さい時に遊んだであろうブロックのおもちゃ「LEGO」でお城を作るとする。1ピースだけ手に取って眺めてみてもとても小さく到底お城を想像することには無理がある。しかし、他の1ピースを繋げると最初より大きくなり、また隣に1ピースを繋げると1つの“線”のように見える。そして、この“線”を横に広げていくとお城の土台が出来上がり、上から見ると1つの“平面”が出来上がっている。そして、“平面”を積み重ねていくと“立体”となり、形を整えることでお城が完成する。また、LEGOの1ピースごとに“色”や“形”が違うが、それらの違いを活かしてお城というイメージに基づいて組み立てていく。これは、人が経験した様々な“点”がそれぞれ無関係のように思っていても、たくさん知識や気づきがあればあるほどそれらが突発的に繋がることで、可能性が増え経験値が高くなっていくことに似ている。たくさんの**“点”の集合が“線”となり“平面”となり“立体”となる**。これは数学の積分の概念と似ており、自己を形成する立体は点の集合による積分の概念によって成り立つもの。逆に立体を微分すれば自己の成長の変化率が伺える。そして、この“立体”には“軸”があり、私はこの軸を**“人生の主軸”いわゆる「自己理念」**と定義している。そしてこの自己理念という軸から様々な価値観が形成されて「あなた」という1つの存在となる。**もしこの自己理念が傾く時すなわち人生の主軸が傾く時、同時に立体全体が傾くので「自分はなぜこんなことやっているんだろう、」と方向性を失う。**だからこそ、自己理念を形成してしっかりと地面に根を張るように自律することが大切だと考える。安部小Projectの場合も設立の経緯を紹介したが、もし草取りをしていなければ、もし役場に意見投稿をしていなければ、この活動は始まっていなかったかもしれない。1つ1つのこれらの“点”が繋がって安部小Projectという“立体”になったのである。私の自己理念ところで、これだけ述べておいて内田の自己理念は何かという疑問が聞こえるので、私の自己理念を紹介する。私の自己理念は**「モノではなく心」**である。この自己理念は私の出身地であり在住している安部のことが好きという「**地元愛**」から生まれたものである。私は「安部に育てられた」と自信を持って述べることができる。きっかけは主に2つある。1つ目は、私が2,3歳の頃、親と一緒に最寄りの安部駅まで散歩をし、列車に手を振っていた時だ。私は記憶にないが、毎日通っていたこともあり車掌さんに顔と名前を覚えられ「かなとくん、こんにちは」と声をかけられていたそうだ。そして、15年経った今でも、列車に乗ると「内田くん、最近調子はどうだぇ。頑張れよ」と声をかけていただける。ローカル鉄道だからこそ可能なことであって、**この些細なコミュニケーションが地域にとって非常に大切である。**2つ目に、私は小さい時から近所の方々によく声をかけていただいていた。集落に同級生がいないため、下校時は家まで一緒についてきてくださった。私は当時、鉄道が好きで身勝手にその話ばかりしていたが、集落の方々は笑顔に何時間も話にのってくださった。今でも「安部小Projectがんばっとるがな新聞見たぞー」と声をかけていただける。こういった時に「あぁ、安部に住んでいて良かったな」と感じる。これが「地元愛」である。**人とのコミュニケーションによって「地元愛」は育まれる**のだろう。これらの「地元愛」があったからこそ、私は安部校区に何か貢献したかった。そこで、安部小Projectを設立する前に今の安部校区において何が課題なのかを考えた。つまり、課題設定を最も最初に試みたのである。地方の本質的な課題は「心の過疎化」行政などは地方創生事業などの前提課題に**「人口減少問題」**や**「少子高齢化問題」**といった社会問題を挙げ、これにより観光地が衰退していると指摘し、これを根本的に解決すれば地域の活気が湧くと述べることが非常に多い。鳥取県が人口最少県であることは皆さんご存知の通りである。しかし、この「人口減少」や「少子高齢化」の課題を打開できる可能性は0に近い。ここで、合計特殊出生率、一人の女性が15歳から49歳までに産む子供の数の平均。という1つの指標を見てみる。一般的に2。07を下回ると人口が減少するが、1位の沖縄県でさえ1。9であり2。07に届いてない。これで、どう人口を増やすのか。あまりにも無理難題である。人口減少による観光地の衰退といった可視化され単一的に見られる過疎化いわゆる「**モノの過疎化**」が進むことは以上の数値からしても解決が極めて困難であると考える。しかし**「鳥取には何もない」といった地元愛のなさ**、目に見えない心理的な過疎化いわゆる**「心の過疎化」**が1番の問題である。世代問わず心が通いコミュニケーションが成され**「地元愛」が育まれれば「心の過疎化」は進行しない。「心の過疎化」は地域住民の意識によって止めることができる。「モノの過疎化」が進んでも「心の過疎化」は進行させない。モノより心を大事にしなさい。**これが私の自己理念**「モノではなく心」**である。私はこの「モノではなく心」という自己理念を基盤に、安部の良さや魅力いわゆる「地元愛」をまずは**外部に発信するのではなく同じ中高生に共有したかった**。中高生の本当に求めている教育そして「地元愛」のある中高生として大人になった時に皆が「あぁ、安部に住んでいて良かったな」と思えるようにしたかった。私が安部小Projectを中高生団体にした理由はそこにある。もし地域活性化をするならば、地域活性化に興味のある多世代の人たちを集めて団体をつくる。中高生団体にしたのは、「地域活性化に興味のない子でも、自分たちの興味関心が地元愛の創造そして地域の活性化に間接的に貢献できる」と考えるからだ。しかし「地域活性化をしよう」や「地元愛を育もう」と言って幼馴染が集まるとは到底思えなかった。実際のところ現在の正式メンバーは16名だが、募集をかけた時点で地域活性化に興味があったのは数名。そこで私は「自分たちの「やりたい」を皆んなでやろうで」と言って募集をかけた。しかし、それで集まったメンバーは幼馴染と言えど意見がバラバラ、というよりそもそも出なかった。そこで私は、メンバー1人1人に「やりたい」ことを聞いた。例えば、校舎内で鬼ごっこをしたり、安部校区の映画を作ったり、校庭に雪文字を作ったり。そういった**「やりたい」を私は1つずつ着実に実行したのである。**代表である私はリーダーとしての資質が求められていた。メンバーそれぞれが勉強や部活、趣味、恋愛など主とするものが異なり、当然ながら人それぞれ好きなことや得意なことは異なる。進路指導でもよく耳にする**「自分の好きなこと、自分の得意なこと、社会が求めていること」**の共通部分を考えなさいという文句。私は活動の内容や順序を決めるにあたりこの文句を大切にした。それから1年、地域活性化に興味のなかったメンバーも自分たちの「やりたい」ことを学び舎でやってのけたことで、設立当時は消極的だったのが、今では自分たちの中に1つの核が形成され、安部のことについて考察したり、第2回安部っ子夏祭りを後輩たちが「やりたい」と私に言い、率先して企画内容を考えてくれるようになった。正直、設立当時は第1回で終わると思っていた。しかし、それが私の強制ではなく皆なから**自発的に行動してくれるようになった。**私はこのことが1番嬉しかったのだ。私に「第2回をやりたい」と伝えてくれた時に後輩に1つ言ったことがある。「夏祭りを第1回みたいに納涼祭だって思わんで良いだで。自分たちのやりたいことをやる。楽しむことが1番大切だけ。」と。第1回は“安部”にこだわりをもって各集落に屋台とステージ出演をお願いした。第2回も納涼祭ではあるが第1回にはなかった縁日系納涼祭へと変わった。また、第1回は安部小学校を卒業した16名のメンバーのみを運営メンバーとしていた。第2回では後輩たちの提案で近隣の中高10校から私たちの想いに“共感”してくれた中高生37名がスタッフとして集まった。1年でここまで成長することに私自身驚いた。**これが「地元愛」を育む活動であり私の考える「本質的な教育」である。**代表である私が強制しなくとも、強制しては本末転倒である。メンバーの中で小さな小さな核を形成し、それに“共感”したメンバーが1つの目標に向かって探究していく。そしてその成果が見えた時に達成感と共に学びが形成される。人生の中では本当に些細なことかもしれない。でも、メンバーにとって何かの始点となり、今後各々で向きと大きさを定めて飛躍してくれることができる場になっているのであれば、設立したことに対して価値を感じ、私にとってこれ以上の嬉しさはない。近年、これからは学生がもっと自発的に動く必要があると社会は求めている。しかし、**やる気があってもチャレンジしにくい環境にあるのが現状だ**。以前、私は鳥取県の高校生が地域について考えるイベントに参加した。その際に、やりたいことがあるがやれないままにいる同級生、何かやりたいけど先生にも家族にも相談できず何をやればいいか分からない同級生などが多くいた。私はこのことが非常にもったいないと感じていた。中高生だからこそできること。むしろ、中高生でなければできないことも多いはずだ。「やりたいけどできない」という悩みに共感でき、少しでも環境を創ることができるのは同じ高校生である私だった。保護された環境下であり閉塞的な学校ではなく「やりたい」をやってのけることができる課外活動としてProjectを設立した。しかし、課外活動として中高生団体を設立した時に見えてきた課題があった。それは、メンバーの課外活動をする上での基礎的な力、私はこの力を「生きる知恵」と定義している。がまだ十分に身についていなかった点である。「生きる知恵」を身につける「生きる知恵」とは社会に出た時に必要になるであろう力、例えば、課題設定能力や表現力、プレゼン力。、対人関係形成能力といったものである。私が在籍する青翔開智中学校、高等学校は開校して6年目で**“自分たちで学校を創る”**がコンセプトとしてあり、私は中学校3年間を生徒会執行部として学園祭の資金を協賛金として集めたり、プレゼンの技術を身につけたりしてきた。私の場合は比較的に開放的、生きる知恵を学ぶことができる環境。な青翔開智で「生きる知恵」を少し学ぶことができた。しかし、このような開放的な環境下でもトラブルがあれば担当顧問が解決してくれ私たちは保護環境にあった。この事実は生徒の負担軽減や学びの場の提供として感謝している。しかし、安部小Projectは課外なので違う。運営資金として活用した八頭町補助金は税金の一部でありリスクも高い。責任重大だ。しかし、私はこの「生きる知恵」を生徒会在籍時に少し身につけたことでProjectの運営、補助金申請や行政文書作成など。が非常にスムーズにできた。しかし、Projectを運営しようにもメンバーの「生きる知恵」の力には個人差があった。この時に私は学校教育において「生きる知恵」として課外でも活きる力を身につける必要があると感じ、県立高校、特に実業高校。の教員を目指すようになった。そして、数学教員を目指す理由は自己理念の形成の仕方の概念が数学の根本的な概念と似ており面白さを感じたこと。そしてこちらのほうが大事だが「生きる知恵」として先ほど挙げた**課題設定から検証、結果や打開策に至るプロセスは数学教育によって養われるものと考えるからである。**1つの固定概念に強く偏り思い込んでしまう垂直的な思考ではなく、様々な可能性を視野に持った平行的な思考で課題解決に取り組もうとする姿勢が大切だと考えている。数学ではこの力を養うことができる。課題に取り組む時に代数的または幾何的な別解を考えようと試みること。また、解決したものを他者に共有する時に数式で共感を求めるのか図形的に共感を求めるのか、それとも両方で共感を求めるのか、はたまた統計的手法や他の手法で共感を求めるのか。そういった課題解決や表現力を特に数学で養うことができるのではないかと高校2年生の終わりに感じるようになった。数学でなくとも日常の表現の中で人に共感を得ようとしたりする時には同じように必ず考えているはずだ。これらの力が「生きる知恵」である。それもあって、安部小Projectは地域活性化をする団体ではなく「生きる知恵」を少しでも養い、何より「やりたい」をやってのけ「自分これやって楽しい」という気づきのきっかけになってほしいと考えながら日々模索している。私が教員になったとしてもならなかったとしても、**子どもたちにそのような経験を自発的にできる環境を私は創りたい**。安部小Projectはその第一歩となっている。私はいずれ大学生になったらその大学の地域で、安部小Projectより規模を大きくして、大学の地域の子どもたちが「やりたい」をやってのけることのできる環境を整えたい。地域活性化とは起こるもの。さて、話を地域に進めよう。ところで、地域活性化とはなんだろうか。私はこの**地域活性化はあくまで何かあることをした作用によって起きるもの**であると考えている。我々は「地元愛」を育みそれを具現化することを目的に実施した夏祭りが、閉校後に校区行事がなくなった安部校区において間接的に地域活性化に繋がっている。夏祭りを開催したことで400人もの来場者があり「地域の要」である学校にまたコミュニティという場がうまれコミュニケーションが活発になった。つまり「地元愛」を育むことのできる環境になったのである。このような点から夏祭りの開催は効果があったと内部評価している。逆に**「安部っ子夏祭りをするための安部小Project」では全く意味を成さない**。これが集落内の伝統行事などで継続が困難になる理由である。**自分たちの「やりたい」ことを自分たちの学び舎でやって地域の方と交流し「地元愛」を育む**ことが「心の過疎化」を防ぎ、地域の活性化に繋がるものだと私は考える。そして地域に**理解、モノ。ではなく共感、心。**を得ようと心がけること。皆が「こうしていきたい」を実現しその成果が出た時こそ、その地域にとって真の地域活性化ができたと言えるのではないだろうか。変えるのではなく、変わる。安部っ子夏祭りを「地元愛」の具現化として実施し、大きな反響を呼び、また翌年も後輩が「やりたい」といって続いていく。先ほども述べたが、決して夏祭り＝納涼祭という等式が成り立つ必要はない。夏祭り＝ゲーム大会でも良い。夏祭り＝お化け屋敷でも良い。自分たちが「やりたい」ことを自分たちのできる方法で試行錯誤し、失敗を学び、成功を学び、喜び楽しみを学んでいくこと。私はこれを大切にしてほしいと考えている。そうして、“共感”する人が増え「心の過疎化」の進行が止まった時、今に計り知れない地域の活気が湧くのではないだろうか。その地域に住む人たちにとって住みやすい地域へと時代とともに自然と変わっていく。**変えるのではなく変わるのだ**。以前、こんな質問をされたことがある。「内田くんは、安部地区以外の地域活性化にも貢献したいと思いますか。」と。答えは「No」ではないが「No」に近い。理由は2つある。まず1つ目に何度も述べているが私が安部小Projectを設立した1番の目的は地域活性化ではないこと。2つ目に、先ほども述べたが地域活性化はその地域に住む人たちにとって住みやすい環境へと時代とともに自然と変わっていくことを指すと考えるからである。外の者が口出しして“変える”いわゆる再生事業という行為はその地域に住む人にとって本当に住みやすい環境へと変わっていくのか、疑問に思う。以上の2点より限りなくNoに近いのである。しかし、決して今の軸であり、この先私の世界が広がる中で、答えが変わってくることは十分に考えられる。ただ、この質問に対して「Yes」だと言わないのは自己理念の「モノではなく心」があるからであると考えている。**自己理念を持つことは自分の核の形成であり軸がブレないことに繋がる。**1つ1つの“点”から“立体”を形成し、自己の人生の主軸をしっかりと持ち「自分はこう考える」としっかりと相手に明示した上で、相手の理念や意見もしっかりと聞くこと。協調性を大切にするというのは相手に合わせるということではない。自分の意見を述べて相手の見解を聞く。自己理念を持つことは「あなた」を形成するだけでなく、生きていく上で「生きる知恵」と同様に必要な存在になるのではないだろうか。そして、聞きたい。**あなたの自己理念はなんですか。**

地域におけるIoT/ICTの実装事例。

**IoTとは**。IoT、Internet of Things。とは、モノがインターネットにつながることで、モノから情報を得ることができるようになり、モノから使用者へ最適な情報が提供されるサービスのことです。自動車の分野では、自動運転システムによって自動車の基本操作が自動的に行われます。医療分野では、自分の健康状態を医師との共有や記録することが楽になります。また、健康状態が悪化した時に注意のアラートを出すデバイスもあります。このように、IOTは私たちの生活をより良いものにしてくれます。**地域におけるIoT/ICT実装の課題**。現在、IoTは私たちの生活に少しずつ浸透してきています。生活を更に良いものへと変えるには、**地域全体での普及が大切**であると考えられます。しかし、地域にIoTを普及させるときには、様々な課題があると考えられます。総務省の調査によると、予算面や人手不足の面、知識不足が地域での**IoT/ICT実装の課題**の大部分を占めています。予算の面では、IoTへの投資などから財政が厳しくなるということが挙げられます。また、人手不足の面では、他の分野でも人手不足になっているため、IoTを地域に浸透させることを担当する役職に人を回すことができないということが挙げられます。知識不足の面では、IoT/ICTが地域に普及することで、もたらされる影響やIoTをどういった方法で普及させていくのか、イメージが湧きにくいということが挙げられます。一方で、地域の状態による課題も挙げられます。IoTを普及させる地域のインフラが老朽化している場合や少子高齢化、公共のサービスを利用するのが困難な方々への対応などが課題として考えられます。このことから、IoT/ICTを地域に普及させるのには多くの課題があることが分かります。しかし、IoT/ICTを地域全体に普及させると様々な利点があることも確かです。例えば、地域の人手不足や、生産性の向上、単純作業の削減、データ収集などが挙げられます。**鳥取県でのIoT/ICT実装例。**これまでに実際に鳥取県でIoT/ICTが実装された例を紹介します。**鳥取県矢頭町、2019。**地域の児童たちが、自分の住んでいる地域に隣接した歴史資源や自然資源などについて学びます。学んだ内容を子供たちが、自分たちで各地域の観光資源の地図にスマホを使って、観光マップを作っていきます。これによって、地域の子供たちから発信されたユニークなマップとなり、観光資源の情報を発信します。**鳥取県米子市、2019。**米子市では、IoTを子育てに取り入れました。保護者からの保育所への様々な意見や希望をデータとして集め、保育所への入所選考を早くきめ細やかに行うことを目的としました。これによって、保護者の満足度向上や職員の人件費削減を図りました。**鳥取県境港市、2017。**近年急増している外国人観光客によって、クルーズ船や米子空港の利用が以前よりも増加しています。この外国人観光客が良く利用する交通手段の利用を更に快適にするために、モデルルート情報や周遊計画の支援ツールなどの整備に力を入れました。その結果、増加した観光客の行動データを収集し分析することによって、インバウンド周遊施策へとつなげる取り組みが行われました。**全国のIoT/ICT実装例**。IoT/ICTの実装は日本全体で行われています。これまでに行われた全国のIoT実装例の一部を紹介していきます。**長野県駒ケ根市、2016。**駒ケ根市では、ビッグデータを農林水産業の生産性の向上や付加価値の増加を図るシステムに活用しました。熟練農家の技術やノウハウをデータ化し、一般の農家も活用できるシステムやGPSなどを用いてトラクターの自動運転の実現、ロボットセンサーなどを導入して、樹木の位置や種類を把握する取り組みが行われました。**沖縄県、2016。**生産、加工、販売工程にIoTを取り入れました。これらのプロセスにおいて、各事業者を一体化することで付加価値を生む取り組みや顧客データの分析による収益性の改善やデータの利活用、情報発信を促し地域ビジネスの活性化を実現する取り組みが行われました。**北海道天塩町、2016。**天塩町では、過疎地域の交通手段が大きな課題とされていました。その課題を解決するために取り入れられたのがIoTです。ある場所まで移動する予定のある車の情報を交通手段がなく困っている人に提供する仕組みです。車に乗せてもらう側は、ガソリン代を運転者に支払うことによって、経済合理性と高利便性のある優れた移動インフラの構築が行われました。鳥取県のIoT実装状況上のグラフは、総務省のデータを基にIoT実装状況における鳥取県と全国の平均を比べたグラフです。グラフより鳥取県では、**全国と比べてIoTの実装状況が高いことがわかります。**Iotの実装が何を指すのかということは考慮する必要はありますが、鳥取県が全国平均よりは高いということは知っておくと良いかもしれません。IoTの普及で、鳥取県で暮らす人々の生活がより便利なものになることは、いいことだと思います。**また、それらの取り組みに更に力を入れることで、鳥取県に新たなビジネスの市場が生まれるかもしれません。**鳥取県の企業が魅力的になるためにIot/ICTの実装は、行政だけでなく企業にとっても大きなテーマになります。若い世代に企業の挑戦の姿勢をアピールする上で、**「テクノロジーに投資している」**ことは、一つの強みになります。実際に、**鳥取県での就職を希望しながらも、IT事業に取り組む企業の少なさから鳥取就職を諦めた人は存在します。**IT企業でなくとも、社内にIT部門を設置するなど、挑戦することで若い世代の採用につながるかもしれません。鳥取県が全国に先駆けて、人口減少に直面します。ITを活用した、先進的な事例の創出に取り組むことができれば、鳥取県全体がより魅力的になるかもしれません。

学生が企業選びで大事にするポイントを知っていますか。

**福利厚生の重要度**。就職活動を行っている学生が企業に求めているものは何なのでしょうか。企業の経営者にとっては、学生がどんな基準で就職先を決めているかは気になることと思います。はじめに、マイナビのデータより、学生が「企業選びで最も注目するポイント」の上位10項目をグラフにまとめました。グラフより、**就職活動をするときに注目する項目として福利厚生が14。3%、社員との人間関係が13。8%、企業経営が安定しているが13。1％**となっています。福利厚生を重要視している就職活動生の割合が一番多くなっています。このように、企業選びにおいて**福利厚生は就職活動をする上での大きな一つの基準**となっていると言えます。**福利厚生とは**「福利厚生」とは、企業側が従業員に対して、通常の賃金や給与に付け加えて支給される**非金銭報酬**のことを言います。多くの場合、福利厚生は従業員だけではなく、その配偶者や家族にも及びます。福利厚生は、従業員の仕事に対する勤労意欲や能率の向上をもたらす狙いがあるとされています。福利厚生には、法定福利と法定外福利の2種類あります。法定福利とは、企業負担が義務づけられている福利厚生のことを言い、社会保険と子ども、子育て拠出金を加えたものを言います。一方で、法定外福利とは、企業側が独自に従業員に提供する報酬や制度のことです。法定外福利は、企業によって違うためその企業の特色が現れると言われています。**福利厚生の壁**福利厚生の充実が、鳥取県における地方就職を増やす方法の一つと言うこともできるでしょう。しかし、福利厚生の充実はそう簡単には上手くいかないのが現状のようです。ここでは、福利厚生のメリットとデメリットについて挙げてみます。**メリット**、採用時に人材が集まりやすい→福利厚生の充実度は、その企業の従業員への配慮や尊重の度合いを読み取ることができるため、採用活動のアドバンテージの一つにもなり得ます、従業員満足度やエンゲージメント、愛着。の向上→働きやすい環境づくりによって、高い集中力で仕事に取り組むことができます。その結果、企業へのエンゲージメント、愛着。が生み出されていくでしょう、企業の信頼性の向上→充実した福利厚生を提供することで安定した経営基盤の証明になります。また、従業員などへの考慮によって、社会へのアピールにもなります。**デメリット**、コストの負担が大きい→従業員の所得が上昇するほど、企業の負担額も大きくなります。また、新しい制度を導入するたびにコストの負担も大きくなっていきます、管理が大変→福利厚生の制度によって処理方法が異なります。これによって、申請書類の作成や受付、利用後の処理などの作業は膨大になります。福利厚生制度の利用率に差が出る→例えば福利厚生の中で「子育て」にフォーカスします。この場合、子育てをしている家庭ではその恩恵を最大限に受けることができます。しかし、子どもがいない家庭や子育てがひと段落ついた家庭では、その恩恵をあまり受けることができないと言えます。このように社員の中でも不平等となってしまうことがあります。**就活生が求めるもの**。福利厚生を充実させることは簡単ではありませんが、福利厚生の充実は企業に大きな利益をもたらすと言えるでしょう。そんな中、実際に就職活動をしている学生は、企業側にどのような福利厚生を望んでいるのでしょうか。マイナビのデータより、上位5位までをグラフにまとめました。グラフより、家賃補助や社宅、社員寮のように就職活動をする学生にとって家賃補助は学生にとって非常に魅力的だと言えます。新入社員にとって社会人1年目の生活は心配事がたくさんあります。その状況を踏まえ、家賃補助をしてくれる企業は就職活動を行っている学生にとって魅力的に映ると言えるでしょう。そこで、**家賃補助の充実を鳥取県の企業が推進していくことで、就職活動において鳥取県での就職を選択肢に入れる学生を増やすことができるかもしれません。**最後に。今回は、福利厚生をビジネスの視点から様々な考察をしました。**現在の就職活動をしている学生は、福利厚生の充実を企業側に望んでいます。**この事実を鳥取県の企業が人材の採用に上手く活用することによって、鳥取県で就職をする学生が少しでも多くなればと私たちは思っています。

鳥取県の奨学金助成制度。

**奨学金。**「奨学金」とは、奨学制度に基づいて学生を援助するために付与または給付されるお金のことを言います。奨学金によって、経済的に厳しい家庭でも子どもを進学させることができるようになりました。また、学費を稼ぐためにアルバイトに費やしていた貴重な学生時代の時間を勉強に費やすことができる時間になりました。このように奨学金制度があることによって、**学生の選択肢を広げる**ことができ、学生に大きな恩恵をもたらしました。しかし、奨学金は良いことばかりだとは言えません。**奨学金の返済期限の厳しさや高額な返済額などにより、社会人になって奨学金に苦しめられることがあります。**鳥取県では、この奨学金を助成する制度があります。今回は、鳥取県の奨学金制度に対しての取り組みについて紹介します。**奨学金の利用率**。まず、日本の奨学金を利用している人はどれくらいいるのでしょうか。日本学生支援機構のデータによると、**10年間で7％増加し**、**37%の学生が奨学金を利用しているそうです。**奨学金の利用者が増えた理由として挙げられるのが、大学への進学率が上昇したことです。奨学金により、勉学に時間を投資できる人が増加したことは、日本の将来にとってとても良いことだと言えるでしょう。**奨学金の借入総額**。では、実際に奨学金を利用している人はどれくらいの金額を借りているのでしょうか。労働者福祉中央協議会のデータによると、**奨学金の借入総額は平均で約330万円となっています。**330万円を返済するには、**月に約1,7000円を返済していくとすると1415年かかります。**家族の養いや高齢となった親の介護を考えると、**奨学金の返済負担はとても大きなものになっている**と言えます。**鳥取県の**「**鳥取県未来人材育成奨学金支援助成金**」県内の対象業種に正規雇用された方、180名。に奨学金の返還を助成する**全国初**の政策です。**奨学金が最大216万円助成されます**対象業種、製造業、IT企業、薬剤師の職域、建設業、建設コンサルタント業、旅館ホテル業、民間の保育士、幼稚園教諭の職域、農林水産業。対象者、専門学校生、高専生、短大生、大学生、大学院生、卒業生、35歳未満。**I J Uターンで県内就職される方も大歓迎です。鳥取県出身かどうかは問いません**。募集の条件、8年間継続して勤務する見込みがあること、鳥取県内に定住する見込みがあること。さらに詳しい情報は[「鳥取県　HP」](https://www.pref.tottori.lg.jp/251627.htm)をチェック。このように、鳥取県に就職することによって、奨学金の負担を少しでも減らすことができる取り組みとなっています。鳥取県の魅力はこの取り組みだけではありませんが、奨学金負担を抱える学生にとって、魅力的であることは間違い無いでしょう。最後に。これらのように奨学金は学生にとってはとても大切なものとなっている反面、社会人となってから私たちの生活を圧迫する一面を持っています。この奨学金制度と上手く付き合っていく手段の一つに、各都道府県別に行っている奨学金助成政策が挙げられます。この奨学金助成政策を通して、鳥取県就職という選択肢を考えてみるのもいいと思います。

鳥取の蟹を贅沢に使ったお酒ができました「蟹祭り」「カニのお酒」

鳥取県は蟹が有名。鳥取県は蟹の一大産地です。**「蟹取県」**と銘打ってPRに取り組み、今年の初競では鳥取の市場で最高クラスの蟹が500万円で落札されましたこの価格は世界一位です、2020/2/26時点。そんな鳥取県に、**蟹のお酒**が誕生しましたおそらく日本初、いや世界初かもしれない蟹のお酒、**「蟹祭り」**を紹介します。蟹のリキュール「蟹祭り」鳥取県には、蟹を使ったお土産は数多く存在します。鳥取県の新しいお土産として生まれた蟹のリキュール、お酒。が**「蟹祭り**」です。山陰の港で水揚げされたズワイガニの身を贅沢に使っており、写真から分かる通り、蟹身がたっぷりと入っています。そんな面白くも気になるお酒を作った会社が鳥取県八頭町にあります。北岡本店の鳥取工場。株式会社北岡本店は、奈良県吉野の地で創業され、150年の歴史を持つ老舗のメーカーです。全国各地の果物農家と契約し、多様な果物リキュールを製造、販売されています。「八咫烏、やたがらす」や「吉野物語」など、一度はお見かけしたことがあるのでは無いでしょうか。そんな北岡本店が、令和元年の11月から**八頭町の廃校を利活用し、鳥取工場を立ち上げ**られました。鳥取県産の柿、梨を使ったリキュール**「万葉の宴」**など、鳥取の農産品を使ったお酒づくりに注力されています。そんな北岡本店が**「他のメーカーが作れない、作ったことの無い商品を作りたい」と開発した新しいお酒が「蟹祭り」**です。おすすめの飲み方

今回、北岡本店の方におすすめの飲み方を聞いてきました。**1蟹リキュールとお湯を2、1で割る**。**2寒い日には、40℃くらいまであっためる**。**3氷を浮かべてロックで飲む**。**4レモン、ライムなど柑橘系果汁を数滴加えてさっぱりと飲む**。どれも美味しそうな飲み方です。カニのお酒の気になるお味は、「蟹のお酒ってどんな味なんだろう。」と多くの方が気になることと思います。ちなみに、著者は上記の**温めて飲むスタイルが一番好きでした**口の中に広がる蟹の風味と存在感たっぷりの蟹身これは、まさに、と、感想はここまでにしておきます笑。実際の味は、是非ご自身でお試しください。2/29の試飲会は中止になりました。多くの方が**「カニのお酒を飲んでみたい」**と思われると思います。取扱店舗については随時更新していきますので、続報をお待ちください北岡本店鳥取工場で、鳥取のカニを使ったリキュールの試飲会が開催される予定でしたが、コロナウイルスの影響で中止となりました。日時、2月29日　13時から16時。場所、北岡本店　鳥取工場、旧船岡中学校。住所、鳥取県八頭郡八頭町坂田30番地。追記、延期です。別日開催は未定です。株式会社北岡本店　鳥取工場。北岡本店へのアクセス、連絡先は以下になります。

鳥取県の所得ランキング。

所得から鳥取県を見る。地域格差がどんどん広がっているとされる今の日本。この状況の中で、日本を都市と地方で分けた時、鳥取は地方の枠組みに入ると思います。実際にデータを見ることで鳥取の位置付けを客観的に把握していく必要があります。今回は**所得**という面に着目して見ていきたいと思います。**鳥取県の所得が全国で41位**。2018年に行われた厚生労働省によるある調査の結果、鳥取の県別平均年収は41位ということが分かります。上のグラフにもある通り東京が622万2900円なのに対して**鳥取は390万2200円**で**その差なんと232万700円もあるのです。**グラフの通り最下位である宮崎県と比べると大した差はありません。**鳥取県の市町村別平均年収。**次に全国で1741の市町村がある中で鳥取県各市町村の平均年収の全国順位を見ていこうと思います。同じく2018年総務省発表の資料より算出されたものです。全国の中間から最下位近くまでを広く占めているようです。649位の日吉津村と1720位の若桜町では、約70万円近い差があります。鳥取県の市町村を東部、中部、西部に分類する。また鳥取の市町村だけを所得の多い順でグラフに表し、「東部を青」「中部を黄」「西部を緑」で色分けすると次のようになります。上記のグラフより、一定の偏りが確認できます。まず、**西部**の日吉津村、米子市、境港市といった地域が所得の高い傾向にあることが分かります。また、東部は鳥取市とその他市町村と大きく開きがあることも分かります。**ポジティブ**な側面に向き合っていく。私は現在、児童クラブ、いわゆる学童。で働いています。約半年働いて思ったことがあり、私の地元である福岡に比べて**学童を利用する家庭がとても多い**ことです。地元では子どもの数が減って学童がどんどん減っていっているという話をよく聞きますが、鳥取はそれとは逆で小学校の中にある学童だけでは足りず、公共施設の部屋を借りるなどしてどんどん学童保育の市場規模が大きくなっています。ある話によると、鳥取は賃金が少ないことから**共働きの家庭**の数が他県に比べてとても多く、放課後に子どもの世話を代わりにしてくれる学**童保育の需要が高い**そうです。鳥取には鳥取のビジネスチャンスが隠れているのかもしれません。**明石市の**事例。地方が人口減少に陥る中、若者が地方から流出することが問題になっています。若者が帰郷しない理由の一つが、所得です。少し話は変わりますが、兵庫県の明石市が人口のV字回復に成功した話をご存じでしょうか。決めては「**子育て支援**」でした。所得制限を設けずに、中学生までのこども給食費,医療費や第二子以降の保育料の無料化など「こどもを核としたまちづくり」を進めていました。世界の諸外国で見たら珍しいことではない政策でしたが、日本ではまだ行われておらず**全国初の取り組み**だったそうです。その結果、人口約29万8,000人で2012年まで緩やかな人口減少が続いていた明石市でしたが、2013年から増加に転じ、2017年8月以降、毎月のように過去最高の更新を続けて文字通りのV字回復を達成したのです。その結果、子育て関連の事業に取り組む会社が増え、飲食店も活気付いたと報告されています。このことから子育て世代の増加は地域経済に大きな好循環をもたらすことが考えられます。詳しい明石市の話はこちらのリンク 「[明石市の対策](https://www.sbbit.jp/article/cont1/35801)」よりご確認ください。**鳥取県は子育てのしやすい県**としてPRをしています。明石市の事例は鳥取県にとって大いに参考になるかもしれません。より、制度面や民間の取り組みを盛り上げ、全国に発信していくことは、人口増加だけでなく、所得の向上にも繋がるかもしれません。

10年後の仕事を考える「第一部」

**AIと共に生きる未来の仕事**。近い将来「AIに今ある仕事の半分以上が奪われてしまう」ということが言われていることをご存知でしょうか。ネガティブにとらえられがちな話ですが、実はむしろ良いことだと言う風にも言われています。YouTuberのCMにもあるような「好きなことで生きていく」という仕事観に近づいていくのかもしれないからです。そこで2018年に発売された「**10年後の仕事図鑑**」という本を参考に、未来の仕事の本質について考えていこうと思います。本記事は二部構成となっており、今回の第一部ではこの本の中で紹介されていた仕事の未来予想をする上での重要な「**考え方**」をいくつかピックアップしたいと思います。第二部では具体的な未来の仕事について触れていきたいと思います。**今を懸命に生きよ**。この本の出だしは、堀江さんの「僕は未来のことを考えることが嫌いだ。」という「10年後の仕事図鑑」というタイトルからは想像のつかないような一言から始まっています。**1年後だってどうなっているかわからないのに、10年後の未来を想像することに何の意味があるのだろうか。**「10年後の仕事図鑑」と、堀江さんは考えてらっしゃるからだそうです。遠い未来のことを考えすぎて情報過多になるよりも、可能性の一つとして頭の片隅に置きながらも**今を全力で生きることの方が大事なのかもしれません。過去の常識をすてよ**。本書ではこれからの働き方は「**すべてが逆転する」**と指摘されています。今回は、特に面白いと思った2つの内容を取り上げたいと思います。**速く安く働く人がいなくなればオートメーション化が進む**。これはざっくりというと、「今の仕事がきつすぎて辛い」と思ったとき、辞めてしまった方が市場原理が働き、その業界のためになるという仮説です。具体的には保育士が労働に見合うだけの給料をもらえてないと感じたら辞めてしまえば、その保育士業界の人材が不足します。すると、少ない人材でやっていくためにも最新技術を取り入れ人の代わりになるものは機械にやらせようと業界全体で動くからです。あくまで、市場原理の話であり、現状は人がいなくなることで多くの方が困ることは間違いありません。しかし、安い賃金でも働き続ける人がいる限りオートメーション化が進まないと言う問題とは向き合う必要があるかもしれません。**会社で働くことは”湯婆婆さんに名前を奪われる”のに等しい。**これは会社で働くことをスタジオジブリの「千と千尋の神隠し」の一つのシーンに例えたものです。主人公の千尋が湯婆婆の下で働く際に、千尋の名前を奪われたときのシーンを想像してください。あのシーンこそが「雇用」の概念の縮図だと本書では言っています。会社で働くことは個人の功績が会社の功績となり、「〇〇さんが作った商品」ではなく、「△△会社が作った商品」となるということです。ここで誤解されたくはないのですが、会社に入ることを否定しているのではないのです。個人の市場価値の重要性が高まるこれからの未来でこの考え方を理解しておくことはとても重要であり、**会社にしがみつく必要はない**と指摘されているだけです。上記以外にも、「日本の就活システムはいかれている」や「大企業信奉は捨てるべき」などの話が本書には載っています。興味の湧いた方はご覧ください。**10年後の仕事を考えるうえで、必要な考え方について**。**今を懸命に生き、過去の常識を捨てる。**この二つが10年後の仕事を考える上でとても必要な考えだと思いました。第一部では未来の仕事を考える上での特に重要だと感じたポイントを取り上げました。第二部では、具体的にどんな仕事がなくなり、どんな仕事が誕生すると著者が考えているかについて紹介します。

10年後の仕事を考える「第二部」

第一部では未来の仕事を考えるためのポイントを説明しました。今回も前回と同様2018年に発売された**「10年後の仕事図鑑」**という本を参考に具体的な仕事について「なくなる、変わる仕事」と「生まれる仕事、伸びる仕事」に分けて書いていきたいと思います。しかし、ここで注意してもらいたいことがあります。未来の仕事の予想など血液型占いほどの精度でしかないと本書では言われております。なので、**あくまで実現の可能性のある一つの意見**として頭の片隅においていただく程度で受け止めてください。 また、本記事では私が特に共感できた内容のみをピックアップしております。**なくなる、変わる仕事**。エンジニア、安くなる。「食いっぱぐれない仕事」として挙げられるエンジニアですがプログラミングが一部の人にしかできないような専門職ではないことや様々な学習サービスによって誰もができるようになります。介護職、サービスの在り方が変わる「人がやるべき仕事だけに」なるという意味で業務が減ります。テレビ、スマホネイティブ的な発想、テレビは進化する。YouTuberの登場などからテレビ業界の衰退を予想する人もいるかも知っれないが、変化の使用によってはこれまで以上にユニークな業界になり得ます。例えば、AIが100万人の視聴者の意見を修二に判断し、その声に対してひな壇芸人がリアルタイムに突っ込み、ボケるなどAIを運用した新たな番組制作ができるようになります。翻訳、Google翻訳で十分今後翻訳アプリの精度が上がっていくのは時間の問題。もしこれから翻訳者として生きていきたいのであれば技術や付加価値がないと難しくなります。農業、機械化によって豊かになるほぼすべての工程がIoTによって自動化される日もそう遠くはないようです。コンビニのレジ打ち、もうすでになくなり始めているセルフレジとは違って、AIが分析することで買い物客がなにを買ったのかわ認識しスマートフォンアプリで記録されアカウントに請求が来ます。飲食店、人が消える店と、消えない店。属人的な理由でお客さんが来店する店、スナックなど。以外はロボット化します。**生まれる仕事、伸びる仕事**。ドローン操縦士、必要になる。農作物の生育状態、老朽化した建物の状態のモニタリングや警察のパトロールなどドローンパイロットの需要がこれから増えると予想できます。観光業、多様になる。「少しマイナーなアクティビティ」や「そこでしかできない体験」を提供するサービスは海外の旅行事情からみても今後伸びると予想されます。AIを操る仕事、大本命。クリエイティブすら模倣するAIを操る。「AIを含む技術トレンドは、次はこういうことをやりたがっている」といったことが読める人は今後も重宝されると予想できます。**最後に**。第二部では「なくなる、変わる仕事」と「生まれる仕事、伸びる仕事」について紹介いたしました。特に後者は前者に比べて挙げられる項目の量が少なかったです。それは近い未来の仕事をぼんやりと予想することができても5年後、ましてや10年後近くの未来を予想することなどできないからです。しかし、それはこれからの未来は私たちの手で明るいものにも暗いものにもなんにでも変えられるということではないでしょうか。鳥取でも明るい未来を掴み取ろうとされている方々がたくさんいらっしゃいます。「TOTTORI BUSINESS ONLINE」の記事が鳥取の方々の何かの気づきになれば幸いです。

鳥取県の「消滅可能性都市」は人口減少に伴って増えている

**地方自治体の存在危機**。総務省によると、日本人の人口は平成20年の1億2,808万人をピークに、12年連続で減少し、令和2年1月1日に総人口は1億2602万人となりました。歯止めの利かないこの人口減少ですが、地方にお住まいの方々が心配なのは**今住んでいる地域が自治体としての存在を維持できるのかどうか**ではないでしょうか。そして日本創成会議は「**消滅可能性都市**」という言葉を作りました。「**消滅可能性都市**」とは何か、鳥取の消滅の可能性のある自治体はどこなのかをデータに基づいて見ていきたいと思います。**「消滅可能性都市」とは**。「消滅可能性都市」という言葉を1度は耳にしたことがあるのではないでしょうか。その厳密な定義は「2010年から2040年にかけて、20 39歳の若年女性人口が 5 割以下に減少する市区町村」で、2014年に民間有識者でつくる日本創成会議が打ち出した考え方です。人口流出、少子化が進み、存続できなくなるおそれがある自治体を指し、全国の自治体の約半分の896自治体及び、うち人口1万人未満になる**523の自治体**は、**実際に消滅してもおかしくない危機にある**と指定して、早急な人口対策を促しました。**鳥取における消滅可能性のある自治体**。上記の定義より、例年続く鳥取の人口減少によって消滅可能性都市と考えられる自治体を見ていきます。「日本創成会議、人口減少問題検討分科会より提言された記者会見資料より算出された若年女性人口変化率、2010年→2040年。をご覧ください。太文字の市町村は、人口移動が収束しない場合において、2040年に若年女性の減少率が50％以上であり、人口が１万人未満の市町村です。**鳥取県は19の市町村のうち10市町村が消滅可能性都市なのです。なんと半分以上もの市町村が消滅の可能性があるのです。全国で見ると中国地方の消滅可能性都市の割合は高くない**。上の円グラフより、実は日本創成会議によると全国人口変化率が高く消滅可能性都市とされる自治体は北海道,近畿,東北地方に多い傾向にあり、中国地方は該当都市が最も少ない地方なのです。1位である北海道には市町村の数が179か所もあり、他の地方についても都道府県の数が多く、このような結果になったと考えられます。しかし、これは**あくまで県ではなく地方という広い視野で見た時の話**であって鳥取県が全国的に見て消滅可能性都市の少ない県だとは言い切れないのでご注意ください。**東京の消滅可能性都市「豊島区」が起こす、本気の「まちづくり」について**。東京都豊島区が起こしたまちづくりについてご紹介いたします。 豊島区は人口増加傾向にありながら、**転出入が活発で、定住率が低いこと、単身世帯の割合が多いこと、さらにその半数が若年世代だったことから**、2014年に消滅可能性都市に指定されました**。**そこで豊島区は住んでいる人に焦点をあて、豊島区で暮らす面白さを伝える区のオウンドメディア**「としまscope」を制作したり、「としまぐらし会議」という住民参加型の企画で、区政をより身近に感じてもらう機会の創出に取り組み、豊島区で暮らす魅力の発信に力を入れていったのです。**その結果、地域内外に豊島区の魅力が伝わるようになり、地域の商店が大いに賑わうようになったそうです。また、事実としてTOTTORI BUSINESS ONLINE の編集チームにまで情報が届いています東京という都市の中で、人口自体も増加傾向にあり、**現段階で消滅の危機に直面したわけではないにもかかわらず、**先を読んでこのような対策を講じた豊島区には驚かされました。詳しい豊島区の情報はこちらのリンクよりご覧ください。**最後に。**鳥取県の半数以上の自治体が消滅可能性都市であることをご存知だったでしょうか。豊島区の対策事例から、住民が一体となって地域の魅力を知ることの大切さが改めて感じられます。鳥取県が今、**どんな対策を取ることができるかどうかが、今後に大きな影響を与えることは間違い無いです。鳥取県に就職したい若者を増やすために、いかに魅力的な地域にしていけるかが問われています。**この「TOTTORI BUSINESS ONLINE」でも鳥取で活躍する方々の営みを最大化できるよう全力で発信し続け、鳥取県がもっと魅力的な県として多くの人に認知していただけるよう努めてまいります。

コロナウイルスの影響で血液が不足しています。

新型コロナウィルスの影響。突然ですが、皆さんは、これまでに献血をされたことはありますか。経験したことのない方はご存知ないかもしれませんが、献血をするには一般的に2通りの方法があります。それは、**献血ルームでの献血**と**専用のバス**で行うものです。しかし、今の日本では、ある理由でこの2つの方法で献血をする献血協力者の数が深刻なほどに減少しています。その理由となっているのが、新型のコロナウィルスです。新型のコロナウィルスの影響で、人が集団となって時間を過ごすライブや催し物の自粛を政府が発表しました。また、人が多い場所をさける意識が強くなったため、特別な用事がない限り外出をする人が少なくなっています。そうした動きによって、献血の専用バスが、**一番利用されていた催し物会場での献血の協力を得ることができなくなっています**。新型のコロナウィルスの影響は、いつまで続くか見通せないのが現状です。こうした動きが続くことによって、献血の不足問題が大きくなっていくことが想像できます。**献血の供給不足。**こうした状況を踏まえ、日本赤十字社が献血協力者の募集をしています。日本赤十字社のデータをグラフにまとめました。上のグラフは、必要量に対しての毎日の献血協力者数を表しています。日本赤十字社によると、献血協力者数は、**一日に1,3000人も必要**だそうです。そして、上記のグラフより、**2/252/29の5日間の間で献血者数が5,793人も不足**していると日本赤十字社は発表しています。グラフにおいて献血協力者数が減少し始めている2/162/22の間では、国がイベントなどの延期などを呼びかけ始めた期間と一致しています。これによって、**献血協力者数が減少した理由として、新型コロナウィルスが影響している**ことは確実です。日本赤十字社によると、ここ数日で血液が無くなるということはないそうですが、3月の中旬から下旬にかけて厳しい状況が続くと公表しています。また、現在、特に日本赤十字社の献血で不足している血液型は**O型**であると言われています。献血の過程。献血に実際にいかれたことのない方は、献血の過程を知らないかもしれません。知らなければ、足を運ぶことも悩まれるので、是非この機会に知っていただけたらと思います。1,**献血**への同意。本人確認や献血の副作用、献血で採取した血液の利用目的などに同意することで、献血をすることができるようになります。2,**質問への回答**。献血を安全にするために、献血希望者の健康状態を確認する質問に答えます。3,**問診/血圧、体温測定**2の質問で回答した内容を基に、問診と血圧、体温測定をします。4,**ヘグロビン濃度測定/血液型事前測定**ヘモグロビン濃度が基準を満たしているかの測定や血液型を事前に検査します。5,**採血**採血時間は、全血献血で1015分程度、成分献血は採血量に応じて4090分程度の時間がかかります。6,**休憩**献血後は十分に水分補給をして、10分以上の休憩をします。上記の流れです。このように献血場合は、全体を通して3040分程度で終わることがほとんどです。献血場所やタイミングによって異なることもありますので、お住まいの県の献血情報をお調べください。**献血**に協力しましょう献血で一番のメリットと言えるのが、他人の命を直接救うことができるということなのではないでしょうか。採取された血液の利用用途の多くは、がん患者さんの治療であると言われます。普段の私たちの生活では、医療関係者などではない限り他人の命を直接救うという体験はめったにできないと思いますし、そのような状況がないことを願っています。しかし、私たちの周りでは、日々命の危険にされている人が少なからずいると言えるでしょう。そのような人たちの命を救うのを手伝うことができるのが、献血で自分の血液を提供することです。現在、新型コロナウィルスで家庭にいる時間が、多くなったという人が増えていると言えます。体調が良く元気が有り余っている人は、外に出て気分転換をするついでに、献血をしてみるのはどうでしょうか。献血される方が一時期に集中することを避けて、有限で貴重な献血血液を有効に活用するため、献血ルーム等では、ご協力をいただく際には可能な限りご予約をお願いしております。また、日々必要になる血液を長期間にわたり安定的に患者さんにお届けするためにも、一時期に偏らない献血をお願いしており、献血日の調整をお願いすることがございます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。[*「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う献血のお願い」*](http://www.jrc.or.jp/activity/blood/news/200228_006090.html)なお、様々な側面から「献血の予約」が重要なことを、是非覚えておいてください鳥取県の献血施設情報鳥取県にお住まいの方々も、献血に積極的に協力していただきたいという想いから、以下に鳥取の献血情報にアクセスできるURLを貼っておきます。是非ご覧ください。[「鳥取県赤十字血液センター」](https://www.bs.jrc.or.jp/csk/tottori/index.html)[「献血バス運行スケジュール」](https://www.bs.jrc.or.jp/csk/tottori/place/m1_03_index.html)

日本のテレワーク導入率は約2割。

新型コロナウイルス感染症で様々な企業が影響を受けています。その中で、「テレワーク」や「在宅勤務」などが話題となっています。そこで今回は、**テレワーク**に関して調べました。**テレワークとは**テレワークとはICTを活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方であり、本拠地のオフィスから離れた場所でTelしながら、電話しながら。、仕事をすることです。ICTツールとして、リアルタイムメッセージングとコンテンツ共有が可能な企業向けビデオ会議ができる「[Zoom](https://zoom.us/jp-jp/meetings.html/?zcid=2001&creative=372836060797&keyword=%E3%81%A7%20zoom&matchtype=b&network=g&device=c&gclid=Cj0KCQiAhojzBRC3ARIsAGtNtHURpxRlXbaVaOdPJLjfP0aK-DJzhkuUDzxFitVaB22nBzBoPiQvGXoaApYLEALw_wcB)」などがあります。**近年のテレワーク導入状況**まず近年の日本のテレワーク導入状況は次のグラフの通りです。引用元、総務省「通信利用動向調査」多少の上下はありますが、国内における企業のテレワークの導入率は、H28の13。3%からH30には19。1%と上昇しています。19。1%が、テレワークの導入状況として進んでいるのかということを考える前に、事実として約8割の企業がテレワークの導入をしていないという現実があります。平成29年から平成30年にかけて、6%近く上昇しており、今回のコロナウイルスの影響で今後も上昇していくことが考えられます。次に日本と海外での導入率を見ていきます。引用元、総務省「平成30年通信利用動向調査」海外のテレワークの導入率と日本の導入率を比べると、アメリカの導入率が圧倒的に高く、85%もの企業が導入しています。**日本ではたった2割ほどの企業しか導入していません**。アメリカやイギリスなどテレワークの導入率が高い国は、非常に高い生産性を誇っていると考えられます。他国はさておき、日本のテレワーク導入率が低い要因の一つに、文化として、直接会って仕事することが重視されているのかもしれません。**政府の取り組み**平成28年７月から内閣官房長官指示によって、テレワークに関する府省連携を強化するために**関係府省連絡会議**が開催され、テレワーク推進に向けた各府省の取組の共有や連携施策の検討、推進を実施しているようです。テレワークに関する詳しい情報は以下のサイトよりご覧ください。**最後に**コロナウイルスの蔓延のような状況下でテレワークを導入している企業と、そうでない企業とでは大きな差が現れることと思います。しかし業種によっては、テレワークの導入が難しい企業もあることが事実です。テレワークだけでなくフレックス制など、柔軟な働き方を認めていくことが、鳥取県の企業も必要かもしれません。

シャッター街が多い理由。

**衰退する商店街**突然ですが、頭の中で商店街を想像してみてください。私は夕方にたくさんの人々で溢れかえり、暖かくにぎやかな風景を想像します。しかし、近頃は、そのような風景を見ることが少なく、シャッター街が増え、活気のなくなった地方の景色を見ることが多くなったと思います。鳥取駅前、倉吉駅前、米子駅前を想像してみてください。シャッター街を思い浮かべる人は少なく無いと思います。今回はシャッター街について考えていきます。**シャッター街とは**シャッター街とは、シャッターを下ろし営業をしていない商店や事務所が並び、衰退した商店街を表す言葉です。**商店街は街の賑わいを象徴する**場所であり、商店街の衰退は街の衰退と言っても過言では無いかもしれません。**シャッター街が増える原因**まず知っていただきたいことが、シャッター街がふえる原因は一つではなく、**あらゆる要素が複合的に作用することで起こる**と言われています。数ある要素のいくつかを並べると次のようなものが挙げられます。自動車の普及により、都市部に行く人々が増えた自動車の普及により、商店街を歩く人が減った空き店舗を貸すのが面倒、私用にしたいなどの理由で空き店舗を貸し出す大家が少ない空き家の二階に引退後も居住することから店舗の貸し出しを渋ってしまう夜のみ営業の店舗の増加店自体の魅力不足**宮崎県日南市の事例**宮崎県日南市では、まちづくりのプロの藤亮太さんと田鹿倫基さんが市長によって任命され、活気のなくなった日南市の中心にある油津商店街の再生と、市外からの外需を獲得し日南市に新たな雇用を生むことを計画しました。まず、二人は実際に日南市で暮らし、日南市民と同じ目線でまちづくりを考えて、市民が自発的に参加したくなるようなイベントを次々と開催し、「**商店街にきたら面白いことがある**」という印象を市民に与えました。また、情報発信の活発な企業と協力し、日南市の様々な魅力を外部へ発信していったのです。その結果3年でシャッター街を再生することに成功し、数々のベンチャー企業が進出しています。都市部にあるような魅力に勝つことは難しいですが、「**気軽に行けて**」「**いったら何か面白いことをやっている**」という雰囲気を作っていくことで商店街の魅力が増え、シャッター街の数を減らすことができると感じました。詳しい日南市の話が知りたい方は こちらのリンクよりご覧ください。

**最後に**鳥取県にはシャッター街が多く存在しています。しかし、鳥取には「面白いこと」をしている方々もたくさんいます。鳥取の方々がその魅力を知り、商店街に訪れる楽しさを増やしていければ、かつてないほどの活気ある商店街の景色を見ることができると思います。商店街の新しい未来について、もっと考えていくことができればと思います。

価値への挑戦者 「”いなば西郷 工芸の郷 ” インタビュー連載」

はじめに**「価値への挑戦者」**が鳥取市河原町のある谷に集まっている。ものが溢れる時代に“人の手”によって価値を生み続けている工芸作家達が西郷谷にいるのだ。今回の連載では、工芸作家を中心に“営み”について、インタビュー形式でお話を伺っていく。「手仕事」に向き合い続ける「営み」から豊かに生きるヒントがあるように思う。価値とは。文化とは。生きるとは。それぞれの作家の生き方やその背景にある価値観や思想などを、じわりとお伝えしていきたい。“いなば西郷 工芸の郷”とは。「いなば西郷 工芸の郷」は、白磁作家で人間国宝になられた前田昭博さんが河原町西郷地区の現状を踏まえ、「ものづくりの郷」にしたいという思いから提唱された。工芸作家が自由な考え方をもとに切磋琢磨し、お互い影響を与えながら制作に打ち込み、文化人やファンなども巻き込み新たな工芸を西郷から発信していく構想である。行政、商工会議所、いなば西郷村づくり協議会が連携し、2016年には推進母体となる「一般社団法人西郷工芸の郷あまんじゃく」が誕生した。新人工芸作家の招へいや「西郷工芸まつり」など活発に工芸の郷づくりに取り組んでいる。なぜ工芸作家さんにインタビューするのか。工芸品は今までの伝統や歴史も受け継つぎながら、**移り変わる時代や流行のなかで現代まで残ってきた背景がある。**工芸作家は脈々と続いてきたものを背負いながら、時代や環境、自己などに対応し時に葛藤しながら、作品をつくりあげている。**工芸品は先述のような様々なものと対峙し向き合い続ける“営み”のなかから生まれてきたのだ。**ものづくりという観点からでいえば、産業革命が1８世紀に起こり、ものが機械によって効率的に作られるようになった。そこから技術はさらに進歩し、高度経済成長期を背景に大量生産大量消費の時代を迎えた。その影響もあり、今では身の回りのほとんどのものは手軽に安価な価格で手に入れることができる。さらに近年では、技術進歩により人間の仕事に匹敵し取って代わるようなAIや３Dプリンターといったものも登場した。そのような背景のなかで、**工芸作家は「手仕事」によって生み出される価値や意味について常に問われてきた存在ではないだろうか。**近代から現代にかけて、近代化、工業化、合理化、効率化がはかられた社会において、**工芸作家の「営み」は人が介在することへの挑戦でもあると考えられる。**この挑戦は物だけでなく人もコモディティ化にさらされている現代において、人間が豊かに生きる”営み”のヒントになるのではないだろうか。今回の連載を通じ、工芸作家さんとのやり取りの中でそのヒントを探っていきたい。今後について今後、TOTTORI BUSINESS ONLINEにて、西郷地区の工芸作家さんや関係者のインタビュー記事を紹介してゆく。錚錚たる顔ぶれのなか、口火を切っていただくのは**花輪窯**の**花井健太**さん、**友田恵梨子**さん。お2人のインタビュー記事を近日中に公開する。今後も西郷地区の工芸作家さん、またそれに関わる方々にもお話を伺い、工芸の魅力や豊かに生きるヒントに迫ってゆく。

鳥取県の産業構造を紐解く

産業革命がもたらしたもの**“産業革命”**。この言葉を小学校や中学校で習われた方が多いのではないかと思います。産業革命とは、以下のように紹介されています。18世紀半ばから19世紀にかけて起こった一連の産業の変革と、それに伴う社会構造の変革のことを言う。wekipediaより多くの方は、第一次産業革命から第三次産業革命までを習われたのではないでしょうか。**第一次産業革命**では、主に作業の効率化がアップしました。蒸気機関の登場によって、生産の面から交通の面まで、幅広く社会を変えたと言われています。**第二次産業革命**は、軽工業から重工業へ転換したと言われています。この転換によって、自動車業界などでは、大量生産をすることができるようになりました。この産業革命を境に、大量生産、大量消費の時代に入ったとも言えるでしょう。**第三次産業革命**は、自動化の世界をもたらしたと言えます。コンピューターを利用して、計算する作業の負担を減らすことや生産のラインを自動化することができるようになりました。このように、産業革命は産業の構造に大きな影響をもたらしました。ある地域の産業構造を見ることで、その地域が力を入れている業界を知ることができます。その地域の土地柄とビジネスを掛け合わせることで、より良い地域づくりができるのではないでしょうか。**日本の産業構造**日本の産業は、何に力を入れているのでしょうか。少し古いデータになりますが、国勢調査のデータをグラフにまとめました。グラフより、**平成27年の時点で第三次産業が7割を占めています。**第三次産業とは、小売業やサービス業などの無形財のことを指すのが一般的です。第三次産業が多い理由としては、技術が進歩してきているため、サービスの提供などに興味を持っている人が増えていることが挙げられのではないかと考えてられます。次に多いのが、製造業や建設業などの第二次産業です。機械などの部品とかを製造しており、日本の自動車産業などの土台を担っていると言えます。そして、最も低い割合は、農業や林業などの第一次産業です。全体の4%とかなり低いことが見受けらます。このデータからも、今後の農業や林業の運営が困難であると言えるでしょう。**鳥取県の産業構造**鳥取県の各市町村では、産業構造の割合はどのようになっているのでしょうか。国勢調査のデータを表にまとめました。表より、産業の割合は、各市町村によって大きく違っていると言えます。しかし、どの市町村においても言えることは、第三次産業の割合が一番高いということです。ここで、第一次産業の割合に注目してみます。**鳥取県のほとんどが、日本の第一次産業の割合よりも高いことが分かります。**特に、**日南町では33。4%とかなり高い数値**になっていることが特徴的です。このように鳥取県では、第一次産業から第三次産業までの全ての産業分野において、幅広い分野の職に就いていると言えるでしょう。その地域の特徴を上手く活用した産業。つまり、**“地域に寄り添う産業”**である第一次産業を盛り上げていくことが、より良い地域づくりになるのではないかと思います。**第4次産業革命。“第四次産業革命”**という言葉を聞いたことはありますか。第四次産業革命の同意義語として、「インダストリー4。0」がよく使われます。第四次産業革命は、IoTやAIによって、製造業などの更なるデジタル化、コンピューター化が進むことです。デジタル化、コンピューター化が進むことによって、作業の効率化や生産の向上、コスト削減などが図れます。作業が効率化することで、働き手の不足を補うことができるようになり、人手不足の問題に大きな影響を与えると考えられています。始めにも取り上げましたが、現在の日本で人手不足が大きな問題となっているのが、第一次産業であると言えます。第一次産業の特徴として、人の手が必要であることが挙げられます。今まで、人の手が必要であった第一次産業もデジタル化、コンピューター化によって、大きく変わると考えられます。鳥取県では、第一次産業が日本の平均よりも高いところがほとんどです。このデジタル化、コンピューター化を鳥取県が、より力を入れて推し進めることで、鳥取県の産業が、今以上の盛り上がりを持つのではないでしょうか。デジタル化、コンピューター化が普及することで、第一次産業などの人手不足問題の解消が期待されています。人手不足の問題が拡大し続ける日本にとって、第4次産業革命は、なくてはならないものなのではないでしょうか。

鳥取県の蟹、カニ。がピンチになっています。

鳥取県は蟹取県、かにとりけん。鳥取県の冬の味覚を代表する「**松葉ガニ**」。鳥取県の松葉ガニが美味しくなる理由は、海流が大きく関係しています。九州側から流れ込む暖流と北海道側から流れ込む寒流が交わる場所では、大量にプランクトンが発生するからです。たくさんのプランクトン達を食べ、日本海の荒波にもまれて育った松葉ガニは、身が大きくて旨味が詰まっており、身のしまりもよく、**「冬の味覚の王様」**とも言われています。松葉ガニとは、ズワイガニのうち、成長した雄のことを言います。 カニは地域や取れる場所などによって、呼ばれ方は様々です。また、その松葉ガニの中でも、鳥取県では、甲羅の幅が13。5㎝以上重さが1。2㎏以上、完全な形、足が揃っているか等、鮮やかな色合い、ぎっしりと詰まった身入り以上の5つの基準をクリアしたカニを**「五輝星、いつきぼし。」**と呼ばれるブランドとして売り出しています昨年、世界最高である500万円で落札された蟹も「五輝星」になります蟹、カニ。の価格下落現在、新型のコロナウィルスによって、幅広い業界が大きな影響を受けています。鳥取県のカニも例外ではありません。今年の2月の松葉ガニの1キロあたりの単価は3602円でした。この価格は、平年の約2割を下回ります。価格の下落は、2014年以降の2月の価格としては、**過去最低の数値**です。新型のコロナウィルスが、カニの価格に影響を与えた理由を2つ挙げます。まず、一つ目は、鳥取県内の宿泊施設や飲食店を利用する外国人観光客や県外からの観光客の大半が、店の利用をキャンセルしたことが挙げられます。二つ目は、送別会などの団体客のキャンセルが相次ぎ、予約がキャンセル/ほとんどないということが挙げられます。例年では、このシーズンになると、観光/送別会をするために店の利用客が増加し、繁華街などが賑やかな雰囲気に包まれます。しかし、今年は外出を控える動きがあるため、飲食店などの利用客が大きく減少しました。これによって、鳥取県の松葉ガニの需要が減り、ブランド価値が高まっていただけに**カニの価格に大きな影響**を与えることとなったのです。鳥取県に住む私たちにできること鳥取県は、「蟹取県」だけでなく、「ウェルカニキャンペーン」などで県内外に鳥取県の蟹を食べてもらおうと頑張っています。現在、鳥取県の飲食店にとっては大きなピンチとなっています。しかし、ピンチはチャンスという言葉がある通り、私たちの家庭にとっては手の届きやすい価格になっているのも事実です。新型のコロナウィルスの影響によって、外食にいく機会が減っており、学校も臨時休校となっているところが多くなっています。家族で食事をする機会が多くなっている傾向にあると考えられます。家族との食事を楽しむために、普段より豪華なカニ料理を食卓に並べるのも、外食に行き鳥取県の蟹を贅沢に食べるのも良いかもしれません。鳥取県は、蟹取県というキャッチコピーを掲げています。このキャッチコピーを今後さらに広めるためには、カニ業界の成長が不可欠です。カニ業界がピンチの今、私たちが進んでカニを食べ、カニ業界の拡大の手助けをしましょう。そして、「**蟹食県、かにくいけん。」**というキャッチコピーを作ってみるのもありなのではないでしょうか。

鳥取県は住みたい田舎2位

**住みたい田舎ランキング**「住みたい田舎」ランキングが、宝島社出版の月刊誌「田舎暮らしの本」2月号で発表されました。その結果を以下の表にまとめました。表より、鳥取市は全国の住みたい田舎で山口県の宇部市に次いで2位を獲得しています。日本には、数えきれないほど田舎がある中での2位は、生活の支援等に力を入れている鳥取市にとって、凄く光栄であると思います。

このランキングを通して、鳥取市の田舎としての魅力と、地方にある一つの都市としての魅力を知ってもらう機会になるのではないかと考えています。また、このランキングは、鳥取市が行っている取り組みが、広い世帯にとって魅力のあるものであるということを証明していると言えます。中でも、人気があるのが子育て支援だと思います。保育料や医療費の助成など、様々な取り組みがなされています。これらの結果、「子育て王国とっとり」というキャッチコピーが広まったのではないかと思います。**住みたい田舎の特徴**全国にある田舎でも、その地域に置かれている状況は様々です。様々な状況にある田舎ですが、住みやすい田舎と住みにくい田舎があるのは確かです。住みたいと思われる田舎の特徴にはどんなものがあるのでしょうか。この疑問を考えると同時に、鳥取市が「住みたい田舎」ランキング上位に選ばれた理由をTOTTORI BUSINES ONLINEで以前、取りあげた記事を基に考察をします。**1,市が移住を支援している**鳥取県では、若手の地元就職を増やすために様々な取り組みがなされています。その一つに、鳥取県に移住して就職をすると奨学金を助成する制度があります。その他にも、鳥取県に移住することで様々な特典が付く制度が用意されています。このように、移住の支援の充実度が住みたい田舎というのに影響を与えていると言えるかもしれません、参考にした記事[「子育て王国鳥取」を知っていますか。](https://tottori-biz.com/parentingkingdom/)**2,家庭の援助**鳥取県は、共働き率が全国で上位となっています。共働きをするにあたって、子育ての面や介護の面においてたくさんのハードルがあると言えるでしょう。そんな中、鳥取県では共働き率が全国の上位を占めていることから、働きやすい企業造りがなされていると言えるのではないでしょうか。これらの特徴は、移住を考える上では大きなプラス面になります、参考にした記事[鳥取の共働き率は全国7位](https://tottori-biz.com/tomobataraki/)**3,土地の価格**鳥取県の土地価格は、全国的に見るとけして高いものとは言えません。土地の価格が安いと様々な利点があります。その土地に住む人は、住宅ローンの借り換えやリバースモーゲージなどが有利になります。また、土地を買う人にとっては、土地が高い地域よりも大きな土地を買うことができます。土地の価格は、その土地に住むこと考える上では、大切な要素になると言えるでしょう、参考にした記事[「鳥取県の土地価格」は米子市が一位](https://tottori-biz.com/tottori-tochi/)**田舎の問題点**都会暮らしでは、感じることができない田舎ならではの問題があります。夜道の暗さや情報量の少なさ、最寄り駅までの遠さ、近くのコンビニまでの距離。これらの田舎特有の問題が、田舎に住むのを大変にしていると言えるでしょう。また、田舎にとって一番大きな問題が雇用ではないかと思います。田舎によっても違いますが、その土地にある企業の数が両手で数えられるという所があるのも事実なのではないでしょうか。企業の数が少ないことで、職種の数も少なくなります。それによって、若者たちが鳥取に就職せず、就職のために都会に出てしまうというケースが多くなっています。これらの問題を解決するのは、莫大な資金が必要であるため簡単ではありません。しかし、移住や家庭の支援をする制度を充実させることは、ハードルが高すぎることではないと思います。今回の「住みたい田舎ランキング」で上位3位の中に鳥取県の市町村が入ったのは、1つの市町村でした。このランキングに入る鳥取県の市町村が増えるように、鳥取県の魅力となりそうな鳥取県主催の支援政策があれば、その都度、積極的にTOTTORI BIJINES ONLINEで取り上げていきたいと考えています。

ドローンのビジネス事情

**これから拡大するドローンビジネス**ドローンは人が簡単に踏み入れられない場所の撮影はもちろん、地形モニタリングやインフラの老朽化点検、測量など、**あらゆる場面でドローンがこれから活躍していく**と言われています。また、中国を筆頭にエンターテイメントへの活用が期待されています。ドローンの市場規模は、2018年度の日本国内で931億円と推測され、2017年度の503億円から428億円増加しています。2019年度には**前年比56％増の1,450億円に拡大**し、2024年度には5,073億円、2018年度の約5。4倍。に達する予測されています、インプレス総合研究所の「ドローンビジネス調査報告書2019」より。今後、益々拡大が期待されるドローン市場について理解を深めていただくために、本記事では、現在の**ドローンの扱われ方と、鳥取で活躍されるドローン企業**について紹介します。**現在のドローンの扱われ方**ドローンとは簡単に言えば人が乗らなくて操縦できる飛行機です。ラジコンヘリコプターを想像していただければと思います。厳密な定義は「**無人で遠隔操作や自動制御によって飛行できる飛行機の総称**」です。最近では人がリモコンで操作せず、自動運転機能や自動追尾システムを搭載して人の手なしで飛行できるものもあります。**未来のドローンビジネス**「10年後のしごと図鑑」という本では堀江貴文さんがこれから生まれる仕事、伸びる仕事の中で**ドローンに夢中になった「遊びのプロ」が9兆円市場、世界の市場規模。のトップになる**[*「10年後のしごと図鑑」*](https://www.amazon.co.jp/10%E5%B9%B4%E5%BE%8C%E3%81%AE%E4%BB%95%E4%BA%8B%E5%9B%B3%E9%91%91-%E5%A0%80%E6%B1%9F-%E8%B2%B4%E6%96%87-ebook/dp/B07BGVZLDZ)とおっしゃっています。ドローンのこれからの活用の具体例には次のようなものが考えられます。空撮、地形のモニタリングや航空写真の撮影などでも。測量インフラ、ビル壁面などの点検流通業において物を運ぶ仕事をドローンがする農業分野、農作物の生育状況をモニタリング,種や肥料をまくなど。**ドローンの免許,資格**まず、**現時点でドローンに免許はありません**。航空法などの規制はあっても、それに基づいて国土交通省がドローン免許を発行することはありません。しかし、民間団体によってはドローン資格を認定する会社があります。まず、ドローンを飛ばすにはあらゆる法律の規制を知っておかないといけません。そのため、ドローンで何かしらのビジネス活用をする場合、民間資格を取得することには大きな意義があります。具体的には以下のような規制があります。航空法小型無人機等飛行禁止法さらに、飛行状況によっては道路交通法や電波法などがかかわっていきます。上記のような規制の知識、また、操縦技術の保証が証明できた方がより信頼やビジネスチャンスを勝ち取ることができるのです。**鳥取で活躍されているドローン企業**鳥取にもドローンを使った事業を展開する「**株式会社skyer**」という企業があります。主な事業内容は以下になります。パイロット養成ドローン操縦体験会自治体、事業者、個人を対象としたドローン導入支援ドローンを活用したまちづくり事業映像撮影、映像制作「株式会社skyer」の宇佐美さんの取材記事はこちら↓↓↓[「株式会社skyer」鳥取からドローンビジネスに挑戦する](https://tottori-biz.com/skyer/)**最後に**ドローンはこれから伸びる可能性の高い業界とされています。ビジネスを展開している企業、団体がまだまだ少ない市場です。また、ドローンが活用できる分野もまだまだたくさんあると思います。ドローンを活用して、新たなビジネスを展開する企業が鳥取から生まれることを願っています。

「株式会社skyer」鳥取県からドローンビジネスに挑戦する

ドローン市場の拡大ドローンの国内の市場規模は、2019年度に1,450億円、2024年度には5,073億円、2018年度の約5。4倍。に達すると予測されています、インプレス総合研究所の「ドローンビジネス調査報告書2019」より。市場が拡大することが予測されるドローン市場に、鳥取県からも挑戦する経営者がいる。今回、鳥取県大山町でドローン事業を展開する「skyer」を経営する宇佐美さんにお話を伺った。宇佐美さんの自己紹介と「skyer」の紹介をお願いいたします佐賀県出身で、スポーツすることが大好きでした。部活動ではバスケットボールをやっており、様々なことを学びました。この経験から将来は保健体育の教師になるため、東京の大学に進学しました。大学在学中には様々な経験をし、その中で**「地方と都会の機会格差」**の解決こそ自分が熱意を持って取り組むべきことだと認識しました。大学卒業後に**「地方に新しい仕事を創る」株式会社skyer**を創設しました。ドローンやスポーツ、ICT事業など地方に一早く新規のツールを用いて、事業を創造しています。現在は、広島に子会社skyer-west を設立し、再生可能エネルギーを軸にしたドローン事業にも取り組んでおります。、株。ウエストホールディングス、コード番号、1407 JASDA質問。と、株。skyerの合弁会社なぜ鳥取県でドローンのビジネスを始められたのですか。**「地方に新しい仕事を創る」**ことを軸に、地方と相性が良く、可能性を秘めたドローンをツールに事業を始めました。当時、2015年。は、規制もない状況でしたが、事業を行うにあたり1今後は都市部では規制が厳しくなる2労働人口の減少が顕著である3様々な実証ができるフィールドがある上記条件がある地域を探しました。その条件に合致した、「鳥取県」で事業を創ることに決めました。鳥取県のどんな点がドローンビジネスにとって有利な点ですか。中山間地域などの実証のフィールドが多数ありますし、農業や漁業、建設業など第一次産業が盛んではありますが、次世代の担い手がいない。その解決ツールとしてドローンの活用ができます。鳥取県では他の地域に比べても必要不可欠なツールとして普及すると考えています。当初の計画以上に浸透したと感じています。今後、「skyer」の事業を通じてどんな未来を描いてますか。株式会社skyerの展示スペース弊社にとってあくまでもドローンは一つのツールであります。もちろんドローンに関することは全てお任せいただいて構いません。**「地域にとって、必要な事業を、最適なタイミングで創り出す」**これが鳥取地域におけるskyerの役割であると考えています。今後も鳥取地域に関わる皆様がhappyな生活を送れるよう、スポーツ事業、DX、デジタルトランスフォーメーション。推進事業 etc、より多くのお客様、企業様に利用いただき、地域一丸となって、鳥取地域の未来を創造していきます。株式会社skyer

「クリエイティブ、トットリ」を目指して|野田邦弘

はじめに平成の30年間日本経済の世界的プレゼンスは一貫して低下してきました。その原因は人々のクリエイティビティを柱とした創造経済の時代に突入したにもかかわらず、相変わらず昔通りの大量生産製造業モデルを前提とした、社会システムを温存し必要なイノベーションを怠ってきたからです。鳥取大学地域学部教員が中心となって執筆した「[アートがひらく地域のこれから――クリエイティビティを生かす社会へ](https://www.amazon.co.jp/%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%8C%E3%81%B2%E3%82%89%E3%81%8F%E5%9C%B0%E5%9F%9F%E3%81%AE%E3%81%93%E3%82%8C%E3%81%8B%E3%82%89-%E3%82%AF%E3%83%AA%E3%82%A8%E3%82%A4%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%93%E3%83%86%E3%82%A3%E3%82%92%E7%94%9F%E3%81%8B%E3%81%99%E7%A4%BE%E4%BC%9A%E3%81%B8-%E9%87%8E%E7%94%B0%E9%82%A6%E5%BC%98/dp/4623088006/ref=sr_1_1?dchild=1&qid=1585186597&s=books&sr=1-1&text=%E9%87%8E%E7%94%B0+%E9%82%A6%E5%BC%98)」、ミネルヴァ書房、2019年3月。は**クリエイティビティを基軸とした地域の再創造、教育改革、社会システムのイノベーション等について理論と実践の両面からアプローチした野心作です。**この詳論では本書からエッセンスを抜粋し紹介します。日本経済の衰退と創造経済日本経済の衰退が止まりません。[時価総額で見た過去30年間の世界企業ランキング](https://media.startup-db.com/research/marketcap-global)で1989年にはトップ10中7社を占めていた日本企業は、2019年には1社もありません、トヨタの43位が最高。スイスのシンクタンクIMDによる国際競争力調査によれば、1989年から5年連続首位を占めていた日本は2019年には30位に転落しています。「平成最後の時価総額ランキング。日本と世界その差を生んだ30年とは。」よりなぜこのようなことになったのでしょう。それは、日本がIT化を起点とする産業構造変化への対応が不十分で既存産業の既得権益調整に終始してきたこと、さらに先端技術を社会に活かし次世代を構想する政策立案課程において**創造的思考が欠如していた**、ということではないでしょうか。現在の世界のトップ10企業中7社がIT系となっています。その牽引役を果たしているのがGAFAです。GAFAは既存のビジネスモデルを破戒、全く新しいビジネススタイルを確立するためカテゴリーキラーと呼ばれます。今後、AIとビッグデータをどのように活用してビジネスモデルを刷新していくかが、あらゆる分野の企業の存亡をにぎると言われています。そこで最も求められるのが人の創造力です。これらの先端技術を活用してどのような新たな事業やサービスを考え出すかは優れて創造的で革新的な発想力に依存するからです。20世紀後半以降盛んに喧伝されたのが「知識社会」「知識経済」でした。大量生産時代の終焉を「脱工業化」ととらえ将来の社会では「知的財産」の創造と活用が鍵になるという議論です。例えば、ピーター、ドラッカーは**「経済の基礎となる資源は、資本、天然資源、労働ではなく、知識である」**と言っています。しかし、創造都市論を提唱するチャールズ、ランドリーによれば、知識や情報は創造性の道具や材料に過ぎず、現代経済の本質は、**「知識経済」ではなく「創造経済」**であると指摘しています。そして、ここが重要なのですが、創造経済を構成するのは知的財産を生み出す産業群、アート、デザイン、科学技術、メディア産業といったクリエイティブな領域とされます。科学技術研究やアート、デザインなどを同じクリエイティブ産業としてとらえて振興しようという新しい視点が打ち出されています。**創造性こそ新時代の経済のエンジン**というのが創造経済の考え方です。これは1997年のイギリス政府が正式に政策として採用したことから、それ以降世界中に広まっていくことになります、詳しくは拙著[「文化政策の展開」](https://www.amazon.co.jp/%E6%96%87%E5%8C%96%E6%94%BF%E7%AD%96%E3%81%AE%E5%B1%95%E9%96%8B-%E3%82%A2%E3%83%BC%E3%83%84%E3%83%BB%E3%83%9E%E3%83%8D%E3%82%B8%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88%E3%81%A8%E5%89%B5%E9%80%A0%E9%83%BD%E5%B8%82-%E9%87%8E%E7%94%B0-%E9%82%A6%E5%BC%98/dp/4761525703)を参照。創造的人材育成の必要性AIやIoT、モノのインターネット。など情報通信技術やロボット技術の進展によりいまの仕事の半分は将来なくなると言われている。しかし、そこにあってもマネジメント、クリエイティブ、ホスピタリティは人が担っていくのではないかと考えられています、井上智洋「人工知能と経済の未来」。そこで、クリエイティビティについて教育課程との関係から現状を考えてみます。現在の教育制度や教育内容＝学校というシステムは，標準化、画一化といった工業の原則に則って作られているため，そのアウトプット、卒業生。は，画一的な非創造的で没個性的になる傾向があります。現代のクリエイティブ経済には対応できていません。このことを分かりやすく紹介しているのが、世界中で最も良く視聴されたTEDトークの一つケン、ロビンソンの「[学校は創造性を殺している](https://www.ted.com/talks/sir_ken_robinson_do_schools_kill_creativity#t-320755)」です。このような傾向は日本で一段と強いようです。ソフトハウスのアドビが日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、カナダを対象に中高生の自己認識についてたずねた[調査、2017。](http://www.adobeeducate.com/genz/creating-the-future-JAPAN)では、各国とも30％から40％の若者が自分のことを「創造的」だと認識しているに対し、日本では8%と極端に低くなっています。さらに彼らの先生たちにも同じ質問をしたところ、各国とも20％から30％とZ世代より低い数字が並びます。ここでは日本はたった2％と突出して低い数字となっており、日本の学校現場のアンクリエイティブな様子がうかがわれます。インターネットで何でも調べられる時代に一体教師は何を教えればいいのでしょうか。否これまでのように教えてはいけないのです。そうではなくて、子どもや若者たちが抱く内発的、自発的問題意識に寄り添いながら、それらを伸ばしてくことがこれからの教育の方向となります。このような教育観の転換は国の教育政策にも反映され始めています。文科省は大学入試改革の議論のなかで、**「グローバル化の進展や人工知能技術をはじめとする技術革新などに伴い、社会構造も急速に、かつ大きく変革しており、予見の困難な時代の中で新たな価値を創造していく力を育てることが必要です。」**と不透明な時代における個々人が新たな価値創造を担っていくクリエイティブ力の重要性を指摘しています。移住者の増加と新しい価値観の誕生次にクリエイティブ活動の場が、従来の都市部だけでなく、地方にも広がり始めていることを移住との関係で考えます。若者の県外流出などのため鳥取県の人口減少には歯止めがかかりません。一方で鳥取県への移住者は毎年増加しており、2018年度は2,157人が県外から移住しました。そして移住者の68。5％が30代以下で、半数がIターンとなっています、[鳥取県ふるさと人口政策課](https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/926176/H30ijuujoukyou.pdf)。ちなみに合計特殊出生率、1人の女性が一生で産む子どもの数。は、都市部ほど小さく地方ほど大きくなる傾向があります。例えば最低の東京では1。2ですが、最高の沖縄は1。9となっています。ちなみに鳥取は1。61、いずれも2018年、厚生労働省「人口動態統計」。。ここから若者世代の都市部から地方への移住は潜在的に子どもを増やすことに繋がる可能性を秘めているといえます。筆者は、以前鳥取県へ移住してきた若者のインタビュー調査を行いました。そこから見えてきた移住者に共通する傾向とは何か。地方に多い空き家をDIYで改修し自分好みの居住空間を作る、食料の自給や贈与、交換といったあまりお金を必要としない生活、**非貨幣経済**。、自分のスキルを活かしながら都市部との間で行うテレワークや地域の季節的、時限的な仕事を複数組み合わせながら収入を得る「**半農半X**」的な働き方、その際重要な役割を果たすのが、ソーシャルメディア。といった姿が見えてきました。このような田舎へ移住する若者に共通する価値観は3つのSで表せます。モノやサービスといった財を所有するのではなく共有する、**SHARE**。、コミュニケーションツールとしてのSNS、**SOCIAL MEDIA**。、地域の人間関係の重視、**SOCIAL CAPITAL**。です。彼らの多くは、仕事としてのデザイン、新たなコミュニティの形成、フェスなどイベントの企画開催、など何らかのかたちでクリエイティブ活動を行っています。そこには金融資本主義が生み出した都市文化とはひと味違うハンズオンで新しい価値を創造する魅力があります。例えば、「アートがひらく地域のこれから」では鳥取市まちなかの廃病院を活用して展開されているアートプロジェクト「[ホスピテイル](http://hospitale-tottori.org/)」が紹介されています。都市部においてこのような取り組みは成立しません。地価の高い中心市街地で収益性の低いアートプロジェクトは、経済の法則からして成立しないからです。中心市街地であっても開発の見込みがなく地価が下がり続ける地方都市だからこそ成立するのです。ホスピテイルのような取り組みが全県的にひろがり、遊休スペースで様々なクリエイティブ人材が創造活動を行うこと、「クリエイティブ、トットリ」が実現することを夢見ています。

たゆみない成長意欲とひたむきな自律で発展する女性下着縫製業「株式会社トリーカ」、前編。

刊政経レポートとのコラボ企画。この度、[旬刊政経レポート](http://www.seikeireport.co.jp/)と、月に一度の記事交換をさせていただくことが決まりました。第一回目は名和町、現、大山町。発祥の「株式会社トリーカ」のインタビュー記事を掲載させていただきます。「株式会社トリーカ」布を裁断し針と糸で縫いあげ衣類を作る縫製業。人手に頼るため手間と人件費がかかる。海外との厳しい競争にもさらされる。多くの人は「斜陽産業」と見るだろう。しかし名和町、現、大山町。発祥のトリーカは、縫製業として約60年に渡り存続、発展してきた。大手老舗企業でありながら、ベンチャーのような気鋭にあふれている。聞き手、北村真吾/中小企業診断士御社の事業内容を教えてください。当社は、大手下着メーカーである株式会社ワコールのグループ会社です。ワコール商品のうち主にブラジャーや肌着など女性用下着を製造しています。昭和36年に名和町で設立してから約60年間、ずっと衣類の縫製に取り組んできました。現在では県内の大山工場、米子工場、北条工場、青谷工場を含め国内に８つの縫製工場があります。従業員数は当社だけで約５００人。国内外の協力工場を含めると９００人です。うち約90％が女性です。ワコールと御社はどういった関係でしょうか。当社株式の57％がワコールです。ただ、出資は受けてはいますが、仕事が自動的にもらえるわけではありません。ワコールは国内だけでも３つの縫製会社を持っています。当社も含めて複数の縫製会社を比較し、それぞれの商品特徴に合った会社に製造を依頼します。当社は、これらライバル会社と同じことをしていては、ワコールから見ても社会的に見ても存在する意味がなくなってしまいます。だからこそ、品質、技術力、生産ノウハウなどにおいて、競合他社より１歩も２歩も先に進むことが、当社経営のモチベーションになっています。特に当社が得意なものは、サイズオーダーのブラジャーです。これはワコールグループの縫製会社でも対応しておらず、当社のみが製造しています。サイズオーダーのブラジャーとはどのような商品でしょうか。お客さん１人ひとりに合わせて作るブラジャーです。一般的な既製品ではぴったりフィットしない方がお客さんです。大柄な方、小柄な方。お店のスタッフが来店したお客さんの胸回りを多くの箇所を採寸し、その方に合うサイズ、デザイン、機能を決めます。それらのデータがお店からワコール経由で当社に届き、当社の工場でその方に合わせたブラジャーを作ります。お客さんから見ればせっかくオーダーした商品。デザイン性も品質も高くなければ満足してもらえません。しかも、オーダーごとに異なる商品を作らねばなりません。安価な商品を大量に生産するタイプの工場では対応できないのです。既製品では満足できない。私の体や生活スタイルにぴったり合ったブラジャーを、安心感のある会社に作ってほしい、という女性は今後ますます増えるでしょう。彼女たちの期待に応えるブランド力と品質が求められる重要な事業を当社は任せてもらっています。この事業の始まりはワコールからの要請でした。当社が長年に渡り地道に実直にものづくりを続けてきたことが評価されてのことです。縫製業として発展してきた御社ですが、どのような経営方針がありますか。地道に実直にやってきたトリーカらしさを失わないことです。今日お越しいただいたこの建物が当社の本社です。事業規模の割に小さいと思われたでしょう。各地の生産工場は大きくて立派なのですが、本社は賃貸物件です。しっかりした生産技術や製造ノウハウは必要ですが、派手なアピールは重要だとは思いません。必要な時に必要とされる会社であるよう、これからも地道に実直にものづくりを続けていきます。本社も管理部門も社長室も必要最低限でいいのです。もう一つは歴代社長のあり方です。当社は創業から60年を経て、私が７代目の社長です。私も含めて今までの社長は、当社の従業員の中から殆ど選ばれています。それぞれが企業のトップとなり、将来に向けた取り組みをし、そして時代の変化に合わせて会社を変えるため邁進してこられました。18歳で就職し、３年前に56歳で社長になった私が先輩を見て学んだことは、「会社の将来をどう描き、どう示すのか」ということです。

優れたものづくり企業として評価されるまで、どのような道のりがありましたか。当社の生産の特徴は、作る商品は多様でも、作る量は少しずつということです。現在の年間生産量は約６００万枚。そのうちブラジャーは複数アイテムあります。同じ商品でもサイズ、材質、機能、デザイン違いがあり、組み合わせは１００種類以上あるのではないでしょうか。約20年前、表示タグの付け間違いが問題だった時期が最も苦しかったです。当時従業員だった私はこの問題を解決すべく全国の工場を回り、原因究明と対策に取り組んだものでした。同社の本社社屋。建物も看板も小さく、気づかず通りすぎるほどのつつましさだ。会社情報「株式会社トリーカ」代表取締役社長、岩村真二事業、女性下着縫製業所在地、大阪府茨木市東太田三―二―一〇従業員、約５００人資本金、９２４０万円

たゆみない成長意欲とひたむきな自律で発展する女性下着縫製業「株式会社トリーカ」、後編。

旬刊政経レポートとのコラボ企画。この度、[旬刊政経レポート](http://www.seikeireport.co.jp/)と、月に一度の記事交換をさせていただくことが決まりました。第一回目は名和町、現、大山町。発祥の「株式会社トリーカ」のインタビュー記事を掲載させていただきます。本記事は、後編になります。法律。契約。会社規定。私たちは多くのルールの中で生きている。これらが守られなくなるきっかけは何だろう。大手下着メーカー、ワコールのグループ会社として発展してきた株式会社トリーカは、八つの工場と５００人の従業員を抱える大企業ながらオーダーメイドに対応する柔軟さを持つ。岩美町出身の岩村社長に、社内ルールを確立するまでの道のりを聞く。株式会社トリーカ代表取締役社長　岩村真二聞き手、北村真吾/中小企業診断士ものづくり企業としてワコールから高い評価を受ける御社は、どのように品質を高めてきましたか。例えば、過去に表示タグの付け間違いが問題になったことがありました。間違ったタグがついた商品がお店に並ぶと、ワコールにもお店にも、もちろんお客さんにも迷惑をかけてしまいます。場合によっては家庭用品表示法違反です。一方で、当社が製造するブラジャーは仕様違いで１００種類ほどあり、作業者にとっては、どの製品がどういう仕様なのか複雑な上、見た目には分からないのです。品質問題を防ぐためには、製造を担当する本人だけではなく誰が見ても分かるよう、作業マニュアルと、そのとおりに作業が進められたかを記録するチェックリストが必要です。作業マニュアルとチェックリストは、まさに会社のものづくりルールそのものです。工場を回って原因究明と対策立案をする中で、現場では時としてルールが正しく守られていないことが分かりました。ルール通りにできなかった作業が発生したとしても、わざと手を抜いたわけではありません。その日たまたま、納期が間に合わないから急いでくれと上司に命令され真面目に従っただけなのです。ただ、急いでいたからと、例えば３つあるチェックのうち、その日は２つしかチェックしなかったとしましょう。それが、次の日から２つしかチェックしないことが当たり前になり、しばらくすると２つが１つに減り、いつしか誰も何のチェックもしない会社になってしまうのです。上司が納期を急ぐあまりルールの後回しを見て見ぬ振りすると、ルールそのものが変わってしまいます。また、ある人には注意したのに他の人には注意しなかったとしたら、ルールは守っても守らなくてもどちらでもいい職場環境になってしまいます。対策は人材教育しかありません。「マニュアルどおり測定してください」「チェックを付けてください」「結果は正しいですか。」と、ルール定着に向けて確認するという仕事を、今も地道に取り組んでいます。ルールの他にも必要なものはありますか。一人ひとりのモチベーションですね。モチベーションが上がれば品質や生産性は上がります。逆に、モチベーションが下がればすぐに下がります。一人ひとりのモチベーションを高めるために、当社ではコミュニケーションを重視しています。当社の人事評価は、会社がその人をどう評価しているかについて、上司から作業者1人ひとり、本人に伝えるように進めていこうとしています。ここでのポイントは、評価の低い人との面談です。本人なりのがんばりについてお聞きすると同時に、今後は何をどうがんばってほしいのかを、会社からの期待として具体的に伝えてあげます。人事評価を取り入れている会社は多いですが、それを本人に面と向かって伝える会社は少ないのではないでしょうか。当社では、人事評価を通じたコミュニケーションで一人ひとりのモチベーションが高まるようにしようと考えています。コミュニケーションを重視する岩村社長の入社当時の様子を聞かせてください。鳥取商業高校の３年生だった私は、希望していた金融機関に就職できず落ち込んでいました。そんな時、就職課でトリーカの募集を見て何となく応募し、そのまま入社しました。最初の勤務先はいきなり大阪営業所。岩美町の岩井温泉で生まれ育った私は、周りの大阪弁の早さと威勢の強さに圧倒されました。同時に、田舎者と思われたくない気がして、鳥取弁が出ないよう、そもそも人としゃべるのを何となく避けていました。自分の殻に閉じこもっていたのかもしれません。もちろん、入社から今日まで真面目に仕事に取り組んできた経験は今の経営に生きています。ただ、もっと荒っぽくてもやんちゃでもよかった。思ったことは言葉にし、やりたいことはやる若さがあってもよかったのかなと思います。自分で事業を立ち上げたい鳥取の若者にメッセージをお願いします。社会全体が若者の起業を認め、応援する時代になってきました。起業しやすい環境も整いつつあります。鳥取には農産物だけではなく、砂丘や大山、アニメキャラクターなど社会的な資源が豊富です。人口は少ないけれども夢や魅力があります。約60年前、大阪の繊維企業が名和町に子会社を作ったのが当社の発祥でした。当社の社名、トリーカの「トリ」は、鳥取の「トリ」。「カ」は、みんなで力を合わせていきたいとの願いを込めて、漢字の「力、ちから。」に見立てたものです。実は、７代目の私が初めての鳥取県出身の社長です。郷土の魅力がより輝くような事業を目指す若者に、協力していきたいと思っています。質素な社長室にて。奥にかけられた鳥取銀行のポスターには星取県の文字がある。会社情報株式会社トリーカ代表取締役社長、岩村真二事　業、女性下着縫製業所在地、大阪府茨木市東太田三―二―一〇従業員、約500人資本金、9240万円TOTTORI BUSINESS ONLINEの感想株式会社トリーカの社長岩村様の、ライバル会社との競争や、人事での取り組みなどのお話を通して縫製業としての素晴らしい心意気が伝わってきました。特に、他のライバル会社と同じやり方で競うのではなく、 ブラジャーを一人ひとりのサイズに合わせて作るという他と違った戦略をとることで、トリーカという会社の力を上げると同時に、ワコールの商品の幅広さを作り出していることに驚かされました。これからも月に一度、旬刊政経レポートの記事をあげていきますので、是非ご覧ください。旬刊政経レポートの定期購読はこちら

新型のコロナウイルスがもたらす鳥取県のジレンマ。

「人との間隔を1ｍ以上は取りましょう。」「お花見や人が集まるところに行くのは自粛してください。」政府は東京オリンピックを延期することに決定しました。このような言葉を聞くようになったのは、今、巷を賑わせている新型のコロナウイルスの影響が原因です。この新型のコロナウイルスの正式名称は、”COVID-19、coronavirus disease 2019。”と言われています。新型のコロナウイルスによって、活動の自粛が呼びかけられている中、国には国の、政府には政府の、鳥取県には鳥取県のジレンマがあるように感じます。突然現れた得体の知れないウイルス。このウイルスによって、大きなジレンマがうまれてしまっています。**新型のコロナウイルスの猛威**世界中に猛威を振るっている新型のコロナウイルス。この新型のコロナウイルスの症状は、人によって様々であると言われています。WHOと中国の合同専門家チームが、中国で確認された5万件以上の症例を基に報告した症状が以下の通りです。**発熱**、86。9%。**乾いた咳**、67。7%。倦怠感、38。1%。痰、33。4%。**息切れ**、18。6%。喉の痛み、13。9%。頭痛、13。6%。や関節の痛み、14。8%。悪寒、11。4%。吐き気や嘔吐、5。0%。鼻づまり、4。8%。下痢、3。7%。喀血、0。9%。結膜充血、0。8%。発熱や咳、息切れ、呼吸困難など、主に呼吸器官に関わる症状が多いようです。感染者の8割は症状が出ないことや軽い症状で済むと言われています。しかし、残りの2割の人は、重症になるようです。感染の初期段階では、軽い症状でも数日後に息切れなどの重症となることがあります。このウイルスの怖さは、症状の進行する早さです。通常、新型のコロナウイルスに感染すると症状が2週間程度続くと言われています。しかし、重症となった場合は、36週間症状が続くと言われています。そのため、新型のコロナウイルスによって亡くなる方は、症状が出始めてから28週間後に亡くなることが多いようです。症状がより重症化しやすいのは、若者よりも高齢者の方であると言われています。ここで注意して頂きたいのは、若者でも重症化するリスクがあると言うことです。特に今、日本で問題となっているのは、軽い症状で済むことが多い若者が出歩くことでウイルスの感染を広めていることでしょう。ウイルスに感染した若者が外で移動すると、ウイルスも同じように移動していきます。そうした流れによって、若者から高齢者にウイルスが移る事例が増えてきているようです。この時期、高齢者の多い場所へ行くのは、なるべく避ける方が良いでしょう 。**コロナウイルスを逃れるように鳥取県を訪問**する人たち新型のコロナウイルスの影響によって現在、鳥取と東京間の空の便の本数を減らすなど、様々な動きがあります。そんな中、鳥取県を訪れている人が増えてきている事実があるようです。東京や大阪など日本各地で外出を控える流れが続いています。外出自粛ムードが続く中、“自粛疲れ”と言う言葉を耳にすることが増えてきました。“自粛疲れ”とは、新型のコロナウイルスによって、消費や外出などを自粛することでストレスが溜まる状態のことです。その“自粛疲れ”の要因もあり、人込みを避けて外出する人が増えています。　3月末の時点で、**感染者が一人も確認されていない鳥取県**は比較的安全な場所であると認識され、訪れている人が増えているのではないでしょうか。**鳥取県の高齢者率**鳥取県を訪れる人が増えることは、鳥取県にとっては非常に喜ばしいことです。しかし、今の状況を踏まえると全面的に喜ぶことはできないと言えます。それは、鳥取県の高齢化率が全国平均よりも高いからです。下の表は、総務省のデータをまとめたものです。鳥取県は平成30年の時点で、高齢化率が31。6%と全国平均の30。1%を上回っています。鳥取県は10人の内3人以上が高齢者であるため、街に出ると高齢者に出会う確立が少し高くなっています。そのため、鳥取県で新型のコロナウイルスが蔓延すると、重症化する患者の増えるリスクが高くなることは確かです。重症化する患者数が増えると、病床数が足りなくなる恐れもあります。今の日本は、イタリアなどに比べて病床数は足りていますが、感染した場合、重症化する可能性が高い地域でウイルスが広がってしまうと、病床数などの問題が表れ医療体制が崩壊してしまうかもしれません。**鳥取のジレンマ**このような事からも、極力外出を避けることが、新型のコロナウイルス蔓延への対策としては一番良い方法であると言えるでしょう。しかし、ここで難しいのが経済に関わる問題です。もし、全ての鳥取訪問者がいなくなると、**鳥取の飲食店や観光業を営む人たちにとっては、大きな打撃となります。**一概に鳥取県に来ないでくださいとは、言えない状況でもあります。これが、鳥取県が抱えるジレンマになっています。そこで、鳥取に住む私たちからの言葉は、「新型のコロナウイルス対策を万全にして、鳥取県に遊びに来てください」となります。また、事業者側が徹底してお客様に対する予防の推奨を行う必要もあることでしょう。こまめに手洗いをすることやマスク、アルコール消毒をして、鳥取県の魅力に浸って頂けたらと思います。今、正に大変な時期です。東京オリンピック等、様々なイベントが中止や延期になっていますが、新型のコロナウイルスに鳥取県も負けないように対策をしていきましょう。2020年3月31日現在、感染者の出ていない県は鳥取県を含めて5県あります。最後まで、鳥取県からコロナウイルスの感染者が出ないことを祈っています。**「コロナ感染者ゼロの鳥取県」**を、一人一人の行動で目指しましょう

会社説明から内定まで、オンラインでできる新たな就職方法「Web就活」

**新型コロナウイルスによって合同説明会が中止になる中、鳥取で動き出す新たな取り組み**新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、合同説明会が相次いで中止になる中、令和2年3月末に、鳥取大学でインターネットを活用した就職活動について学ぶ体験会「**新型コロナ問題に負けるなweb就活体験会**」が開かれました。この体験会では、学生にインターネット就職説明会や面接、採用活動などの方法を知ってもらうために、とっとり就活Labと鳥取大学が開催しました。オンライン通話システムを使って県内企業による会社説明会が行われ、学生は事業内容の説明を受けたり、チャットを使った担当者への質問が行われました。今回は「Web就活体験会」の主催者の1人である山口翔馬さんに、web就活に対するお考えやWeb就活を広める上で感じていらっしゃる課題などを聞いてみました。また、実際に私がこのWeb就活体験会に参加して感じたことなども載せております。**山口翔馬さんへのインタビュー**とっとり就活Labの山口翔馬さん**質問1。改めて「Web就活」とは何ですか。また、これからの就活について教えてください。**今まで、対面接触前提での就活イベントが主だったと思うのですが、Web就活ってものは直接その場所に行かなくても企業さんと会えて、企業のことが知れて、何なら選考までその場で受けることができる。だから自宅で内定がゲットできるという可能性があるのが「Web就活」だと思います。あくまでも僕の個人的な意見ですけれども、新型コロナウイルスの影響で、テレワークや、Web就活という流れが強まってきていると思います。しかし、コロナウイルスが収束した後でも5Gなどの無線通信システムがどんどん商用化されてきていることから、あらゆる行動のリモート化が発展する可能性は凄く高いと思います。通信システムの進化で何が見込めるかというと、これからオンラインで同時接続するときに遅延がほとんどなくなるのです。だから、より「直接行くよりも、やっぱオンラインでいいや」ってなる方が多くなると思います。Web就活でいうと、会わなくてもよかったり、そこに行かなくてもよかったりするメリットが大きくなると思います。**質問2。なぜ「Web就活」を始めようと思ったのですか。**何となく企業を定めてあったりだとか、ある程度企業を知っているようであったりして、既にインターンシップに行かれたりしている学生さんは大丈夫だと思います。しかし、そうではない学生さん。主に三月初めの就活解禁から動き出す学生さんが、この新型コロナウイルスの影響を受けた時のダメージが大きいと思って、そのような学生さんの背中を押したいというのが僕の一番の始めたきっかけでした。もちろん対面接触はしないということが原則であるので、今のこの感染拡大を防止するためというのもきっかけにあります。**質問3。Web就活を普及して行く上での課題などはありますか。**これは学生よりも、企業さんへの課題の方が大きいのではないかと私個人は思っています。と言いますのも学生さんは、普段から新しいものに慣れていると思うのですが、企業さんに関しましては、なかなか新しいことに挑戦しづらい。それこそ意識的に避けていたり、直接会う方が良いと思ったりしている方もいます。でも、**知らないからやらないっていうのは通用しないし、知らないからやらないでいたら時代の流れに乗り遅れてしまう**と思います。今、都市部の企業さんは、最新のツールを使って情報や採用の場を提供しています。そして学生さんはそのような提供してくれている方に行きます。本来地方にもいい企業があるのに合説がなくなって、地方の企業を知れないから都市部に行ってしまうという流れを僕はもったいないと思っています。Web就活を普及していくためには**企業のノウハウや、Web就活のリテラシーを高めていかなくてはならない**ということが課題点だと思っています。今回のような取り組みを重ねていくことで、関わっていく人や企業さんを増やすことが課題解決のための方法だと考えています。**質問4。今回のような体験会以外でWeb就活を広める方法があれば教えていただけますか。**Web就活って広い意味で色々あって、YouTubeチャンネルで、合説の動画が見れるようにするのもWeb就活だと思います。なので、そのようなことも含めて、直接同じ時間に会うのではなくて、好きな時間にセミナーや、説明を受けられる機会を増やすという方法などが考えられます。**質問5今回のWeb就活体験会で伝えきれなかったことはありますか。**Web合説というのは正しく機能を使うことが肝だと思っていて、現実の空間では同時での会話はできるけれども、基本的にオンラインの場では皆が同時に話すとごちゃごちゃしてしまいます。そこで、話す人以外の声をミュートにして一対一の会話ができるようにしなくてはなりません。ミュートしている人達の意見を聞くためには、チャットの機能がすごく大事なのです。しかし、チャットをしっかりと使えている子が少なかったことから、もっとチャットを気軽に使う方法をお伝えできればよかったのかなと思いました。**質問6。まだWeb就活を知らない方々へのメッセージはありますか。**知らないからほっとこうでは、全然動けなくて、まずは時代の流れに乗ってみることが僕はすごい大事だと思っていて、流れに乗った上で、合わないのであればそこはもう選択肢から外せばいいと思うのだけど、流れに乗り遅れてしまうと、なかなかスタートする時期が分からなくなってしまうと思うので、時代にうまく臨機応変に対応していってください。それこそコロナの影響は色んな所で「ができない」と言われていますけど、それを「何をするチャンスなんだろう」って考えていくことがすごく大事なんだろうと思うようにしていってほしいです。**知らないことにも挑戦し、自分事だって捉えてください**誰も自分の将来のことを決めてくれないです。けれど、その将来を決める手助けをしたいと思っている人は僕だったりだとか、大学の先生だったりだとかいろんな周りの大人がいるから、それをうまく使っていいと思います。**実際にWeb就活体験会に参加してみて**実際に私もこの「Web就活」体験会に参加いたしました。私にとって初めての合同会社説明会がオンラインになるとは思っても見なかったです。会場には、来年の春就職に向けて活動している大学3年生が2人と、インターネットを使って自宅などからオンラインで参加している生徒が5人いました。複数の人が画面に顔を映しながら同時に会話ができる会議システム「zoom」の操作方法を楽しく学びながら、鳥取県内企業さんの説明を聞くことができました。しかし、企業紹介が県内企業のみとはいえ、参加学生の人数の少なさに驚きました。山口さんが「Web就活の課題点」として、企業側の課題に着目していらっしゃいましたが、「まだWeb就活について知らない方へのメッセージ」でおっしゃられていたことを私は学生さんに強く伝えたいと思いました。　おそらくですが、学生の中には、まだまだ「Web就活」というものが社会浸透しておらず、今年就活を始める自分にとってはまだ関係のないことだと考えた人たちも少なくないと思います。参加学生の少なさは今の就活生たちの何事も自分事として考えるという意識が低いことを表していると感じました。勿論、全員がそうではありません。中には県外企業のみを考えていたから参加しなかったという生徒も多いと思います。しかし、今回の体験会は企業説明会よりも、Web就活でよく使われるツールの操作を学べる会という印象が強いと感じました。就職希望先が県内外に問わず、企業に就職を考えている学生にとっては十分参加する意義があり、もっと多くの参加者を増やすための工夫が必要だと考えます。参加者が集まらなかったことは、主催者側、企業側、学生側のそれぞれの考えがまだまだ一致していないのではないかと感じました。これは私の個人的な意見ですが、企業は「Web就活」へのシフトに積極的になること、学生は知らないことでも一度体験してみる心意気を持つこと、学校側は就活生の参加を最優先にしながらも、まだまだ就活について考えていない新2,3年生にも呼びかけをし、良い刺激を与えるきっかけを作ること、がより進んで行くと良いなと思います。**最後に**いずれ最新機器の扱いに慣れた今の学生が企業側に立った時、「Web就活」へのシフトはより容易なものになると思います。そして、これからは私のように、初めての合同会社説明会がオンライン上のものだったという方も増えていくと思います。自分事だと思えず「知らないからやらない」や「やったことがないことはやらない」という考えを持つ人達、企業の意識改革が求められていると思います。

あなたは鳥取県のことをどのくらい知っていますか。「歴代知事編」

**あなたは、どのくらい鳥取のことを知っていますか。**この記事を読んでくださっている読者の皆さんは、鳥取についてどのくらいご存知でしょうか。このコーナーでは、皆さんに少しでも鳥取に興味を持っていただき、鳥取についての理解が深まるような豆知識を紹介していきます今回は**鳥取県の歴代知事**についてです**西尾 愛治、第12代。**第一回鳥取知事選に当選して、鳥取県知事となりました。つまり、第一代鳥取県知事です。鳥取県を語るうえで、認識しておきたい重要な人物であると言えます。彼の任期中の大きな出来事はなんといっても「鳥取大火」です。鳥取大火は、市街地の多くを焼き尽くした大災害と言われています。彼はこの鳥取大火の復興に尽力した人物です。彼が鳥取市の市街地の復興に大きな影響を与えているので、現在の鳥取市があるのは彼のおかげと言っても過言ではないでしょう。**遠藤 茂、第3代。**彼は前任の西尾知事の課題となっていた財政再建と産業の復興に注力して取り組んでいました。鳥取大火では特に、住宅家屋と商業施設の関連施設が大きな被害を受けたとされています。そのため、鳥取市の商工業に受けた被害からの復興と前任の知事時代からの財政再建が、彼にとって最も大きな仕事だったのでしょう。そして、彼の一番の成果と言えるのが財政赤字の解消です。**石破 二郎、第47代。**鳥取県民なら多くの方が知っている石破二郎、**元防衛大臣の父。**です。彼は主に県内のインフラ整備に尽力したとされています。彼は任期中の活動もさることながら、その広く慕われる人望でも有名でした。東京都知事にならないかと請われたが、鳥取県人であることにこだわりを持ち、**鳥取県知事になることを望む**というほど地元愛が強かったのです。そのため地元の人々には、大変好かれていた様です。また、かの有名な田中角栄とも深い交友があったと言われています。

**平林 鴻三、第810代。**石破知事から後継に指名され、当時全国最年少で知事となった人物です。しかし、彼の任期期間は、オイルショックの真っ只中でした。そのため、任期中はオイルショックの対応に追われることとなりました。**西尾 邑次、第1114代。**彼は**「とっとり県民の日」**を制定しました。鳥取県民ならば、ぜひ知っておきたい人物と言えるでしょう。そして、鳥取県知事を4期務めており、これは石破知事と並び、鳥取県知事最長の任期でした。**片山 善博、第1516代。**彼は、その圧倒的な支持率で有名でした。2004年7月に、読売新聞により実施された世論調査で、全国47都道府県の知事中トップの78％の支持率を記録しました。また、鳥取県西部地震が彼の任期中に起き、被災者の個人住宅に対し全国で初めて復旧助成、利子補給。を実施しました。辞任後は、鳥取大学の客員教授や総務大臣を歴任しました。現在はメディアなど多くの分野で活躍しています。**平井 伸治、第1720代。**彼が歴代知事の中で最も有名なのではないでしょうか。「**スタバはないが、スナバはある。**」というフレーズで一躍有名になりました。知事就任以降、積極的にメディア出演をし、**鳥取県の知名度アップに非常に意欲的**です。また、住みたい田舎ランキングで上位を獲得しており、現在県外からの移住者も過去最高となっています。このように鳥取の魅力を発信し続けています。また、県内への企業誘致や充実した子育て支援政策など、多岐にわたる政策を展開しているのが特徴的です。今後の活躍から目が離せません。**最後に**鳥取県の歴代知事の紹介はどうだったでしょうか。彼らのことをもっと詳しく知っていくことで、これまでの鳥取県における復興の歴史や歩んできた道のりが見えてくると思います。この記事に興味を持っていただけたなら、ぜひ彼らのことについて調べてみてください

武器としての2軸思考

**既存のフレームワークは使える形になっていない、使うことが難しい**問題発見や市場分析、課題解決アイデア、戦略立案、業務改善、組織マネジメントなどを課せられたときに、迅速に対応できるための枠組みとして、**ビジネスフレームワーク**というものがあります。有名なものでは、PDCA、Plan Do Check Action。チェックシートや、ロジックツリー、カスタマージャーニーマップ、ペルソナなど、たくさんのものがあり、すでに知っていらっしゃる方も多いのではないでしょうか。しかし、その多くのフレームワークは、仕事の現場で使われていないという話をよく聞きます。原因は、**多くの既存のフレームワークが「使える」形になっていないから**だと思います。今回は、元日本IBMエグゼクティブ、プロジェクト、マネージャーの木部智之著の「複雑な問題が一瞬でシンプルになる「2軸思考」」という本の書評を通して、フレームワークを使える形にしてくれる「2軸思考」という思考法の基本から実践の入り口までご紹介していきます。**2軸思考の効果**2軸思考とは、木部智之さんが考える世界一簡単かつ、絶大な生産性を生み出してくれる思考法です。フレームワークを「使える」形にする以外にも、色々な効果があります。以下に2軸思考の効果を並べました。**全体像を把握できる「複雑なものをシンプルにして、誰かに伝えたり、自分で考えたりする」という流れのスピードがアップする物事の「構造」が浮かび上がるあらゆるフレームワークが「使える」形になる**上の項目からもわかる通り、2軸思考とは経営戦略や、マーケティングに携わる人達だけのための思考法やフレームワークではなく、「**普通の人**」にとっても武器になります。**2軸思考のフレームワークの作り方**2軸思考、2軸フレームワーク。を使いこなす工程は大きく3段階に分けられます。➀考える目的に合わせて枠のタイプを決める2軸フレームワークには次のような3つのパターンがあります。タイプ別の説明はのちほど致します。➁縦横軸を決める軸に成り得るのは、**要素**、静的な断面情報、商品,売上,部門。**流れ**、動的な変化を表す情報、時間,行程。のどちらかです。➂枠に情報を埋める枠の中には、**定量情報**、数字。**定性情報**、数字以外。のどちらかを入れます。定性情報より定量情報の方がより質の高いものになります。しかし、時間がかかってしまいます。次にタイプ別についてです。それぞれ1。「目的に合ったタイプを選ぶ」2。「縦横軸を決める」3。「枠に情報を埋める」の3ステップに沿って説明していきます。**マトリクスタイプ**マトリクスタイプは最も融通が利き、どのタイプにするか迷われた時には、マトリクスタイプを使うことをお勧めします。1。「目的に合ったタイプを選ぶ」マトリクスタイプは、全体を俯瞰することができます。**問題の全体像の把握、複雑な事象の整理、複数の選択肢から優先順位をつける**ときなどに向いています。2。「縦横軸を決める」軸のパターンは「、縦。要素×、横。要素」と「、縦。要素×、横。流れ」です。ポイントはどちらも「**モレなく、ダブりなく**」書くことと、**横軸の数を多くしない**ことです。3。「枠に情報を埋める」枠に埋める情報は**定量情報**が望ましく、問題の整理、分析では定量情報の方が客観性の高いものになるからです。またポイントは、**無駄な枠は埋めない**ということです。**4象限タイプ**1。「目的に合ったタイプを選ぶ」4象限タイプは**ポジショニング**や**全体の分散の傾向**を捉えるときに使われます。2。「縦横軸を決める」軸になるものは、マトリクスタイプと同じく要素と流れですが、マトリクスタイプは要素の軸にあらゆる要素を洗い出すのに対して、4象限タイプではあらかじめ要素を2つに絞ります。最初に**仮設**を立ててから、最も良いと思った要素を使って表を作っていってください。ポイントは、**上と下、右と左は必ず正反対の内容**が来るようにしてください。また、**右上に「良い要素」、左下に「悪い要素」**を入れてください。3。「枠に情報を埋める」マトリクスタイプと同じくデータがあれば定量情報を使い、アイデアを出したり、課題を洗い出したりするときには定性情報を使ってください。**グラフタイプ**グラフタイプは3つのタイプの中で変化を視覚的に捉えるものです。1。「目的に合ったタイプを選ぶ」グラフタイプは**変化**を表したり捉えたりするものです。売上データの時間変化を分析したり、売上向上のためのアクションの効果を示したりするときに使うことができます。2。「縦横軸を決める」基本は「、縦。大きさ×、横。流れ」です。マトリクスと同じで、表が見えやすくなるのは横軸に流れが来る場合です。また、グラフ型は基本的には下から上、左から右の方向に矢印が向きますが、伝えたい内容によっては、要素の低さを強調したいものもあるので、**矢印の方向は決まっていません**。3。「枠に情報を埋める」グラフタイプは、どのタイプのグラフを入れるかが最も重要です。表す変化によっては棒グラフがよかったり、折れ線グラフがよかったりするのです。主なグラフタイプは次の6種類です。棒グラフ、縦軸にデータ量をとり、グラフの高さでデータの大小を表す。折れ線グラフ、時系列でデータの変化を見る際に使う。ヒストグラム、データの散らばりを見る際に使う。パレート図、棒グラフで要因の大きさ,量を、折れ線グラフで個々の要因が全体に占める割合を表す。構成比率棒グラフ、グラフの幅を揃え、内訳構成の差異を捉える。ウォーターフォールチャート、増加減少の説明に適した可視化グラフ以上の6つのグラフのタイプの特徴をしっかりと抑えて選んでいってください。トレーニングを重ねて同じデータから違うタイプのグラフを作ってみると見えてくるものが変わると思います。**2軸思考の使い方**ここからは実践のためのフェーズに移っていきます。実際のビジネスの現場では、一つの2軸タイプだけで問題が解決することはありません。**問題の複雑さに応じて使う2軸タイプの組み合わせは増えていきます**。組み合わせる理由は**視点**、ある物事を見る場所。、**視野**、ある物事を見る範囲。**視座**、ある物事を見る立場。を変化させるためです。次に重要なのは、複数の2軸を使う場合です。まず、マトリクスタイプを作り、次に4象限タイプやグラフタイプに展開していきます。マトリクスタイプで浅く広くデータを並べ、その中でより細かく見たいところを4象限でポジショニングしたり、23個に対象を絞ってグラフとして並べたりすることで、データを競合視点側から見ることができたり、視野をあえて狭めることで、見逃しそうな小さな変化に着目できるのです。**最後に**2軸思考によって最速でゴールにたどりつくためのカギは何事もまず考える枠を決める全体像無駄に考えないです。普段の生活のちょっとしたことに2軸を引いて分析してみてください。最初は上手くできないかもしれませんが、回数を重ねるごとに質の良いものになり、悩む時間を考える時間に回すことができるようになります。今回は、2軸思考の基本と実践のさわりのみを発信しましたが、これから具体的に「2軸であらゆるフレームワークを使える形にしたもの」や、「**これから鳥取で起きる問題や課題を2軸思考でまとめたもの**」を発信できたらと思います。

掃除ロボットで高まる生産性

**掃除ロボットを使っての掃除**「1日あたり3時間7分。」このデータは、あることをするのに費やす時間を表しているのですが、何に費やす時間か分かりますか。これは、共働きの世帯で6歳未満の子どもを持つ妻が、**家事に費やす時間**です。因みに、夫は1日あたり15分だと言われています、2017年　総務省「社会生活基本調査」による。6歳未満のお子さんがいない家庭でも、一日あたりに家事に費やす時間はかなり多いと考えられます。家事に費やす時間は、家族の食事作りから掃除や洗濯、買い物、子どもの送り迎えなど様々な項目を含んでいます。私が家事の中で、比較的楽をしやすいのではないかと考えているのは、家族の食事作りと掃除です。家族の食事作りについて、楽をし過ぎる、毎日、出前やスーパーのお惣菜などで済ませる。ことは、家族のコミュニケーションを少なくしてしまうかもしれません。ただ、**掃除については楽をするべき**であると考えています。私が掃除で楽をする一番の方法であると考えているのは、**掃除ロボット**を使っての掃除です。掃除ロボットを活用した掃除で**一番の利点は、楽をすることができる**ということでしょう。それに加え、ルンバを使って掃除をすることには、他にも二つ利点があると私は考えています。この記事で述べる三つの利点は、あくまで私自身が感じたことなので参考程度に見てもらえると嬉しいです。私自身が思う残り二つの利点を、この記事では紹介していきたいと思います。**掃除に費やす時間**いきなりですが、皆さんは、1週間当たりどれくらい掃除に時間を割いていますか。一人暮らしをされている方と家族で住まわれている方とでは、掃除に割く時間は違ってくる傾向にあるでしょう。また、家族で住まわれている方の中でも、お子さんの有無や年齢、生活環境、仕事のスタイルなど、取り巻く環境によって掃除に割く時間は様々です。ここで、一つの例として1週間当たり70分、週二回ペースで3035分。掃除に時間を割くと考えます。すると、1カ月、30日。では5時間。**1年では、60時間も掃除をしている**ことになります。1年に60時間掃除をしていると聞くと、その時間を他の事をする時間に使いたいと思われる方もいるのではないでしょうか。その思いを実現する手助けをしてくれるのが、**掃除ロボット**であると私は考えています。**掃除ロボットの位置づけ**掃除ロボットと聞くと、自動で掃除をしてくれるとイメージされる方が多いのではないでしょうか。そこで、掃除ロボット、今回は代表的なルンバの名前をお借りいたします。と既存の掃除機、ほうきが持つそれぞれの要素を比べてみました。ほうきでの掃除の性質としては、労力が必要となりますが、手頃な価格で手に入り音がほとんど気になりません。掃除機での掃除は、値段と音の要素が機種によって様々でありますが、労力はほうきに比べてかなり少なく済みます。一方、掃除ロボットを使っての掃除は、値段はかかりますが自分で掃除をしなくて良いのが特徴的です。しかし、音が少し気になります。それぞれの掃除方法が持つ特徴を比較してみました。そこで、掃除ロボットを使う利点には、**自分でやらなくて済む**ということに大きな意味があるのではないかと考えます。**整理整頓の習慣化**掃除ロボットを使うことによって、今まで掃除に充てていた時間を他のことをする時間に変えることができます。その時間は、1週間で70分ぐらいであったとしても、1年に換算すると60時間、他の作業に時間を充てられるようになるでしょう。これが、**掃除ロボットを使う１つ目の利点**であると私は考えています。そして、私が考える**掃除ロボットを使う利点のもう1つは、整理整頓が習慣化する**ことです。掃除ロボットを使うと、どうして整頓整頓が習慣化するのかと疑問に思われる方もおられるかと思います。その答えとなるのが、掃除ロボットが持つ機能性です。一般的に掃除ロボットは、障害物があるとそれを避けるようにして動きます。大抵の障害物は避けてくれますが、苦手とするのは、床に物が散らかっている状態です。床に物が散らかっていると、効率良く掃除できなくなる場合や身動きが取れなくなることがあります。掃除ロボットを既にお持ちの方は、一度は経験されたことがあるのではないでしょうか。私の経験を踏まえて、人は**楽なことを習慣化する**のは得意なのではないかと考えています。私が思うに、掃除をするには、ほうきよりも掃除機、掃除機よりも掃除ロボットを使うのが楽ということです。そのため、掃除ロボットを持っている方は、掃除機よりも掃除ロボットを使う機会が、自然と多くなるのではないかと思います。しかし、掃除ロボットを使う前には、**床に物を置かない状態にしておくことが望ましい**のです。これによって、使う前に物を整理整頓しなければなりません。こうして、整理整頓が習慣化されていくのではないかと私は考えています。また、掃除をすることで癖づく片付けには、良い効果があるのです。**片づけの効果**片付けがもたらす効果について述べられた本に「**トヨタの片づけ」**という本があります。この本で述べられているのは、5つのS、整理、整頓、清掃、清潔、しつけ。が大切であると言うことです。この本では、物を捨てる工程から整理整頓や清掃の状態を維持するルール作りまでが詳しく書かれています。掃除ロボットを使っても、整理整頓と清掃の状態を維持するルール作りまではできません。しかし、部屋を片付けする一つのキッカケになるのではないかと私は考えています。「トヨタの片づけ」に書かれていることは、片づけをすることによって生産性がUPすると言うことです。片づけができていない場所では、作業をする前に探す手間ができます。これによって、無駄が生じ作業の効率が悪くなるのです。最後にここまで、私が思うルンバを使うことの利点を述べました。片づけをすることによって、無駄を省き生産性がUPするということは、とても魅力的なのではないでしょうか。掃除ロボットを使うことで、生産性を挙げる一つのキッカケとなる可能性や、掃除に使っていた時間を他のことをする時間に使うことができるようになります。新しいことを始めるのに時間が無いと思っている方や掃除を楽してしたいと思われている方、**生産性を高めたい**と思われている方は、掃除ロボットを使うことを選択肢に入れてみるのもありなのではないでしょうか。以前、TOTTORI BUSINESS ONLINEで記事として取り上げましたが、鳥取県は共働き率が全国で7位となっています。そんな鳥取県に、家事に費やす時間を少しでも減らす方法として、掃除ロボットを積極的に取り入れてもらいたいです。

大きな支出の判断に役立つ、「生涯賃金の予測」

突然ですが、「生涯賃金」について考えたことはありますか。ご自身の残りの生涯賃金を予測して、これから個人で必要になってくると思われる大きな支出を考えるきっかけになって欲しいと思い、今回は、**生涯のマネープラン**についての情報を発信していきます。**残りの「生涯賃金」の予測**実は、自分の残りの生涯賃金は簡単な計算によって、ある程度予測することができます。計算と言っても、決して難しいことではありません。単純に「残りの労働時間」×「残り期間の平均年収」をすれば「残りの生涯賃金、予測。」が求められるわけです。ここで次の表をご覧ください。厚生労働省によると、年代別賃金の割合の全年齢平均は、会社員であれば20代前半を基準にして、男性は1。6倍、女性は1。2倍程度になります。よって皆さんの残り生涯賃金は次のような流れで計算することができます。**大きな支出の予想**次に、これから個人に降りかかってくると思われる大きな支出の予想をしていきます。結婚資金結婚と言っても、だれもが想像できる費用以外に沢山の費用が掛かります。どのようなものが必要か次の表よりご確認ください。結婚から新婚旅行までの合計費用の平均は約470万円です。しかし、婚約者と二人で考えていくことが大事です。子どもの教育資金幼稚園から大学まで、全て公立の学校でも1,000万円ほどのお金が必要です。私立の場合は、もっと多くお金が必要になります。**住宅購入の頭金**物件価格の2割ほどを用意すべきとすると、3000万円の家なら300万円600万円を貯めなければなりません。**老後資金**2人以上の世帯で主世帯が6069歳の平均貯蓄額は、2382万円です。出典総務省「家計調査報告」平成29年。**いざというときのお金**生活費の36か月分を最低でも準備しておくことをお勧めします。**その他の必要資金**車の購入費、出産費、子どもが巣立った時の支援費用やなど、ご自身の状況に対応して設定してください。「生涯賃金」の予測をすることで計画的にお金を貯めよう今回、本記事では「生涯賃金」の計算方法と、人生の中で必要となる可能性の高い大きな支出についてご紹介いたしました。自身の生涯賃金を客観的に把握することで、計画的な貯蓄や、投資への判断基準などを明確に持ちましょう

負のスパイラルによる鳥取県の高齢化

**高齢化社会の定義**「高齢化率」というのは、その社会の総人口に対する高齢者人口の割合を指す言葉です。014歳を年少人口と言い、1564歳を生産年齢人口、65歳以上を高齢者人口と言います。一般的に高齢化社会の定義は高齢化率が7%以上であると高齢化社会、14%以上であると高齢社会、21%以上であるされています。現在の日本は、高齢化率が全国平均30%を超えているため超高齢社会と言われています。高齢化社会になると、様々な面で問題が出てきます。**鳥取県の高齢化**鳥取県は、地方であるため**高齢者が多い**とイメージを持たれている方も多いのではないでしょうか。町を歩いていると、出会うのは若い方よりも圧倒的に高齢の方が多いという地域が、少なからずあると思います。普段、鳥取県の町を歩いているときに合う人のなかで高齢の方はどれくらいの割合なのでしょうか。総務省のデータを参考に見てみると、**鳥取県の高齢化率は、31。6%**となっています。つまり、出会う人が10人いたとすると、その内3人は高齢者であると言える数値です。このデータは、鳥取県全体における数値であるため、地域によっては更に高い割合となっている場所もあります。高齢化率で見れば全国平均と大きな差はなく、鳥取県の高齢化は深刻ではないように思われる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、鳥取県は人口最小県であり、約56万人しかいません。**鳥取県の総人口の約3割を高齢者が占めている**今の状況は、鳥取県の経済の視点から見ると、とても大きな問題であると言えます。平成30年の時点で、鳥取県は全国平均を上回っています。日本の高齢化率が高い都道府県を順番に見ていくと、**鳥取県は全国で15位**です。近年、鳥取県では、総人口が少ない上に若者が都会に流れていく現象が問題視されており、全国で高齢化率が15位だということに驚かれる方もいるかもしれません。

**高齢化対策**鳥取県の高齢化率が抑えられている原因として考えられるのは、子育て世帯の支援に力を入れているということです。「**子育て王国とっとり**」と言われるほど、子育てに対する支援に力を入れているため、子育て世帯を中心に注目を集めています。その結果、「高齢化に良い影響を与えることができているのではないか」と言うのが私の考えです。また、鳥取県の高齢化率を抑えるために行われている取り組みとして、若者の**鳥取県就職**を支援する政策があります。この政策は以前、TOTTORI BUSINESS ONLINEでも取り上げましたが、対象の業種で鳥取県に就職をすると奨学金の助成制度が受けられる取り組みです。このように、若い世代をターゲットにした取り組みが、高齢化率の上昇を少しでも遅らせる効果があるではないでしょうか。

**負のスパイラル**高齢化が進むと、年金制度や介護の問題が出てきます。また、交通インフラの問題や、地域自治の問題も生じます。また、政策が年金制度や介護についての対策に重点を置くようになるのです。その結果、若者を支援する政策が後回しになっていく未来が考えられます。このような負のスパイラルが、**高齢化を加速させていく**と、考えることもできます。ここで、私が言いたいのは、年金制度や介護の問題を解決するための取り組みが悪いということではありません。高齢化によって引き起こされる問題の解決に重点を置くようになるということが問題なのではないかということです。つまり、**制度の高齢化**が鳥取県における高齢化を加速させる要因になっていると考えています。私が思う「制度の高齢化」とは、若い世代よりも高齢の方にとって魅力的な政策に力を入れていくということです。高齢の方に魅力的な制度に重点を置くと、高齢の方がそれを求めるようになり、更に高齢化を加速させていくと言えます。これが、私の考える**負のスパイラル**です。そのため、若い世代に魅力的である鳥取県就職を支援する政策や**子育て世帯を応援する取り組み**を更に増やすべきであると考えています。バランスを意識することが大事。これは、どんなことにでも当てはまると言えるでしょう。現在、高齢者に対しての取り組みが若い方に対しての取り組みよりも多い気がします。地域の交通インフラ、介護支援など地域住民の豊かな成長を求め、若い世代が本当に住みたいと思える魅力的な地域になるために、鳥取県が何をやっていくべきか、考えていく必要があると思います。一つの提案として、鳥取県で進む高齢化によって生じる負のスパイラルが生まれていかないように、若い世代にフォーカスした取り組みを増やすことが一つの方向性としてあると思いこの記事を書きました。

鳥取県で新型コロナウイルスの発生が遅かったワケとは

**鳥取県にもコロナウイルスの感染者が確認されました**先日4月10日に長い間、新型コロナウイルスの感染者を出していなかった鳥取県で、陽性患者が確認されたというニュースを見て、実際に鳥取に住んでいる私がふと思ったことがありました。「**都道府県によって新型コロナウイルスの感染者数が発生するスピードに違いがあるのは、県内人口の多さに関係があるのではないのか**。」そのように私が思い至った理由として、鳥取県は全国で人口が最下位であり、実際に新型コロナウイルスの感染者が出た県で鳥取県は全国で46番目だったからです。しかし、別の観点では「人口密度」の方が関係しているという話もよく耳にします。政府は、三つの密「密閉、密集、密接」を避けるように呼び掛けていることからも、人々の密集度合いを表す各県の人口密度の方が関係しているのかもしれません。本記事では、鳥取県での新型コロナウイルス感染者の発生が遅かった原因について、人口や人口密度の関係性を数値的に求めて比較をしていくことで確かめていきたいと思います。、あくまで、アバウトな計算であることはご了承ください。また、定量情報から読み取れる情報によって、判断することの大切さについても言及しています。**感染者数と人口、人口密度の関係**まず、2019年10月の直近の国税調査確定人口を基にした「県別推計人口」と「人口密度」の順位と、都道府県別の新型コロナウイルスの感染者数を表したグラフは次のようになります。次に「人口と新型コロナウイルスの感染者数の散布図」と、「人口密度と新型コロナウイルスの感染者数の散布図」が次のようになります。散布図を少し見ただけでは、どちらの相関が強いのかは分からないので、それぞれの相関係数、1に近ければ近いほど相関が強くなる。を求めます。結果は次のようになりました。「人口と県別新型コロナウイルスの感染者数」の相関係数、 **0。896411**「人口密度と県別新型コロナウイルスの感染者数」の相関係数、 **0。924482**どちらも強い相関があることには変わりありません。しかし、**人口よりも、人口密度の方が新型コロナウイルスの感染者数との相関が強いことが分かります。**ここで、注意していただきたいことがあります。それは、**相関関係と因果関係は別**だということです。人口密度と県別新型コロナウイルスの感染者数がとても強い相関があることが分かりました。しかし、単に二つの数字に関係性があっただけで、人口密度が高いから新型コロナウイルスの感染者数が高いというように、どちらが原因でどちらが結果というわけではありません。感染者数は、人口と人口密度の二つの要素が大きな要素であると言えるだけです。**鳥取県の人口と新型コロナウイルス**統計的には人口より人口密度の方が新型コロナウイルス感染者発生に強い相関があると判断されます。鳥取県は人口と人口密度の両方が全国的に見ると低いです。よって新型コロナウイルス感染者の発生が遅かった原因は、広く見て**鳥取県の人口**による影響が強いのではないかと思われます。**最後に**読者の中には、本記事を読んでいただく前から、県別感染者数と人口や人口密度との間に関係性があることや、鳥取県の新型コロナウイルスの感染者発生が遅かった原因も鳥取の人口に関係がある考える方は多いと思います。また、他のメディアの報道や記事などで同じような推測がされていることから、実際に強い相関があったことに対して、それほど驚かれた方は少ないと思います。TOTTORI BUSINESS ONLINEを含めたメディアやSNSの情報は、**定性情報ばかり信じるべきではなく、定量情報を自分で求め、自ら考えることが大事**なのではないかと思います。「健康にいい影響がある」と言っても、健康成分が1%入っているものでも90%入っているものでも、表現としてどちらも健康には良い影響があると言えるのです。数値的な情報を見て判断する方がより客観的な結果が求められると思います。また、今回は着目した要素が「人口」と「人口密度」だけで、それ以外の要因には言及していません。

大学進学率が低い鳥取県で生じている社会的損失とは。|木田悟史

鳥取県の大学進学率と社会的損失鳥取県の大学進学率は2018年現在、43。8％となっており、一年間の高校卒業数4,945人の内、2,779人が大学に進学していない\*1。この数字は改善の傾向が見られるものの、全国平均の54。7%を下回る状況だ。、ちなみに全国44位。一方で労働政策研究、研修機構が公表している「ユースフル労働統計2018」によると、60歳まで働いた場合、高卒と大学、大学院卒では、男女平均で生涯賃金に約65,000,000円もの開きがある。\*2今後も上記の状況が続くと仮定した場合A\*B=2,779\*65,000,000 ＝ 180,600,000,000円、1,806億円。A、鳥取県の高校生の内、非大学進学者。、2,779人　B、生涯賃金の機会損失額。、約65,000,000円**1,806億円もの社会的損失が発生していると考えられる。**鳥取の場合、大学進学と同時に県外に出ていってしまう人が多い、約2割しか地元に残らない。ことを考えると、県内におけるこの損失額はさらに大きなものになると考えられる。鳥取県の機会損失を機会に変えていくためにそれではこうした「機会損失」を「機会」に変えるために、一体どのような施策を打てばよいのだろうか。例えば経済的な理由により大学への進学を諦めざるを得ない家庭も鳥取では多いと聞く。こうした課題に対処するため、既にいくつかの自治体では奨学金制度が始まっているが、仮に現在、経済的な理由に進学を諦めてしまっている高校生の中から優秀な学生を200人選抜、県内高校生の約1%。し、200人分の奨学金をカバーするとした場合、約5億円の予算が必要と考えられる\*3。また、仮にタブレット端末を県内の高校生全員に配布したとしても、1。5億円。の予算となる\*4。 Life is Tch等が提供するような外部のプログラミング素材を活用したとしても、数千万の予算規模で実施が可能だ。これらは、**先ほど概算した社会的損失の金額に比べれば非常に軽微だということが分かる。**企業誘致だけでなく大型の人材育成を鳥取県では数年前から鳥取大学医学部を核として、医療関係の企業誘致を図り、ヘルスケア関係の産業クラスターを作ろうという試みがされてきた。方向性は間違っていなかったと思われるが、一つ大きな落とし穴があった。せっかく良い企業を誘致できても、そこで働くことのできる人材確保に困っている企業が多いというのだ。また県では、企業誘致の施策に約40億円の予算を計上しているが\*5、企業誘致と並行して、人材の育成にもっと予算を振り向けるべきだろう。企業誘致施策に向けている予算の1割でもこのような人材の育成に向けることができれば、鳥取県の将来は大きく変わり得ると考える。\*1 、 平成30年度 学校基本調査結果、鳥取県。\*2 、「ユースフル労働統計2018」より抜粋学校卒業後フルタイムの正社員を続けた場合の 60 歳までの生涯賃金、退職金を含めない。は、図 21-1。、男性は高校卒 2。1億、大学、大学院卒2。7 億円、女性は高校卒 1。5 億円、大学、大学院卒 2。2 億円となることから、高卒と大学、大学院卒では男女平均で6,500万円の開きがある。\*3 、 国公立大学の4年間の学費、2,500,000円\*200人＝500,000,000円、約5億円。\*4 、 10,000円×15,000人＝150,000,000円\*5 、 鳥取県庁公式サイトより　2020年度鳥取県当初予算。なお、2020年度予算の中で教育費の占める割合は18。5%となっている。プロフィール氏名、木田悟史、きだ　さとし。所属、日本財団　鳥取事務所所長ソーシャル、イノベーション本部国内事業開発チーム　チームリーダー経歴、慶応義塾大学　環境情報学部卒業後、日本財団入団。総務部や助成事業部門を経て、NPO向けのポータル、コミュニティサイト「通称「CANPAN」カンパン」の立上げに関わる。企業のCSR情報の調査や、東日本大震発災後、支援物資の調達や企業と連携した水産業の復興支援事業の立上げを担当。その後、情報システムや財団内の業務改善プロジェクトを経て今に至る。

生産性を高める「スタンディングデスク」

**座りすぎの日本人**「日本人は、座りすぎ」。普段の私たちの生活を振り返ってみると、生活スタイルが座ることを中心としたものになっている人も多いのではないでしょうか。オーストラリアの研究機関が行った調査では、**日本人は一日に420分、7時間。も座っている**ということになります。この数値は、世界20カ国中、一番多い時間です。この結果から私たちの普段の生活では、座っていることが多いと言われているのです。しかし、私たちにとって7時間も座っているという自覚は、ほとんどないのではないでしょうか。そこで、日ごろの生活を例に見ていきます。ビジネスマンでは、一日8時間勤務と考えると、そのうちの4時間はデスクワークをするとします。学生の場合は、4時間のデスクワークではなく、机での授業です。仕事や学校に行っている時以外にも、座って過ごす時間は他にもあります。例えば、食事の時間やテレビを見るとき、読書をする時間などです。こうして見ると、一日7時間座って過ごしているという事実は、間違いではないと言えるのではないでしょうか。その一方で、座りすぎは良くないという研究結果があります。**健康に対しての悪影響や集中力の低下**などです。そこで、座りすぎる環境を変えるために私は、「**スタンディングデスク**」での作業をおすすめします。**健康に対しての効果「スタンディングデスク」**での作業は、その名の通り立ちながらの作業となります。立ちながらの作業は、しんどいという一面がありますが、座っての作業に比べて**健康に対して良い面があります**。一般的に、座るという行為で健康への影響として挙げられるのは、血流が悪くなることと筋肉の代謝が低下することです。血流や筋肉の代謝が低下することによって、心筋梗塞や脳梗塞、肥満などの健康のリスクが高くなります。しかし、スタンディングデスクを取り入れることによって、積極的に足を使うことになるのです。足は、筋肉が多いため、第二の心臓と言われています。そのため、筋肉の多い足を使うことによって、**血行が促され健康に良い効果を与えてくれる**のです。**集中力への影響**スタンディングデスクは、健康以外に作業の面に対しても良い効果を与えてくれます。それは、集中力を高めてくれるため「**生産性がUP**」するということです。立っての作業になると、自然と座っている時よりも姿勢が良くなります。姿勢が良くなることで、呼吸機能が向上するのです。それによって、脳に送られる酸素が増加して集中力が上がります。また、健康に良い理由として挙げましたが、血流が良くなることも集中力が上がる原因となるのです。血流が良くなることで、脳に送られる血液の量が増え、集中力が上がり持続するようになります。それに加え、立っての作業になるため「**眠気の予防」**となるのです。これらの点によって、生産性がUPするのではないかと、私は考えます。しかし、逆に立ちっぱなしになると、他の悪い点も出てきます。人間は、長時間同じ姿勢でいるのは好ましくないのです。そのため、私がおすすめするのは、時間を区切って**スタンディングデスクと机を使い分ける**ことです。**最後に**これは、全てのことに言えることですが、スタンディングデスクを取り入れても必ずしも結果が出るということではありません。ある報告によると、スタンディングデスクを取り入れての成果は2か月後からという情報もあります。そのため、この記事を通して、スタンディングデスクを取り入れるかを考える一つのキッカケになればと思っています。

高齢化率から推測する鳥取県の将来

全国の65歳以上の人口の割合は、歯止めなく高くなると予想されています。その中でも、都市規模によって高齢化率の増加速度に大きな差があることが分かりました。鳥取県の現在から、今後の**高齢化率や他県と比べた高齢化が進む速度**にどのような差があるのかを予測データを使って見ていこうと思います。**現在の鳥取県の高齢化率**まずは、総務省のデータに基づいた鳥取県の高齢化率の現状をお伝えします。全国平均が30。1%に対して**鳥取県は31。6%**となっています。 全国で見ても町中で出会う人の10人に3人は高齢者であることが、今の日本の置かれている超高齢社会の状況です。その中でも鳥取県は、全国で**15番目**に高齢化率が高く、平成30年の時点で全国平均を多少ではありますが上回っています。TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、過去に高齢者の制度重視に潜む問題を取り上げた「[負のスパイラルによる鳥取県の高齢化](https://tottori-biz.com/senior-negative-spiral/)」という記事も紹介していますので、是非チェックしてみてください。**鳥取県の老年人口の割合は他県ほど高くはならないかもしれない**全国平均を上回る鳥取県の高齢化率ですが、歯止めのきかない人口減少、少子高齢化が問題視されている中、国立社会保障、人口問題研究所によって令和27年、2045年。における全国の高齢化率について次のような予想結果がでました。全国で、15番目に高齢化率が高い鳥取県が、**令和27年、2045年。には、28位まで下がる**と予想されたのです。平成30年、2018年。の時点で、高齢化率は秋田県が最も多い36。5%で、沖縄県が最も少なく21。6%となっています。しかし、今後すべての都道府県の高齢化率は上昇して、36都道府県は現在の秋田県の高齢化率より高くなり、40%を超える都道府県は19もあると予想されています。そのような中で、鳥取県が38。7%で落ち着くと予想されたのはなぜでしょうか。**高齢化率が上昇しない原因は鳥取県の人口が**関係。同じく国立社会保障、人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」によると2015年を100とした都市規模別で見た老年人口、65歳以上人口。指数の推移は、次のような結果が予測されました。2015 年の人口を100 として、各年の人口を指数化「大都市」は、東京都区部及び政令指定都市を指します。3福島県は含まれていません。上の結果から、大半の規模の大きな都市の老年人口指数が大きくなる傾向とは逆に、「人口5万人未満の都市」は令和2年をピークに「**老年人口指数が減少する**」ことが分かります。鳥取県は都市と言える地域がそもそも少なく、**鳥取市の人口は19万人**、**米子市の人口は15万人、倉吉市の人口は5万人と**、3都市で県内人口の8割りを占めています。倉吉市も人口5万人以下の年に分類され、人口の多い都市がそもそも少ないことから、令和27年における高齢化率の上昇が低くなると考えられます。しかし、あくまでも予想であるということはご理解ください。**最後に**鳥取県の老年人口は今後、**全国に比べて高齢化率がそれほど高くはない層に分類されていく**と予想されることが分かりました。しかし、なによりも大切なことは若者を増やすことにあると思います。**若い方への支援をより強くしていく**ことで、高齢化率の上昇速度を抑えつつ若者の減少率も抑えることができるのではないでしょうか。そして、その結果より魅力的な鳥取県へとなることができると考えています。

「鳥取県のイメージ調査」から観光問題を考える

鳥取県のイメージ調査令和元年度の鳥取県に対するイメージの調査が、楽天インサイト株式会社によって行われました。この調査は、首都圏などの14都府県在住者を対象として5,400人に行われたものです。普段、鳥取県で生活をしている私たちが持つ鳥取県に対するイメージと、県外の方たちが持つ鳥取県に対するイメージに違いはあるのでしょうか。この差異を知ることも大切であると考えています。鳥取県に対して県外の方々が抱えるイメージを知ることによって、鳥取の魅力の再発掘や、問題点の発見を客観的にできるかもしれません。この記事では、この調査の結果を通して、私が考える鳥取県をより良くするために必要なことをまとめました。参考程度に見てもらえればと思います。**鳥取県と言えば**連想されるものとは。私たちの中で、鳥取県と言えば様々なことを思い浮かべるかと思います。県外の方に対して、**質問。「鳥取県」と言われて連想されるもの**という問いについて、回答された上位5つは以下のようになりました。県外の方の鳥取県のイメージは、鳥取砂丘というのが強いと言えます。砂丘と砂漠はここでは同じものであると考えると、鳥取県のイメージの8割は鳥取砂丘ということになります。では、鳥取砂丘以外で鳥取県と言えばと言われるとどうなるのでしょうか。質問。「鳥取砂丘」以外で連想するものという問いについて、回答された上位3つは次のようになりました。驚くべきことに、「**鳥取県**」と言えばという問いに対して、上のグラフでは3。2%であった**特にない**と回答した方が、今回の問いでは全体の4分の1程度いたのです。他の回答としては、「ゲゲゲの鬼太郎」や「蟹、カニ。」、「スタバ」、「大山」、「名探偵コナン」などが挙げられていました。スタバと回答されたのは、現在の鳥取県知事である**平井伸治**さんが「スタバは無いがスナバはある。」というフレーズで注目を集めたからであると考えています。このように、鳥取県にはたくさんの魅力がある中で、特にないと回答された方が全体の4分の1程度いたということは、鳥取県に住む私たちが鳥取県の魅力を発信しきれていないとも言えるのではないでしょうか。**鳥取県の魅力とは。**県内の方の思う魅力と県外の方が思う魅力がずれていると、対策を立てても思うような成果は出ないと言えます。そこで、**質問。「鳥取県」について魅力的だと思うもの**と言う問いに回答された上位3つは、特にないを除いて**自然環境、食べ物、まちの景観**でした。その中でも特に多かったのは、自然環境です。鳥取県は、たくさんの自然に恵まれているため、それを魅力と感じている方が多いのではないでしょうか。今度は逆に、鳥取県で魅力が不足しているところはどこにあるのかという視点で考えていきます。**質問。「鳥取県」について、魅力が不足していると思うもの**と言う問いに対しては、分からないという回答を除き**交通の便や娯楽**が挙げられました。その中でも、交通の便が魅力不足と回答した方が娯楽と回答した方の2倍以上いたのです。この結果から、鳥取県は交通の便によっての機会損失が大きいのではないかと考えられます。**鳥取県を訪問**する理由鳥取県を訪れる方は、何を目的に訪れるのでしょうか。**質問。「鳥取県」を訪れる場合、訪れる目的とするものは何か。**と言う問い対して、回答の上位3つは以下のようになりました。グラフより、鳥取県を訪問する理由として、自然との関わりを求めていると言えます。自然が多い風景や温泉、豊かな自然で育ったおいしい食材。これらが、鳥取県の魅力であると言えるでしょう。**最後に**この調査では、鳥取県への訪問意欲も調査されました。そこでは、76。4%もの方が「**鳥取県に行ってみたい**」と答えているのです。こうした人たちを実際に鳥取県へ来てもらうには、先ほども触れた魅力不足な点をしっかりと対策する必要があると考えています。特に、私が改善するべきところだと考えているのは、交通の便です。汽車や電車の路線で見ると、地域によっては行くのが不便なところもあります。また、路線バスでは、観光の視点で考えると鳥取空港からは主に鳥取砂丘へのルートぐらいしか通っていないように思います。鳥取県には、県外の方が求める豊かな自然があります。ジオパークや鳥取砂丘、大山などたくさんの自然に触れることができるのです。県外の方が求めるこのような自然を、今よりも更に身近に感じてもらうために、交通の網を整えていくことが効果的かもしれません。

コロナ後を見据えた医療のあり方｜木田悟史

**コロナウイルス蔓延に揺れる我々**今回のコロナウイルス蔓延によって、地域医療の課題が改めて浮き彫りにされた。イタリアでは、厳しい財政事情により医療施設や医師、看護士等のダウンサイズが行われた結果、ウィルスの感染拡大により患者数が急増する事態に効果的に対処することができなかった。日本においても今のところイタリアほど深刻な医療崩壊は起きていないものの、都心部で患者数が急増した場合には、早晩同じことが起こり得る。また、地方においては今回のような新型の感染症に対処し得る医療設備や人材が十分に確保できておらず、域内で感染が拡大した場合に必要な病床数や、マスクやゴーグル等、最低限の医療資機材すら不足している所が多いのが現状だ。一方で、いつ起きるとも分からない新型感染症の発生に備えて全国いたるところで十分な態勢をしこうとすると過剰な投資になりかねない。感染症に対応できる人材や減圧室のような設備が平時においても必要といえるかといえば、合理的に考えれば否だろう。しかし、こうした経済合理性だけに基づく判断だけで本当によいのだろうか。**病院再編問題に揺れる地方**昨年の夏、厚生労働省から発表された1つのリストが特に地方で波紋を呼んだ。「病院再編、統合リスト」である。全国424の公立病院、公的病院等について、がんや心疾患、脳卒中、救急医療などの診療実績が少ないことなどから、公立、公的病院等でなければ果たせない機能を果たしているのかという点について再検証を求める内容となっている。同省が設置したワーキンググループにおいて提言されたもので、必要に応じて機能分化やダウンサイジングなどを含めた再編、統合の検討を求めてはどうかといった意見も提出されている。これを受けて、指定を受けた各病院や自治体では、今年の9月までに何らかの対応策を纏めるべき動きだしているものの、戸惑いや憤りを感じている関係者も多いようだ。鳥取県の最西端、広島県と島根県の県境に位置する日南町という町にも、この指定を受けた病院がある。日南病院である。同病院では、国が地域包括ケアを提唱する何十年も前から、行政や保健師、ケアマネージャー等がスクラムを組み、地域の医療、看護、介護を支える仕組みが出来ていた。こうした取り組みは診療報酬には反映されないものの、地域における質の高いプライマリケアを実現するとともに、医療費や介護費の抑制に貢献してきた。実際に日南病院は公立の病院としては珍しく経年で黒字経営を実現している。こうした地道な取り組みをしているにも関わらず、再編や統合の対象となってしまうことそのものに自治体関係者からは疑念の声も上がっているようだ。日南病院のように、仮に質の高い地域包括ケアに準じた取り組みが行われていたとしても、そうした行為は診療報酬や介護報酬のようなインセンティブ、評価システムに反映されない。これでは真面目に努力した地域や医療機関が報われないのではないだろうか。**医療資源をどのように配分すべきか**ここで鳥取県出身であり、長年ノーベル賞候補と目されてきた経済学者、宇沢弘文の言葉をお借りしながらこの問題について考えてみたい。宇沢はその著書**「社会的共通資本」**の中で、**「医療を経済に合わせるのではなく、経済を医療に合わせるのが、社会的共通資本としての医療を考えるときの基本的視点である。」**と言っている。医師や看護師、それから医療行為を行うための様々な施設や資機材等の資源には当然限りがあり、そうした“希少資源”をどのように分配するのかを考えねる必要があるというのだ。宇沢は現行の医療制度を支える診療報酬制度の問題にも触れながら、こうした資源配分については、市場的な基準に基づくのではなく、あくまで医学的観点から見て最適かどうかという基準によってなされるべきだと主張している。わが国の制度では、医師や看護師の給与はそれ単体で見れば赤字であり、検査や薬剤投与等、物的に測れる医療行為によって決まる診療報酬の黒字部分によって埋め合わせが行われているのが現状だ。今回のコロナウイルス対応の中で、医師や看護師の方々が自らの命と引き換えに懸命な努力をされているのを私達は目の当たりにしている。しかし、こうした医療行為に見合った金額を私達は本当に負担しているといえるのだろうか。国の財政負担問題をどうにかしていくことは確かに重要ではある。しかし真に国民生活にとって重要な医療資源に対して、どういった負担を行うべきなのか、私達はそろそろ真剣に考える時期に来ているのかもしれない。そして、人口減少の影響が顕著な地方は一層喫緊の問題なのである。プロフィール氏名、木田悟史、きだ　さとし。所属、日本財団　鳥取事務所所長ソーシャル、イノベーション本部国内事業開発チーム　チームリーダー経歴、慶応義塾大学　環境情報学部卒業後、日本財団入団。総務部や助成事業部門を経て、NPO向けのポータル、コミュニティサイト「通称「CANPAN」カンパン」の立上げに関わる。企業のCSR情報の調査や、東日本大震発災後、支援物資の調達や企業と連携した水産業の復興支援事業の立上げを担当。その後、情報システムや財団内の業務改善プロジェクトを経て今に至る。

鳥取県の食品メーカー「マルサンアイ鳥取株式会社」

「マルサンアイ株式会社」は、愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地に本社を置く味噌と豆乳を製造販売する食品メーカーです。豆乳の国内シェアは全国2位です。そんな「マルサンアイ株式会社」は、鳥取県に「マルサンアイ鳥取株式会社」を設立され、鳥取県に生産拠点を構えています。本記事では、「マルサンアイ鳥取株式会社」の企業紹介や、新型コロナウイルスへの対応など最近の取り組みを、「マルサンアイ鳥取株式会社」の代表取締役社長でいらっしゃる兼子明様の取材を通してお伝えしていきます。**「マルサンアイ鳥取株式会社」の紹介をお願いいたします。**「マルサンアイ鳥取株式会社」は愛知県岡崎市にあります「マルサンアイ株式会社」から派生した子会社です。マルサンアイは元々お味噌を売る会社でしたが、同じ大豆つながりということで1980年ごろから豆乳を開発して、日本豆乳市場のトップとして作っていました。鳥取県に豆乳の工場が出来たのは2014年、そこから豆乳を売る子会社としてマルサンアイ鳥取株式会社が立ち上がりました。**「マルサンアイ鳥取株式会社」にしかない強みなどありますか**。グループ会社の中なので、基本的には親会社の下にはありますが、一つの法人として鳥取県に合った形で、運営していけるところが強みです。別法人であるがために親会社のやりかたに縛られないフットワークの軽さが実現でき、実際に働く人たちの要望を見ながら、独自に動いていけるという良さがあります。また、人によっては良くないと思われるかもしれませんが、いわゆる**転勤**がない、という点も鳥取でしっかりと生活設計が立てられることから、一つの特徴だと思います。**鳥取県のどのような点が御社のビジネスにとって有利な点ですか**。豆乳というのはたくさんの水が必要です。鳥取県に進出する際も最初にこちらから投げかけたのは、「水は出ますか」と「豊富な水はありますか。」という質問でした。今私たちは河原町の千代川のほとりに建っていますので、千代川の伏流水を使うということで豊富な水使えるというのが鳥取のメリットだと思います。また、進出した当時も鳥取県の誘致活動は盛んで、食品政策がかなり良かったというのが現実的にはあります。それを基に今の安定的な経営ができるというのも特徴です。**新型コロナウイルス感染症の影響で何かしらの動きはございますか**。紙パックの豆乳というのは冷蔵庫に入れる必要がなく日持ちする商品ですので、土曜日も含めてフル生産しております。 もしも感染者が出た場合、工場の生産高が減少するなどの影響で社内の内定取り消しが起きたりはしないかという心配につきましては、少なくとも工場でのフル生産は続きますので会社としてそのようなことをすることはありません。**今後マルサンアイの事業を通じてどのような未来を描いていきますか。**私達は大豆を使うというキーワードは外さず、みそ、豆乳、それから大豆タンパクや、植物タンパクをキーワードとしたことをしていきたいと思います。例えば、豆乳でも今はドリンクですが、牛乳と同じようにチーズや、ヨーグルトなども作ることができます。実際にヨーグルトはかなりできているので、次はチーズや植物性タンパクに特化したものがこれから先のビジネスにつながっていくのではないかなと思います。**今の若者へのメッセージなどあればお願いいたします。**何事にも興味を持って、誰かにストレートに話せるぐらいに**その興味を表に出していける**と良いと思います。会社情報企業名、「マルサンアイ鳥取株式会社」社員数、 65人　、男性44名、女性21名。社長、 兼子 明会社概要、 2017年、マルサンアイはより多くのお客様においしい豆乳を届けるため新たに鳥取県に豆乳向上をオープンしました。敷地面積26,862㎡、建物の全長約175m、最新鋭の設備を有する豆乳工場です。[マルサンアイ鳥取株式会社のホームページ](https://marusanai-tottori.co.jp/)

鳥取県の農業法人「有限会社村岡オーガニック」

「旬刊政経レポートとのコラボ」月に一度、旬刊政経レポートと記事交換をするコラボをさせていただいています。第二回目は「有限会社村岡オーガニック」様のインタビュー記事を掲載させていただきます。植物を通して人を幸せにする、新しい産地を目指す有限会社村岡オーガニック東伯郡北栄町東高尾419-4で花、野菜の育苗を営む㈲村岡オーガニック。2010年には同社が研究を重ねて作り上げた、「マドンナの宝石　ピンク」がフラワー、オブ、ザ、イヤーを受賞した。村岡佑基氏は「現在は私と弟、朋典氏。が中心となって事業を進めています。私たちは共に農産物輸出額が世界で２位のオランダの花の会社で研修しました」と話す。それから同氏は東京で人材派遣業の営業を経験し、同社に入社した。入社当初は経営が厳しい時期もあったがペチュニアの開発をきっかけに事業が拡大したという。「経営理念として、植物を通して人を幸せにするという考えがあります。苗を作ることはただの手段です。この苗を買って作物を作る方々が儲かって幸せになってくれないと我々の仕事もないんです。それを求めると我々の就労環境を充実させることも重要ですし、作っておしまいじゃなくてどんなフォローができるのを考えた方が面白いですよね」と同社のこだわりを話す。創業当初、同社は地域の特産物でもあるスイカの育苗がメインだったが、今では安定した収穫を確保できるキャベツやブロッコリーなどの育苗も営んでいる。背景には従業員への思いがある。村岡氏は「スイカだけだと秋は空いてしまうんです。農場が年間通じてうまくまわるようにして従業員の生活を守らないといけません」としている。同社の苗は花、野菜ともに評価が高く、業績も好調。その強みには品質はもちろんだが、地道な営業活動が成果を上げている。「この業界では、市場の展示会にまで出店する企業は全国的にも珍しい。我々はそれをやってきました。そうするとバイヤーさんに顔を覚えていただけます。同品質のものが市場に出た際、顔の知っている人から買おうと思ってもらえる」と人と人との繋がりを深めることにも力を入れている。今後の事業展開については「“**冬取り新玉ねぎの産地**”を作ろうと考えています。そもそも冬取りの新玉ねぎの単価が高いというのは分かっていました。どうしてみんなやらないのかというと育苗が難しい。しかし、我々は育苗を生業をしています」と話す。新玉ねぎは消費量も多く、玉ねぎなので腐りづらい。販売期間が長いためロスも少なく、需要も高い。「生産のローテーションの一つに入ってきてくれたら生産者の利益も上がる。そうすることで苗から鳥取に“産地”を作ることができる。我々だけでできることは限られていますから、多くの人を巻き込んで地域を盛り上げていきます」と先を見据えている。会社情報有限会社村岡オーガニック鳥取県のちょうど中央に拠点を構える。経営理念である「植物を通して人々を幸せにする」をモットーに花苗、野菜苗の生産販売を行っている。[公式YOUTUBEチャンネル](https://www.youtube.com/user/muraokaorganic/featured)[公式HP](https://muraokaorganic.com/)村岡オーガニックでは2021新卒求人も行っています。興味がある方は下記URLからお問合せください。[村岡オーガニック2021年卒求人](https://muraokaorganic.com/recruit/recruitregular?fbclid=IwAR2i3WbMri4NXIynxDzPAGcdIEP1ktR7p617Paq8GQM094kSdTRcu0m7izo)

読書の重要性と鳥取県の取り組み

日本全国で自粛ムード日本全国に緊急事態宣言が出されたため、最近はさらに家にいる時間が多くなったように感じます。しかし、気を付けなければいけないのは、この期間の過ごし方一つで「**これからの人生に差がつく」**可能性があるかもしれないということです。この期間中に自分を成長させるための行動をしていた人とそうでない人。この両者の間には大きな差が生じると言えます。この家にいる時間をただ呆然と過ごすのではなく、自分が成長するための行動に費やしていく必要があると思います。そこで、私が自分を成長させる行動としておすすめするのは、読書をすることです。この記事では、読書がもたらす効果やこの期間中に鳥取県が行う取り組みについて発信していきます。**読書がもたらす効果**読書をすることで得られる効果は、たくさんあるとされています。この記事では、その中の4つを紹介します。**知識が増える**本を読むことで、自分の知らなかったことや体験したことがないことの情報や知識を身に付けることができるのです。また、**本の著者が得た知識や情報を手軽にかつ短時間で、自分の知識や情報**に加えられるのです。これが読書の一番のメリットであると考えています。**視野が広がる**自分の思考パターンは、意識をしない限り似たようなものになりがちです。読書を通して、自分とは違う思考パターンや視点、考え方などに触れることで、より深く物事が考えられるようになります。また、偉人たちの物事の考え方や捉え方に触れることで、ビジネスや生活において何らかのヒントを得られるかもしれません。**読解力が上がる**読解力を鍛えるために本を読まれるという人も多いと思います。読解力は、学習や日常生活において重要度が高いと言われています。ビジネスにおいては、相手の言っていることの本質を捉えることで仕事の成果が変わってくるのです。また、学習の面では何が問われているのかを正確に理解することができるようになると、成績のアップにつながります、**免疫力が上がる**「ストレスを抱えていると免疫力が低下する」とよく耳にします。活動自粛を余儀なくされる今では、ストレスが溜まるのも仕方がないことです。しかし、ある研究では6分の読書をすることによって**ストレスが60%減った**という結果が報告されています。この**ストレス解消効果**は、散歩や音楽、お茶、ゲームなどをするよりもはるかに効果があったそうです。現在、ステイホームを心掛けるように言われます。家にいることが、新型コロナウイルスを予防するには効果的なのです。そのため、家で読書をすること自体が新型コロナウイルス予防に効果があると言っても過言ではないように思います。**読書が年収に与える効果**ある調査によると、**読書をよくする人ほど年収が高くなる**傾向があると報告されています。2030代のビジネスマンは1か月に平均して本を0。26冊読むのに対して、年収が3000万円の30代の人は1か月に平均で9。88冊本を読むそうです。しかし、ここで大切なのは本をたくさん読めば良いということではなく、その本に書かれていた内容をどれほど身に付けることができたかにフォーカスを置くべきだと思います。現にこの調査では、年収が1000万円以上の人は読んだ本の内容について話す相手がいたとされています。このように、読書に限らないことですが**「インプットとアウトプットはセットでする」**ことが大切なのです。**教育の場を設ける鳥取県の取り組み**。年収の話は主に大人に関する内容ですが、知識が増えることや読解力が向上するなどの効果は子どもたちについても言えることです。そこで鳥取県の教育員会では、県内の学校が臨時休校となることが増える中、子どもたちに教育の場を設けるため読書に関する取り組みを始めました。その取り組みの内容は、**対象**、感想文部門、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校、高等学校の部、感想文部門、小学校低学年の部、中学年の部、高学年の部、中学校、高等学校の部、絵てがみ部門、小学校低学年の部、中学年の部**表彰**、知事賞、優秀賞等、賞状および副賞図書カード、最高1万円分。、県産品など、参加賞、応募者全員**応募要領**感想文部門、400字詰め原稿用紙23枚程度絵てがみ部門、はがき程度の大きさの紙1枚に絵と文で表現、パソコン使用は不可。[詳しくはこちらから](https://www.pref.tottori.lg.jp/jikkuri-dokusho/)本でインプットした知識や情報のアウトプットの機会として、ぜひ挑戦してみてください最後に新型コロナウイルスの影響によって、制限されることが多くなっています。それに対して不満を言うことは簡単なことです。しかし、与えられた環境で何ができるのかを考える事が大切であると私は考えます。そんな中、手軽に取り掛かかることができて、かつメリットが多いものとして読書が挙げられます。家庭の中において、本の読み聞かせや読んだ本の内容を家族に共有することで、家族との交流が増える良い機会になるかもしれません。家にいる時間が増えた今の状況を、**自分が成長するために与えられたインプット期間**として捉えることもできます。各々がこの期間でインプットした情報を、新型コロナウイルス収束後にアウトプットしていくことで、鳥取の方が今よりも更に充実した日々を暮らせるのではないかと思います。

自分達の足を守るために考えるべきこととは。｜木田悟史

路線バスの維持における税負担鳥取県のような人口減少地域において、真っ先に上げられるのは地域交通に関する課題だ。実際に鳥取市が公表している令和元年度「鳥取市民アンケート調査報告書」によると、住民が満足しておらず、かつ施策として重要度の高いものとして**「交通の便」**が挙げられている。私自身、鳥取市内の中心市街地周辺に暮らしているが、車を持つようになってから、公共交通機関を使うことはほとんどなくなってしまった。日常で生活をしていると路線バスが走っていることは当然のことのように思えるが、実はこの**路線バス維持のために、私達はかなりの税負担をしている**。今回はこのテーマについて考えてみたい。**路線バスの維持に関わる維持コストはどれくらいなのか**鳥取市は、昨年末、このままでは路線バスを維持することが困難になるとして、廃線予定となる路線バスを前倒しで公表した。路線バスがなくなった後の代替手段について、**住民側にも考えてもらいたいという行政側の意図もあった**ようだ。鳥取市ではこれまでに、路線バスを維持するため、例年財政措置を講じてきた。直近の2020年度は、路線バス維持のために年間2。3億円の予算が計上されている。市ではこの他にも過疎地有償運送や高齢者向けの補助制度などの政策を持っており、これらの政策を総合するとかなりの予算額となる。では、路線バスがどれくらい利用されているのかというと、2014年度においては2,678人となっており、一人当たり76,152円の税金が使われていることになる。2014路線バス利用者数、鳥取県「地域公共交通の現状」より抜粋。ここで考えてみたいのは、この数字が行政的に高パフォーマンスなのか、それとも低パフォーマンスなのか、ということだ。市側も路線バスの廃線を順次決めているということなので、当然パフォーマンスは悪いのだろうが、この数字を見るだけではなかなか判断がしづらいと言える。また、約2億円あまりの費用は、何かあった場合の保険としても考えられる。高齢化が進んで免許返納者が増えた場合、最後に頼れるのは公共交通手段しかないからである。実際に鳥取県では、ここ**5年間で65歳以上の高齢者における免許返納者が約3倍に増えている**。**共助交通という補完手段**そこで、ここでは思考実験として、仮に公共交通を全て住民達による共助によって代替するというケースを考えてみたい。\*2共助交通とは、自家用車やリース車を使って、住民達が有志で移動手段を確保していこうという取り組みだ。現状、我が国では自家用有償運送、いわゆるUber等のサービス。は法律上認められていないため、実費相当分、ガソリン代等。のみをユーザーに負担してもらい、ドライバーは基本的には無償でという形が一般的である。ただしカーシェアリングの場合、車を借り上げるための経費が月に2万円以上するなど、事業実施団体側の負担は一定程度発生する。これまでのケースでは、1ヵ所あたり年間で概ね100万円程度の行政負担が必要だ。これをカバーするために自治体側で予算を組んでいるケースも多い。うまくいっている地域では、**共助交通の利用率は非常に高い**。日本財団が鳥取県と共同して取り組んでいる米子市永江地区のケースでは、月間の利用者数が約65人となっている。2019年10月時点。仮にこの数字が一年間推移した場合、一人1,282円/年の行政負担となる。あくまでこれは机上の比較なので、厳密にはこの数字と比較して路線バスの維持経費が高すぎるから、すぐに共助交通に切り替えるべきだと唱えるつもりはない。しかし、人口減少により今後は税収も細り、そして利用者も減っていくことがかなり高い確度で想定される中、地域住民の移動の自由を確保するために、**どういった施策を打つべきか真剣に考える時期に来ていることは間違いない**。**万能な解決策はない。選択肢を増やすべき**現状行政においては、基幹交通は交通政策課が所掌し、過疎地におけるラストワンマイルの所については福祉課や地域振興局が担うなど、政策が個別に分断されており、意思疎通も十分に図れているとはいえない。\*3また、単に行政コストを削減するという観点だけではなく、住民目線に立ちながら、どうすればより良いサービスを提供することができるのかを検討するべきだ。移動に関しては、近年、自動運転やMaas等テクノロジーの力を使った課題解決の試みも国内外で始まっている。今回のコロナ禍によって、医療の分野ではオンライン診療等の規制が緩和され始めているが、交通の分野でも今後無人化が進んでいくことも想定され得る。\*4いずれにしても、今のうちから考えられ得る選択肢を増やしていき、いかに低コストでかつ住民満足度を高められる交通体系を作れるのか、行政だけでなく民間の知恵も結集した取り組みが求められる。注釈\*1  2014路線バス利用者数、鳥取県「地域公共交通の現状」より抜粋。\*2  鳥取県内でも鳥取県、日本財団共同プロジェクトにより、いくつかの自治体において共助交通の取り組みを進めているが、実際には公共交通を全て共助交通に代替することは困難であり現実的ではない。あくまで公共交通の補助手段として捉えるのが現実的である。\*3 「ラストワンマイル」、物流や通信事業の分野で使われ、物流の場合は最終拠点からエンドユーザーへの最後の区間のことを意味し、通信の分野においてはユーザーと業者を結ぶ最後の区間のことを指す。\*4 「MaaS、Mobility as a Service。」、バス、電車、タクシーからライドシェアやシェアサイクルといったあらゆる公共交通機関を、ITの技術を用いてシームレスに結びつけ、人々が効率よく、かつ便利に使えるようにするシステムのことプロフィール氏名、木田悟史、きだ　さとし。所属、日本財団　鳥取事務所所長ソーシャル、イノベーション本部国内事業開発チーム　チームリーダー経歴、慶応義塾大学　環境情報学部卒業後、日本財団入団。総務部や助成事業部門を経て、NPO向けのポータル、コミュニティサイト「通称「CANPAN」カンパン」の立上げに関わる。企業のCSR情報の調査や、東日本大震発災後、支援物資の調達や企業と連携した水産業の復興支援事業の立上げを担当。その後、情報システムや財団内の業務改善プロジェクトを経て今に至る。

鳥取県の今をラベリング理論から捉える

鳥取県には全国的に有名な地域はあるだろうか。「地方」、「地域」という言葉を通して、人によってイメージする風景や人に大きな違いがあるはずだ。私は、廃校寸前の島の高校を入学希望者殺到の高校に変貌させた地域や、人口が1500人を切るにもかかわらず「ローカルベンチャー」と言えば必ず名前を聞くようになった地域など地方創生において頻繁に名前の上がるような地域から、知名度はなくとも自治機能が高い水準で機能している地域まで幅広く足を運び見てきた。これらの地域は、鳥取県から地理的に近い場所に位置する。なぜ、鳥取から同じように全国的に名前が知られる地域が現れないのか、鳥取にある地域は、それぞれが沢山の魅力を持っていると承知の上で、都心に出た際に認識されていないという現実をもとに話を進める。私はその一つの仮説として、「鳥取県民のラベリング」があるのではないかと考えている。ラベリング理論、逸脱理論。「ラベリング理論」という言葉をご存知だろうか。ある悪い行いをしてしまった人が、周りから「悪いやつだ」とラベリングされることで、「自分は悪い奴なんだから悪いことをするぞ」と開き直り、悪行に磨きがかかるということである。この悪い意味のラベルのことをスティグマ、落胤。という。これは、逆のパターンにも当てはまり、模範的な人に周りが、「あなたはいい人だ」ということにより、その人が良い人であり続けようとすることでもある。社会学者Ｈ、Ｓ、ベッカーが構築した理論で、ベッカーは「逸脱などの行為は、他者からのラベリング、レッテル貼り。によって生み出される」と指摘した。スティグマ、落胤。を自分たちで生み出していないか私は鳥取県において県民同士が悪いラベリングを相互に行い、スティグマを生み出してしまっていると考える。地域におけるスティグマとして挙げられる言葉には、「この地域には何もない」「どうせ何をしても無駄」「所詮田舎だから」というワードがあるだろう。そして、これらのラベルを鳥取県に来てから私は何度も聞いた。ご年配の方だけではなく、若い経営者や学生からも聞くことがあった。仮に、鳥取県を少しでも良くしようと働きかけている方でも心のどこかで、「どうせ動かないと思うけど」「どうせ変わらないけど」と、周りに対してそう思っていたのではないだろうか。そのような心理は、日常の発言の中で地域の人々をラベリングしてしまっているかもしれない。そして、生み出されたスティグマが、鳥取を誇ることを妨げている。鳥取県に素敵なラベリングが増える未来鳥取県には、他県にはない魅力を持つ地域が多数存在する。鳥取市の民藝をはじめとする文化的な資本、県外のファンを多数抱える智頭町のパン屋や湯梨浜の宿、観光資源としての可能性を秘めた鳥取砂丘、梨や和牛など全国的にも品質の高い農産品、八頭町は廃校の利活用の分野では先進的である。後は、挑戦するプレイヤーだけでなく地域の全体が「良い未来を作ることができる」と、自分だけでなく地域の人をラベリングしていくこと、つまり信じ抜くことでしか、地域は本当の意味でスティグマを取り払うことはできないのかもしれない。なぜなら、全国的に注目される地域では、「なんとかなる」「どうなろうが面白くなる」「ないものはない」「期待している」などの相互のポジティブなラベリングで満ちていたからだ。

あなたは鳥取県のことをどれだけ知っていますか。「書籍、一般。編」

皆さん、コロナ禍でいかがお過ごしでしょうか。多くの方がステイホームで読書や筋トレ、プログラミングなどの自己啓発や、まったり映画や音楽などの娯楽を楽しんでおられるのではないでしょうか。今回は、時間がたっぷりあるこのような時期だからこそ読みたい**鳥取に関連する書籍**を紹介していきます鳥取県民の方には、県外の方としゃべるときに鳥取県に関することについてもっと広めていただいたり、もっと鳥取を好きになってもらえるようなラインナップとなっています。県外の方や県外出身の方は、鳥取についてもっと深く知っていただくきっかけにぜひ読んでみてください、今回紹介する本は全てAmazonで購入できますので、ぜひポチってみてください。**鳥取あるある**鳥取出身で芸人の方が、鳥取の「あるある」ネタを通して、鳥取の魅力や地域ネタ、雑学を面白おかしく紹介されている本です。非常に読みやすく、本にあまりなじみのない方でもすんなり読めるのではないでしょうか。鳥取県の方にはついつい「あるある」となるネタ満載で読んでいて飽きないと思います。また、県外の方には「へぇーそうなんだ」となる小ネタが多く見つけられるのではないでしょうか。書籍、「鳥取あるある」**すごい 鳥取市 100 SUGO BOOK、鳥取市公式フォトガイドブック。**これは、鳥取市が出している公式のガイドブックです。このガイドブックでは、写真家の浅田政志さんが撮り下ろした写真で鳥取市の魅力を数多く紹介してくれています。鳥取のディープなところも知ることができ、鳥取市内の飲食店や美術館などのクーポン、44枚。も付いてくる超優れものです。また、フォトガイドブックという事で、現地の美しい景観や楽し気な雰囲気がダイレクトに伝わります。このフォトガイドブックを読んで、ぜひアフターコロナに鳥取へ足を運んでみてください書籍、「すごい 鳥取市 100 SUGO BOOK、鳥取市公式フォトガイドブック。」**鳥取県まるごと読本、改訂版。**この本では、鳥取県内を中心に活躍する様々な分野のエキスパートが執筆、慣習を担当していることが特徴です。そのため、鳥取県内の魅力や取り組みを第一線で活躍している人の視点で知ることが出来ます。「鳥取県のすべてが分かるガイドブック」と銘打っているだけあり、自然や伝統文化、歴史や産業などの幅広い分野で鳥取県を知ることができます。巻末には鳥取県をまるごと網羅しているMAPもついており旅のお供にも、非常に便利です。書籍、「鳥取県まるごと読本、改訂版。」**鳥取「地理、地名、地図」の謎 意外と知らない鳥取県の歴史を読み解く**この本では様々な視点から鳥取を考え、読者の知的好奇心をくすぐる話題を数多く取り揃えています。詳しくはAmazonの商品の説明を読んでいただきたいのですが、一部紹介すると、「鳥取県が消えた空白の5年間」「しっぽの形をした弓ヶ浜半島の成り立ち」「崖に立つ投入堂は、いつ、誰がつくったか」「三朝町の三徳山三佛寺。なぜ「三」づくし。」「日本一“カレー”を食べる県民は、“カレイ”もたくさん食べる。」などです。この見出しだけでも読みたくなってしまいますね。ただ読むだけでも十分面白いのですが、本書でこのような歴史や地理的な背景を知ったうえで実際に鳥取の観光地を訪れると、その旅の楽しさが一味も二味も変わってくるのではないでしょうか。書籍、「鳥取「地理、地名、地図」の謎 意外と知らない鳥取県の歴史を読み解く」**最後に**今回は、読むだけで鳥取県が好きになり、さらに興味がわくような書籍を4冊紹介させていただきました。次回のこのコーナーでは、「**鳥取の歴史**」にフォーカスした書籍を紹介します。是非、ご覧ください。

文学から読み解く「アフターコロナの世界観」｜安川幸男

**14世紀あるいは2020年**僕たちは現在、いま。危機的な状況に置かれている。解ってはいるが、疫病のリアリティを鋭い触覚で触れるというよりは、「メディア空間に漂う無数の言説に感染する」という意味で、少々食傷気味に日々デストピアの物語を紡がれている状態だ。それはインフォデミックとして、真偽ない交ぜになった情報が拡散し、**人の脳や心を情報感染させる装置**にもなっている。暗黒のメタファーではないが、14世紀に中世イタリアから発生したペスト、黒死病。は当時の欧州の人口を1/3にまで貶めた疫病であり、昨日まで信じていた社会秩序や構造、そして何よりも中世の「神の絶対的な世界」を土台から震撼させたエポックメーキングな事件であったという意味では、COVID-19とパラレルに語られる事象となる。**ボッカチオ「デカメロン」**ペストの猛威がヨーロッパ各都市を襲う。コンスタンティノープル、ヴェネツィア、そしてフィレンツェと地中海沿岸を舐めるように風魔のごとくペスト菌が拡がっていく。この渦中でペストにより父親を亡くしたボッカチオは、しかし、「デカメロン」を構想する。その前書きには、当時の陰惨な状況が垣間見える。「一日に数千人もが発病しました。誰も介抱してくれず、なんの助けもありません。救いの道は閉ざされたのも同然です。みんな死にました。昼も夜もです。」「デカメロン」とは、10の物語を10段階にわたって煉瓦のように積み上げていく独特の編集術、フレーム。だ。彼が同じトスカーナ人のダンテ「神曲」を意識して紡いだ物語は、ペストから逃れフィレンツェ郊外の屋敷で10人の男女が退屈しのぎに一日に10話ずつ、10日かけて100話が語られる。話の内容は当時としてはかなり過激で、艶やかな色を含む、不謹慎で残酷なストーリーが語られる。それは陰鬱なペスト禍での社会的アンニュイを払拭するべく、奔放な人間の生命力を謳歌するルサンチマン、憤り。であった。そしてこの人間的な生命力はイタリア、ルネサンスの光へと昇華していく。黒死病という**闇が深ければ深いほど、人間は新たな光明を求めて精神的な彷徨を重ねていく**。**カミュ「不条理の哲学」**「私は地中海をこよなく愛した」フランスの歴史学者、フェルナン、ブローデル。20世紀歴史学の金字塔である「地中海」は西欧、アジア、アフリカを包括する文明の総体というシステムを描いた。この青い世界で物語は、フランス領アルジェリアの港町オランでのネズミの大量死という「奇妙な事件」から紡がれていく。それがアルベール、カミュ「ペスト」の序幕だ。「ペストという、未来も、移動も、議論も消し去ってしまうものを、どうして考えることができたであろうか。人々は自分が自由だと信じていたが、天災が存在するかぎり、誰も自由にはなれないのだ」オランの人口は20万。鳥取市と同じ規模のこの町が完全にロックダウン、閉鎖。され、閉じ込められた究極のハードな空間でこの疫病と戦う人々の、刻一刻と変わる行動と心理常態。そして孤独。パンデミック群像劇の描写のなかに、今のコロナの状況や世界を裸で直視している私たちには既視感を通り越し、皮膚感覚で灼けるリアルを映し出す。この作品はヒューマニズム的な人間賛歌でも、シンプルなヒロイズムでもなく、単調に乾いた逼迫した現実、神の存在さえ脆弱になる。と、感情さえ消されていくなかで人間の行動と死との戦いが心理的ドラマとして描かれる。「僕たちはみんなペストのなかにいる」「誰でもこいつを自分のなかに持っている」生存をおびやかす不条理はCOVID-19とつながり、この物語が描く予言的なリアリティは今後の社会システムを考え、構想していく上でも糧になる。そして人類が、何度も何度も直面してきた疫病との戦いを歴史や文学で反芻し、同じ呼吸リズムで追体験することで、**「アフターコロナの世界観を描くこと」**が僕たちに課せられた責任かもしれない。アフターコロナの景色は変わる。そしてもしかしたら、これからの世界は**「With COVID-19」**だと言えるかもしれない。参考文献「デカメロン」　著者、ボッカチオ　河出文庫、2017。プロフィール安川　幸男所属、合同会社イキナセカイ代表、神戸大学客員教授経歴、1970年東京生まれ。Iターン移住者。出版、メディア業界を経て、ビジネスプロデューサー職で株式会社NTTデータへ。社内ベンチャー立ち上げ等を経て、NTT持株にてグループのコンテンツ戦略を推進後、NTTドコモにて東京大学とオンライン教育に関する共同研究など、15年間NTTグループにて新規事業開発に従事。46で生き方を考え、地方暮らしを選択して鳥取へ移住し、鳥取県庁へ入庁。商工労働部にて起業家支援を推進後、鳥取銀行へ。地方創生、ベンチャー型事業承継、産学連携プロジェクトを経て、2020年4月に独立し、現在は教育、大学客員。、中小企業支援、地域創生、人材育成、リベラルアーツと分野を越境したローカルでのビジネスプロデュースを推進。

大学のオンライン授業化

**鳥取大学でもオンライン授業が開始**鳥取大学では当初予定されていた4月8日からの新学期開始が、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、4月22日まで延期になったと同時に全授業がオンライン化になりました。どの授業も初回は皆慣れない状況に戸惑い、講師も「初めてのことで私も戸惑っております。」と口をそろえておっしゃっていました。そのようなオンライン授業ですが、本記事では「**オンライン授業の様子**」について実際に授業開始から約3週間分のオンライン授業を体験してみた学生の感想などをそれぞれの項目で添えています。鳥取県の小中高では、登校する時間帯を分けて、三密を防ぐなどの新たな授業形態の取り組みなども行われていますが、今回はあくまで**遠隔で行われる授業**に焦点を当て、実際に行われている**大学の状況**を参考にして書いた記事であるため、ご注意ください。**具体的な授業形式**授業の形は主に次の2つに分類されます。**ライブ形式の遠隔リアルタイム授業**複数の人が画面に顔を映しながら同時に会話ができる会議ツールを活用してリアルタイムでどこからでも授業に参加できる形式です。主に利用されているサービスは大学からも推進されている「Google meet」です。しかし、授業によっては、「Zoom」を使うところもあります。**オンデマンド式の授業**予め授業を撮影して、学生のみが見ることができる共通掲示板で撮影した動画を講師が掲載し、生徒は期限内であればいつでも視聴ができるという形式です。**現状授業として機能しているのか**やはり、皆様が気になっているところは、授業がオンライン化することによって、授業としてしっかりと機能しているのかということでしょう。結論から申しますと、大半の授業は機能しています。しかし、一部の授業はうまく機能していないのが現状だと思われます。原因として挙げられるのは主に2つです。一つ目の原因は、対面接触が前提で成り立つ内容で組み込まれている授業が大打撃を受けたことです。大学の授業の中には、グループワークを主にしていく授業や、フィールドワーク、社会調査など屋外での活動が必要な授業があります。屋外での活動が必要な授業が稼働困難な状況にあることは、活動自粛が求められる現社会状況からも予測がつくと思います。原因の二つ目は、オンラインツールを全員が使いこなせるというわけではないということです。誰しも得意や不得意があるのは仕方がないことです。しかし、オンラインツールをうまく使いこなせる人とそうではない人。この両者の間に、大きな差が生じてくることは避けられないことです。お互いの連絡手段やレポート課題など、様々な事柄に対して苦労をしている学生や教授は少なくないと思います。**ライブとオンデマンド、どちらが良いのか**先にお伝えしました通り、オンライン授業は主に「ライブ授業」と、「オンデマンド授業」の二つの形式があります。メリットとデメリットを踏まえ、筆者である私自身が思うより良い授業形式を考察していきます。参考程度にご覧ください。**「ライブ授業」のメリットとデメリットメリット緊張感がある**オンデマンド授業に対して、ライブ授業というのは決まった時間でしか授業が受講できません。**講師や生徒と、リアルタイムで対話ができる**ライブ授業だと、同じ時間に皆がオンラインの場で集まることから、マイクやチャットツールによってその場で講師と生徒、生徒と生徒は意思疎通ができます。**デメリットインターネットの接続状況に左右される**生徒によっては、家の無線通信に突如トラブルが発生した場合、授業に参加できなかったり、授業の途中で見れなくなったりというリスクがあります。

**100人単位での授業ができない**授業の中には、科目によって大人数の生徒が受講する授業があります。これは実際に私が体験したことですが、大人数が一斉に一つのオンライン授業にアクセスするとレスポンスが悪くなり、講師の声が途切れ途切れになるなどのトラブルが発生しました。そのトラブルを生徒がチャットで指摘しようとすると、100人以上いる生徒が一斉に同じようなコメントを投稿し、余計にパソコンが重たくなり、授業がまともに進行できなくなるということが起きました。**「オンデマンド授業」のメリットデメリットメリット自分のペースで進めることができる**オンデマンドは聞き逃しがあれば巻き戻すことができます。また、理解できるまで動画を一時停止して自分の頭で整理する時間を作ることができるのです。**授業時間が大幅に短縮できる**オンデマンドの動画は基本的に倍速再生が可能です。それによって授業を本来の時間の半分で終わらすことができます。さらに、明らかに理解できている箇所は飛ばすこともできます。また、以前までの授業では講師が生徒を飽きさせないために「雑談を挟む」ことがしばしばありました。しかし、それが必要でなければ飛ばすことが可能です。**定刻まで授業を続けなくてもよくなる**例えば、授業の場合、その回で進むべき到達目標を予定の授業時間よりも早く達成したとします。その場合、オンライン以前の授業形式であると、終了時間まで時間潰しをされることがよくありました。しかし、オンデマンド授業の場合、終了時間など関係ありません。その授業でやるべきことが終われば、各々によって異なる**今やるべきこと**に講師や生徒は取り掛かれるのです。**デメリット後回しにしがち**視聴できる期間があると生徒の中には視聴するのを後回しにして、視聴可能期限ギリギリになって慌てて視聴する生徒もいると思われます。生徒によってですが、時間を指定するライブの方が時間を管理しやすいという生徒がいるのかもしれません。**その場で質問できない**オンデマンドはリアルタイムでの対話ができません。そのため、質問がある場合は講師にメールを送るなどをしなくてはなりません。返事が遅いと疑問を解決するのに時間がかかってしまいます。**「ライブ授業」と「オンデマンド授業」のどちらが良いのか**では、「ライブ授業」と「オンデマンド授業」のどちらが良いのかという話に戻ります。結局のところ、どのメリットデメリットをとるかは人それぞれですので色々な意見があり、どちらが良いと一概に決めつけることはできないと思います。しかし、多くの生徒が**オンデマンド形式の授業**に満足していると思われます。実際に私も私の周りの生徒も、自分の好きな時間に自分に合ったペースで視聴ができ、それによって理解できなかった授業が減ったという面で、オンデマンド形式の授業が良いと感じています。**オンライン授業の課題**オンライン授業にはまだまだ課題となる点がいくつかあります。大きな問題として「**テスト**」があります。自宅で試験を受ける以上、試験監督を用意することができません。そのため、**カンニングや生徒同士で教えあったりする**などの問題が生じてきます。レポートであっても同じことが言えるのです。多少文章の体裁を変えるなどすると、誰かの文章を映したと見破ることは困難となります。次に大きな問題として「**個人情報が危険にさらされる**」という点があります。オンライン授業では、生徒個人の顔と背景にその人の部屋が映ります。背景に関しましては、加工できる機能が備わっているので見えなくすることができますが、生徒の顔が画面に映り、それを受講者全員が見ることができるとなると、生徒の顔を写真でとるなどその人の肖像権を侵害する行為が可能となるのです。これは、私がライブ授業ではなくオンデマンド形式の授業の方が良いと考える理由の一つでもあります。このようにオンライン授業には、まだまだ改善すべき課題があります。**最後に**以上が新型コロナウイルスの影響による大学のオンライン授業化の現状です。良いか悪いかの判断は人それぞれですが、今回の事例をきっかけにこれからの学校教育を考える非常に良い機会になっているとも考えられます。**「ライブ授業」と「オンデマンド授業」のどちらが良いのか**というリアルな問題についても、今後議論が深まっていく必要があると思います。本記事の発信によって、今の大学生の状況が少しでも多くの大人の方、特に教育関係者や、心配されている保護者の方々などに伝われば幸いです。

鳥取県の失業率

近々、学生の「売り手市場時代」の終了や、新型コロナウイルスの影響で、就職難が訪れるなど、働くことに対する不安の声をよく聞きます。中でも「失業率」という言葉は、聞くだけでもネガティブな気持ちになり、不安がより高まるのではないでしょうか。そこで今回は、「鳥取県の失業率」に関するデータを見ることによって、「失業率」をより正しく考えるための基礎的な概念について考えていきます。**完全失業率**まず、完全失業者と完全失業率についての説明をします。 [統計局ホームページ](https://www.stat.go.jp/data/roudou/definit.html)によると、完全失業者とは次の3つの条件を満たすものです、仕事がなく、調査週間中に仕事ができなかった、仕事があれば、すぐ就くことができる。調査週間中に，仕事を探す活動や事業を始める準備をしていた。そして、完全失業率とは、労働力人口に占める完全失業者の割合のことを言います。**鳥取県の完全失業率**[総務省統計局労働力調査](https://www.stat.go.jp/data/roudou/pref/index.html)より、鳥取県と全国の平成14年から令和元年までの完全失業率の推移は次のようになりました。グラフより、**鳥取県は全国的にみて失業率がやや低い**県であることが分かります。しかし、2017年から2019年にかけては全国平均の推移とは異なり、失業率が上がっています。鳥取県と全国の傾向が基本的に同じであることから、鳥取県の失業率は鳥取県の中で起こるミクロの変化よりも、**日本全国で起こるマクロな変化による影響で左右される**ことが予想できます。鳥取県だけを見るのではなく、視野を広げて日本全国の変化に敏感になることの大切さが分かるのではないかと思います。**2009年に何があったのか**先ほどのグラフを見ての通り、失業率が大きく変化したのは2009年だと思われます。どうして失業率が急に上がったのか。いったい何が起こったのでしょうか。 2009年に失業率のピークを迎えた主な原因として言われているのは2008年にアメリカで起きたリーマンショックです。日本はリーマンショックにより東京株式市場、日経平均株価が大幅に値下げするなど、経済的に大きな悪影響が出たのです。その影響が2009年まで続いたのだとされています。しかし、そこからは徐々に回復を見せ、失業率が減少していったのです。**「Think Globally, Act Locally」**今回は鳥取県の失業率をデータで見てきました。本記事を読んでいただくと分かる通り、失業率というのは日本や世界全体での変化に大きく影響して、都道府県内の取り組みで簡単に変わるようなことではありません。だからこそ、視野をもっと世界に向けるべきなのです。**「Think Globally, Act Locally」**という言葉ご存じでしょうか。「地球規模で考え、足元から行動せよ」という意味です。環境問題に対する有名なフレーズです。今回の「失業率」を考える上では、まさにこのような思考が必要なのではないでしょうか。一人でも多くの鳥取県民がこのような広い視野を持って鳥取県から動き出せるようになると、より魅力あふれる未来が訪れると思います。

コロナ時代の教育現場アフターコロナに残すべきものとは。｜大山力也

こんにちは、鳥取城北高校地域コーディネーターの大山です。アジアに端を発する新型コロナウイルスの拡大が止まらない。日本の学校業界はかつてないほどの荒波に襲われている。生徒やその先にいる人々の健康に配慮して全国的に休校状態にある2020年5月現在であるが、オンライン授業あるいはサポートを実施できる学校とそうでない学校との間で明暗が分かれ始めている。ここまでの経緯をまとめると以下のようになる。2月27日安倍首相、全国の小中高に3月2日春休みまでの休校を要請4月7日コロナ感染拡大により一部地域に緊急事態宣言を発令4月16日全国的な波及により緊急事態宣言を全国レベルに拡大4月30日感染の勢いが止まらずG W明け5月6日以降も緊急事態宣言を延長鳥取城北高校では県内でも先駆けて4月9日にはオンライン授業に踏み切った。県内最大規模である1100人を擁する巨体からは想像もできないスピードでP D C Aサイクルを回し続けている。現在も鳥取城北高校は様々なノウハウを共有しながらコロナ時代の教育のあり方を探り続けている。そのノウハウは、まだ体勢を整えることが出来ていない学校も多い中でこの先を切り開いていくための一助になり得ると考えている。今回は、鳥取城北高校のコロナ対策、オンライン授業体制を構築した立役者でもある4人の中堅エース教員へのインタビューを通して、これからのアフターコロナ時代の教育のあり方を考えていきたい。**進路指導部長山根正樹先生**自粛メモ、コロナ自粛中は家のそばの山で竹の子ほりがマイブーム。ナス、トマト、キュウリ、とうもろこし、オクラなど家庭菜園の収穫をイノシシと先を争っている。**「今、求められる組織としてのマインドセット」**質問。進路指導部長の立場から、コロナが学校業界にもたらしている影響について教えてください。山根、今年はなんと言っても**新しい入試制度になって初めての年**。高校各校がためてきたノウハウが通用しなくなる年でもあり、特に学校業界にとっては敏感にならざるを得ない年だった。その年に今回の新型コロナウイルスショックが当たってしまった。新入試制度に向けて何を学べばいいのか。各大学のリスニング問題の比率がどう違うのか。などと言った細かな情報から、**進路情報、学力の保障に至るまで、生徒はとても不安に感じているだろう**。コロナ問題で一番のポイントは**生徒と学校が離れる中で、学校がどう生徒とコンタクトをとり情報を伝えるのか。**であると考える。通常であれば、大学入試の募集要項は５-6月に出るものであり、そうした情報は生徒自身では手に入れづらい。総合選抜型入試、昨年までのA O入試にあたるもの。は早い私立大学だと8月には始まり、学校推薦型入試もそれに続く。**今年はコロナの影響で、オープンキャンパスの参加可否、入試時期の後ろ倒しや、オンライン形式での面接の実施なども懸念される**が、見通しは立っていない。本校としては、時期を見てオンラインツールを用いての個別大学との連携を図っていきたいと考えている。3月にはカンボジアにあるキリロム工科大学と教員向けの研修なども実施しており、今後はこうした取り組みを生徒向けにも実施していくことを視野に入れている。保護者からの進路に対する不安の声も聞いており、生徒のみならず保護者とのオンライン面談の必要性なども感じている。質問。オンライン授業への移行に足踏みする学校も多い中で、いち早く導入できた要因は何であると考えますか。山根、**一番大事なのは“組織”として動けるかどうか**。そして次に**その組織が持つ“マインドセット”がどのようになっているか**であると考えている。I C Tに精通している教員が少なく、特定の教員だけが対応しているケースは多い。鳥取城北高校では幸いI C Tに長けた教員が複数いて、そこが中心となり全教職員向けに早期にI C T研修を行うなど“組織”として一度に動けたことが何より強かった。そして、何よりもその原動力としての“マインドセット”だが、今回の**オンライン授業への移行がトップダウン型ではなくボトムアップ型**であった。鳥取城北高校は数年前に経営危機に陥り、ボトムアップ型の改革で生徒数のV字回復を遂げた学校であり、その時の経験もあってか、**上層部にどんなことでも“やる”前提、スタンスがある**のも心強い。[鳥取城北高校についてはこちらの過去記事参照](https://tottori-biz.com/jyohoku/)20世紀初頭に流行し、世界各国に極めて多くの死者を出したスペイン風邪は中世を終わらせたとも言われる。コレラやペストなど**パンデミックが起きた際には“非常時が常時になる”**ことがある。それこそアフターコロナの世界は、インターネット高校であるN高のようなものが当たり前の世の中になっているかもしれない。リアルの学校においても、デジタルアプリが当たり前になることでGWや夏休みなどわざわざ生徒も教員も学校に出てこなくても講座が出来てしまうかもしれない。これは教員の働き方改革の一環であるとポジティブに捉えられている可能性だってある。**学校の当たり前が変わっていくことを「コロナの“余波”」としてネガティブに捉えるのか、あるいは現実を受け止めつつも「コロナの“余韻”」としてポジティブに捉えていくのか。アフターコロナの世界は組織の“マインドセット”のあり方が将来を大きく左右する**ことになるだろう。**教育プロジェクト部長、ICT推進主任。田中基洋先生**自粛メモ、仕事場と自宅の往復だと言いつつも、スーパーで普段よりもちょっといい食材を仕入れて料理をしたりして楽しんでいる。最近は２日間しっかりと煮込んだもつ煮が傑作だったそう。**「ICTは文房具」**質問 。鳥取城北高校がI C Tを推進してきた経緯、ストーリーを教えてください。田中基洋、鳥取城北高校も新校舎ができる３年前までは、ほぼアナログだった。しかし、新校舎に変わってからは電子黒板機能付きのプロジェクターやスクリーン機能を持った黒板、全教室にWi-Fiが完備されるなど、ハードの部分が一気に整った。その上で、教材の共有や配信、課題の回収をする時に役立つロイロノートというアプリ、主要教科の授業がオンラインで見放題のスタディサプリなど個別のツールは少しずつ導入していった。現在導入しているGoogle for Education、Googleが提供するツールを学校教育向けにまとめたもの。などはFacebookや教育関係の事業者から情報をキャッチしたものだ。他校や先進事例の様子は常に注意を向けている。質問 。なぜ全国的にも早い対応が出来たのでしょうか。田中基洋、ひとつには、県外の先進校の視察で具体的なツールの導入事例を事前に見てイメージをはっきり描けていたのが大きかった。その時の印象として強く残っているのは、**I C Tは文房具の一つとして存在**していたこと。近畿大学附属高校の先生に伺った話だが、**日本では最先端の取り組みであっても世界と比べればまだまだ立ち遅れている**という。**“世界の情報”をどのようにキャッチしていくかは今後の課題**だと思っている。現在、鳥取城北高校には120台のChromebook、Google発のタブレットの一種。が導入されているが、これも3年前に県主催の研修ツアーで香港に視察に行き、中高に導入されていたのを見たことから始まっている。

質問 。コロナに際してのオンライン授業体制への移行はどのように展開したのでしょうか。

田中基洋、まず第一に、3月初めの休校時には急だったこともあり紙媒体での課題とテストという形を取ったが、生徒の学習の状況把握も出来ずこれはあまりいい手では無かった。その時の反省があって、4月以降にも休校が延長された時の対応を今回の4人で話していたところだった。案の定、4月2日に休校が決まり、4月3日の職員会はキャンセルして、I C Tに長けた教員が集まり特別会議を設けた。4月4日は土曜であったが、主軸となった４人の教員でオンライン授業を全校で実施するための研修内容をオンライン会議で組み立てた。4月6日の月曜日には午前中にはロイロノートやZoom、オンラインコミュニケーションツールで現在はGoogleのMeet機能を活用中。、Google Classroom、教員と生徒がつながるためのプラットフォーム。の研修を行い、午後には教科ごとの実戦演習の時間に充てた。4月7日には新３年生、4月8日には新２年生を登校させ、各種アプリのインストールやログイン作業を行なった。翌日の4月9日16日まで鳥取城北高校としては初めてのオンライン授業を実施することにつながる。第１フェーズ。この後にコロナによる緊急事態宣言が一部地域で発令された。それまで手を差し伸べられていなかった新１年生を4月20日の縮小版入学式で迎え入れた。4月21日には新１年生にアプリのインストール、ログイン作業を行い、4月22日には各学年の調整日を設けた。その間に緊急事態宣言は全国に拡大され、鳥取県は27日以降の臨時休校の方針を打ち出したが、鳥取城北高校では万全の状態で4月23日より休校モードに入った。第２フェーズ。質問 。生徒はスマホなどで授業を受けているわけですが、スマホに対する印象は変わったのではないでしょうか。田中基洋、そうですね、**生徒のみならず、保護者にとってもスマホの印象が大きく変わった**のではないかと。スマホといえばカメラやゲームなどの遊び、SNSに使うツールという認識でしたでしょうから。**スマホは教育のツールとしても使える**ものだという認識に変わったのではないかと思う。コロナの激動の中で、PCやChromebook、**様々なI C Tを自分で使えるようにならねばならないと生徒が身をもって体感し、気づくきっかけになった**という意味ではものすごく良い経験になったのではないかと考えている。**情報企画戦略室　田中光一先生**自粛メモ、趣味の魚料理がこじれ始めている。捌きたいのはこれから旬の高級魚イサキ。最近作ったのは料理は真鯛の刺身、焼き魚、唐揚げ、鯛飯のフルコースセット。最近もらったノドグロ40匹を一夜で捌いた。**「“主体的に学習する姿勢”の育て方」**質問 。4月９日16日のオンライン授業の前半戦、そして4月23日以降のオンライン授業の後半戦では内容にどのような違いがありますか。田中光一、オンライン授業の前半戦では、思っていたよりも導入に際しての抵抗感もなくスムーズに行うことができました。理由として、**教員同士がわからないことは調べ、助け合ってなんとかしようという雰囲気があった**からかなと思う。しかし、全国的にオンラインアクセスが集中してしまい、通信障害に見舞われるシーンもあった。ある意味ではインターネットサーバーの限界を感じた。また、オンラインでいつも通りの授業をしていたが、教員の準備の負担や、授業を受ける生徒自身も目が疲れるなどの負荷がかかっていることに気づいた。これらの気付きから、オンライン授業の後半戦はいわゆるLIVE授業からは離れていくことになる。**後半戦では、I C Tをフル活用して“先生が教えるスタイル”から“生徒が自分で学ぶスタイル”へ移行**した。いわばTeachingからCoachingへの方向転換である。具体的には、スタディサプリやA I学習ツールの導入、オンライン面談体制を充実させることで**生徒が自分のペースで勉強することを促し、どこまで出来ているかをテクノロジーの力で「見える化」させた**。コロナ時代が教育現場に与えた命題は**“学校から離れて如何に勉強するか。”**であり、**アフターコロナを見据えて“主体的に学習する姿勢”を育てたい**と考えている。もちろん、「先生の授業を リアルで受けたい」という声も出てきている。オンラインだけで全てが完結するわけではなく、リアルでの学校教育の需要は確実にあると考えている。オンラインでできること、オンラインでしかできないこと、リアルでできること、リアルでしかできないこと、これらをコロナを通してきちんと整理することでアフターコロナの教育の世界が形作られるだろう。質問 。“主体的に学習する姿勢”を育むためには、具体的にどのようにすれば良いでしょうか。田中光一、**基本的には指導者に求められるスタンスが３つある**と考えている。**“見守る、支える”“任せる”“気づかせる”**の３つである。何かに取り組む様子を見ていてくれる人がいる。支えてくれる人がいるということは**「安心、安全」**を感じることができることにつながる。人から任される、信頼されるということを通して**「自信、責任」**が生まれる。人から言われるのではなく自ら気づくきっかけを与えることで**「自ら考えて行動する機会」**を得ることができる。これらは“主体的に学習する姿勢”を育むためには必須のものであると考えている。その上で、**生徒には自分の知っている世界にとどまらずに視野を広げて挑戦をしていって欲しい**。私自身も今回のオンライン授業導入に向けてFacebookなどSNSを介した情報収集やオンライン学習会などを通して先駆者とつながり、今回の取り組みを支えることにつながった。自分は知らないから、できないからと言わずに、ものごとを自分で確かめ、「らしい」で片付けないことを意識してみてほしい。**志学コース主任　田中将省先生**自粛メモ、趣味のランニングを最近はフェイスカバー、マスクみたいなもの。を着けて行っている。とても息苦しいが、低酸素運動だと思えば燃えてくるとのこと。**「アフターコロナの授業デザイン」**質問 。アフターコロナにおける授業デザインについて教えてください。田中将省、**オンライン授業のノウハウが、“対面の代替”ではなく“コロナ収束後も活きる”ようにする意識が大事**であると考えている。リアルの授業よりもオンライン授業の方が優れているという見方も実はできる。例えば、**オンライン授業のスタイルは「同期型」と「非同期型」に大別することができる**。**「同期型」は、オンライン上で一斉授業を展開する形**である。リアルタイムで共有するため、人のペースで展開していくことになる。GoogleのMeet機能やzoomなどで顔を合わせて行うものだ。相手の様子を知り、信頼関係を育むためには欠かせない手法である。**「非同期型」は動画教材や配信課題などを与えて自分のペースで学習を行わせる形**である。個別に対応することも可能であり、動画ならつまずいた時に何度もその場所を繰り返し再生することができるなどの点が魅力的である。それぞれに良いところがあり、どちらかに寄るというよりは**ハイブリットに掛け合わせていくことが求められる**。どちらかに寄ってしまっては生徒、教員ともに辛くなる。一方で、そうした**人間的な反応を時に表情を見ながら手法を使い分けるなど、教育的な判断をするところにこそ教員の力量が求められる**。ある意味、リアルの授業では、なあなあになりがちであった授業デザインの視点が、オンライン授業には必要とされる。授業のスタートは「同期型」で挨拶や目標の共有などを行い、内容の簡単なレクチャーや指示出しを終えた後は順次「非同期型」で作業をさせる。そして、例えばGoogle Form などのアンケート機能などを配信、活用してその日のリフレクションを回収する。このような形で**始まりから終わりまできちんとデザインされた授業づくりをすることでリアルの授業よりも充実した内容にできる可能性もある**。**“社会の変化に合わせてしなやかに学び続けられる人を育てる”**ことを日頃から意識しているが、**教員自身がこの状況に対してしなやかに対応できるようにしていきたい**と考えている。**インタビューを終えて**いかがだっただろうか。今回、4人の教員にそれぞれの立場からコロナ時代の教育について語ってもらったわけだが、これを書いている現在も刻一刻とコロナをめぐる情勢は変わり続けている。緊急事態宣言解除後も、また第二波、第三波と全国的な自粛モードは訪れる可能性は十分にある。しかし、**人はそうした事態に対して“しなやか”に対応することができ、その度に今までにはなかった成長を遂げることができる**。新型コロナウイルスは、グローバル社会という“世界のつながり”を介して蔓延した。しかしまた、新型コロナウイルスの存在や動向、対応策、心構え、時に悲しみを、時に勇気づけをもたらす物語の数々なども“世界のつながり”を介して共有することができた。物理的に会えない人も画面を通じて会うことができた。必要に迫られて、今までできないと思っていたことが次々とできるようになった。**止まっているようで、我々は着実に前に進んでいる**。人が家に籠ることで、自然環境が一時的に爆発的に改善し、想像以上の治癒力を自然が持っていることに気づいた。仕事をする上で、今まで当たり前だと思っていた方法だけが解決策ではなかったことに我々は気づいた。生活の中で、人として本当に大切だった要素にいくつも気づくことができた。**何も知らなかったようで、我々は着実に何かを学んでいる**。コロナ以前と以後では世界の見え方は大きく変わる。一人一人の感じ方、見えている景色も変わる。それらをもう一度、共有していかなければならない。**もう一度、世界をつなぎなおしていかなければならない。教育は、まさにその役割を担う**。未来に対してポジティブに、いま、できることを少しずつ学んでは増やし、カタチにする。この文章も、誰かの未来にとってポジティブなきっかけになることを願っている。鳥取城北高校の関連リンク**プロフィール**氏名、大山力也所属、鳥取城北高校教員/地域コーディネーター経歴、神奈川県横浜市出身。幼少期6年間をブラジルで過ごす。早稲田大学院教職研究科、早稲田大学教育学部、早稲田大学高等学院卒。山梨県で私立高校の非常勤講師を経験後、2017年より鳥取城北高校教員として鳥取県に移住。2019年に日本財団地域コーディネーターを兼任。地域デザイン部顧問、総合探究主任として「学校と社会をつなげる」ことをテーマに日々活動中。何かある場合はF Bで気軽にご連絡ください名刺交換のオンライン化**新しい生活様式**2020年5月4日に新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を受けて、厚生労働省が新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」とその実践例を提示しました。「新しい生活様式」は主に次の4つのカテゴリに分けられていて、それぞれの具体的な実践例が記されています。一人ひとりの基本的感染対策。日常生活を含む上での基本的生活様式、日常生活の各場面別の生活様式、**働き方の新しいスタイル**上記の4つのカテゴリの中で、本記事で取り上げるのは４つ目の「働き方の新しいスタイル」です。**「働き方の新しいスタイル**」の具体的な実践例では次のものがあげられています、テレワークやローテーション勤務、時差通勤でゆったりと、オフィスはひろびろと、会議はオンライン、**名刺交換はオンライン**、対面での打ち合わせは換気とマスクテレワークや時差通勤、マスク着用などは、コロナに関するニュースからも予想がついていたと思います。[以前TBOでテレワークについて書いた記事もあるので是非ご覧ください](https://tottori-biz.com/telework/)　しかし、「名刺交換はオンライン」というものが触れられたことについては驚かれた方が多いのではないのでしょうか。**名刺交換のオンライン化による効果**名刺交換がオンライン化することによって、様々な影響があると考えられます。どのような影響があるのかを紙での名刺交換とオンラインでの名刺交換のメリットとデメリットを紹介して見ていきます。紙の名刺交換メリット、五感に訴える細工ができ、匂い付けなど。、記憶に残りやすい、コミュニケーションのきっかけづくりができるデメリット、かさ張る、マナーにとらわれて緊張する、印刷のコストがかかる 、保管が面倒オンラインの名刺交換メリット、かさ張らない、マナーにとらわれにくい、既に名刺をもらった方は検索できる 、印刷のコストがかからないデメリット、記憶に残りにくい、通信環境を意識しなければならない時があるこのように名刺交換がオンライン化することによって受ける影響は、良いことが多いように感じます。特に魅力的なのは、名刺がかさ張らないこと、印刷のコストがかからないこと、マナーにとらわれにくいことであると考えます。ビジネスマンの方でも、名刺交換があまり得意ではないと言う方は少なくないと思います。その理由として挙げられるのは、名刺交換のマナーが複雑であるということです。例えば、名刺の差し出し方や受け取り方、交換する順番によってマナーが決められています。上記のことを踏まえると、名刺交換のオンライン化が進むことによって、私たちはマナーばかり気にするのではなく、商談相手の人物像や人柄などの情報に集中しすることができるようになるのです。その結果、相手をより知ることができ、自分達のビジネスチャンスを広げることができるかもしれません。**名刺のオンラインツール**続いて、具体的な名刺交換をオンライン上で行えるツールを紹介します、Eight、シェアNo。1名刺アプリ。[Google Play](https://play.google.com/store/apps/details?id=net.eightcard&hl=ja)[App Store](https://apps.apple.com/jp/app/eight-%E3%82%B7%E3%82%A7%E3%82%A2no-1%E5%90%8D%E5%88%BA%E3%82%A2%E3%83%97%E3%83%AA/id444423637)、Sansan、法人向け名刺管理サービス。[Google Play](https://play.google.com/store/apps/details?id=com.sansan&hl=ja)[App Store](https://apps.apple.com/jp/app/sansan/id787058108?l=en)、名刺バンク[Google Play](https://play.google.com/store/apps/details?id=net.bzcard&hl=ja)[App Store](https://apps.apple.com/jp/app/%E5%90%8D%E5%88%BA%E3%83%90%E3%83%B3%E3%82%AF/id391460099)上記以外にも様々な名刺のオンラインツールがございます。是非、ご自身にあったものをお選びください。**最後に**ここまで、名刺交換がオンライン化することによって受ける影響や便利なツールを紹介してきました。日本の名刺交換は海外とは違い、ビジネスシーンにおいて重要であるという位置づけがされています。これは、相手のことを立てる日本人の人柄によるものであるとも言えます。名刺交換を通して、相手のことについて知るということは大切なことです。しかし、現在は、SNSなどの普及によって、名刺交換以外にも取引先の情報などを手に入れる事ができる時代となっています。このことを踏まえ、名刺交換を長々とするのは好ましくないという意見があるのも事実です。名刺交換を紙とオンラインのどちらで行うのが正しいと言えるものはありません。変化が激しい世の中となっているため、自分でまずはやってみて、それから自分に適しているか判断することが大切であると思います。

鳥取県の可住地面積は全国で46位

鳥取県が人口最少である理由を考える皆様もご存じの通り、鳥取県の人口は全国で**最下位**です。このことに対して、「鳥取は魅力がないから」や「交通の便が悪いから」など、つい悪い側面から考えてしまうかもしれません。しかし、「食のみやこ鳥取」や「子育て王国とっとり」、「星取県」、「カニ取県」、挙げようと思えばきりがないほどの魅力を持っている鳥取県。交通の便が悪いといっても、関西の都市部にも非常に近い地理にあります。ついつい負の面として使われがちな「人口最少県」ですが、人口が少ないことと、県の魅力が少ないことは必ずしもイコールとは限りません。そして、鳥取県の人口が少ない理由はどこにあるのか。今回はそのようなことを考えるきっかけとなるようなデータをご紹介します。タイトルにもある通り、結論から申しますと**鳥取県の可住地面積は全国で46位**です。ご存知だったでしょうか。可住地面積とは何か、低いからどうなのかについて考えていきます。**可住地面積とは**可住地面積とは、対象地域、今回でいうと都道府県。の総面積から、林野面積、森林面積と草生地面積。と主要湖沼面積を差し引いた面積のことです。面積がいくら広い都道府県でもほとんど山や湖などでは多くの人が住むことはできません。つまり、可住地面積こそが、人の住むことができる範囲を示していることになります。鳥取県を可住地面積という指標を使って見ていきます。**鳥取県の可住地面積**次に示すグラフは総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2019」から可住地面積をランキングしたものです。可住地面積のデータ自体は2017年のものです。上のグラフを見て分かる通り、鳥取県は全国で面積が最も小さい香川県よりも可住地面積が小さく、全国で46位です。鳥取県の人口が少ないことは、そもそも人が住める面積が少ないことが強く影響しているのかもしれません。そして、これは決して悪いことだとは言えません。自然の多さは、建設以外の土地活用に幅があると言えるのです。むしろ、可住地面積の小さい鳥取県に必要以上の人口増加が起こり、住宅地確保のための平地化や森林伐採が行われてしまっては、鳥取県の魅力が消えてしまう可能性があるのです。鳥取県は人口が少なく、可住地面積も少ないです。しかし、決して県としての面積が小さいわけではありません。つまり、可住地以外の自然を活かすことこそが、鳥取県の魅力を最大化していくはずです。**大事なのは鳥取県の人口減少を止めること**以上の事から鳥取県の人口が少ないことは必ずしも悪いことではないということをお伝えしました。しかし、ここで注意していただきたいのは、**人口が少ないことよりも人口が減っていく現状に問題視していくべき**ではないかということです。中でも特に問題視すべきことは、**若者の流出**ではないでしょうか。自然や子育て支援などたくさんの魅力がある鳥取県で育ってきた子どもたちが、鳥取県の魅力を他県に広げていかないのはもったいないことです。「Uターン支援」や「奨学金助成制度」など、「鳥取に残りたい」あるいは「鳥取に戻りたい」と鳥取の若者たちが思うような魅力的な制度を、今後更に増やしていくと良いのではないかと思います。TOTTORI BUSINESS ONLINEでも「他県にあって鳥取県にはないような取り組み」や「他県にも鳥取にもある取り組み、鳥取にしかない取り組み」を発信していきます。**最後に**鳥取県の人口の少なさをつい魅力の不足と捉えていた方にとっては、人口の少なさを捉える上で、可住地面積という視点を持ったいただけたのではないかと思います。改めてにはなりますが、大切なことは人口を増やすことではなく、人口減少を食い止め、子育てがしやすく戻って来たい鳥取県を作っていくことかもしれません。一度外へ出てしまった、鳥取県出身の若い世代の中には、また鳥取に戻って来ようか迷っている方が確実にいます。彼ら、彼女らを引き付ける魅力づくりから始めていくことが良いのかもしれません。

鳥取県における自家用車の普及率

皆さんのご家庭は、自家用車を何台持っていますか。鳥取県は雨が多い日本海気候であるため、買い物に行くのにも車があると便利です。県外から来た私が鳥取県に来て感じたことは、**家の敷地内に置いてある車の数が多い**ということです。車の所有数が多いのには何か理由があるのではないかと考え、鳥取県の自家用車の普及率を調べました。この記事では、自家用車の普及率から考察した鳥取県の状況を紹介していきます。**鳥取県の自家用車普及率**鳥取県の自家用車の普及率を見るため、自動車検査登録情報協会の平成25年から平成31年までのデータをまとめました。グラフを見て分かる通り、鳥取県は車の普及率が全国の平均よりもかなり高くなっています。さらに興味深いのは、**鳥取県の自家用車の普及率の傾向は全国の傾向とは真逆である**ということです。全国的に見ると、平成25年から平成31年までは減少傾向にあります。特に、平成29年から平成31の間の減少率は大きくなっています。しかし、鳥取県では平成25年から平成31年までは増加傾向にあるのです。それに加え、全国では、平成29年から平成31の間の減少率は特に大きくなっている一方、**鳥取県ではその期間の増加率がかなり大きく**なっています。

**なぜ鳥取県は自家用車の普及率が増加傾向なのか。**なぜ鳥取県の自家用車の普及率が上昇しているのかを見る前に、全国的に自家用車の普及率が減少傾向にある理由について見ていきます。

**全国では自家用車の普及率が減少傾向**全国で自家用車の普及率が減少傾向となっている原因は2つあると考えます。それは、**高齢者の免許返納率の上昇**と**交通の便の発達**です。高齢者の免許返納率はここ数年で、かなり高くなっています。これは、ここ数年で高齢者による事故の報道が増えたことにより、家族による心配や自主的に返納しようとする動きが影響していると考えられます。交通の便の発達は、都市化が進む現在では特に顕著に見られます。それによって、通学や通勤に自家用車ではなく、公共交通機関を利用している人が増加しています。また、土地の価格の上昇などによって、車の維持費が高額となり、車を持たない人が増えているのです。**鳥取県では自家用車の普及率が増加傾向**全国的にこのような動きがある中で、鳥取県の自家用車の普及率が増えている原因は、**鳥取県が車を持っているのを前提とした生活形態になっている**ということです。私自身、鳥取県は車を持っていないと生活するのが大変であると感じます。買い物やお出かけ、通勤、通学など立地によっては車でしか行くことができない所があるのも事実です。また、鳥取市では昨年末に、廃線となる予定の路線バスを前倒しして発表しました。移動手段として車を前提とした鳥取県において、公共の足を失うと困るという人はたくさんいると予想できます。特に、免許を返納した高齢者にとって、公共の足を失うことは大きな痛手となります。2018年の警察庁の統計によると、**鳥取県の75歳以上の免許返納率は全国で13位**となっています。しかし、路線バスの廃線などが今後さらに増えると、高齢者の免許返納率が下がってくると考えられるのです。その結果、さらに鳥取県の自家用車普及率は増加していくと考えらえれます。**最後に**この記事では、鳥取県の自家用車普及率について紹介しました。現在、都市部などでは交通の便の発達で自家用車を持つ人は減少傾向にあります。前述で紹介した通り、鳥取県の交通の便は発達しているとは言えない状況です。廃線となる路線バスがあるなど、公共の足を守っていくことが今の私たちにとっての大きな課題となっています。この記事が、皆さんにとって、公共の足を維持していくことについて少しでも考えるきっかけになればと思っております。

新型コロナウイルスに関する県内企業へのアンケート調査

「旬刊政経レポートとのコラボ」月に一度、旬刊政経レポートと記事交換をするコラボをさせていただいています。第三回目は「特集、緊急読者アンケート新型コロナウイルス問題」を掲載させていただきます。**新型コロナウイルスに関する緊急アンケートを実施**新型コロナウイルスの感染拡大、その影響が国内全域に広がっている。鳥取県でも３名の感染者、４月28日時点で１名は回復し陰性に。が報告され、政府は４月７日に宣言した緊急事態宣言の対象地域を、鳥取県を含む全国に広げた。弊誌ではこのような状況の変化を踏まえ、４月20日から27日の期間、第２回目となる緊急アンケートを実施した。前回の質問項目に「講じている対策」を加えている。今号では、お応えいただいた27社分の回答を掲載する。**資金繰り対策等、迅速、簡略化を求む**国内ではまだ混乱期にあった３月15日号で、県内企業のコロナウイルスによる影響を探る第１回の緊急読者アンケートの結果を掲載した、政経レポートのみの掲載。その時点でも、お答えいただいた企業の約８割が何らかの影響を受けていた。その後、残念ながらさらに感染拡大が進んでいるのは周知のとおり。県内企業においては、事業への影響、具体的な対応策を見聞きする機会が増えた。今回のアンケートでは、コロナ感染拡大の影響が「無い」と答えた企業は１社にとどまっている。同時に、影響をダイレクトに受けている小売、サービス、飲食などの分野を中心に、様々な知恵を絞り、自助努力でこの災難を乗り切ろうという動きが広がっている。**４月27日時点。受けている影響と講じている策「食料品」**４月以降のデパート、スーパーへの出店分の売上の落ち込みが激しい。県内の観光地からは大量に返品を受けた。現在観光関連、デパートからの注文は無くなった。従業員に対しては年休消化等の対応をしているが、この先どうなるかは不透明。なにより従業員の仕事の確保と給与補償をしてあげたいことで頭がいっぱい。マスクの確保にも苦心**、和菓子製造販売。**元々、観光土産品が売上の半分を占めていたため、３月の売り上げは半減。４月は３分の１になる予想。金利ゼロ、無担保の緊急融資金の調達、雇用調整補助金の申請を行っている。**食品製造業。**首都圏を中心に関東の飲食店が休業しているため、供給が止まり在庫が増える。地元スーパーは比較的安定しているが、物産展や道の駅など観光関連は売上が減少している。店舗を利用してテイクアウトと出前を実施。お客様への通販商品の紹介などに注力し、売上につなげていきたい。**魚肉ねり製品製造。「製材業」**販売先の仕事が減少しているため、注文が減少。感染拡大防止のため営業に出向くことができない。**製材業。「機器、機械製造」**新規の商談ができず受注が取りにくい。進行中案件はＷＥＢ会議で対応しているが、新規の案件でＷＥＢ対応は難しい。**電子機器等の開発設計。**自動車販売の不振が影響し、受注が減っている。時間短縮での操業を行い、雇用調整助成金の申請を行っている。**輸送用機械器具製造。**

**「その他製造業」**得意先からの注文が激減。５月以降はさらなる減少が予想される。接待交際費など経費削減や、年度末の賞与ゼロ策、雇用調整助成金の申請等を実施予定。**製造業。**受注の減少で出荷数量、売上。が減少している。同時に、受注活動も縮小を余儀なくされている。従業員の安全確保のため、出張、客先訪問の自粛、会社保有マスクの全社員への配布、各現場への消毒液の設置、出勤前の検温、体調チェックなどを実施している。**製造業。**受注の減少、納期の延期などが発生。休暇を増やしたり、労働時間短縮を図っている。**製造業。「建設業」**住設機器などが納期遅れの状態。民間発注が慎重になり減少している。社内に対策本部を設置し、感染予防策をとるが具体的な対策はこれから行う。**建設業。**中国からの部材が遅延し、１２カ月間工事ができなかった。光熱費、人件費など経費削減と、キャンセル防止のため、工事の遅れに対して、お客様の理解を得る努力を行っている。**建設業。**進行中の物件が延期、新規物件も延期している。発注元と現場での予防対策の打ち合わせを実施。**店舗デザイン、設計、施工。「卸、小売、サービス業」**イベントの中止、販売促進の中止や予算削減が、印刷、紙業界に大きな影響を及ぼしている。また観光需要のストップは土産物の売上ダウンのみならず、パッケージや商品にまつわる消耗品などへの影響も大きい。従業員や取引先に対し、マスクや除菌アルコールの不足分を補助的に提供している。入荷がないため積極的に販売はしていない。また、従業員にはマスク着用、手洗いなどの予防徹底を指導している。**紙類卸売業。**経済停滞に伴い売上が減少。ライフラインとして運営を継続させるため、感染予防対策に注力している。スタッフ全員にマスクを支給し着用を徹底。セルフ給油時のビニール手袋を用意するなどお客様の感染予防対策など、安心安全に運営を続けられる体制を整えている。今後に備えて店舗運営の優先順位や従業員給与の保証などの準備も行う予定。**ガソリンスタンド経営。**４月13日より臨時休業した。５月６日までの予定。緊急融資への申し込みや、雇用調整助成金への申し込みを行う。**接待を伴う飲食店。**売上が減少。**食品卸売業。**仕入れ先に商品がなくなった。**情報サービス業。**クライアントの中でもホテル、レストラン、旅館などのサービス業への影響が大きく、今後の進行を見守るしかない状況。テレワークの実施に向けて準備中。**サービス業。**紙類、インスタント食品、冷凍食品等の受注が集中し、欠品、遅配となる商品が増加している。「新型コロナウイルス対策本部」を設置し、具体的な対応策を協議中。感染防止対策として、全職員のマスク着用、部署によっては手袋着用、事業所、職場入室時の手指アルコール消毒、施設の換気、ドア、手すり、スイッチ等の消毒、手洗いの徹底を指示。洗面所に手拭きペーパーを設置。日々の検温、体調不良の際の聞き取りを行っている。**共同購入、共済、配食事業。**人がいて成り立つ仕事だが、そもそも人がいない。**一般旅客運送事業。「自動車販売、整備」**３月27日から生産工場の稼働が休止。注文分の車の納期が大幅に遅れている。軽自動車は４月15日に稼働再開しているが、その他はまだ休止継続中。納期が全く読めない。県内での感染者発生後に、アルバイトを含むグループ全スタッフにサージカルマスクを、一人20枚／月。支給し、感染防止に努める。お客様から預かる車両は、ハンドルやドアノブなど手を触れる箇所の除菌を徹底。ショールームのテーブル、椅子の除菌も徹底。**自動車販売業。**人の移動が寸断され、商談機会が減少するなど需要が消失した。不安心理による消費抑制行動も売上減に結び付いている。短期的な投資を抑制し、すぐ実行が可能なコストの見直し、削減を実施している。**自動車整備販売業。「不動産関連業」**来客数が減少、市場も減退している。感染予防対策など従業員の安全管理、テレワーク、ＧＷ休暇の前倒しなどを実施。借り入れなど資金繰りの実施。**不動産仲介業。**飲食テナントの賃料収入が減少した。新規オープンの延期も影響あり。営業時間の短縮や社員の健康維持への努力を行っている。**不動産仲介、管理業。**賃貸ビルの入居者に臨時休業している先があり、今後、賃料支払いの猶予をする必要が出てくることが予想される。入居者に対し、今後実施されるであろう政府の支援策の活用と、金融機関からの運転資金調達などのアドバイスを行っている**、不動産業。「金融、保険業」**積極的な訪問は自粛している。マスク着用、手洗い、体温チェックを実施のほか、テレワーク、２交代制、ＷＥＢ会議の実施、事務所の換気、来店スペースのアルコール消毒を行っている。また、従業員がやむを得ず県外に出る場合は事前報告を徹底し、従業員に対するマニュアルや自社スタッフが感染した場合の文書などの資料を作成し、危機管理の徹底に努めている。**金融、保険業。「影響なしと回答」**衛生用品の調達費用や社員の安全確保に関する臨時の話し合い等により、現場の生産性は低下しているが、大きな影響があるとは言えない。感染予防策として、衛生委員会による、正しい知識と予防対策の徹底、社員へのマスク配布を実施。メンタルケア対策として、全社員の衛生用品代、地域飲食店テイクアウト費用を会社が負担、上限一万円。家族用マスクを一人当たり25枚支給した。**建設業。行政、金融、企業にお願いしたい事「資金面について」**資金調達への迅速な対応を願いたい。問題は資金繰りなので、無利息、無担保の資金をスピーディーに提供してほしい。金融機関など安心できる機関による、支援対象事業者へ早急に資金が回るような「基金」を立ち上げてほしい。休業に対する支援が欲しい。消費税の引き下げもしくは０％を願う。融資の返済猶予や期間延長など条件緩和をしてほしい。国内の助成金、給付金の在り方を見直すチャンス。制度と実態に隔たりがある。消費税10％が重くのしかかっている。行政からの支援金などを素早く届けてほしい。各種インフラを支える事業者がその事業を継続、責務を全うするための、行政や金融機関による大型の支援を熱望する。**「各種対策について」**非常事態宣言や自粛が長引いた場合に大きな影響が出るので、行政、金融機関には長期戦も頭に入れた支援をお願いしたい。対応策の迅速化と、手続きの簡略化をお願いしたい。意思決定にスピードは重要。鳥取県の行政の対応スピードは、他への見本となる。申請先の明記など、各種手続きを分かりやすくしてほしい。公共交通機関での移動はリスクが高まるので、自家用車の役割が重要となる。感染拡大を止めない限り経済は停滞する。ロックダウンも視野に入れ早期の解決を図るべき。経済対策については国に振り回されず、鳥取県、市町村独自の対策をお願いしたい。親の経済状況の急変により、進学をあきらめようとしている子供たちに対して、支援対策の検討を至急お願いしたい。従業員を休ませた場合の給与支払いや休みの扱いなど、具体的な例が知りたい。**「その他ご意見」**飲食店、外食産業だけではなく全てに影響が出ている。保険業でも業績不振になりつつあるところもある。今後、更なる悪化も予想される中、これからをどう生き残るのかを考えると、今後は、どんな業種でも、強い会社、アイデア豊富な会社、独自性がある会社、社員が生き生きとしている会社、悪いときでも雰囲気が明るい会社等が生き残っていくのではないでしょうか。

タクシーが食事を運んでくれる「いなばのごちそうタク配」への思い|有限会社サービスタクシー

鳥取市内の「タク配」が300円。5月1４日に「**いなばのごちそうタク配**」が鳥取ハイヤー組合と鳥取市がコロナ対策支援事業の一環として事業を開始した。旧市内であれば一律一回300円で利用できる。利用客は飲食店に注文し、タクシーで届けてもらった際に料理の代金と「タク配代」300円をドライバーに払う仕組みだ。この事業は**5月15日から3か月間行われる**。今回は、その事業を担っている有限会社サービスタクシー代表取締役の松浦秀一郎さんに、**事業への思い**や**実現するまで**をインタビューした。有限会社サービスタクシー 代表取締役 松浦秀一郎さんコロナ禍での新たな取り組み夜間の営業においてタクシーは、基本的に**飲食店とその利用客に支えられ仕事をしてきた**。そのため夜の街が動かないとタクシーは商売ができない。新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ていた4月当時を松浦さんは「日ごろからお世話になっている人たちに貢献したかった。**テイクアウトを始めた飲食店と外出できない人々をタクシーはつなぐことができるのでないか**と考えていた」と振り返る。そこで目をつけたのが「**救援事業**」だ。これはタクシーの提供する役務として多くの会社が届け出している事業で、日用品や食料品などの買い物代行や通院の付き添いなど地域住民に寄り添った個別対応ができる。コロナが問題になる前でも行われていたが従来のタクシー業務で忙しく、その届け出内容を積極的に売り出すことはなかった。問題が深刻になるなか松浦さんは急いで届け出ていた内容を整理し、タクシーで食事を運べるようにリブランディングした。鳥取の中では早い4月14日からの開始で、この時はサービスタクシーのみの企画だった。救援事業を届け出した当時は料金も設定されていなかったので、タクシーの時間貸切運賃、30分あたり2850円。を応用し、10分ごとに950円とした。しかし、会社など団体で昼食時に頼まれることはあっても、一つの家庭で払うには料金が高く利用は少なかった。とはいえ、タクシー運賃をもとにした料金を下げることは、ただでさえ客が遠のいたドライバーには納得されにくい。一方、そのころ米子市では、行政の助成事業として「食べて応援 米子のごちそうタク配」が5月2日から開始された。冒頭に述べた鳥取市のタク配事業とほぼ同じ仕組みで、こちらは1回500円。その開始から2，3日後に鳥取市から松浦さんに連絡があり「市内のタクシー会社が連携して宅配事業をできないか」との打診を受け、事業者間の合意を経て２週間で今回の事業が実現したという。「まず始めよう」という姿勢でこの動きを「鳥取市民はなかなか動かないというイメージがあったけど、今回は米子の前例などもあって「**まず始めよう**」という前のめりの姿勢がよかった。300円というのもバスの往復運賃並みでいい料金設定になった。事業者だけの取り組みではこの料金は無理なので、経済の循環にはやはり行政の支援が必要になる」と評価する松浦さん。外食が減ってしまった人には「地元の美味しい味覚を覚えておいてほしい。せっかく元気に仕事している人が多いのに、店に行かなくなって味を忘れるのがもったいない」と事業の利用を期待している。また、外出しにくいこの状況を受け、こんなことも提案している。「この機会を利用して、**ライフスタイルの変化を楽しめばいいのでは**。自分もサービス向上のためによく利用していて、たくさんのメニューの中から選び昼に出来立てが来るのは今までと違いやっぱり楽しいですよ」。「いなばのごちそうタク配」のチラシ終わりに今回の新型コロナの影響は私たちの生活を大きく変えています。それを受け、4月ごろから全国的に飲食店がテイクアウトを始めた動きと共に、東京などではUberEATS、ウーバーイーツ。が注目を浴びていました。そんなニュースを見て「鳥取じゃあ無理だなー」と勝手に思っていた自分がいました。そのため今回、「**タクシーが宅配**」するというアイデアを見た自分は「鳥取でもそのようなサービスができるのか」という驚きと「想像できなかった」という悔しさがあります。街の中でタクシーがインフラとして機能しつつ、個別対応ができる強みを毎日のように見ているのに、考えもしていなかったのだと気づくことができました。この3か月間「**タク配**」が鳥取でどのような影響を与えるのか楽しみです。

「ニューノーマル時代の働き方」私たちは会社に行く必要があるのか｜安川幸男

**オフィスからの解放**新型コロナウイルスの感染拡大によって、テレワークやリモートワークへの移行が半ば強制的に迫られ、オンライン会議のような光景があらゆる経済活動で日常化されてきた。緊急対応から「**新常態、ニューノーマル。**」へ、新たな生活、行動様式にシフトしていくなかで「働く」という行為もかなりの変容が求められる。それは、今までの働き方の延長や代替というものではなく、より**本質的な「働く」**という意味や価値観を揺さぶることでもある。言わば、あらゆるビジネスシーンでオルタナティブな働き方が模索され、試行され、次世代の社会をどう創るかの提起まで繋がることになるかもしれない。「**そもそも、なぜ私たちは会社やオフィスに行っていたのか**」。仕事は決まった職場でするものだという固定概念に縛られていないか、あるいは「会社に行くのが仕事だ」と勘違いしていたビジネスパーソンも多いかもしれない。**リモートワークと成果主義**リモートワークを実現するために企業や個人は、ネットワークやセキュリティ環境を整備し始めた。しかし、なかには社員がちゃんと仕事をしているか、業務時間や態度を管理、監視。することを主眼にしたシステムを導入している企業も見受けられる。オフィスと同様に時間で管理したがる上司や企業もいて、リモートワークにも関わらず生産性を上げられず疲弊している社員も見受けられる。そもそもリモートワークは時間管理型の業務での導入は効率も悪く、在宅勤務はオンとオフが明確には分けられない。またデジタルに不慣れな管理職の存在も指摘されているなかでは厳しいものがある。コロナ禍を皮切りに今後在宅勤務やリモートワークを推奨する企業であれば、「**脱時間管理型**」を促し「**成果型**」の評価制度を作らないと、管理職と社員の間に信頼も生まれず制度疲労を起こす可能性もある。社員の自主性に任せ、社員のライフスタイルに合わせて働き方を決めていく。そのためにも「成果型」評価は必要だが、労務管理上の問題を指摘する企業や労組も多く、なかなか遅々と進まないのも現状である。その結果、**日本型雇用**の見直しまでつながるイシューとなる。**ジョブ型雇用への道筋**成果型評価制度が日本の企業で根付かない根本的な理由は、**仕事の業務内容が曖昧であること**にある。個人の業務内容を細かく定義せず幅広い職種を経験させ、ゼネラリストを養成していく手法は「**メンバーシップ型**」と言われ、終身雇用や新卒一括採用を前提にした日本型雇用の特徴でもある。この無限責任型の制度が実は、長時間労働と低い生産性の温床となっているとも言われ、より細かく職務を定義していく「**ジョブ型雇用**」を導入する大企業が出始めている。つまり、「**人に仕事を合わせていく**」のではなく、「**仕事に人を合わせていく**」ことである。この場合、社員を専門性やスキルで業績評価していくため、成果型とも連動しやすくなり、また労働の流動性も促すことができる。その企業だけでしか通用しないスキルを磨くことは今の時代リスクも高く、「ジョブ型雇用」により企業を超えた**アクティブな労働市場**、貨幣の互換性のように。を生みだすことが、予測不能な時代の雇用環境には必須だと考えられる。**ウィズコロナ禍でのパラダイムシフトへ**オフィスに行くか、在宅で勤務するか、という働く環境の議論ではなく、本質的な課題はリモートワークによる「**アウトプット志向**」の高まりによる、評価制度の整備であり、評価するためには職務定義の明確化「ジョブ型雇用」の導入など、日本型雇用システムを見直すことである。もちろん、チーム力も経営の大きなファクターであり、個人の成果だけ追求するのは限界もある。しかし、組織から個人へパワーが移行し、「**個人の法人化**」を促す未来が確実に近づいている今。「**組織に依存しない働き方**」が私たち一人一人に求められている。今回のコロナ禍で不確実性が高まった今、「**働く**」という行為を、変容する社会システムに合わせ、**リ、デザイン**することが私たちの責務かもしれない。編集部より安川さんには以前、**「一億総フリーランス」**の社会について論じた記事を寄稿頂きました。そのタイミングでは、「一億人がフリーランスになるはずがない」と思われた方も多かったかもしれません。しかし、コロナウイルスの蔓延によりビフォーコロナでは考えられなかった社会変容が起きています。組織に依存せず働く。変わりゆく社会に、どのように向き合っていくのか問われている気がします。安川さんの過去の記事はこちらからお読みいただけます。[「組織から個の時代へ」一億総フリーランス化](https://tottori-biz.com/organization-individual/)

あなたは鳥取県のことをどれだけ知っていますか。「書籍、歴史編」

最近、全国で緊急事態宣言が解除されました。そのような中、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。制限が解除され少しずつ、いつもの生活が戻りつつあるのではないかと思います。しかし、まだまだ自宅で過ごすことが多い方もおられると思います。今回は以前紹介した**鳥取に関する本のシリーズPart2**となります。**鳥取県の歴史に関する本を5冊**紹介させていただきます。歴史を網羅するなら「**鳥取県の歴史、県史。**」この本さえあれば、おおよその鳥取県の歴史が分かるような本になっています。古代から現代までの鳥取県の通史を、活躍した人物や重要事件などを抑えながら読むことができます。まさに鳥取の歴史の教科書と言えるでしょう。鳥取県の歴史の大枠を理解したい方には必読の一冊となっています。書籍、「鳥取県の歴史、県史。」歴史旅のお供に「**山陰の戦国史跡を歩く　鳥取編**」ハンディサイズのこの本は、鳥取県を旅する時には是非とも片手に持っておきたい本です。この本では、城、神社仏閣、古戦場、墓所など多様な戦国史跡を数多く取り扱っています。また詳細な地図も掲載されており、実際に持ち歩きながら旅をするのに非常に便利です。書籍、「山陰の戦国史跡を歩く　鳥取編」戦国を知るなら「**山陰、山陽の戦国史**」この本は、特に戦国にフォーカスして歴史を考えている本となります。山陰、山陽の中国地域において、戦国時代の150年間にいかなる歴史が展開したのかということを、大名の興亡や合戦史、石見銀山などの鉱工業、文化や芸能、経済、流通、城下町などに触れ、非常に多面的に見ることができます。この本を読んで、当時の世相を多角的に感じ、遠い時代の自身の故郷に思いを馳せてみるのも楽しいかもしれません。書籍、「山陰、山陽の戦国史」お祭りや文化財をめぐるなら「**鳥取県の歴史散歩**」この本は「山陰の戦国史跡を歩く　鳥取編」と同じように、旅に携帯していくのが醍醐味となっています。しかし、史跡のみならず地域の概観、文化財公開施設、おもな祭り、参考文献、年表など付録も充実しています。より様々な角度から歴史を感じることのできる本ではないでしょうか。書籍、「鳥取県の歴史散歩」鳥取藩を知るなら「**鳥取藩研究の最前線**」江戸時代を中心とした鳥取藩について、従来の研究にはない新テーマを取り上げ、 鳥取藩の新たな魅力、特色を明らかにしている研究書です。この本は鳥取藩政資料「家老日記」という資料を、平成16年からこれまでに約100名の古文書解読ボランティアの協力を得て解読した内容を盛り込んでいるそうです。江戸時代の鳥取の姿である鳥取藩について、もっと詳しく知りたいという方にはお勧めの一冊です。書籍、「鳥取藩研究の最前線」**終わりに**今回は、5冊鳥取県の歴史に関する本を紹介させていただきました。その本に関するURLも一緒に貼っておきましたので、ぜひ気になった本があれば購入してみてください。この5冊を読んで、鳥取の歴史に思いを馳せてみましょう。紹介書籍

サイトデザインリニューアルのお知らせ「TBO ニュース」

TOTTORI BUSINESS ONLINEはサイトをリニューアルしましたいつも鳥取ビジネスオンライン、以後TBOと表記。をご愛読していただき誠にありがとうございます。この度、TBOは、サイトのリニューアルを実施いたしました。多くの読者、そしてTBOに寄稿くださる方々の応援のおかげで、PV数は成長を続けています。設立チームがTBOの立ち上げを決めた際、MVP、Minimum Viable Product。の状態からスタートして行こうと出来る限り簡易な方法でサイトの制作を行いました。編集チームはコンテンツの充実に動き、開発チームはサイトの利便性を高めるためのアクションを少しずつではありますが進めてきました。大枠は変更せずに、以前よりもTBOの魅力あるコンテンツを探しやすいようにリニューアルしました。まだまだ利便性に難が多々ありますが、引き続きより快適に記事を読んでいただけるよう改善していきます。TOTTORI BUSINESS ONLINEの現状読者の皆様のおかげもあり、鳥取県内での認知度は上がってきました。一重にTBOと連携企画を毎月のように実施させていただいている「旬刊　山陰政経レポート」様や、記事の寄稿を定期的にしていただいている有識者の方々のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。PV数は8000PV/月を達成しました、2020/6/1時点。。引き続き、鳥取の「営みの最大化」を目指して、多くの人に挑戦する人の声や、変化の兆しをお届けしていければと思っています。**鳥取でITに触れる機会創出**TBOでは、引き続き鳥取の「営む人たち」の声を拾っていきたいと思っています。TBOでお力になれることがあれば、いつでもご連絡いただければと思います。そして、TBOの運営には学生がいます。引き続き、TBOを通じて鳥取県という地域との接点づくりや、ITに触れる機会、そして魅力を知る機会を作っていきます。**鳥取県は都会と比べれば多くの機会格差があるかもしれません。**ただ、鳥取だからこその出会いや学び、そして実践の舞台があると思っています。**TBOが、その機会を知る媒介となるだけでなく、鳥取県内で機会創出していくメディアになれるよう積み重ねていきます。**ぜひ、記事を読んでいただき、身の回りの方にTBOを広めていただけると嬉しいです。引き続きTBOをよろしくお願いいたします。**TOTTORI BUSINESS ONLINE 編集室**TOTTORI BUSINESS ONLINEはサイトをリニューアルしましたいつも鳥取ビジネスオンライン、以後TBOと表記。をご愛読していただき誠にありがとうございます。この度、TBOは、サイトのリニューアルを実施いたしました。多くの読者、そしてTBOに寄稿くださる方々の応援のおかげで、PV数は成長を続けています。設立チームがTBOの立ち上げを決めた際、MVP、Minimum Viable Product。の状態からスタートして行こうと出来る限り簡易な方法でサイトの制作を行いました。編集チームはコンテンツの充実に動き、開発チームはサイトの利便性を高めるためのアクションを少しずつではありますが進めてきました。大枠は変更せずに、以前よりもTBOの魅力あるコンテンツを探しやすいようにリニューアルしました。まだまだ利便性に難が多々ありますが、引き続きより快適に記事を読んでいただけるよう改善していきます。TOTTORI BUSINESS ONLINEの現状読者の皆様のおかげもあり、鳥取県内での認知度は上がってきました。一重にTBOと連携企画を毎月のように実施させていただいている「旬刊　山陰政経レポート」様や、記事の寄稿を定期的にしていただいている有識者の方々のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。PV数は8000PV/月を達成しました、2020/6/1時点。。引き続き、鳥取の「営みの最大化」を目指して、多くの人に挑戦する人の声や、変化の兆しをお届けしていければと思っています。**鳥取でITに触れる機会創出**TBOでは、引き続き鳥取の「営む人たち」の声を拾っていきたいと思っています。TBOでお力になれることがあれば、いつでもご連絡いただければと思います。そして、TBOの運営には学生がいます。引き続き、TBOを通じて鳥取県という地域との接点づくりや、ITに触れる機会、そして魅力を知る機会を作っていきます。**鳥取県は都会と比べれば多くの機会格差があるかもしれません。**ただ、鳥取だからこその出会いや学び、そして実践の舞台があると思っています。**TBOが、その機会を知る媒介となるだけでなく、鳥取県内で機会創出していくメディアになれるよう積み重ねていきます。**ぜひ、記事を読んでいただき、身の回りの方にTBOを広めていただけると嬉しいです。引き続きTBOをよろしくお願いいたします。**TOTTORI BUSINESS ONLINE 編集室**

鳥取県の事業所数は全国で47位

突然ですが、鳥取県にはどれくらいの事業所があると思いますか。この記事では、鳥取県にはどのぐらいの事業所があるのか。そして、それは全国で比べるとどれくらいの多さなのかを紹介していきます。また、そのデータが表すこれからの鳥取県の可能性についても紹介していきます。**鳥取県の事業所数**まず鳥取県には平成28年の時点で25,718事業所あります。これは全国順位47位になります。次のデータは、鳥取県内にある人口千人当たりの事業所数のデータです。少し古いデータですが、平成28年のトリねっとの統計課「経済基盤」のデータをまとめたものです。グラフより、平成28年において、県内の人口千人当たりの事業所数は、全国の平均に比べて鳥取県は高い数値となっています。平成28年の時点で、**鳥取県は人口千人当たりの事業所数が全国で26位**でした。事業所と言うのは、事業を行う施設が存在するところを言います。私企業だけでなく、自治体や公共企業などの事業も含みます、コトバンクより。また、このデータで取り扱っている事業所は、民営事業所のことであり、事業内容等不詳のものは除いたものです。鳥取県内にある事業所数は、平成28年の時点で25,718となっています。この数値は、**全国で47番目の数値**です。平成28年の総事業所数は、5,340,783となっており、**鳥取県内にある事業所数は全国の総事業所数の約200分の1程度しか占めていません**。**鳥取県の地域別事業所数**続いて、鳥取県の地域別に人口千人当たりの事業所数のデータを見ていきます。グラフを見て分かる通り、**日吉津村が飛びぬけて高い数値**となっています。次いで、倉吉市、日野町、日南町と続いていきます。一方、大山町や八頭町、伯耆町、南部町はかなり低い値となっているのです。このように、鳥取県の人口千人当たり事業所数は全国的に見ると高い位置にありますが、鳥取県内で見てみると、**地域差が非常に大きい**と言えます。その土地の「人口構成」や「地域の状況」によって、事業所の数は大きく異なってくるのではないかと考えます。なお、今までの「データで見る鳥取」において、日吉津村が上位にランクインする理由の一つとして、人口が少ない割りに生産性が高いことが挙げられます。**事業所数の中で第3次産業が占める割合**事業所と言っても、それぞれの事業所で行っている事業は様々です。しかし、現在、商品やサービスを分配する産業である第3次産業が、日本の産業構造の7割を占めています。産業構造については以前にも紹介しました。興味がある方はぜひ、ご覧くださいその第3次産業が鳥取県内の事業所の総数に占める割合は、83。83%となっています。この数値は、とても高い値となっています。全国の平均は、81。61%となっており、鳥取県は全国で4番目に高い順位です。このことから、鳥取県は第3次産業に関する事業所が多いことが想定されます。鳥取県は人口が全国で一番少ない県となっていますが、豊かな自然などが多く、たくさんの魅力があります。そのため、観光業も盛んです。事業所の数=経済規模ではありませんが、現在鳥取県内にどれだけの数の事業所があるのかを知っておくことで、県内の市場規模を推定することも可能です。今後の鳥取県内の事業者に新しいサービスを展開する企業は、知っておきましょう。

鳥取県での「新しい生活様式」

**鳥取型「新しい生活様式」が発表されました**2020年5月4日に新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を受けて、厚生労働省が新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」とその実践例を提示しました。TOTTORI BUSINESS ONLINEではその中でも「名刺交換のオンライン化」という項目ついて触れた記事を以前発信しました。そして先日の5月末に鳥取県が緊急事態宣言の解除を受けた後でも新型コロナウイルス感染症予防のため、鳥取県での新しい生活様式の取り組みが鳥取県のホームページで発表されました。それが、**鳥取型「新しい生活様式」**です。その発表の中には、厚生労働省が発表した「新しい生活様式」についても触れられています。今回はこの鳥取型「新しい生活様式」についてご紹介します。鳥取県庁、[鳥取型「新しい生活様式」](https://www.pref.tottori.lg.jp/item/1208834.htm#itemid1208834)**厚生労働省が提示した「新しい生活様式」**鳥取型「新しい生活様式」に入る前に、まず、その前に5月4日に厚生労働省が提示した新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」とその実践例について紹介します。ここでは大きく分けて4つの生活様式の項目があります。つずつその具体的な実践例を示します。一人ひとりの基本的感染対策人との間隔は、できるだ2m、最低1m。空ける。遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う。感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。規制や旅行は控えめに。出張はやむを得ない場合に。発症した時のため、誰とどこで会ったかをメモにする。地域と感染状況に注意する。日常生活を営む上での基本的生活様式

まめに手洗い、手指消毒咳エチケットの徹底こまめに換気身体的距離の確保「3密」の回避、密集、密接、密閉。毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養日常生活の各場面別の生活様式買い物通販も利用1人または少人数ですいた時間に

電子決済の利用計画をたてて素早く済ますサンプルなど展示物への接触は控えめにレジに並ぶときは、前後にスペース娯楽、スポーツ等公園はすいた時間、場所を選ぶ筋トレやヨガは自宅で動画を活用ジョギングは少人数ですれ違うときは距離をとるマナー予約制を利用してゆったりと狭い部屋での長居は無用歌や応援は、十分な距離かオンライン公共交通機関の利用会話は控えめに混んでいる時間帯は避けて徒歩や自転車利用も併用する食事持ち帰りや出前、デリバリーも屋外空間で気持ちよく大皿は避けて、料理は個々に対面ではなく横並びで座ろう料理に集中、おしゃべりは控えめにお酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて冠婚葬祭などの親族行事

多人数での会食は避けて発熱や風邪の症状がある場合は参加しない働き方の新しいスタイルテレワークやローテーション勤務時差通勤でゆったりとオフィスはひろびろと会議はオンライン名刺交換はオンライン対面での打合わせは換気とマスク鳥取型「新しい生活様式」チラシには、「新型コロナ克服の三か条」「正しい手洗いの方法」「発熱、帰国者、感染者相談センター」が紹介されています。厚生労働省の専門家会議で示された「新しい生活様式」が発表された上で、鳥取県が改めて鳥取にあった形、かつ、この時期に発表してまで皆様に伝えたかったことは、やはり、**緊急事態宣言が解除されても気を抜いてほしくない**ということであると思います。本チラシには初めに次のような言葉が書かれています。**緊急事態宣言の解除は「終わり」ではなく、新型コロナウイルスとの闘いの第２章の「始まり」です。気を緩めれば感染拡大を起こしかねません。**この「第二章」というのは緊急事態宣言解除後に、また以前のような生活様式に戻り再び感染拡大が起こる新型コロナウイルス感染拡大の第二波を言い換えたものだと思います。また、チラシの中には「**ダジャレ**」が使われているなど、鳥取ならではの面白味のある要素があります。具体的には、「新型コロナ克服三か条」にある次の文章です。人と人 **間が愛だ**三つのもの **密だとミスだ**幸せは **予防で呼ぼう**このように親しみやすさを含ませるなど、県民の意識を傾きかける工夫がなされています。このダジャレは「鳥取県にはスタバはないけど、日本一のスナバがある」などのダジャレで有名な鳥取県知事である平井伸治知事の影響を受けたのかもしれません。ついクスっと笑ってしまうようなものになっているので、是非実際のものをご覧ください。**最後に**緊急事態宣言が解除された以降、幸いにも鳥取県には新型コロナウイルス感染者の確認は現時点ではありません、2020年6月10日の時点。。しかし、まだまだ気を抜ける状況ではないのです。6月に入り、鳥取県は梅雨を迎え、これから**熱中症**などにも注意を向けていかなくてはならなくなります。このような状況の時こそ、一人ではなくて皆で乗り越えていく姿勢が大切であると言えます。鳥取の皆さんは**鳥取型「新しい生活様式」**を参考に、感染対策をとりましょう。なお、鳥取県庁のHPでは「正しい手洗いの方法」や「発熱、帰国者、感染者相談センター」についても紹介されています。是非、一度ご自身の目で確かめてみてください。

「マイクロツーリズム」という観光のこれから

**観光業界への大打撃**新型コロナウイルスの影響によって、多くの産業が多大な影響を受けている。影響の大きさを考えると、真っ先に挙がる産業の一つが観光業であり、新型コロナウイルス関連において、特に大きな影響を受けていることは間違いない。ホワイト、ベアー、ファミリーの、以後WBF。グループ会社であるWBFホテル&リゾーツの倒産は記憶に新しい。2019年3月期の売上高が約48億円計上していた企業が民事再生法の適用を申請したのだ。これは単に大手企業の問題ではなく、地方で観光アクティビティを営む業者や、観光客を主な顧客としていた小売店の問題でもある。**今までの「観光立国」の見直し**今まで観光庁は2008年から「観光立国推進法」を策定し、観光立国の実現に向けて国外へのPRや国内観光業者の多言語対応へのサポートを行なってきた。数千万人規模のインバウンド市場は、大手企業だけでなく多くのベンチャー企業が挑戦をしていただけに、国としても挑戦的な取り組みが多かった。しかし、新型コロナウイルスの影響によって、これまで国を挙げて推進してきたインバウンド戦略は大きな見直しが迫られている。**「マイクロツーリズム」とは**そんな中、観光業界はどのような対応をとるべきなのかという点に注目が集まっている。今回取り上げるのは、星野リゾートの代表、星野佳路さんの提案する「マイクロツーリズム」だ。「マイクロツーリズム」とは、居住地から近隣の施設やお店でゆっくりと食事をすることや、改めて地元の魅力に触れるような「小さな旅」のことである。地元に目を向けて楽しむ「マイクロツーリズム」では、三密を防ぎつつ、新しい旅を定義していくことが必要になる。この新しい体験へ挑戦できるかどうかが、これから消費者に選ばれるかどうかの分岐点となりそうだ。幸いにも、鳥取県のアクティビティの多くは、雄大な自然を活かしたものが多く、アフターコロナの世界線で消費者が過敏となる「過密」はクリアしやすい。また、マイクロツーリズムの観点から考えると、鳥取県に接する兵庫県、岡山県、島根県、広島県の住民に魅力を感じてもらえるコンテンツが必要になってくる。鳥取砂丘はもちろんのこと、これらの県内では体験できないものを考えてみるとヒントがあるかもしれない。「マイクロツーリズム」を提案する星野さんは、「地域の魅力を知ってもらわなければ、実は観光は強くならない。新型コロナウイルスで大変なダメージを受けているが、転んでもただでは起きない。」「日本の観光が復活するときには、地域の人たちがその地域の魅力を認知していることは、世界に日本の観光の強さをアピールできる大きな力になると思っています。」とテレビの取材で言及している。**アフターコロナを見据えた新しい観光の模索へ**長いスパンで考えると、本当の意味で海外の方々にも評価される地域の観光産業を作ることが求められる。そのためには、マイクロツーリズムへの挑戦を通じて、感染拡大を防止しながら地域住民を中心に地域経済が機能する観光など、新たな旅のあり方に挑戦する必要があると言える。インバウンド再興のときを見据え、今何ができるだろうか。今の私たちには、ピンチをチャンスに変えられる力が問われている。参考文献

飲食業や観光業を支える鳥取県の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の防止によって、たくさんの業種で様々な影響が出ました。特に、飲食業と観光業は大きな影響を受けることになりました。活動自粛期間がちょうどＧＷと重なり、営業時間の短縮も求められ、観光業や飲食業では収入が大幅に減少したのです。この記事では、新型コロナウイルスによって影響を受けた飲食店や宿泊施設を支援し、地域を活性化していこうと県や市町村を挙げて行われている取り組みについて紹介していきます。**コロナに対する市町村の取り組み**鳥取県内の飲食店や宿泊施設を支援しようと、独自の支援活動を行っている市町村があります。ここでは、市町村が行っている独自の取り組みについて紹介していきます。**「鳥取市プレミアム付飲食券」鳥取市**鳥取市では、新型コロナウイルスによって影響を受けている市内の飲食店を支援するため、6月1日より**「鳥取市プレミアム付飲食券」**の販売が開始されました。◎鳥取市プレミアム付飲食券一冊当たり5000円、500円券×10枚。分の飲食券を30004000円、第1弾と第2弾でプレミアム率が異なる。で購入することができる使用期限は令和2年6月18日、木。令和2年8月31日、月。まで参加店舗では、飲食とテイクアウトのどちらにも使うことができるこの企画は、第1弾、令和6月1日。と第2弾、令和7月1日。とに分けられていました。しかし、先日から販売開始となった第1弾は、販売後すぐに完売し、追加販売が決定されるぐらい人気となっています。詳細はこちらから「[~~鳥取市プレミアム付飲食券~~](https://www.city.tottori.lg.jp/www/contents/1590142350115/index.html)」

**「米子市民割引」米子市**米子市では、新型コロナウイルスによって売り上げの減少などの影響を受けた宿泊施設に向けて、市民の市内宿泊施設の利用を促進するために**「米子市民割引」**が開始されました。米子市民割引宿泊の場合、利用者1人当たり半額となる、ただし、上限金額は5000円。日帰り飲食の場合、利用者1人当たり半額となる、ただし、上限金額は3000円。

対象者は、米子市民または米子市民を含む4人以下のグループ対象施設は、ANAクラウンプラザホテル米子やGOOD BLESS GARDENなど、他にもたくさんの施設が対象です、令和2年6月15日の時点。。対象となる施設は今後さらに追加される予定です。詳細はこちらから「[米子市民割引](https://www.city.yonago.lg.jp/item/36940.htm#pagetop)」**「みらい飯」倉吉市**倉吉市では、新型コロナウイルスの影響によって、外出自粛や営業時間の短縮により大きな影響を受けた飲食店を、**「みらい飯」**というクラウドファンディングで支援する活動を行っています。みらい飯「店舗指定コース」と「地域応援コース」の2つの応援方法がある「店舗指定コース」では、選択したお店で使用できる食事券、プレミアム率20％。が付いてくる「地域応援コース」では、参加店舗に均等に振り分けられ、地域全体を応援することができる「店舗指定コース」の食事券は、発行から6か月有効です。「地域応援コース」では、寄付のお礼に運営主体より感謝のメールが送られます。詳細はこちらから「[みらい飯](https://readyfor.jp/projects/kurayoshi-cci)」**「ふるさと応援地域振興券」境港市**境港市では、新型コロナウイルスの影響を受けた市民の生活を支援するため、市民全員に境港市内のお店で使える**「ふるさと応援地域振興券」**という商品券が配布されました。また、子育て世帯にはお食事券も付いてきます。ふるさと応援地域振興券商品券市内で使える商品券5000円分、500円券×10枚。が配布令和2年6月1日の時点で、市内に住民票がある方を対象市内の参加店舗での買い物や食事などに使用できる食事券お子さん1人につき5000円分、500円券×10枚。が配布対象は平成14年4月2日令和2年6月1日生まれの子市内の参加店舗での食事に使用できる商品券のイラストには、水木しげるさんが描いた疫病よけに効くとされる「アマビエ」が使用され、食事券には、鬼太郎が描かれています。詳細はこちらから「[ふるさと応援地域振興券](https://www.city.sakaiminato.lg.jp/index.php?view=110138)」**「岩美町プレミアム商品券」岩美町**岩美町では、新型コロナウイルスの影響を受け、地域の活性化を図るために**「岩美町プレミアム商品券」**が発行されます。この取り組みはまだ、商品券の取り扱い業者の募集段階、令和2年6月12日現在。ですが、岩美町にとってとても魅力的な取り組みであると言えます。詳細はこちらから「[岩美町プレミアム商品券](http://www.iwami.gr.jp/item/10097.htm#itemid10097)」現在HPから確認できなくなっています**「みんなの食堂ゆるりん」湯梨浜町**湯梨浜町では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月から開催が中止されていた**「みんなの食堂ゆるりん」**が再開されます。みんなの食堂ゆるりんカレーライスやサラダ、スイーツ、お菓子の詰め合わせ、商品付き輪投げゲームなどが無償で提供日時は、6月25日、木。17、00みんなの食堂ゆるりんは、新型コロナウイルスの影響を受け、無償での提供が開始されます。商品や食品が無くなり次第終了となっております。詳細はこちらから「[~~みんなの食堂ゆるりん~~](https://www.yurihama.jp/soshiki/7/13059.html)」**「プレミアム付ことうら食事券」琴浦町**琴浦町では、新型コロナウイルスによって大きな影響を受けた業種の中の飲食業に向けて、応援する取り組みが始められました。町民に町内の飲食店で使える**「プレミアム付ことうら食事券」**を発行する取り組みです。プレミアム付ことうら食事券1セット5000円分、500円券×10枚。を4000円で購入できる有効期限は、令和2年9月30日、水。まで

1世帯2セットまで購入することができる平日の午前8、30分午後5時までの販売となっています。2000セットが無くなり次第終了となっています。詳細はこちらから「[プレミアム付ことうら食事券](http://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2020060200118/)」**観光業を支援する鳥取県の取り組み**これまで市町村の取り組みを紹介してきましたが、鳥取県は県を挙げての取り組みもされています。それは、鳥取県民が県内の観光施設や宿泊施設、体験型観光メニューを利用する時にお得な**「WeLove鳥取キャンペーン」**です。WeLove鳥取キャンペーン期間は、令和2年の6月6日、土。6月30日、火。までお1人につき、その費用の半額、上限金額は3000円。が支援される連泊の場合、一日当たり最大3000円が割引される詳細はこちらから「[WeLove鳥取キャンペーン](https://www.pref.tottori.lg.jp/291962.htm)」**最後に**これまで、鳥取県内のお得な取り組みについて紹介してきました。新型コロナウイルスによって多くの方々が影響を受けました。アフターコロナの世界において、みんなで地域を支えていく姿勢を持つことが、大切であると考えています。ぜひ、このお得な期間に、ご自身も楽しみながら地域を支援していく仕組みを活用してみてくださいこの記事で紹介しきれなかった各市町村の取り組みについては、こちらの記事で紹介しています。

地域経済と学生を支える鳥取県の取り組み

**鳥取の地域を支える取り組み**新型コロナウイルスによって、活動の自粛が求められ、鳥取県内の経済活動は大きな影響を受けました。その中でも、飲食業や観光業への影響は特に大きなものとなりました。鳥取県では、影響を受けた地域の活性化を図ろうと、市町村独自の取り組みを行う地域が多くあります。TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、その取り組みの一部を以前にも紹介しました。この記事では、**以前紹介しきれなかった取り組み**について発信していきます。以前、TOTTORI BUSINESS ONLINEで紹介した[鳥取県内の市町村の取り組み記事](https://tottori-biz.com/covid-19-support-activities/)はこちら地域経済と学生支援緊急事態が解除された現在、鳥取県で少しずつですが街の人通りが増え、街の活気を取り戻す過程を歩んでいるのではないかと感じます。各市町村では、落ち込んだ街の活気を取り戻そうと、市町村内での消費を促す様々な取り組みが行われています。**倉吉市**倉吉市では、新型コロナウイルスによって大きな影響を受けた飲食業や観光業に対し、スピード感のある支援活動が開始されます。倉吉市内の飲食店やお土産店などに利用できる商品券です。くらよしプレミアム付観光振興券1セット3000円分、500円券×6枚。を1500円で購入可能高校生以上の方1人につき3セットまで倉吉市内に通勤や通学をされる方をはじめ、観光客も含め幅広く購入できる「くらよしプレミアム付観光振興券」は、先着順に販売、ご利用いただく形となっています。数に限りがありますので、ご注意ください。詳細はこちらから「[くらよしプレミアム付観光振興券](https://www.kurayoshi-kankou.jp/kurayoshi-premium/)」**若桜町**若桜町では、新型コロナウイルスによって、若桜町内での消費が落ち込みました。そんな状況を改善するため、若桜町民全員に「若桜まるごと商品券」の発行が予定されています、2020年6月19日現在。。若桜まるごと商品券1人当たり1万円、1000円券×10枚。分を若桜町民全員に配布利用期限は、7月20日、予定。令和3年1月31日まで対象となる若桜町民は、令和2年7月1日時点において若桜町の住民基本台帳に記録されている方です。詳細はこちらから「[若桜まるごと商品券](http://www.town.wakasa.tottori.jp/?news=%e8%8b%a5%e6%a1%9c%e3%81%be%e3%82%8b%e3%81%94%e3%81%a8%e5%95%86%e5%93%81%e5%88%b8%e5%8f%96%e6%89%b1%e5%ba%97%e8%88%97%e3%81%ae%e5%8b%9f%e9%9b%86%e3%81%ab%e3%81%a4%e3%81%84%e3%81%a6)」**智頭町**智頭町では、新型コロナウイルスによって影響を受けた地元の商店街の活性化、緊急経済対策として、地域通貨「杉小判」が配布される予定となっています。杉小判、すぎこばん。1人につき5枚、5000円相当。を配布配布時期は令和2年6月下旬、予定。利用期限は、手元に来てから令和2年10月31日まで詳細はこちらから「[杉小判](http://cms.sanin.jp/p/chizu/sanson_saisei/2/5/)」**南部町** 南部町では、新型コロナウイルスによって売り上げが落ち込んでいる南部町内の飲食店を支援しようと、お得な商品券が販売されます。販売対象は、南部町民または南部町に勤務されている方です。南部町全体で合計1000冊販売予定となっていますが、各店舗の販売数には限りがありますのでご注意ください。未来に使える南部町内飲食店応援チケット5000円分、500円券×10枚。を3000円で購入可能利用期限は、令和3年3月31日まで利用可能店舗は、17店舗となっています。詳細はこちらから「[未来に使える南部町内飲食店応援チケット](https://www.town.nanbu.tottori.jp/admin/kikakuseisakuka/m626/)」**コロナ禍の学生を支援する取り組み**新型コロナウイルスは学生の生活にも大きな影響を与えました。アルバイトの収入面から学習面まで様々な影響を受けたため、以前とは違う生活様式が求められています。そんな学生を支援しようと、鳥取県内の各市町村では様々な**支援活動**が行われているのです。**北栄町**北栄町では、大学生や専門学生等を対象に、学生生活の維持や継続の安定化を図るために生活支援金が支給されます。北栄町生活支援金の給付自宅通学の人は5万円。それ以外の人は、10万円を支給対象は、申請時に大学や専門学校、高等専門学校、4学年以上。に在籍している人手続きの期限は、必要書類の提出を2021年1月31日までに詳細はこちらから「[北栄町生活支援金の給付](http://www.e-hokuei.net/item/12117.htm#ContentPane)」**琴浦町**琴浦町では、新型コロナウイルスによって以前とは全く異なる生活を余儀なくされている学生に対し、少しでも元気になってもらえるように琴浦町の産品を無料で配送する取り組みが始められます。ことうらエール便送られる品は、琴浦町産米や鳥取牛カレー、牛骨ラーメン、お菓子など無料で配送対象は、専門学校や大学に所属し、自宅以外から通学されている琴浦町出身で高校卒業20歳代の方申込み方法は、インターネットもしくはメール、郵便または持参、ご家族の方でも可。詳細はこちらから「[~~ことうらエール便~~](https://www.town.kotoura.tottori.jp/docs/2020053100029/)」**日南町**日南町では、アルバイト収入の減少や活動自粛によって、日常の生活にも大きな影響を受けている大学生に対し、**日南町産のコシヒカリ300㎏が寄付されました**。そのコシヒカリを使った炊き込みご飯が16日から無料で、鳥取大学の湖山、米子キャンパスで振る舞われています。活動自粛によって家にいることが多い今、食事をインスタント食材などで済ましてしまう学生も多いのではないかと思います。そのため、この取り組みは、学生にとって鳥取県内で取れた食材を食べる良い機会になったのではないでしょうか。詳細はこちらから「[日南町産の米コシヒカリ300㎏贈呈](http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/6/11/8/)」**最後に**アフターコロナの世界では、お互いに助け合って生活していくことが求められています。そんな中、鳥取県では、県を挙げた取り組みや市町村独自の**地域活性化**を図る取り組みが率先して行われ、みんなで「助け合っていこう」という姿勢を凄く感じました。このように、困っている人をみんなで助け合っていく姿勢にこそ、鳥取県の魅力が詰まっているのではないかと考えています。

鳥取県の企業「JPツーウェイコンタクト株式会社鳥取プロスペリティセンター」「前半」

「**JPツーウェイコンタクト株式会社＿鳥取プロスペリティセンター**」この度、鳥取県鳥取市若葉台にある企業「JPツーウェイコンタクト株式会社　鳥取プロスペリティセンター」に取材させていただきました。日本郵政グループのコールセンターであり、鳥取では通信販売の受注や、郵政業務に関するお問い合わせを行っている企業です。JPツーウェイコンタクトのコールセンターのお仕事は、クレーム対応ばかりではなく、研修制度やフォロー体制も充実しているとのことで、さらにセンターには多くの女性の方々が働いていました。今回はそのような鳥取プロスペリティセンターの、鳥取の魅力にもつながる働きやすい環境設計や、今後の取り組みについて取材してきたことをご紹介します。**鳥取プロスペリティセンターについてのご紹介**本社は⼤阪市にあり、⿃取の他にも札幌、東京、⼤阪、福岡にもセンターがあります。そのほとんどが「CRM〇〇、拠点名。コンタクトセンター」という名前です。しかし、⿃取だけが「プロスペリティセンター」という名前になっています。このプロスペリティとは「ともに⽣きる、ともに⽀える、共栄、共存」という意味で、⿃取県の経済発展、雇⽤拡⼤に共存共栄するという意味で社内公募により、プロスペリティという名前を付けました。近年、都市⼀極化と⾔われ、都市部に仕事を求めて⿃取県から出ていってしまうという⼈が多いという問題があり、なんとかそれを⾷い⽌めるために当社にできることはないかと考えた結果、センターを建てて雇⽤拡⼤によって地域に貢献したいということで、このような名前を付けました。**鳥取県ならではの女性の働きやすい職場環境**鳥取のセンターでは、主に通販と郵政業の対応をしており、上の写真は注⽂などをメインにやっている様子です。ここにいるのは、電話応対スタッフ、コミュニケーター。のほかに、管理者、スーパーバイザー。の⽅もいます。⼥性はみんな私服、オフィスカジュアル。で、一人ひとりのスペースもゆとりを持って確保しています。コールセンターというのは、3密、密閉、密集、密接。が起きやすい仕事場であるとされており、今のコロナの状況からすると⾊々と⼼配があると思います。しかし、当社では⼀⼈⼀⼈の間隔はあえて広くし、資料を置きやすくする等の⼯夫をしています。その結果、ストレスを感じにくい配置となっているため、今回のコロナの件でもうまく機能していると思います。写真を⾒てもわかる通り、⼥性が多いです。他のセンターも合わせて全体的に⾒ると4、6で男性がちょっと多いくらいなのですけども、⿃取に関しては9、1で圧倒的に⼥性が多いのです。センター全体を統括しているセンター⻑も⼥性の⽅で、⼥性が働きやすい職場となっています。⼥性の働きやすさをよりよくするための取り組みとして、⼦育て⽀援制度などがあります。例えばお⼦様の誕⽣⽇にプレゼント代の⽀給や、⼩学校中学校の⼊学のお祝い、⼦どもが病気やケガなどをしたときの病児休暇も、当社では最大7日まで取得可能です。また、主婦層の⽅たちが働きやすいような契約社員、アルバイト募集もやっています。その他、センターの特徴としては、声が抜けやすくなるように天井を⾼く設計したり、エアコンの⾵が下から来るような構造にもなっています。そのため、資料が⾶んで⾏ってしまうのを防ぐことができ、冬の寒い時期でも働きやすいようになっています。**鳥取県で事業をするメリットはどのようなものですか。**まず、第一に災害が少ないというメリットは大きいと思います。今回のコロナや、地震、台風被害なども比較的軽微なので、他拠点で業務がストップした場合でも鳥取で対応することが可能です。第二に、都市部への交通アクセスが良かったと思います。 大阪や東京へもアクセスが良く、私も出張などでは助かっています。**新型コロナウイルスの影響で内定取り消しなどはありますか。**当社に関しては、基本内定取り消しというものはないです。当社は新型コロナウイルス発⽣後も業績が悪化することはほとんどありませんでした。影響があるとしても配送が遅れることや商品が追い付かないというようなレベルでしか影響を受けません。⺟体が⽇本郵政グループであり、今後も⽇本の郵政業務は拡⼤していき、成長を加速させていますので、内定取り消しを考える例としては、「学⽣さんが単位をとれなかった。」や「実は⼤学⽣じゃありません」などです。そのため、そのようなことがない限り⼤丈夫です。**JPツーウェイコンタクトはどのような未来を描かれていますか。**よく⼀般的に、「コールセンターって最終的にはAIにとって代わる仕事だ」というように⾔われるのですが、僕は全くそのようには思っていません。私⾃⾝、AIにできる所の限界はあると思っています。簡単な注⽂に関してはAI化されるかもしれません。しかし、うちの会社というのは、お客様⼀⼈⼀⼈の声を⼤事にしており、お客様の声から商品の売り上げ向上につながるヒントがあると考えています。そんなお客様の声をもとにクライアントさんに提案することによって、売り上げに貢献していくことが⼤事であると考えています。 僕は経営陣というわけではないため、今後会社がどうなるのかというのは分かりませんが、当社が持っている強みを継続してもらえれば良いと思います。最後に私は、TBO編集者。この鳥取プロスペリティセンターの取材で、子育て支援や細かい配慮の通った環境設備などが子育て王国鳥取にあった形で、女性がとても働きやすい環境だと感じました。実際に鳥取のセンターは他県のセンターと比べて圧倒的に女性従業員が多いことからも、仕事環境に対して満足している様子が伝わってきました。[鳥取の企業「JPツーウェイコンタクト株式会社鳥取プロスペリティセンター」、後半。](https://tottori-biz.com/jptwowaycontact-interview)**会社情報**JPツーウェイコンタクト株式会社鳥取プロスペリティセンター代表取締役社長、壺井 俊博事業、コールセンター所在地、鳥取県鳥取市若葉台南5丁目17-1従業員、340名資本金、1億8250万円

鳥取県の企業「JPツーウェイコンタクト株式会社鳥取プロスペリティセンター」「後半」

**採用課の籠谷斗太さん**前半はJPツーウェイコンタクト＿鳥取プロスペリティセンターについての取材記事でした。本記事は後編になります。今回は、前半でも企業についての取材を受けていただいた人財開発部採用課の籠谷斗太さんの常識破りで新しい採用での取り組みと、ご自身のお考えなどを聞かせていただきました。**籠谷さんについての自己紹介をお願いします。**今年で30歳になるのですが、⽣まれは岩⼿県で、⼩学校⼆年⽣ぐらいに⼤阪に引っ越ししました。それからは、⼩学校から⼤学までずっと関⻄にいました。⼤学⼆年⽣の時に東⽇本⼤震災を経験しました。その後、ボランティアで岩⼿に⾏き、⾼齢者福祉施設を訪れたのですが、その時「ありがとうの⾔葉がすごく⾝近にある」と感じました。元々⽥舎出⾝ということもあり、おじいちゃんおばあちゃんっ⼦だったので、御⾼齢の⽅々の助けになれたらいいなと思い、就職活動では介護⼀本に絞って活動をしていました。そして、2年半ぐらい介護の仕事をしていたのですが、とにかく私は喋ることが好きで、介護の仕事や、新卒の⼦たちと沢⼭会話をしていました。そんな時、上の⽅から「採⽤やってみる︖」と誘われたのです。その時から、私の採⽤キャリアが始まっていきました。その後、結婚して⼦供が⽣まれて、⼤阪で⼦育てをしていくというのも良い選択肢ではありましたが、⼦育てをする上での環境⾯を考えている中で、**⼦育てという⾯でとても魅⼒のある⿃取県に魅かれ**、実際に⾏ってみて、⿃取県の魅⼒を感じ、⿃取県への転職を決意しました。また、コールセンターという業界を全く知らなかったのですが、「どんな業界で、どんな仕事なんだろう。」と興味を持ち、JPツーウェイコンタクトの⿃取プロスペリティセンターに⼊社して、⿃取に移住しました。**人財開発部の取り組み**人財開発部は、入社時の研修や会社の制度、採用など、⼈事のことを主に⾏っております。私は鳥取拠点の採⽤課として、⿃取の新卒、⼤学短⼤⾼卒。採⽤、アルバイトの採⽤、前半にあります、⿃取県の雇⽤拡⼤に貢献するためのアルバイトの募集。、中途採⽤など採⽤にかかわること全般をやっております。**採用でのお考えや重視されているポイントなどはありますか。**結論から⾔えば、私の採⽤の考え⽅として⼀番⼤事にしていることは、新卒であれば学⽣が**「納得いく就職活動のお⼿伝いする」**ということです。これまでの経験からも新卒採⽤にかかわることが多く、現在も⿃取だけでなく⼤阪や福岡などの新卒採⽤も出張等でお手伝いしています。そこで私は、説明会や⾯接などを通じて「この⼦がどうやったらうちで働けるだろう。」と言うことを考えています。採⽤担当というのは、「⾯接して落とす仕事」のようなイメージを持たれやすいお仕事です。もちろん現場からの要望に応じた採⽤⼈数や基準にコミットさせるために面接で不採用にすることもありますが、面接の中で「その⼈がうちで働けるにはどうしたらいいのか」という所を常に考えています。その他にも、新卒の学生に対して必ず**選考結果のフィードバック**をして、良い面、悪い面などをお伝えします、もちろん、希望に合わせてですが、私は学⽣に、「**⼀次選考までは⾒極める⼈です。それが終わったら後はあなたが当社の内定をとれるよう、最⼤限バックアップします。それこそが僕の仕事です**」と伝えています。現代の就職活動において、一つの会社だけを受けることはありませんし、学生さんは多くの選択肢を持って就職活動に臨んでいます。私はそんな多くの選択肢から、学生さんの希望や想いを聞き、それぞれアドバイスしながら、その学生が一番納得いく就職活動にできるようなお手伝いをしています。もちろん、それが当社であればとても嬉しいですけどね、笑。少し脱線しましたが、そんな選択肢を内定後にしっかり持ってもらえるよう、学生さんの可能性を引き出せる採用担当となれるよう、しっかりと内定までフォローさせてもらっています。**採用担当側という視点から見て今の若者へ伝えたいメッセージはありますか。**よく、学生さんに「鳥取の良いところは何。」と聞くと、「自然が多いところ」と言う答えが一番多いように感じます。でも、その上で「休みの日は何してるの。」と聞いたら「家でのんびりしています」と言う答えが返ってきて、「せっかく鳥取の良いところが分かっているのに、もったいないな」と思うことがあります。もちろん、現在のコロナの影響でなかなか外出できる機会も制限されていると思いますが、せっかく他県から鳥取に縁あってきたのに、活かしきれていないのではないかと思ってしまいます。**大学生は、よくも悪くも制限がなく、「自由」**であると思います。それを活かして自発的に多くの人と触れ合い、自然と触れ合うのか、自分の中の世界にだけ閉じこもってしまうのか、ぜひ学生さんには、**大学生「だからこそ」できる経験を、この鳥取でしてもらいたいと思います**。鳥取はそう言った主体的な行動に寛容なので、上から押さえつけられることもあまりないと私は感じているので、自分のやりたいことにどんどん挑戦してほしいですね**最後に**私、TBO記者。は今回の取材を通して、籠谷さんの採用に対するお考えは、今まで聞いたことがなく常識にとらわれないユニークなものでした。近頃、売り手市場の世代が終わり、就職難が訪れると言われ就職活動に対して大きな不安を持って動き出す子がたくさんいると思います。しかし、企業側が「面接をして落とす」というスタンスではなく、「一緒に最適な就職を考えていく」というスタンスでいてくれると、就活生にとってとても強い味方になると思います。また、よりそのような企業に今の就活生は魅力を感じるのではないかと思いました。会社情報JPツーウェイコンタクト株式会社鳥取プロスペリティセンター代表取締役社長、壺井 俊博事業、コールセンター所在地、鳥取県鳥取市若葉台南5丁目17-1　従業員、340名資本金、1億8250万円

鳥取県の降水量

鳥取県は自然に恵まれていることはみなさんご存じの通りだと思います。

TOTTORI BUSINESS ONLINEでも、これまで取材させていただいた企業に鳥取県のどのような点がビジネスに役立つと思われたのかを聞くと、「自然豊かなところが鳥取に誘致するときの決め手だった」という話をよく聞きます。その中でも特に、ビジネスの上で指標とされやすいものが「気温」や「降水量」です。その他には「災害の少なさ」も重視されます。また、自然に関すること以外では「都市との近さ」などがあります。今回はその中でも鳥取県の「**降水量**」について調べました。鳥取に住んでいると、「鳥取は雨が多い」とよく耳にします。では実際どのぐらい多いのか。他県と比べるとどれぐらいなのか。データを見ることでその特徴を明らかにしていこうと思います。**データで見る鳥取県の降水量**次に示すグラフは、平成26年における気象庁のデータから作成した全国の年間降水量の上位、下位3つと鳥取県の数値と全国平均の数値です。鳥取県は全国平均である1757mmとほぼ等しく、1890mmで全国順位は13位です。順位は高めではあります。しかし、全国平均との間には大して差がないことに驚いた方もいるのではないでしょうか。また、鳥取県の雨温図は次のようになります。こちらのデータは平成23年のものなので、年降水量の数値が、先に示しましたグラフの数値と誤差がありますこと、ご了承ください。雨温図より、鳥取県は冬の降水量が多いことが大きな特徴として見られます。その理由として、他の都道府県の年間降水量の推移は、大きな山を描くような形をしているものが多いからです。例えば次に示します東京の雨温図のようなものです。多くの都道府県がこのような山を描くような形をしていて、冬の降水量があまり多くない特徴を持ちます。これは日本海側に位置する地域にみられる特徴です。同じような特徴を持つ都道府県として、島根県や新潟県、富山県、石川県などが挙げられます。**終わりに**いかがだったでしょうか。鳥取県は雨が多いということを、ただ日々の生活で感じていることをそのまま言うより、「年間降水量は約1890mmで、これは全国的に見ても多く、その理由として、日本海に位置していることから、冬の降水量が多くなる。」というように、より定量的で説得力の増した説明ができるようになったのではないでしょうか。

地方移住が注目を集める今鳥取県に求められる取り組みとは

**価値観の変化**新型コロナウイルスによって、私たちは新たな生活様式へと移行をしています。生活様式が変化することで、私たちが地方や都会での生活に求めるものも変化していくことが予想できます。例えば、これまでは地方での生活のデメリットとして扱われる傾向にあった人口が少ないという点は、密を避けることができるというメリットになりました。このように私たちの価値観が変わったことによって、都会での生活から地方での生活に魅力を感じる人が増えてきているのです。**注目を集める地方移住**ここでは、地方での生活と都会での生活におけるそれぞれの特徴について紹介していきます。ここで紹介するメリットとデメリットは、私自身の意見であるためご了承ください。**地方での生活**メリット自然に囲まれた生活を送れる新鮮な食材が手に入りやすい生活にかかる費用が都会ほど高くない子育てが比較的しやすい環境である、支援活動など。デメリット車が無ければ、生活に困る都会との情報格差が大きい就職先が都会ほど多くない都会との所得の差があるこのように地方での生活の良い点として、自然が豊かであることや生活費を抑えられることが挙げられます。しかし、その一方で、都会との情報格差や所得の差などの大きな問題があることも事実です。**都会での生活**メリット公共交通が発達している情報量が多いビジネス環境が整っている様々な考え方に触れる機会が多いデメリット生活費が高くなる物価が高いリラックスできる環境が少ない子育てにおいて苦労することが多い、待機児童など。このように都会での生活の良い面としては、公共交通などの発達により、**仕事をする上で充実した環境**となっている点が挙げられます。しかし、その一方で物価の高さや子育ての問題など、**生活をする上で困難な点がある**ことも事実です。そんな中、新型コロナウイルスの影響で、テレワークやリモートワークを取り入れる企業が増え、私たちの働き方は大きく変化しました。テレワークやリモートワークの普及によって、必ずしも職場に行く必要がなくなったのです。その結果、私たちは**インターネットのある環境を用意するだけで、働くことができるようになりました**。このような新たな働き方が取り入れられたことにより、都会で暮らすメリットである仕事をする上での充実した環境に対する魅力が以前よりも弱くなったと言えます。一方、都会で暮らすデメリットとなる生活費や物価、リラックスできる環境が少ない状況を大きな問題として捉える方が増えてきました。こうした価値観の変化によって、都会から地方に移住してテレワークやリモートワークをしていくことを希望する人が増加してきています。**人気を誇る地方の移住先**都会からの移住先として注目を浴びている県はどのような特徴を持っているのでしょうか。地方移住、IJUターン。を支援する認定NPO法人ふるさと回帰支援センターの[2019年の移住希望地ランキング](https://www.furusatokaiki.net/wp/wp-content/uploads/2020/02/furusato_ranking2019.pdf)によると、1位が長野県、2位が広島県、3位が静岡県となっています。このランキングにおいて鳥取県は、残念ながら20位圏外でした。移住希望地において、長野県や広島県、静岡県が人気となっている理由として挙げられるのが、**都市部へのアクセスの良さ**などです。他にも移住希望地ランキングの上位に入った県に共通していることは、その地域や自治体の魅力を上手く発信しているという事です。また、移住地として人気を誇る長野県や広島県、静岡県などでは、**ある特定の層を中心とした**魅力的な自治体の取り組みなどが行われていることも共通しています。**特定の層に絞った鳥取県の取り組み**アフターコロナの世界において、地方移住を希望する若い層が増えているのではないかと考えます。そこで、地方移住希望者にとって魅力的であると言えるのは「**子育て支援**」や「**居住地支援**」なのではないかと私は考えます。鳥取県では「子育て支援」の充実が推し進められており、「居住地支援」の資源となる空き家などがあることから、アフターコロナの世界において、**鳥取県は地方移住で注目を集める県となることができる可能性がある**のです。前述した通り、地方移住の希望地として注目を集める県の特徴として、ある特定の層を中心とした取り組みを行っていることが挙げられます。私たちの働き方が変化したことによって地方移住が更に注目を集める今、**鳥取県はある特定の層に魅力的な取り組みを行っていく**ことが求められているのではないでしょうか。

「大山チャンネル」のアマゾンラテルナが事務所移転

「旬刊政経レポートとのコラボ」月に一度、旬刊政経レポートと記事交換をするコラボをさせていただいています。第四回目は「「大山チャンネル」のアマゾンラテルナが事務所移転」を掲載させていただきます。**クリエイティブスペースを新設**大山町のケーブルテレビ「大山チャンネル」で、町民を巻き込んだ番組制作などを手掛けている㈱アマゾンラテルナ、鳥取大山オフィス、貝本正紀代表。の事務所が６月１日に移転した。場所は大山町富永159-1、北は日本海、南は大山を一望できるカフェＢＩＫＡＩの2階。事務所スペース隣には、コラボレーション特化型のクリエイティブスペース「**ＴＯＲＩＣＯ**」を新たに設置した。７月頃のオープンを目途に今後、町民や町内企業、都市部と大山町が繋がる場などとして活用される。アマゾンラテルナは、東京、渋谷にオフィスを構える番組制作会社。貝本氏、44。はそこで、ＮＨＫや民放各局の番組制作などを手掛けてきた。「テレビの将来を考えた時、これまでにない在り方を模索する必要性を感じていた。そんなとき、知人がきっかけで、大山町の住民参加型による総合計画策定のためのワークショップを取材したのが、大山町との最初のつながりです」と貝本氏。大山オフィス開設を機に家族で移住した貝本代表。役場職員との会話の中で「テレビで地域を巻き込み、地域を元気にできないか」という思いをもつ貝本氏と、地元のケーブルテレビを活性化させたいと願う役場側が意気投合。２０１５年、大山町にアマゾンラテルナのサテライトオフィスを開設し、ケーブルテレビ「大山チャンネル」の年間業務委託を受けた。貝本氏は奈良県出身で鳥取とは縁もゆかりもなかったが、これを機に家族とともに大山町に移住している。「テレビによる地域活性化。これが継続可能な事業として成り立たないかと考えています。過疎の進む大山町でそれが可能であれば、他の地方の活性に活かすことができる」。大山チャンネルの特徴は何と言っても、町民を大いに巻き込んだ番組作りだ。これまでに延べで約２３００人が制作や出演者等、様々な形で関わっている。「テレビは誰でも何かしらに携わることができる懐の広さを持つ世界だ」と貝本氏。いい声で挨拶するコンビニ店員の若者を見つけては「ナレーションしない。」、美術やデザインが得意な学生を見つけては「スタジオセットを作ってよ」、ドローンを飛ばす男性を見つけては「ＰＲしませんか」といった具合に、徐々に大山チャンネルの〝関係者人口〟を増やしていった。

　番組制作には「行政が見てほしい番組よりも住民が見たい番組を」との思いを込めている。町長と住民、中学生が町の未来を語り合う「ガチンコ討論」、知られざる伝説を徹底調査する「スクープ発見大山伝説」など、一つひとつのスケールは決して大きくはないが、新たな発見があったり繋がりが生まれたり、困りごとが解消される、そんな番組が増えていった。そして「大山チャンネル」は、加入者の半数が「毎回見ている」、約６割が「満足している」、２０１６年満足度調査。ケーブルテレビ局へと変貌した。「面白い人が沢山いて、その魅力を伝えることでさらに地域が好きになる。また「昨日の番組見た。」という具合に、老若男女、町民の共通の話題となることで、日常にほんの少しの潤いを与えることができたらなという思いもあります」と貝本氏。新しい拠点は、約５００平方㍍のスペースが３つのエリアに分かれている。オフィスと「ＴＯＲＩＣＯ」が隣接しており、それとは別に壁で仕切られた会議、商談ゾーンも設けた。個室もオーシャンビュー。中でも「ＴＯＲＩＣＯ」は今後、様々な課題解決や、新たな魅力や仕事が生まれる場として活用していく予定だ。例えば、儲かる農業をしたいが、既存のやり方からなかなか脱却できない。そんな農家の悩みを一つのテーマにして、大山町内の農家と、キーマンとなり得る人たちとをつないでいく。貝本氏は、番組作りを通じて毎日のように住民と向き合う中で、どこに誰がいてどう困っているか、ニーズは何か。そして誰がそれを解決できそうか。それらをおおよそ把握しており、「そういう情報をオープンに活用したい。個性あふれる町の人たちをフラットに繋げる存在に。それが、僕らみたいな小さなメディアができる事の一つじゃないかなと思います」と話す。県外企業や都市部のビジネスマンのワーケーションの場として、都市と大山町との接点を生む仕掛けも。貝本氏は、「内と外とをダイナミックにつなげていく。現実は毎年、若者の多くが町を出ていき、帰ってこない。そんな中で、彼らが帰ってこれる環境、仕事づくり。それが、ＴＯＲＩＣＯの究極の目標です」とした。オフィス隣接スペースに町民らを繋げる「TORICO」を開設。町民参加型でテレビによる地域活性化を目指す。

コロナ禍におけるキャッシュレス、ポイント還元事業の終了

**キャッシュレス、ポイント還元事業が終了**2020年7月1日に一般社団法人キャッシュレス推進協議会、注。がホームページである発表をしました。それは、「キャッシュレス、ポイント還元事業は、2020年6月30日をもちまして終了しました。」という内容のものです。キャッシュレス、ポイント還元事業とは、2019年10月1日から2020年6月末まで、対象店舗において、登録されたキャッシュレス決済でお支払いすると、**最大で5%のポイント還元を受けられる**事業のことです。こういった国の後押しもあり、多くの人がキャッシュレス決済を利用するようになりました。鳥取県も今年に入って「Pay Pay」や「LINE Pay」、「楽天Pay」などのキャッシュレス決済を利用する方々やその対象店舗が増えたのではないでしょうか。そのような利用者の多くが**ポイント還元**に魅力を感じて利用されていると思います。しかし、ポイント還元事業が終了した今、利用者、サービス提供側の今後の動きがどうなっていくのか。今回はそのような内容について考えていきます。一般社団法人キャッシュレス推進協議会は経済産業省が監督のもとで「キャッシュレス、消費者還元事業」を運営する組織です。詳細はこちら**求められる柔軟な政策**2019年10月からキャッシュレス、ポイント還元事業が開始されましたが、ポイント還元事業が始められた主な理由として、**日本でキャッシュレス化を普及**させることが挙げられます。2020年に開催予定であったオリンピック、パラリンピックの開催に伴い、日本を訪れる外国人の数が増加すると予想されたため、海外で進んでいるキャッシュレス化を日本にも普及させることで、決済の効率化が図られました。また、日本でキャッシュレス化の普及が進められる背景には、これから加速していく日本の少子高齢化があるのも事実です。少子高齢化に伴い労働力人口が減少していくため、決済の効率化や税収の増加、日本の経済を落ち込ませないために消費活動を活性化させる必要があるからです。しかし、このポイント還元事業は2020年の6月いっぱいで終了しました。新型コロナウイルスの影響によって、現在、消費行動が落ち込んでいる状況となっています。そんな状況の中、消費者にとってお得なキャンペーンが終了したことで更に、**消費行動が落ち込む**ことも考えられます。生活必需品などをより手軽に買うことができるポイント還元事業が、この時期に終了するのは、**家庭にとって大きな負担となる可能性**も考えられます。ポイント還元事業を始める当初、このような今の状況は予想できなかったと思います。しかし、各家庭で収入の減少などが起こっている今、**国民一人一人に寄り添う柔軟な政策**が求められているのではないでしょうか。各社のキャンペーン2020年の6月に国を挙げてのキャッシュレス、ポイント還元制度は終了しました。しかし、今後も様々な企業が独自のキャンペーンを随時行っていく模様です。今後は各社のキャンペーンを上手く活用して、お得にお買い物をしていきたいですね。そこで、大手5社の7月から始まっているキャンペーンの概要をいくつか紹介していきます。PayPay**出前館×PayPay、7/17/7。**期間中、出前館にてPayPay残高でお支払いした場合、PayPayボーナス、PayPay残高30%。が付与されます。出前館×PayPayの[詳細](https://paypay.ne.jp/event/demae-can/)**ソニー銀行×PayPay、7/17/31。**ソニー銀行の口座登録と1,000円以上のチャージでPayPayボーナス10円相当がプレゼントされます。ソニー銀行×PayPayの[詳細](https://paypay.ne.jp/event/sony-bank/)LINE Pay**マイナポイントキャンペーン、7/18/25。**期間中にLINE Payでマイナポイントの申込みをすると、LINEポイントクラブのマイランクに応じてもらえる特典クーポンの獲得枚数に加え、ボーナスで毎月と5枚、3ヶ月間。プレゼントされます。マイナポイントキャンペーンの[詳細](https://linepay.line.me/event/mynumber-point.html?utm_source=portal&utm_medium=campaignlist&utm_campaign=maina2007)楽天 Pay**楽天ペイのコード、質問R払いでいつでも最大1。5%還元キャンペーン、7/1。**楽天ポイント、楽天キャッシュを用いたコード、質問R、セルフ払いに対し100円、税込。につき1ポイント、1%。が進呈されます。また、楽天カードから楽天キャッシュへのチャージに対し、楽天カードから進呈する200円、税込。につき1ポイント、0。5%。と合算して、最大1。5%が還元されます。楽天ペイのコード、質問R払いでいつでも最大1。5%還元キャンペーン[詳細](https://pay.rakuten.co.jp/campaign/2020/pointprogram/?scid=wi_rpay_285cpnlist_000)d払い**毎週おトクなd曜日キャンペーン、7/17/31。**キャンペーンにエントリーし、金、土曜日に対象サイトで「d払い」をご利用いただくと、購入金額のと2％のdポイントが進呈されます。また、キャンペーン期間中の対象日に3サイト以上でお買物をすると購入金額のと3％、合計と5％。のdポイントが進呈されます。エントリーはキャンペーン開催期間中に限りお買物前、後どちらでも有効となっています。 dポイントを利用したお買物に対しても同様にdポイントが進呈されます。毎週おトクなd曜日キャンペーン[詳細](https://service.smt.docomo.ne.jp/keitai_payment/campaign/dp/cpn_dp5_sat.html?dcmancr=4ad06d29c92df9bb.1594101043287.8316.1594101052822_1617407728.1594096644_171)auPay**ローソン×au Pay、7/1。**ローソンでau Payでお支払いいただくと、200円、税込。毎に8ポイント、4％。が還元されます。ローソン×au Pay[詳細](https://www.au.com/pr/paycpn2020-3/?aa_oid=we-we-ow-0427)この他にも、たくさんのキャンペーンを各社が実施しています。それぞれのキャンペーンや特性を利用してキャッシュレス決済を上手く使いこなすことで、キャッシュレス、ポイント還元事業終了後もお得なお買い物ができるのではないでしょうか。鳥取県の店舗もキャッシュレスを推進するべき理由日本を挙げてキャッシュレスの普及が進む中、鳥取県の店舗でも今以上に積極的にキャッシュレス化を進めていくべきであると私は考えます。その理由は、新型コロナウイルスによって現金を持ち歩く人が減る可能性が考えられるからです。その結果、近い将来、観光客が鳥取県に現金を持たずに来る可能性があるとも言えます。お金は、いろんな人が直接触れる機会がとても多いです。そのため、コロナウイルス感染の危険があるとされ、日本でも現金を持たずに歩く人もいるそうです。また現在、コロナの影響によって外国人の観光客は減少していますが、現金を持たずに観光に来る可能性が高いのは海外の方たちです。キャッシュレス化が進む海外では、そもそも現金を持ち歩く必要がないところもあります。これらのことを踏まえ、アフターコロナの世界においてこれまで以上に現金を持ち歩かない人は増えるのではないかと考えます。そのため、キャッシュレスで決済ができなければ、「AirペイのCM」にもあるような機会損失が鳥取にも起きるのではないかと考えています。

ITの技術革新と鳥取県の可能性

2020年に入ってから5Gの導入やテレワークなどの普及により、私たちの生活からインターネットはこれまで以上に欠くことができない存在となっています。IT技術を使う機会が増加したことによって、電気代が以前よりも高くなったと感じている人もいるのではないでしょうか。**それぞれの地域にかかる電気代**少し古いデータになりますが、資源エネルギー庁のデータ、2017年6月の大手電力と新電力の平均値。をまとめると以下のようになりました。グラフから見て分かる通り、地域によって電気料金単価には大きな差があると言えます。ちなみに全国平均は22。4円/kWhです。鳥取県で主な電力会社の中国電力と北海道電力とでは、**1kWh当たり5円以上の差**が出てきます。日本の一人暮らしの一日の消費電力量は平均で6。1kWhとなっています。この数値より、中国地方の一人暮らし世帯と北海道の一人暮らし世帯の一日当たりの電気代は、円の差が生じます。これが1か月、30日とする。では915円、**一年では、10980円もの差が生じる**のです。この差は、家庭だけではなく企業にとっても大きな影響があると言えます。**電気代の違いによるITの技術革新の差**ビジネスにおいて特に電気代の影響を受けるのが、IT業界であると言えるのではないでしょうか。IT業界では、一日当たりの消費電力量が非常に多く、**電気代をいかに抑えるか**が企業の戦略にもなっています。このように、ITの技術革新を妨げている一つの要因に電気代が挙げられるのではないかと私は考えています。ここで、IT技術の最先端であるアメリカと日本の電気代について見ていきます。前述した通り2017年の日本の電気代の平均は22。4円/kWhです。一方、2016年のアメリカの電気代は約1015円/kWh、比較する年が違うことをご了承ください。となっています。この電気代の差はかなり大きな影響を及ぼすと考えられます。仮に、日本とアメリカのIT技術の成長スピードと開発に用意された予算が同じであったとしても、**電気代の差の分だけアメリカは日本よりも設備などに投資することができる**と言えるのです。これらのことから、IT業界の発展に少なからず電気代が関わっているのではないかと考えています。**ITの技術革新と鳥取県**新型コロナウイルスによって、テレワークやリモートワークが広く普及するなど、私たちの働き方が大きく変わりつつあります。私たちは必ずしもオフィスに行く必要がなくなったことで、消費電力量が多いIT技術を使う部署だけを電気代が抑えられる地域に拠点を移すということも、ITの技術革新を考える上では有効な手段となるのではないかと考えます。このような視点から考えると、**鳥取県はITの技術革新を支える地域になる可能性が十分にある**と言えます。これまで東京にオフィスがある企業の技術者たちは、地方で仕事をする機会があまり多くなかったのではないかと思います。しかし、新型コロナウイルスの影響で私たちの働き方が変化したことによって、地方にいながらも仕事ができるようになりました。その結果、IT技術を使った業務の一部を電気代が安い地方で行うことによって、**企業のコストを節約**することができます。その節約したコスト分を企業の他の部分に割り当てることで、企業に対して様々なメリットが生じます。また、地方側で考えてみると、都会とのIT技術の差の広がりを抑えることができ、地方の就職先も増えるというメリットが生じるのではないかと考えます。これらのことを踏まえ、他の地域よりも電気代にかかる費用を抑えることができる鳥取県は、これからのITの技術革新を支える地域になる可能性があると言えるのではないでしょうか。

あなたは鳥取のことをどれだけ知っていますか。「書籍、文化。編」

緊急事態宣言解除後、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。いつもの日常に戻りつつあるのではないでしょうか。しかし、東京では4日連続で新型コロナウイルス感染者が200人越えとなっており、まだまだ予断を許さない状況です。また雨や曇りの日が多く続いています。そんな中、お家で過ごす時間を大切にしていきたいところです。そこで、今回は以前紹介させていただきました鳥取に関する本のシリーズpart3となります。鳥取県の文化に関する本を5冊紹介していきます。山陰本線写真集 鳥取編 大型本この写真集では、山陰本線を鳥取の特徴的な自然の景色や四季などとともに紹介しています。また、豪華寝台列車「瑞風」や観光列車「あめつち」も掲載されています。この写真集のほかにも山陰鉄道シリーズがあるそうなので興味がある方は他の路線写真集もぜひ買ってみて下さい。まるごと鳥取、お魚レシピ鳥取県漁協女性部連絡協議会の方々が書かれたレシピ本です。 鳥取県漁協女性部連絡協議会の方々は地元で獲れる魚の美味しさを幅広く県内の人々に知ってもらいたいと様々な活動をされています。この本では、魚を使った料理のレシピを中心に、鳥取県の郷土料理も紹介しているそうです。ぜひこの本を読んで、お家で料理を作ってみてはいかがでしょうか。暮らしを手づくりする 鳥取、岩井窯のうつわと日々阪急百貨店　大阪、うめだ本店や東京、松屋銀座をはじめとする全国各地で個展を開催されている岩井窯の山本教行氏が書かれた本です。岩井窯は全国の器好きをはじめとする年間1万人の人が足を運んでいます。そんな山本さんが、鳥取の山あい、岩美。にある窯元でこれまで積み重ねてきた美しい暮らしの作り方について写真と文章によって紹介しています。また岩井窯のレシピ、喫茶の土鍋メニュー、おうちの定番ごはん。が付属されているため、岩井窯でのおいしいごはんをご家庭で楽しむこともできます。岩井窯ホームページは[こちらから](http://www.iwaigama.com/)鳥取砂丘学この本は、乾燥地の研究で有名な鳥取大学国際乾燥地研究教育機構が監修を行った本です。また、地形学、植物生態学、考古学それぞれの専門家が共同で著作された本となっています。砂丘の成り立ちや砂模様、砂丘の生態系、人々の暮らしなど様々な観点から砂丘にフォーカスしています。また写真や図版も多数掲載されているので、読みやすくなっています。分県登山ガイド 30 鳥取県の山様々なふるさとの山々を網羅した分県登山ガイドシリーズの鳥取版です。シリーズ累計200万部突破の大人気ガイド本となっています。この本は、登山における重要な情報をもれなくカバーしています。具体的には、往復路のコース、体力度、チェックポイント、複数のコース、登下山口、分岐点などの情報が掲載されています。また、山頂からの写真も載っているそうなので、写真集としても楽しめると思います。最後に今回は5冊鳥取県の文化に関する本を紹介させていただきました。Amazonも一緒に貼っておきますので、ぜひ気になった本があれば購入してみてください。この5冊を読んで、鳥取の文化をお家で感じ取ってみてください。

最新のビジネスツール

**最新のビジネスツールをご紹介**都市部に比べて、地方は情報の少なさゆえに最新ツールにどうしても疎くなってしまうのではないでしょうか。鳥取県という地域にフォーカスしてビジネスについての情報を発信している本サイトだからこそ、鳥取のビジネスマンのために最新のビジネス情報を鳥取にあった形で発信する意義があると思います。今回は、現在活動されているビジネスマン、あるいは、これからビジネスを始めようと考えている方々に向けて、スマートフォンまたはパソコンが1台あればすぐに使える、「**あると便利で汎用的に使える最新のビジネスツール**」を4つの項目に分けて紹介していきます。**チャットツール**ビジネスツールには欠かせないチャットツール。特に外せない4つのビジネスチャットツールについて以前TOTTORI BUSINESS ONLINEで紹介した記事がございますので、そちらをご覧ください。**「**[絶対に知っておきたいビジネスチャットツール](https://tottori-biz.com/businesschat-case/)**」リモートワークのためのツール**皆さんもご存じの通り、新型コロナウイルス感染症の影響で、テレワークやリモートワークが急激に社会浸透しました。そこで改めて、最新のWeb会議システムについて紹介します。Zoomミーティング**対象企業、**中小企業大手企業、自治体、大学など規模や業界を問わず使用されている**価格、**無料26,400円/年**サイトリンク、**[Zoomミーティング](https://www.zoom.style/plan?_ebx=9gcq145i0m.1590834633.7brhe53)V-CUBEミーティング**対象企業、**中小企業大手企業、自治体、大学など規模や業界問わず使用されている**価格、**オープン価格**サイトリンク、**[V-CUBEミーティング](https://jp.vcube.com/service/meeting?__hstc=89434884.4240f42f59efda41b3a7d4053562bd40.1594873302527.1594873302527.1594873302528.1&__hssc=89434884.1.1594873302529&__hsfp=2771352843&_ga=2.161519167.247386955.1594835271-1297406293.1594835271&_ebx=9gcq145i0m.1590834633.7brhb9d)Google ハングアウト Meet**対象企業、**個人から大企業まで幅広く対応**価格、**無料**サイトリンク、**[Google ハングアウト Meet](https://gsuite.google.co.jp/intl/ja/products/meet/)参考サイト、「[テレワークを成功に導く、企業担当者が導入するべきITツール22選](https://www.nice2meet.us/six-tools-essential-for-telework-introduction)」また日本のテレワーク導入率について発信した記事もありますので、良ければご覧ください。「[日本のテレワーク導入率は約2割](https://tottori-biz.com/telework/)」**タスク管理アプリ**ほとんどのプロジェクト、企業活動はチームで行われます。そこで組織で動いているとメンバーのタスク処理具合やプロジェクト全体の状況把握などに役立つツールを紹介します。Trello**対象企業、**個人から大企業まで幅広く対応**価格、**無料**サイトリンク、**[Trello](https://trello.com/ja)**名刺交換/管理アプリ**2020年5月4日に新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言を受けて、厚生労働省が新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」とその実践例を提示しました。その中に「名刺交換はオンライン」という項目があり、ポストコロナを見据えたこれからのビジネスの場では、紙の名刺交換は次第になくなっていくと予想されます。そこで、便利になってくるものが「名刺交換/管理アプリ」です。以前、TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、名刺のオンラインツールについて紹介した記事がございますので、そちらをご覧ください。

「Go Toキャンペーン」への鳥取県の本音

**「Go Toキャンペーン」とは**「**Go Toキャンペーン**」とは、2020年7月22日から始まる観光業等を支援するために行われる取り組みです。その目的として、日本国内で人の流れを積極的に作り出し、地域の再活性化を図ることが挙げられます。「Go Toキャンペーン」の第一次補正予算として事業総額1兆6,794億円が計上されています。この事業内容として、旅行商品を最大半額相当補助する「Go To Travelキャンペーン、予算が1,1兆円で事業総額の約6。5割を占める。」や、飲食代2割相当を補助する「Go To Eatキャンペーン」、イベントなどのエンターテインメント2割相当を補助する「Go To Eventキャンペーン」などがあります。次にその事業の詳細について紹介していきます。**Go To Travelキャンペーン**旅行業者等経由で、旅行商品を購入した消費者に対し、代金の1/2相当分のクーポン等、宿泊割引やクーポン等に加え、地域産品、飲食、施設などの利用クーポン等を含む。が付与される、最大一人あたり2万円分/泊。**Go To Eatキャンペーン**オンライン飲食予約サイト経由で、期間中に飲食店を予約する。来店した消費者に対し、飲食店で使えるポイント等、最大一人当たり1000円分。が付与される。登録飲食店で使えるプレミアム付食事券、2割相当分の割引き等。が発行される。**Go To Eventキャンペーン**チケット会社経由で、期間中のイベント、エンターテインメントのチケットを購入した消費者に対し、割引、クーポン等、2割相当分。が付与される。この事業の事業総額の振り分けから見ると、観光業の復興に力を入れていると考えられます。これにより「Go Toキャンペーン」は、日本国内の人の動きを積極的に創りだすために行われる取り組みであると言えるのです。しかし、7/19日現在、東京都民を対象外にするなど突然の変更も発生しています。今後も変更される可能性があるため詳細は[観光庁のHP](https://www.mlit.go.jp/kankocho/page01_000637.html)を確認ください。「Go Toキャンペーン」の詳細については~~[こちらから](https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001351403.pdf)~~「**Go Toキャンペーン」への鳥取県の本音**先ほど事業内容を紹介したように、「Go Toキャンペーン」は観光客にとってすごく魅力的な取り組みであると言えます。しかし、否定的な意見があるのも事実です。否定的な意見は、他の地域に比べ高齢者が多い地方である鳥取県でも言えるのではないかと考えます。そもそも「Go Toキャンペーン」は、**新型コロナウイルス感染収束後**に日本の国内の人の流れを創り出し、地域の再活性化につなげることを目的として、観光、運輸業、飲食業、イベント、エンターテインメント業などにお金を回していくために、補助金の支出をし需要喚起を目指す取り組みです。この「**新型コロナウイルス感染収束後**」というワードが、否定的な意見が挙げられる原因であると考えます。ここ12週間の間、日本全国で感染者数が急激に増加しています。そんな中、人の動きを積極的に創り出す取り組みが行われるため、感染リスクが高い高齢者が多い地方において、否定的な意見が挙げられるのも仕方がないことです。しかし、観光業等の活気の落ち込み具合を考えると、この取り組みは、観光業等の大きな支援になると言えます。地方によっては、観光業による収入がその地域の収入源の大部分を占めているところも少なくないのです。鳥取県もその地域の中の一つとして、言えるのではないかと考えます。地方において新型コロナウイルスによって受けた影響を考えると、今すぐにでも地域の活気を取り戻すための取り組みを行いたいところです。しかし、感染リスクが高い高齢者が多い地域などでは感染が拡大すると、コロナによる影響がより長く続く可能性が考えられます。このように長い目で考えると、国内の人の流れを創り出すこの取り組みには、**地方にとって大きなリスクがある**と言えるのです。**マイクロツーリズムによる「小さな旅」**前述した通り、鳥取県においても「観光業復興の取り組みを行いたいが、大きなリスクがある」という歯がゆい状態にあると言えます。そこで、私が提案するのは、**マイクロツーリズム**による観光をしていくということです。マイクロツーリズムとは、居住地から近隣の施設やお店での食事や改めて地元の魅力に触れるような「小さな旅」のことを指します。以前、TOTTORI BUSINESS ONLINEでもマイクロツーリズムについて紹介した記事もありますので、興味がある方はぜひ、お読みください。「Go Toキャンペーン」によって付与される地域内の旅行代金や地域共通クーポン等を、地元のお店などで使用するのが良いのではないかと考えます。このように、遠出の旅行を控え、地元で小さな旅行を楽しむことによって、三密を避けやすくなり感染拡大のリスクを抑えることができるのではないかと考えます。7月の22日から「Go Toキャンペーン」が始まりますが、感染拡大に気を付けながら、観光業の活気を取り戻していくために、近場での観光をより進めていく必要があるのではないかと考えます。「参考文献」

地域の飲食業を支える取り組み、県外。

新型コロナウイルスの感染拡大防止によって、飲食業界は現在も影響が出続けています。現在もなおコロナ禍で苦しんでおられる飲食業界の関係者の方々は多いと思います。以前鳥取県内での飲食、観光業を支援する取り組みを紹介させていただきました。そこで、今回は県外での飲食業を支える支援について紹介していきます。鳥取市の取り組みと県外の取り組みとを比較してみましょう。島根県「しまねプレミアム飲食券」価格1冊当たり6000円、1000円券×6枚。分の飲食券を4000円で購入可能利用期限令和2年7月10日、金。令和2年11月30日、月。まで。申し込み方法Web、電話、はがきで申し込み。参加店舗では、飲食とテイクアウトのどちらにも使うことができます。国のGoToキャンペーンとの併用はできません。Web等での申し込みができるので、購入者が外出不要でコロナ禍の時代にフィットしていますね。秋田県「秋田県プレミアム飲食券」価格電子版、1枚700円、1枚単位で販売、12枚まで購入可能。紙版、1シート2,800円、=700円×4枚。、1シートで最大4,000円分の飲食費にご利用いただけます。3シートまで購入可能。お申し込みは「紙の飲食券」か「電子飲食券」のどちらか一方のみで申込み回数はお一人様1回限りとなります。枚数制限。電子、お1人様、12枚まで紙、お1人様、3シートまで利用期限。電子、令和2年7月10日、金。令和2年9月30日、水。紙、令和2年9月30日、水。まで電子版の商品券だと商品券を持ち歩かなくてよいので、より便利になります。また、感染症予防の観点からも紙よりも優れているというメリットもあります。宇都宮市「宇都宮市プレミアム付飲食券」価格1冊5,000円で6,500円分の飲食券、500円13枚つづり。を販売。利用期間令和2年6月29日、水。令和2年12月28日、月。取扱店登録をした3密対策を実施している市内の飲食店、飲食を提供するホテル等を含みます。。なお、店内飲食のほか、テイクアウトやデリバリーにも使えます。早期利用得点9月末までに使い切った冊子を、10月末までに窓口へ持参すると「もっと食べトクチケット1000円分」と交換できます。総数20万枚、なくなり次第終了。早期利用得点があることで購入者の利用を促進することができ、利用店舗にもうれしい仕組みとなっています。松山市「食べにいこうやキャンペーン」価格飲食券が6,000円分、500円×12枚。が5,000円で購入できます。利用期間2020年7月10日、金。2020年9月30日、水。また、松山市には「マネカマネー」という地域電子マネーがあります。参加店にて「マチカマネー」でのキャッシュレス決済をすると、飲食分の20％分のポイントが還元されます。飲食券or地域電子マネーのどちらかしか利用できません。これまで、県外の飲食業を支える取り組みをいくつか紹介してきました。飲食券ひとつとっても地域によって様々な取り組みが見られます。お互いの自治体が良い部分を取り入れあって、より飲食業界を支えられる取り組みとなっていくと良いのではないでしょうか。この他にも多くの自治体が様々な取り組みを行っています。鳥取県の取り組みについては、次の記事で紹介しています。それぞれの取り組みに違った特徴があり、非常に興味深いです。

最低賃金から見る、今後の鳥取県の対応

**最低賃金とは**最低賃金とは、労働市場のセーフティー、ネットとして、法律で定められた最低限支払わなければならない時給を示します、Wikipedia。また、労働者や使用者の代表と有識者による審議会で年に1回、最低賃金の目安が定められます。この目安を基に、各都道府県がその年の8月下旬までに最低賃金の金額を決定していく流れとなっているのです。それに伴って、最低賃金は各都道府県によって異なり、高いところでは2019年の東京で最低賃金が1013円となっています。**都市と鳥取の間で広がる差**一般的に地方の最低賃金は低くなる傾向にあると聞きますが、地方である鳥取県の最低賃金はどのくらい低いのでしょうか。全国平均との違いを見るために、2015年2019年までの鳥取県の最低賃金の推移を次のグラフにまとめました。このグラフを見て分かる通り、鳥取県の最低賃金は常に全国の平均を下回っていることが分かります。それに加え、僅かながら全国平均との差が開きつつあると言えます。また、2015年2019年までの間、日本の最低賃金は常に増加傾向となっており、労働環境が以前より向上してきているのではないかと考えます。グラフの値より、鳥取県の最低賃金は2015年2019年までの間で、全国平均と約100円の差が開いているのです。これは、東京や大阪、神奈川などの都市と鳥取県などの地方との間に、**大きな経済的な差がある**と言えます。**注目を集める鳥取県の対応**地方と都市との間で**経済格差**が広がりつつある中、新型コロナウイルスによる経済的な影響により、「**今年度の最低賃金の引き上げの目安を示さない**」と2020年7月22日に厚生労働省が発表しました。最低賃金の引き上げ目安を示さなかったのは、**リーマン、ショック**があった2009年度以来となります。リーマン、ショックは、日本の実質GDP成長率に大きな影響を与えました。2008年では実質GDP成長率がマイナス1。0%、2009年はマイナス5。5%となりました。新型コロナウイルスの影響は、このリーマン、ショック以上になるのではないかという考えもあるため、鳥取県でも雇用内定の取り消しや失業数の増加が懸念されます。このようなことから厚生労働省は、各都道府県に最低賃金の金額の決定をするにあたって、その地域の雇用情勢などを踏まえて対応するように求めました。新型コロナウイルスによって経済的に大きな影響を受けたため、労働者にとっては「**最低賃金引き上げ**」を、使用者側は「**最低賃金の現状維持**」を望む声が多いのではないかと考えます。この両者の主張は、鳥取県でも顕著に見られるのではないかと考えます。 そのため、鳥取県では労働者と使用者の両方を支援する取り組みを行った上で、「**最低賃金の引き上げ**」について深く考えていく必要があるのではないかと考えます。

今さら聞けない税金の基本

**税金とは**税金とは、「**社会で生きるために出し合う共益費**」のことです。また、個人や企業は、国民が健康で文化的な生活を送るために税金を納める義務があります。税金には**国税**と**地方税**があり、納め方には**直接税**と**間接税**があります。**国税**、国民全体のために使う税金**地方税**、地域住民にとって必要なことに使う税金**直接税**、収入や贈与、財産などを得た人が**自分で**直接支払う税金のことです。**間接税**、**企業が**納税する。具体的な税金の種類の分類は次のようなものです。**直接税、国税。**、所得税、贈与税、相続税、法人税など**直接税、地方税。**、都道府県民税、市町村民税、事業税、自動車税、軽自動車税、不動産取得税、固定資産税など**間接税、国税。**、消費税、酒税、国たばこ税、たばこ特別税、揮発油税など**間接税、地方税。**、地方消費税、道府県たばこ税、市町村たばこ税、ゴルフ場利用税、入湯税など初めて聞くような税金が沢山あったのではないでしょうか。このように税金には多くの種類があり、税によって**納め方**と**納める先**が違ってくるのです。**あらゆる税金**私たちはあらゆる場面で税金を納めています。普段、我々の生活によく関わってくる税金のいくつかの例を紹介します。**消費税**全ての商品、サービスに手取り段階で課税されます。現在、2020年7月。の消費税率は**10%**です。**所得税**個人の所得の多さに伴ってかかる税金のことです。計算方法は「**課税所得、所得-所得控除。×税率-税額控除**」です。**固定資産税**土地や家屋、償却資産などの固定資産を所有している人が納める税金のことです。税額は「**自治体が決定した評価額×1。4%**」です。**ガソリン税53。8円/1L**の税金が課せられます。**不動産所得税**土地や家屋などの不動産を所得した時にかかる税金のことです。土地の税額の計算方法は「**土地の税額=固定資産税評価額×0。5×3%-税額控除**」です。家屋の税額の計算方法は「**家屋の税額=、固定資産税評価額-控除額。×３%**」です。控除額は建設時期によって異なります。**酒税**税率は種類/品目ごとに異なります。例えば、ビールは22万円/1L、日本酒はは12万円/1L、ワインは**８万円/1L**。**たばこ税**たばこにはあらゆる種類の税金がかかります。「国たばこ税」「道府県たばこ税」「市町村たばこ税」「たばこ特別税」それに「消費税」が加わり、税負担率は**63%**となります。**法人税**等事業を通じて所得を得ると、会社の所得税である**法人税**や、**法人事業税**、**法人住民税**を払わなくてはなりません。**税金が何に使われているのか**ここまでで、我々は生活のありとあらゆる場面で税金を納めなくてはならない、ということが分かったと思います。では、集められた税金は実際何に使われているのかが気になると思います。以下にいくつかの例を紹介します。義務教育道路や公園の建設/整備福祉や医療サービス衛生的な環境の整備治安や防災組織、警察や消防。の運営 、公的年金などの社会保障の一部どれも、我々が平穏な日常を過ごすために必要な場面に使われていることが分かると思います。終わりにいかがだったでしょうか。今回触れた内容は税金の超基本に当たる部分です。既にご存じの方も多いと思います。しかし、国税や地方税の分類などを見ると、改めて税金の種類の多さに驚かれた方もいらっしゃるのではないでしょうか。今後、「所得税、住民税の税額の決まり方」や、「税金の経済的な問題点」など、税金の深い部分の話も紹介していきます。

鳥取県にない全国チェーン店

鳥取県はかつて、スターバックスコーヒーがない唯一の県でした。しかし、2015年に、鳥取県で初となるスターバックスコースの第一号店が出店しました。また、セブンイレブンも同年に出店しました。しかし、鳥取に出店していない全国展開のチェーン店はまだいくつか存在しているのです。 そこで今回は、鳥取県に出店していない全国展開のチェーン店を紹介していきます。ミニストップ業界第4位のコンビニエンスストアです。2020年6月現在国内27都道府県に1990店舗あります。しかし、国内以上に海外での人気もあるようです。特に韓国では2580店舗展開しており、国内以上の店舗数になっています。デイリーヤマザキ業界第5位のコンビニエンスストアです。2020年6月現在国内41都道府県に1262店舗あります。山崎製パンの社内カンパニーが運営しています。そのため、デイリーホットと言って、作り立てのパンや総菜を購入できるコンビニエンスストアも展開しています。サイゼリア国内1093店舗を展開するイタリア料理のチェーン店。全国33都道府県に展開しています。鳥取県民の多くの方は、ガストやジョイフルと同じようなイメージを持ってもらえると良いと思います。鳥取県民の私は、つい最近までサイゼリアというお店の存在を知りませんでした、笑。築地銀だこ築地銀だこは全国46都道府県に展開しているたこ焼き屋のチェーン店です。築地銀だこがない唯一の県が鳥取県となります。しかし、この事実が世間であまり知られていないためか、鳥取県民の私はこのお店も最近知りました。スタバもセブンイレブンも出店されたので、次は築地銀だこの出店を期待したいですねまねきねこまねきねこは、全国500店舗以上展開しているカラオケのチェーン店です。カラオケ店の中では安いことで有名です。県外出身の友人に「鳥取県には、まねきねこは無いのか」と驚かれ、県外では安く済むカラオケと言えばまねきねこと認識している人が多いと知ることができました。ラウンドワン国内40都道府県に103店舗を展開しているボーリング、アミューズメント店です。子供から大人まで多くの人が楽しむことができる様々な施設があります。私も幼い頃から、なぜかこのラウンドワンは知っており、ずっと来てほしいと思っています。ラウンドワンこそ、鳥取県民、特に若い子供たちに渇望されているお店だと思います、笑。最後にいかがだったでしょうか。鳥取の方は知らないチェーン店もあったかもしれません。また、県外の方にとっては、意外な発見があったかもしれません。現在コロナの影響で飲食業界、サービス業などが大打撃を受けています。大手のチェーン店も出店を取りやめたり、閉店を決めたりしています。アフターコロナの世界では、まだまだ鳥取県に全国規模のチェーン店が出店する未来は遠くなりそうです。私たち一人一人ができることを通して、飲食業界、サービス業界を応援していきましょう。

新型コロナウイルス感染症の鳥取経済への影響

**V-RESAS**が公開新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ日本の経済を可視化させる、「[V-RESAS](https://v-resas.go.jp/)」が令和2年6月30日に公開されました。**V-RESAS**は、地方創生の様々な取組を情報面から支援するために、「内閣府地方創生推進室」と「内閣官房まち、ひと、しごと創生本部事務局」が提供して、日本全国の経済状況を可視化しているWebサイトです。全国または各都道府県の経済状況を表す指標としては以下のようなものが使われています。人流「滞在人口の動向」飲食「飲食店情報の閲覧数」消費「決済データから見る消費動向」「POSで見る売上高動向」宿泊「宿泊者の分類ごとの宿泊者数」「予約代表者の居住地ごとの宿泊者数」イベント「チケット販売数」今回はV-RESASを使って、新型コロナウイルス感染症の鳥取県経済への影響を見ていきます。**新型コロナウイルス感染症の鳥取県経済への影響を可視化**先にご紹介した指標ごとに鳥取県のデータを順番に見ていきます。滞在人口の動向**推定居住地ごとの前年同週比の推移、すべての時間帯。**鳥取県全体引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取駅引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」倉吉駅引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」米子駅引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取大学前駅引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」智頭駅引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県全体で見ると、5月に前年比の-90%近くまで落ち込み、7月からはかなり昨年の数値に戻ってきています。また、どのデータも市区町村内の人々の減少傾向は見られないようです。むしろ前年に比べて増加傾向にあるのは意外だったのではないでしょうか。鳥取大学前駅の1月末と7月初めの県外人口の大きな伸びは、前者は鳥取大学生の卒業シーズンや春休みの移動で、後者は対面式授業の再開予定にともなった学生の県外からの移動と予測できます。鳥取県東部の地域は新型コロナウイルスの感染者増加の傾向から今後のデータに大きな動きが予想されます。飲食店情報の閲覧数**ジャンルごとの前年同週比の推移**鳥取県全体引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県東部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県中部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県西部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」冬季の鍋料理が前年に比べて増加したことは、昨年度の白菜の過剰供給による短期の価格低下など、色々な原因が予想できます。鳥取県全体をみて、多くのジャンルの飲食店が5月に低迷している中、ファミレス、ファストフードだけがその影響をあまり受けなかったことはとても興味深いのではないでしょうか。決済データから見る消費動向**業種別の前年同期比の推移**小売業引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」サービス業引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」小売業においては、やはりコロナ禍でのECは前年に比べて大幅に増加しています。鳥取県でもEC市場の拡大は見られたと思われます。他にも、燃料小売り業、旅行サービスの低下や医薬品、化粧品小売り業の増加はコロナ禍で鳥取県にも確実にデータとして表れています。POSで見る売上高動向**種別ごとの前年同週比の推移**変化の特徴的な品物引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」注目度の高い品物引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」POSの売上高を見ても、医療品の増加が見られます。変化の特徴的な品物では介護、衛生用品も増加しています。宿泊者の分類ごとの宿泊者数**宿泊者の分類の前年同月比の推移**鳥取県全体引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県東部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県中部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県西部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」予約代表者の居住地ごとの宿泊者数**予約代表の居住地ごとの前年同月比の推移、すべての宿泊者の分類。**鳥取県全体引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県東部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県中部引用、「[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)」鳥取県西部宿泊者の分類ごとで見ても、予約代表者の居住地ごとで見ても、ほぼすべてが前年比で見ると-100%近くとなっています。しかし、予約代表者の居住地ごとで見ると鳥取県東部の鳥取県内の人たちの前年比の数値-50%近くでとどまっています。こちらは鳥取県だけではなく中国地方全体のデータではありますが、どのグラフを見てもわかる通り、ポップス、クラシックの「音楽」や、演劇、伝統芸能の「ステージ」などのジャンルに問わず、昨年に行われたものはほぼすべて、今年の3月に入って中止となっています。最後にV-RESASでは上記のデータが、原則1週間程度の頻度で更新を行っております。今後、どうなるのか要チェックです。また、実際のWebサイトには、当サイトでは表しきれないほど細かい部分までデータを見ることができます。是非、[鳥取県｜V-RESAS](https://v-resas.go.jp/detail?pref_code=31)を一読下さい。読者の皆さまが今回本記事で挙げましたデータ群を見て、どのように考察されたかは人それぞれだと思います。是非、同じ鳥取県民で他の方達がどのように考察されたのかを話し合ってみてください。**意見の共有がこれらのデータをより活きたものに繋げることができます。**

鳥取県の読書人口から見る都市部との差

皆さんは、読書をどれくらいの頻度でしていますか。最近では、家にいる機会が増え、読書をすることが多くなった方もおられるのではないかと考えています。この記事では、鳥取県の方がどれくらい読書をしているのかを確認するために、鳥取県の読書人口のデータを**鳥取県の読書人口**鳥取県の方で、一年間の内に読書をする人はどれくらいの人数なのでしょうか。2016年の「[社会生活基本調査](http://www.stat.go.jp/data/shakai/2011/)」のデータを以下のグラフにまとめました。このデータは、「この一年間に読書をした」と答えた25歳以上の人口100人あたりに占める人数を表しています。ここで言う読書は、「趣味としての読書」であり、漫画やコミックも含まれています。このグラフを見て分かる通り、鳥取県は全国平均に比べて25歳以上の人口100人当たりの読書人口は少なくなっています。25歳以上の人口100人当たりで全国平均と約5人の差があるため、25歳以上の総人口で考えると、かなりの差が開いていると考えられます。この調査によるデータは、都市部で多く、地方で少ない傾向となっています。その理由の一つとして考えられるのが、通勤手段です。都市部では交通機関を使った通勤が多く、その時間を使って読書をするという人がいます。一方、田舎では自家用車や自転車を使っての通勤が多く、読書をするのにはあまり適していない状況であるため、通勤時に読書をする人は少ない傾向にあると言えます。このように読書人口という視点から見ると、都会と田舎では大きな差が開いています。さらに、読書がもたらす効果はたくさんあり、「読書をする人」と「読書をしない人」とでは大きな差が付きます。そのため、都会と田舎との格差が広がる原因として、「読書は関係ない」とは一概には言えないと考えています。

**読書がもたらす様々な効果**TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、以前にも読書がもたらす効果について紹介しました。読書をすることで得られる効果として、知識が増えることや視野が広がること、読解力が上がることは皆さんも良くご存知だと思います。しかし、読書をすることによって得られる効果は前述しただけでなく、ストレス解消にも大きな効果を発揮するのです。ストレスが解消されることによって免疫力を上げることにも役立ちます。また、読書は私たちの年収にも効果を与えるという研究の結果があります。TOTTORI BUSINESS ONLINEで以前紹介した記事には、これらの効果についてより詳しく紹介しているので、気になった方はぜひ、下の記事をご覧ください。また、読書をすることによって、私たちの生活習慣が良くなる傾向にあるというデータもあります。2017年の「全国学力、学習状況調査」によると、小学生の読書率が高い地域では、早寝早起き率や朝食摂取率などが高い傾向となっています。一方、小学生の読書率が低い地域では、長時間のネット利用率などが高くなっているのです。最後にここまで読書がもたらす効果について紹介してきました。皆さんにとって、読書がもたらす効果として知っているものもあれば、知らなかったものもあったのではないでしょうか。今年の夏は去年までの夏とは違って、家で過ごされる方も多いのではないかと思います。そのため、家で過ごす時間が多くなることによって、生活習慣が崩れやすくなるのではないかと考えています。そのような状況への対策として、**読書をすることをお勧めします**。たくさんの効果が期待できる読書で、この夏を過ごされてはいかがでしょうか。

株式会社RTP設立　鳥取に新しい名物をゼロから生み出す

最も人口の少ない鳥取県で全く新しい、美味しいラーメンを鳥取県八頭町から全国また全世界へ　RTP、ラーメン 鳥取 プロジェクト。始動株式会社RTP、本社、鳥取県八頭町、代表取締役、藤本JOHNNY孝博。は、日本で最も人口の少ない鳥取県で、日本初の全く新しい発想での地産地消モデルで商品開発を行い新しい鳥取名物を開発しました。この「ラーメン」を武器に鳥取から新しいビジネスモデルを展開するべく、2020年6月1日鳥取県八頭町に株式会社RTPを設立しました。すべての食材を鳥取県産で行い美味しいだけでなく新しい、そして鳥取県の皆様が嬉しいラーメンを提供致します。2020年4月NYで開催のJapan Fes。でお披露目予定だった鳥取県の食材を使用したRTPラーメン**地産地消の鳥取県の新名物RTPとは。**鳥取に新しい名物を創り出すそれがRTPです。、RTP＝ラーメン鳥取プロジェクトの略。鳥取と言えば蟹しかし蟹だけでなく春夏秋冬毎に美味しい海産物、山の幸、最近では若桜のジビエ、野生の鹿等美味しいもの魅力的なものもいくつもあります。しかしながら、全国に名を轟かすインパクトのあるものはまだまだ「松葉蟹」だけ残念ながら新しいスターの登場の予感はありません。鳥取には全国に誇る美味しいものが沢山あるはずなのに、「松葉蟹」しか知られていないというのは、鳥取を愛し、鳥取を深く知る我々としては非常に残念でなりません。だからこそ、我々は鳥取が、日本中また世界中に誇れる新しい名物となる「鳥取ラーメン」をゼロから生み出して、鳥取へ全国また全世界から人が押し寄せる求心力ある商品を、鳥取の農業、漁業、畜産業、水産業等様々な生産者の方々と協力し、ゼロから創り出しました。それも合わせてSDGｓへの大いなる貢献もこのアクションの大きな柱です。そして唯一、鳥取県内で入手することが困難だったラーメンの麺に使用する小麦粉も愛情あふれる協力者と出会い、2019年10月種まきからスタートし、2020年6月小麦の収穫に成功しました。正真正銘、麺、スープ、具材におけるまで地産地消にこだわり抜いた鳥取の食材で作ったラーメンです。さらに、地産地消にこだわったからといって、一切、味に妥協することなく、とことん美味しさにこだわり最高の一杯が出来上がりました。買い手のつかない小魚も、色や形の悪い椎茸や生姜や大蒜も、役割を終えた老鶏のガラも、捨てられるはずだった若桜のジビエ野生の鹿の骨も、唯一無二の技術力で、アイディアと調理スキルで、ここまで深い味わいのある最高のここでしか食することができないスープとなりました。無価値だと思い込んでいた食材が価値を生み出す。地域に貢献し、環境に優しくSDGsに貢献し、鳥取県民のプライドとモチベーションを高め、鳥取の若者に大志を抱いてもらい鳥取発で日本全国に新しい可能性を提供します。奇跡の出会いからプロジェクトに賛同頂き一緒に先頭に立ち推進してくれている「八頭の暴れん坊将軍」鳥取のリーダー東口善一さん鳥取県に唯一不足していた小麦を植えてくれた奇跡の同志　鎌谷一也さん**RTP販売時期について**コロナ禍の今だからこそ、安心してお召し上がりいただけるように、移動型のフードトラックの活用を予定しています。まずは、フードトラックを準備するため鳥取県の生産者の皆様とともにクラウドファンディングを立ち上げました。クラウドファンディングについての詳細は[こちら](https://www.makuake.com/project/rtp/)ご支援いただいた方には、鳥取県の名産品やRTPが一足先にご自宅で味わっていただける商品もご用意させて頂きます。その後、2020年10月頃より鳥取県内にフードトラックの1号店を誕生予定です。**代表取締役社長 藤本JOHNNY孝博の思い**私は日本マクドナルドで培った強いリーダーシップとコミュニケーションスキルを武器に様々な経験と素敵な出会いを財産に生きています。生まれ持った強運に導かれて鳥取に出会い鳥取に惹かれ立ち上げたプロジェクトです。北海道から九州沖縄まで非常に多くの自治体やJA、中小企業も大企業も農業法人からも時には個人レベルの依頼を受け講演会やプロジェクトのマネージメント、商品やプロモーション企画等々地域再生や地産地消のサポートの仕事をたくさんやってきました。なので問題点の把握、改善方法のイメージ、戦略戦術はたくさん有しています。全国各地の地産地消での成功事例は限りなく少ないこと。そして、その原因は熟知している自負はあります。しかし、打開する最重要項目は自ら取り組むという単純でありながら私にはハードルの高いことでもありました。私は現在東京に住み東京を中心に仕事をしているからです。今回は鳥取に会社を立ち上げ自分が先頭に立ち取り組む覚悟を決めました。コンサルティングではなく己の実業として取り組む今回のRTPへの挑戦は今、私が最もワクワクする、一番やりたい仕事なのです。商品開発力はもちろん、クリエイティブなブランディング、マーケティングを駆使し、過去に類をみない21世紀型の販売形態、運営スタイルを確立してフードビジネスのスターになります。ここ数年は国内外の一流企業の社員食堂の改革のプロデュースに取り組んでいました。そこで培った誰も真似することのできない圧倒的なラーメンの商品開発力を活かし、私は鳥取の新しい名物となる「鳥取ラーメン」をゼロから生み出しました。食べて頂ければ、「美味い」と微笑んでもらえるはずです全国、全世界から鳥取へわざわざ訪れたくなるキラーアイテムに育て上げ、鳥取の方々と日本中のみなさんと一緒に喜べるよう頑張って参ります。**藤本JOHNNY孝博プロフィール**代表取締役社長　藤本JOHNNY孝博さん**1964年大阪生まれ豊かで刺激的な家族と街に愛され幼少期から青年期を過ごす1986年日本マクドナルドに入社日本一の店長、日本一のオペレーションコンサルタント、**

**日本一のオペレーションマネージャーを経て2005年当時日本最年少で営業部長となる2009年当時業績最悪の東京メトロエリアの本部長就任半年で立て直して円満退社2010年 株式会社TFJ起業同時期孫正義後継者育成プログラム「ソフトバンクアカデミア」社外一期生として入校**

**社内レストランの創造のVISIONを掲げ社員食堂の大改革に取り組み始める2018年鳥取で素晴らしい出会いに感激し2020年6月鳥取県で新たに株式会社RTPを立ち上げ鳥取県内の会社として**、**このプロジェクトに挑む株式会社RTP会社概要**社名、株式会社RTP所在地、鳥取県八頭郡八頭町見槻中154-２設立日、2020年6月1日代表者、代表取締役社長　藤本孝博

体験、交流、そして移住里山を活かした取り組み

**「旬刊政経レポートとのコラボ」**月に一度、旬刊政経レポートと記事交換をするコラボをさせていただいています。第五回目は「NPO法人なんぶ里山デザイン機構」についての記事を掲載させていただきます。**NPO法人なんぶ里山デザイン機構**ＮＰＯ法人なんぶ里山デザイン機構、西伯郡南部町浅井九三八、毎川秀巳理事長。の取り組みが注目されている。同法人は５年前に設立。南部町と共同で「里山」というロケーションを活かし、町の内外を対象に様々なコンテンツを運営している。なんぶ里山デザイン機構の板持照明事務局長によると、同法人は、移住、定住促進、無料職業紹介、ふるさと納税受託事業、里山の魅力を広く発信するなんぶ里山デザイン大学という大きく４つの取り組みをしている団体だという。移住、定住促進の取り組みでは、空家をリノベーションし、町外、県外から移住者を誘致。里山暮らしに不可欠な地域住民との交流や暮らしに関するサポートも行い定住を図るというものだ。さらに２つ目の取り組みとして、移住者、町内の求職者に無料で仕事の紹介なども行っているという。ふるさと納税受託事業では、地域の柿や梨などの特産品をふるさと納税の返礼品としてパッケージするだけでなく、ＰＲなどトータルで運営している。そして４つ目が「なんぶ里山デザイン大学」。自然や、そこに暮らす人の技術など、実体験を通して学ぶ里山デザイン大学は、老若男女問わず生涯学び続けることができる人気のコンテンツだ。「コロナの影響で少しの期間止まっていたものもありますが、都会での感染リスク、地震や津波、豪雨災害を懸念して、安全で静かな当地で暮らしてみたいという問い合わせが増えています。また、デザイン大学の講座もオンラインを活用した取り組みを、まもなく開始します」と板持事務局長。ロケーションの良さだけでなく、安心安全という観点でも人気の場所になりつつあるようだ。また、子育てをしやすい環境づくりも町をあげて取り組んでおり、その成果もあり近隣の米子市などからの移住者も増加しているとのこと。「自然豊かということもあり、南部町は西日本で唯一、町の全域が環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山５００選」に指定されています。今後、虫や生物なども活かした取り組みや、学びのコンテンツも充実させていきたい」。今後このほかにも、これまでスポットを浴びていなかった様々な地域資源が、この里山からは生まれてきそうだ。田舎暮らしブームに乗り都会から移住、田舎暮らしに夢見るシニアは多いが、中々上手くいかない例も多い。 そんな中、同法人が住環境の整備から受け入れのケア、さらに学びのコンテンツや仕事の創造などに寄与しているからこそ、移住定住者が安心して田舎暮らしを楽しめる。その仕組みがしっかりと出来上がっていると感じた。

鳥取県独自のチェーン店

以前本サイトでは、鳥取県にはないチェーン店を紹介させていただきました。そこで、今度は鳥取県を中心に展開しているチェーン店を紹介していきたいと思います。今回、ここで紹介する「鳥取県を中心に展開しているチェーン店」を以下の2つの条件を満たすものとします。1　鳥取県に2店舗以上展開している。2　基本的に鳥取県のみに店舗を経営している。だだし、鳥取県での店舗経営が中心で、鳥取県のご当地品を取り扱っている場合も可とする。すなば珈琲鳥取県に10店舗を展開している珈琲店です。おいしい珈琲、デザートやランチを食べることができます。鳥取県×珈琲店といえば、少し前に話題になったスターバックスコーヒーとともに有名なのが、すなば珈琲です。県外から来られた方たちが、”旧”鳥取駅前店で行列を作ったり、記念撮影をしている様子が話題になりました。「すなば珈琲」のホームページは[こちら](http://www.sunaba.coffee/news/68.html)手打ちうどんちよ志鳥取県に3店舗を展開しているうどん店です。特徴は、安さとサイドメニューの充実さです。中でも、5枚集めればうどん1杯、すべてのサイズから選択可能。無料になるサービス券は、リピーターを量産しています。これらの特徴からちよ志は、学生からお年寄りまで文字通り老若男女から愛され、鳥取のうどんの味となっています。「手打ちうどん　ちよ志」のホームページは[こちら](http://udon-chiyoshi.jp/locations.html)大山乳業直営店舗鳥取県に「工場直売所「カウィーのみるく館」」、「大山まきばみるくの里」の2店舗を展開しています。鳥取のソウルドリンクとも呼ばれる大山乳業の白バラ製品を多数購入できます。また、「大山まきばみるくの里」では、レストランがあり、ランチメニューやソフトクリームを楽しむこともできます。工場直売所「カウィーのみるく館」のホームページは[こちら](https://dainyu.or.jp/publics/index/18/)「大山まきばみるくの里」のホームページは[こちら](http://www.milknosato.com/index.php)とうふちくわの里　ちむら鳥取県に4店舗を展開している「とうふちくわ」のお店です。とうふちくわとは鳥取県で古くから伝わる、魚の代わりに豆腐で作ったちくわの伝統郷土料理です。とうふちくわの詳しい歴史はちむらのホームページで紹介されていますので、気になる方はぜひ見てみて下さい「とうふちくわの里　ちむら」のホームページは[こちら](http://www.toufuchikuwa.com/about/)回転すし北海道鳥取県に4店舗、島根県に1店舗を展開している回転寿司チェーン店です。地元の食材を使って、鮮度にこだわったメニューを提供しています。鳥取県に住んでいる人がちょっと贅沢をしたいときにこぞって訪れる名店です「回転すし北海道」のホームページは[こちら](https://www.sushibenkei.co.jp/)香味徳鳥取県に3店舗、東京に1店舗、ハワイに1店舗を展開しているラーメン店です。このお店は鳥取発祥とされる牛骨ラーメンが特に美味しいと有名です。香味徳は正確にはチェーン店ではなく、のれん分けだそうです。つまり、それぞれの店のラーメンには違った特徴があるそうです。そのため、初めての方で、名物の牛骨ラーメンを食べたいときは本店、赤崎店。に行くのが良いかもしれません。「香味徳　赤崎店」の食べログは[こちら](https://tabelog.com/tottori/A3103/A310302/31000379/)焼肉店　大平門鳥取県に4店舗、島根県に1店舗を展開している焼肉店です。このお店では鳥取和牛を扱っており、鳥取の美味しいお肉を食べてみたいという方にはぴったりのお店です本格焼肉、焼肉食べ放題2つのタイプのお店があります。鳥取和牛A4ランクの上質肉を堪能したい方は、本格焼肉のお店がおすすめです「焼き肉店　大平門」のホームページは[こちら](https://www.taiheimon.com/)いかがだったでしょうか。鳥取中心に展開しているチェーン店が、意外と多くて驚かれたのではないでしょうか。県内だけにしかない美味しいお店が鳥取には、まだまだたくさんあります。ぜひ、このコロナ禍で、県内の美味しいお店の支援に皆さんで貢献しましょう

共働き世帯における女性の負担と鳥取県の取り組み

最近では、全国一斉休校や活動自粛として、子どもが家にいる時間が増えたことにより。家事をする時間が増えた家庭が多いのではないでしょうか。子供が家にいる時間が増えたことで家事をする時間が増えた今、共働き世帯の家庭内における女性の負担が特に増えたのではないかと考えます。この記事では、共働き世帯の家庭内における女性の負担から、今後の鳥取県に求められている取り組みについて紹介していきます。**日本の共働き世帯の現状**最近では、女性の社会進出の話をよく耳にしますが、どのくらい女性の社会進出が進んできているのでしょうか。1980年頃から2019年までの共働き世帯の数のデータを紹介します。このデータは、厚生労働省や総務省、内閣府などの調査によって作られました。この調査では、夫婦ともに少しでも収入がある世帯を「共働き世帯」として扱っています。厚生労働省や総務省などの統計によると、1990年代の半ば頃から共働き世帯数が専業主婦世帯数の数を上回っていることが分かります。それに加え、共働き世帯数と専業主婦世帯数との差は年々開いており、2019年では、共働き世帯数が専業主婦世帯数の2倍以上となっています。全国的に見ると、女性の社会進出が以前よりもかなり進んできていることが分かります。実は、女性の社会進出は鳥取県でもかなり進んでいるのです。TOTTORI BUSINESS ONLINEでは、H29年の鳥取県の共働き率について、以前の記事で紹介しました。H29年の鳥取県の共働き率は、全国で7位となっています。全国平均よりも鳥取県の共働き率が高いことから、鳥取県は全国的に見ても女性が働きやすい環境となっているのではないかと考えられます。 鳥取県の共働き率について興味のある方は、ぜひ、下の記事をご覧ください。**育児や家事に対する女性の負担**女性の社会進出が進むにつれ、社会での女性と男性の格差が以前よりも小さくなりつつある中、家庭内での女性と男性の間には、今でも隔たりがあるようです。その隔たりの中で一番大きなものと言えるのが、**家事と育児にかける時間**です。2016年の総務省統計局の社会基本調査によると、共働き世帯において夫婦の家事、育児にかける時間は、女性が一日当たり4時間54分、男性が一日当たり46分となっています。この**一日に女性が家事や育児にかける時間は、男性の約6。4倍**となっているのです。また最近では、子どもが家にいる時間が増えたことにより、女性が家事や育児にかける時間は2016年の調査時よりも多いことが予想されます。この問題は、家庭内での家事、育児の分担などの話合いで解決するのは中々難しいのではないかと考えます。国や県、市町村などが支援策を行うことで、家事や育児の女性への負担が軽減されやすくなるのではないかと考えます。**鳥取県の取り組み**鳥取県は「**子育て王国**」と言われるほど、子育て支援に力を入れています。ここでは、鳥取県が実際に行う子育て支援をいくつか紹介していきます。**新しい子育て支援策**、予算総額は3億円。不妊治療に対して、夫婦に求められていた条件を撤廃、不妊検査費の内の保険適用外の費用を全額助成、35歳未満の妻の人工授精の費用を7割助成、私立高校就学制度において、施設整備費を生活保護世帯は全額、年収270万円未満の世帯は2分の1を助成など上記以外にも、たくさんの支援が行われます。**とっとり子育て応援パスポート**、飲食店や商店で商品等の割引サービス、お買い物ポイントの加算、店舗等での子育て情報の提供その他にも、協賛店での授乳室の利用などの支援が行われます。とっとり子育て応援パスポートの詳細は[こちら](https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/774657/newtirashi.pdf)**様々な預かり支援策**、一時預かり、保護者の病気や学校行事への参加、冠婚葬祭などの理由で保育ができない場合、保育所や認定こども園で一時的に保育を行う、休日保育、保育所が閉園する日曜日、祝日にも開園して保育を行う、ショートステイ、短期預かり。、保護者の病気や出産、家族の看護、出張や事故等で数日間にわたって子供の保育ができないときに、児童養護施設や乳児院等に宿泊を含めて子供を預けることができる。上記以外にも、様々な預かり支援策が行われています。預かり支援策の詳細は[こちら](http://www.tori-hitorioya.com/s/index.php?view=5298)ここで紹介してきた以外にも、たくさんの子育て支援策があります。子供を育てていくことにおいて、商品等の割引や子供の預かり支援などはとてもありがたいことであると考えます。しかし、この記事でも紹介した家庭内での女性の負担を減らすような取り組みにおいては、まだまだ少ないように感じます。新型コロナウイルスの影響により、直接的に家庭内での女性の負担を減らすことが難しい今、間接的に家庭内での女性の負担を減らす取り組みを行うことが「**子育て王国**」と言われる鳥取県に求められていることなのではないかと考えます。

鳥取県の夏のレジャー体験

皆さん、鳥取の夏を楽しんでおられますか。多くの方が、もう少しで夏休みだったり、夏休み中だったりすると思います。しかし現在、新型コロナウイルスの感染拡大のため、旅行や観光に行きづらくなっています。さらに感染拡大防止のため、多くの海水浴場なども閉鎖されています。そこで、今回はコロナ禍で大打撃を受けた観光産業を盛り上げるために、コロナ禍においても楽しめる夏のレジャー体験をいくつか紹介していきます皆生温泉マリンアスレチック 海皆-KAI、KAI-鳥取県では今年、多くの海水浴場が閉鎖されていました。しかし、皆生温泉海水浴場はつい最近までしっかりと感染予防対策をし、開催されていました。そのような皆生温泉海水浴場での海上アスレチックです。開催期間は2020年7月23日、木、祝。8月23日、日。です。

料金は、当日券が平日1800円、土、日、祝日2000円、お盆2000円となっています。明日まで開催されています。是非、夏の海の思い出に、家族や友達と訪れてみてください。[ホームページ「皆生温泉マリンアスレチック 海皆-KAI、KAI-](https://kaikeonsen-kaikai.com/)」SUP体験、皆生海岸。上記の皆生温泉での皆生海岸で、大山や皆生温泉街を海の上からSUPに乗りながら、クルージングするツアーになっています。開催期間は4月10月末です。料金は大人6000円、子供4000円、親子ペア9000円となっています。ホームページから申し込みができるので、ぜひこの夏に体験してみましょう[ホームページ「SUP体験、皆生海岸。」](https://www.hiddenwest.org/)カヤック体験、浦富海岸コース世界ジオパークに登録されている鳥取県東部の浦富海岸でカヤック体験することができます。この体験ツアーでは、カヤックで洞窟の中に入ったり、岩のアーチや合間を進んだりすることもできるそうです。ツアーには様々なコースがあるようなので、下記のサイトから、料金やコース内容を確認してみてください開催期間は春先から秋までと長い期間楽しめるようです。料金はコースごとで異なります。鳥取県東部の海水浴場は多くが閉鎖されていて、今年の夏に海を体験できなかった方も多いと思います。そのような方は、是非、今年の夏の間に一度体験してみてはいかがでしょうか。下記のサイトから申し込みができるので、ぜひこの夏に体験してみましょう[アソビュー「カヤック体験、浦富海岸コース」](https://www.asoview.com/leisure/7/location/are0310200/)鳥取砂丘、サンドボード体験鳥取砂丘でサンドボードというスポーツを体験することができます。サンドボードとは、西オーストラリアで生まれた、砂の上でボードを走らせるスポーツのようです。開催時間は季節によって異なるそうなのでホームページをご覧ください。料金は3500円4000円となっています。新感覚のスポーツを是非、一度体験してみてくださいホームページから申し込みができるので、ぜひこの夏に体験してみましょう[ホームページ「鳥取砂丘、サンドボード体験」](https://sandboard.jp/)最後にいかがでしたでしょうか。コロナ禍においても鳥取県には楽しめるアクティビティがたくさんありました。是非、夏が終わるまでに、当記事で紹介させていただいたレジャー体験で思い出を作って、鳥取県の観光を盛り上げて頂ければ幸いです。